

令和 7 年度

専門教育ガイド

(文学部・理学部・生活環境学部・工学部)

専門教育科目履修案内

奈良女子大学

令和7(2025)年度 学年暦 (授業予定日)

月 火 水 木 金 ……授業日

前期									
		行事日程							
日	月	火	水	木	金	土			
		1	2	3	4	5	4月4日	入学式	
	6	7	8	9	10	11	12	4月7日	ガイダンス 4月5日、6日 学生定期健康診断
4	13	14	15	16	17	18	19	4月4日～9日	履修登録期間
月	20	21	22	23	24	25	26	4月26日	全学一斉停電（西町）
	27	28	29	30				4月17日～4月23日	履修登録修正期間

							1	2	3	5月1日	本学記念日
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	5月8日	月曜日授業開講日
5	11	12	13	14	15	16	17	18	19	5月9日	火曜日授業開講日
月	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	25	26	27	28	29	30	31				

	1	2	3	4	5	6	7						
	8	9	10	11	12	13	14						
6	15	16	17	18	19	20	21						
月	22	23	24	25	26	27	28						
	29	30											

		1	2	3	4	5							
	6	7	8	9	10	11	12						
7	13	14	15	16	17	18	19						
月	20	21	22	23	24	25	26						
	27	28	29	30	31								

							1	2	8月6日～8月8日	補講期間
	3	4	5	6	7	8	9	8月6日～9月30日	夏季休業	
8	10	11	12	13	14	15	16	8月12日～15日	大学一斉休業	
月	17	18	19	20	21	22	23	8月25日～8月30日	学問祭	
	24	25	26	27	28	29	30			
	31									

	1	2	3	4	5	6							
9	7	8	9	10	11	12	13						
月	14	15	16	17	18	19	20	9月26日～10月1日	履修登録期間				
	21	22	23	24	25	26	27	9月29日	後期 学部・大学院〔博士前期〕ガイダンス				
	28	29	30					9月30日	秋季卒業式、学位記授与式				

月 火 水 木 金 ……授業日

後期													
日	月	火	水	木	金	土	行事日程						
		1	2	3	4	10月1日	大学院秋季入学宣誓式、大学院秋季入学新生ガイダンス						
	5	6	7	8	9	10	11	10月14日	月曜日授業開講日				
10	12	13	14	15	16	17	18	10月1日～10月3日	履修登録期間 (大学院秋季入学者)				
月	19	20	21	22	23	24	25	10月13日	全学一斉停電 (東町)				
	26	27	28	29	30	31		10月9日～10月15日	履修登録修正期間				
								10月30日	臨時休業 (学園祭準備)				

						1	10月31日～2日	学園祭	11月3日	学園祭後片付け		
	2	3	4	5	6	7	8	11月4日	月曜日授業開講日			
11	9	10	11	12	13	14	15					
月	16	17	18	19	20	21	22					
	23	24	25	26	27	28	29					
	30											

		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
12	14	15	16	17	18	19	20
月	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

12月27日～1月4日 冬季休業

						1	2	3	1月15日、16日	臨時休業(共通テスト準備)
	4	5	6	7	8	9	10	11	1月17日、18日	共通テスト
1	11	12	13	14	15	16	17	18	1月19日	臨時休業(共通テスト後片付け)
月	18	19	20	21	22	23	24	25	1月14日	月曜日授業開講日
	25	26	27	28	29	30	31			

	1	2	3	4	5	6	7	2月12日～18日	補講期間								
	8	9	10	11	12	13	14	2月12日～3月31日	学年末休業								
2	15	16	17	18	19	20	21										
月	22	23	24	25	26	27	28	2月25日	個別学力試験（前期日程）								

	1	2	3	4	5	6	7	3月12日	個別学力試験（後期日程）								
	8	9	10	11	12	13	14	3月24日	卒業式、学位記授与式								
3	15	16	17	18	19	20	21										
月	22	23	24	25	26	27	28										
	29	30	31														

奈良女子大学の基本理念

- 理念1 男女共同参画社会をリードする人材の育成
ー女性の能力発現をはかり情報発信する大学へー
- 理念2 教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化
- 理念3 高度な基礎研究と学際研究の追究
- 理念4 開かれた大学
ー国際交流の推進と地域・社会への貢献ー

奈良女子大学の教育目標

本学は、学生個々の適性・能力を最大限に引き出し、深い学識を備え、情緒豊かで品位ある人材を育成する。また、さまざまな事象を総合的に理解・判断した上で、目的意識を持って主体的に行動し、社会をリードする人材を育成する。

1. 人間性を涵養する教育：

質の高い教養教育を行うことにより、幅広い教養と豊かな人間性を備えた人材を育成する。

2. 創造性を生み出す教育：

各専門分野間で連携のとれた教育を行うことにより、深い専門性を身につけた創造性豊かな人材を育成する。

3. 専門性を深める大学院教育：

女性が能力を発現しやすい環境の下で高度な専門教育を行い、創造的能力を備えた高度専門職業人および研究者を育成する。

4. 社会で貢献できる人材を育成する教育：

- 1) 男女共同参画社会の実現に貢献できる人材を育成する。
- 2) アジア諸国をはじめとする国際社会及び地域社会に貢献できる人材を育成する。

目 次

I 文学部	1
1. 専門教育科目の履修	3
2. 1 年間に履修登録できる単位数の上限	6
3. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の認定	6
4. 成績優秀者の履修登録単位数の上限緩和	7
5. 3 年以上 4 年未満での早期卒業	7
6. 学期末試験と成績	7
7. 学外での学修に係る単位の認定	8
8. 学科分属・コース選択	8
9. 6 年一貫教育プログラム	9
10. 大学院授業科目の先行履修	9
11. 編入学生のために	10
12. 文学部プロジェクト科目の案内	10
13. 文学部で取れる資格	12
14. 履修モデル	14
15. 文学部専門科目一覧（令和 4 年度以降入学者用）	38
16. 文学部専門教育科目時間割（令和 4 年度以降入学者）	57
17. 文学部専門科目一覧（令和 3 年度以前入学者用）	67
18. 文学部専門教育科目時間割（令和 3 年度以前入学者）	91
II 理学部	101
1. 専門教育科目等の履修	103
2. 1 年間に履修登録できる単位数の上限	104
3. 3 年以上 4 年未満での早期卒業	104
4. 学期末試験と成績	105
5. 学外での学修に係る単位の認定	105
6. 6 年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム	105
7. 先行履修教育プログラム	106
8. 学科関係専門教育科目・履修モデル等の案内	108
8. 1 数物科学科	108
数学コース	112
物理学コース	115
数物連携コース	122
8. 2 化学生物環境学科	127
化学コース（令和 2（2020）年度以降入学者用）	133
生物科学コース	150

環境科学コース	170
9. 編入学生のために	177
10. 理学部専門教育科目一覧	178
11. 理学部専門科目授業時間割表	191
12. 理学部専門科目 積極開放科目	197
III 生活環境学部	199
1. 専門教育科目以外の履修について	201
2. 専門教育科目の履修	202
3. 1年間に履修登録できる単位数の上限	207
4. 所定の単位を優れた成績で修得した者の履修登録単位数の上限緩和	208
5. 3年以上4年未満での早期卒業	208
6. 学期末試験と成績	208
7. 学外での学修に係る単位の認定	209
8. 6年一貫教育プログラム	209
9. 博士前期課程授業科目の先行履修制度	210
10. 学科・コース関係専門教育科目履修モデル等の案内	211
11. 編入学生のために	225
12. 生活環境学部で取れる資格	225
13. 生活環境学部専門教育科目一覧	228
14. 生活環境学部専門教育科目時間割表	260
15. 令和7年度生活環境学部専門教育科目 積極開放科目	269
IV 工学部	271
1. 専門教育科目以外の履修について	273
2. 専門教育科目の履修	273
3. 1年間に履修登録できる単位数の上限	275
4. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の履修登録単位数の上限緩和	275
5. 3年以上4年未満での早期卒業	276
6. 学期末試験と成績	276
7. 学外での学修に係る単位の認定	276
8. 専門教育科目履修モデル等の案内	277
9. 編入学生のために	279
10. 工学部で取れる資格	279
11. 工学部専門教育科目一覧	280
12. 工学部専門教育科目時間割表	284
13. 工学部専門教育科目 積極開放科目	288

I 文 学 部

学部教育目的

本学部は、人間性への深い洞察に根ざした人文社会科学的な知をもって、人間及びそれを取り巻く世界にかかわる諸問題の研究を学際的・総合的に推進し、それらの研究成果をもとに高度な専門教育を行い、現代社会が直面する複雑な諸課題の解決に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(文学部規程第1条の2)

学科の目的

- 一 人文社会学科は、日本と世界の文化や社会に関する研究・教育を行うことにより、時間・空間・関係などの視点にもとづく豊かな思考力と適確な判断力を持ち、広く社会に貢献できる人材を育成する。
- 二 言語文化学科は、言語と文学に関する諸事象・諸問題について、根源的かつ総合的な研究・教育を行うことにより、文化現象全般を視野に入れ、自由な発想と柔軟な思考力を持ち、国際社会で活躍できる人材を育成する。
- 三 人間科学科は、社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点を合わせ、人間の存在と形成について総合的に研究・教育を行うことにより、一人ひとりの人間が充実して生きることできる社会と文化の創造に貢献できる人材を育成する。

(文学部規程第2条の2)

大学在学中の授業の履修方法、卒業に必要な単位等は、原則として、入学年度の『Campus Life』に掲載されている学則および文学部規程が、卒業するまで適用されます。紛失しないよう大切に保管してください。

授業科目は、「専門教育科目」と「全学共通科目」に大きく分けられます。このガイドには、「専門教育科目」に関することが掲載されています。

以下の科目については、『全学教育ガイド』を参照してください。

- ・ 教養教育科目

基礎科目群（外国語科目・日本語科目・保健体育科目・情報処理科目）

教養科目群

- ・ キャリア教育科目

キャリアプラン科目群

教職科目群（教員免許状取得に関する科目）

資格関連科目群（学芸員、司書教諭資格に関する科目）

資格のうち、公認心理師については、本冊子の「文学部で取れる資格」を参照してください。

本学は「放送大学教育協力型単位互換科目」を開講しています。これは放送大学の授業科目を本学の教育課程の中で開講するもので、受講料を支払うことなく、4学部の全学生が受講することができます。ただし、この科目の受講者に対しては、様々なアンケート調査が行われますので、ご協力ください。詳細は、『全学教育ガイド』の「Ⅳ 単位互換制度 1 放送大学教育協力型単位互換科目について」を参照してください。

また、平成20年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の7大学（帝塚山大学・天理大学・奈良大学・奈良教育大学・奈良県立大学・奈良県立医科大学・奈良学園大学）の指定された科目を履修できるようになりました。ただし、この制度は2年次生以上を対象とするので、令和7年度入学者は、令和8年度から利用できます。

なお、編入学生については、編入された学年の入学年度（令和7年度編入であれば令和5年度）のカリキュラムが適用されるので注意してください。

1. 専門教育科目の履修

(1) 専門教育科目は、学部共通科目・学科科目・資格関連専門科目に区分されています。

(2) 原則として、学部共通科目は1年次から、他の専門教育科目は2年次から履修できます。

ただし、「ジェンダー言語文化学概論」など一部の学部共通科目は、2年次以降履修可能です。

また、3年次以降履修可能な科目もあります。開講科目概要及びシラバスで確認してください。

次の科目は、文学部の専門教育科目における最も基礎的な部分を担う科目であり、履修できる年次・学期が決まっています。

- ・ 「基礎演習」：1年次前期のみ履修可。クラス単位で開講される。
- ・ 「学ぶことと女性のライフスタイル」：1年次後期のみ履修可。

このほか、他の学科・他の学部の専門教育科目を履修することもできますが、科目によって履修できる年次が指定されていたり、受講に制限があったりします。また、コースによって履修すべき科目が指定されていることがあります。本冊子の各コースの案内や、開講科目概要、シラバスを参照して、十分に確認しましょう。

(3) 専門教育科目は、入学年度によって、履修できる科目が異なります。また、編入学生は、編入された学年の入学年次のカリキュラムが適用されます。履修登録の際に十分注意してください。

(4) 以下の科目は、特に指定されたものを除いて、一度単位を修得したら重ねて履修することはできません。

- ・ 全学共通科目（「諸学への誘い」を除く。）
- ・ 専門教育科目のうち、学部共通科目・資格関連専門科目

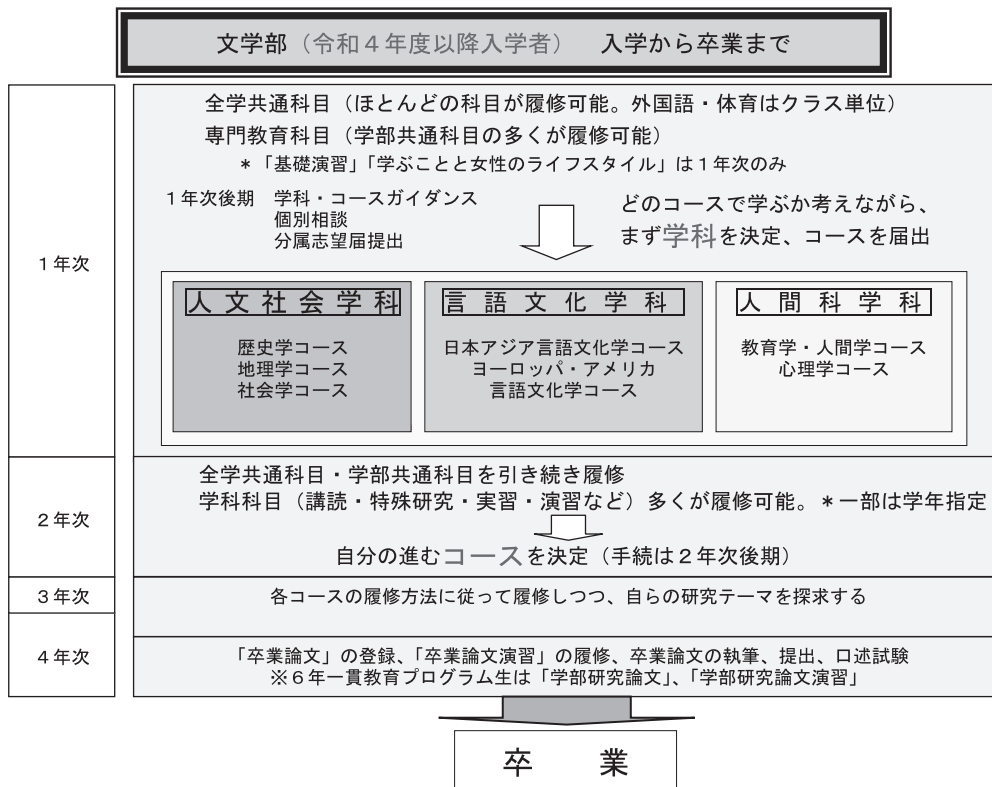
(5) 4年次生は、卒業論文に関する手続に注意してください。3月卒業の場合のスケジュールは次の通りです。

- ・ 「卒業論文」の登録：前期の受講登録時（「卒業論文演習／卒業演習」とは別。また、前期に登録する点に注意）
- ・ 卒業論文題目の提出：11月上旬
- ・ 卒業論文の提出：1月10日前後
- ・ 卒業論文に関わる口述試験：2月上旬

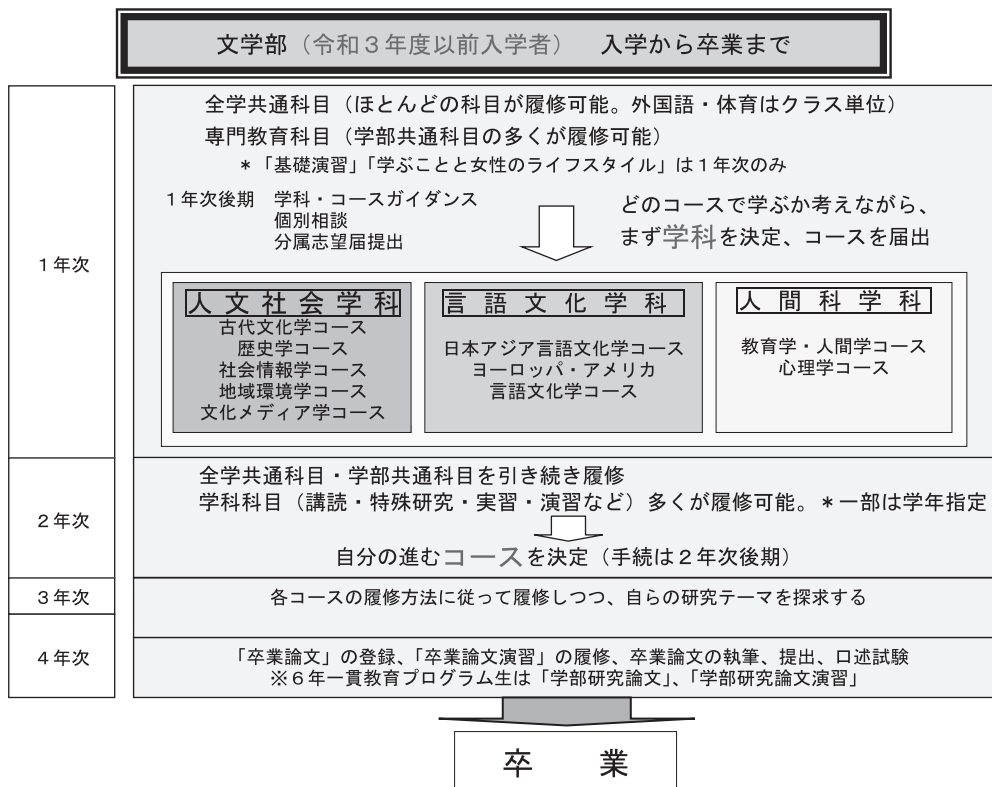
※6年一貫教育プログラム生は「学部研究論文」、「学部研究論文演習」

具体的な日程は、掲示で通知されます。期限に遅れると、卒業に差し障ることになるので、十分注意してください。なお、早期卒業などで9月卒業をめざす人についても、卒業論文に関わる日程は掲示されますので、必ず確認するようにしましょう。

【令和4年度以降入学者】



【令和3年度以前入学者】



2. 1年間に履修登録できる単位数の上限

＊この項目は、編入学生、転学部・転学科した者には適用されません。

- (1) 1年間に履修登録できる単位数には、上限が設定されています。
 - (2) 卒業要件単位として1年間に登録できる単位数は、原則として48単位以下です。
 - ① 卒業要件単位とは、卒業に必要な124単位（子ども教育専修プログラム生は133単位）に含めることができるものです。以下の科目がそれにあたります。
 - ・ 教養教育科目
基礎科目群（外国語科目・日本語科目・保健体育科目・情報処理科目）
教養科目群
 - ・ 専門教育科目（他学部専門科目を含む）
 - ② 以下のものは、特に指定する科目を除き、卒業要件単位に含まれません。
 - ・ キャリア教育科目
キャリアプラン科目群
教職科目群（教員免許状取得に関する科目）
資格関連科目群（学芸員、司書教諭に関する科目）
- ※ただし、子ども教育専修プログラム生については一部卒業要件単位に含まれるものがあります。
- (3) 前年度以前に不合格となった科目を再履修する場合も、上記48単位の範囲に含まれます。
 - (4) 他大学との単位互換により履修する科目、奈良教育大学との連携開設科目の単位もこれに含まれます。ただし、「放送大学教育協力型単位互換科目」は除きます。
 - (5) 履修登録後、授業内容が期待する学習内容と相違する場合や、受講上必要な知識の不足等から履修の継続が難しいと判断する場合には、登録取消・修正期間内に限り学務課文学部係に申し出ることで、履修登録を取り消すことができます。登録取消を行った科目の単位数は、履修登録上限単位数から除かれます。但し、登録の追加はできません。

3. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の認定

- (1) 各年度の所定の単位を優れた成績で修得した人を成績優秀者として認定します。

1年次の成績が優秀であると認定される人は、1年間に卒業要件科目を40単位以上取得した上、当該年度に取得した卒業要件科目の平均点が、100点満点法で86点以上でなければなりません。2年次については、1年間に卒業要件科目を40単位以上取得し、その内、文学部専門教育科目を20単位以上取得した上、当該年度に取得した卒業要件科目の平均点が、100点満点法で86点以上でなければなりません。3年次については、1年間に文学部専門教育科目を20単位以上取得した上、当該年度に取得した卒業要件科目の平均点が、100点満点法で86点以上でなければなりません。

4. 成績優秀者の履修登録単位数の上限緩和

*この項目は、編入学、転学部・転学科した者は適用されません。

- (1) 上記「3」の条件に該当する学生は、文学部教授会の審議の上、当該年度の成績優秀者として認定され、履修登録単位数の上限が緩和されます。履修登録単位数の上限緩和を希望する学生は、学務課文学部係まで申し出てください。手続きについては4月1日以降掲示いたします。
- (2) 履修登録単位数の上限緩和が認定された学生は、学務課からの通知の後、所属学科・コースにおいて履修指導を受けた上で、履修登録単位数の上限を超えて登録することが可能です。
- (3) 履修登録単位数の上限を超えて登録することのできる単位数は、前期・後期通算で12単位までです。

5. 3年以上4年未満での早期卒業

*この項目は、編入学、転学部・転学科した者には適用されません。

- (1) 本学部に3年以上在学し、所定の単位を特に優れた成績で修得した人は、本人の申し出に基づき、3年次の3月もしくは4年次の9月に卒業資格を認定されることがあります。これを「早期卒業」といいます。
- (2) 早期卒業の資格を得るためには、入学後一貫して特に優れた成績優秀者であることが必要となります。
- (3) 早期卒業を希望する人は卒業希望の1年前までに所属する学科・コースの教員へ相談のうえ、文学部係まで申し出てください。
- (4) 早期卒業を希望する人は、早期卒業対象者のための「学部共通演習」などの履修など、学科・コースごとに特別の履修指導を受けなければなりません。また、卒業論文の履修登録など留意事項が数多くあります。早期卒業を考えてみたい人は、早めに所属学科・コースの教務委員もしくは指導担当教員、学務課文学部係に相談してください。

6. 学期末試験と成績

- (1) 試験の実施時期や成績評価の方法は科目ごとに異なりますので、各科目のシラバスをよく読み、授業中の指示および掲示に注意して受験してください。
- (2) 病気や事故など、やむを得ない事情によって試験を受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。該当者は、速やかに学務課文学部係に連絡してください。
- (3) 学期ごとの成績は、指定された期間に各自で確認してください。

7. 学外での学修に係る単位の認定

- (1) 学生は、あらかじめ願い出た上で、他の大学や短期大学（外国への留学の場合を含む）の授業科目を履修することができます（奈良教育大学との連携開設科目は願出不要）。修得した単位は、教授会において教育上有益と認められるときは、一定の範囲で、本学部における履修単位として認定されます。単位修得後、必要な書類を添え、速やかに申請してください。
- (2) 英検、TOEFL、TOEIC、独検等で一定の成績を収めた場合、単位として認定されることがあります。具体的には『全学教育ガイド』「Ⅲ 教養教育科目の仕組み・履修案内」の「外国語科目における単位認定制度」を参照してください。手続は学期初めに行われるので、掲示を見て、提出書類と期限に注意してください。
- (3) 詳細は、学務課文学部係に問い合わせてください。

8. 学科分属・コース選択

(1) クラス制と学科分属

- ① 文学部学生は、1年次の間は学科に所属せず、入学時に指定されるクラスに分かれます。各クラスには担任教員1名がおり、そのクラスの「基礎演習」（1年次前期開講）を担当します。履修上の疑問など、クラス担任もしくは学務課文学部係に気軽に相談してください。
- ② 1年次終わりまでに、2年次から卒業まで所属する学科が決定されます（学科分属）。各学科には、履修した科目によって決定されるいくつかの「コース」が置かれています。学生は、最終的にはいずれかの「コース」を選択し、自らの研究対象を決めて、卒業論文を完成させます。「学科分属」ではまず学科を決めるのですが、卒業に至る学習目標と履修計画を明確にするため、希望する「コース」もあわせて届け出ます。
- ③ 9月末に「学科分属ガイダンス」が行われます。必ず出席してください。
- ④ 分属は、基本的に次のような手続にしたがって行われます。
 - 1) 9月末 「学科分属ガイダンス」（全体）
 - 2) 10月初め 学科・コース別ガイダンス・相談期間
 - 3) 11月下旬「分属志望届」などの提出
 - 4) 1月 学科分属決定
- ⑤ 分属に当たっては、学生の希望が優先されます。ただし、各学科に定員があるため、特定の学科に極端に志望者が多いなど、教育上の困難が懸念される場合には、第一希望に分属されないこともあります。
- ⑥ そのため、上記④の2)に、相談・指導期間が設定されています。疑問点や迷っていることなどは、志望先の教員やクラス担任に相談してください。
- ⑦ 1年次の前期の間から、卒業まで学びたいことを柱として、学科・コースの選択についてよく考えることが大切です。教員に質問や相談をしたり、概論など受講可能な科目を受講し

たりするとよいでしょう。

- ⑧ 分属関係の具体的日程および手続きは、掲示によってその都度通知されるので、よく注意してください。

(2) コース選択

- ① 2年次終わりまでに、3年次から卒業まで履修するコースを選択します。
- ② 選択したコースを変更することも可能ですが、安易な変更は、履修計画の大幅な変更を迫られ、場合によっては卒業延期につながることもあり得ます。コース変更を希望する場合は、現在の所属先コースの教員とよく相談し、今後の履修計画について十分考える必要があります。手続きに関しては、関連のコースの教務委員の指示に従ってください。
- ③ コース選択の具体的日程および手続きは、掲示によってその都度通知されるので、よく注意してください。

9. 6年一貫教育プログラム

6年一貫教育プログラムとは、学部4年と大学院博士前期課程の2年の合計6年をひとまとまりとしてとらえ、長期的な展望のもとで自身の興味関心を深化させていく教育プログラムで、3年次後期以降から始まります。プログラム専門科目「特別研究」で、自身の研究計画にもとづいて研究や留学、インターンシップを行うことができます。

また、学部生の間に大学院の科目を先行履修することができ、大学院進学後に、修了要件単位として認定が可能になります。

プログラム生の募集時期は、3年次前期及び後期です。3年次前期終了時点で74単位（外国語科目16単位、保健体育科目2単位、情報処理科目2単位、教養科目群18単位からなる卒業要件の「教養教育科目」38単位を含む）以上を修得していることが、応募資格となります。ただし、子ども教育専修プログラムを履修している場合には、3年次前期終了時点で74単位（外国語科目16単位、保健体育科目2単位、情報処理科目2単位、教養科目群10単位からなる卒業要件の「教養教育科目」30単位を含む）以上を修得していることが、応募資格となります。3年次編入学生は、このプログラムには応募できません。

その他募集等に関する詳細事項は、説明会等に参加して確認してください。

なお、プログラム生の履修モデル等を37ページに記載していますので、参考にしてください。

10. 大学院授業科目の先行履修

学部在籍する学生で、本学人間文化総合科学研究科に進学を希望する4年次学生のうち、学業が優秀であり、かつ先行履修をするにあたり相応しい学力を有する者が、コース教務委員及び学部長の承認を得た上で、大学院の授業科目を履修できる制度です。

出願資格は以下のとおりです。

① 6年一貫教育プログラムに選抜された者

② 以下の要件をすべて満たす者

- ・卒業要件単位の取得が見込める者

(4年次の卒業論文8単位と卒業論文演習4単位を除いた、112単位の取得済みが目安)

- ・通算GPAが2.5以上

また、先行履修することができる授業科目の範囲及び単位数は人間文化総合科学研究科博士前期課程で開講されている授業科目のうちから、出願資格①に当てはまる者は10単位、出願資格②に当てはまる者は4単位までとなります。そして、先行履修で修得した単位は人間文化総合科学研究科に入学後、大学院授業科目として単位が認定されます。

先行履修への申請時期は、前期開講授業：前年度の1月下旬以降、後期開講授業：当該年度の7月下旬以降となります。詳細についてはガイダンスや掲示で確認してください。

11. 編入学生のために

- (1) 令和7年度に3年次に編入学した学生には、原則として令和5年度の学部規程が適用されます。履修科目の構成や単位修得の条件など、よく注意して履修してください。
- (2) 編入学生は、入学時の単位認定によって、履修計画が左右されることがあります。所属するコースの教務委員に相談して履修指導を受け、卒業までの充実した履修計画を立ててください。教員免許取得を希望する者は、特に綿密な計画が必要です。自分がどの校種・どの教科の免許を取得したいのか、明確に伝えた上で指導を受けてください。
- (3) 外国語科目や保健体育科目の基礎科目群、および教養科目群等は、編入学生向けの特例が設けられていますので、各コースの教務委員に相談のうえ注意して履修してください。なお、編入学生には1年間に履修登録できる単位数の上限は適用されません。

12. 文学部プロジェクト科目の案内

文学部では、文学部として取り組むプロジェクトとして、以下のプロジェクトを展開しています。シンポジウムや公開研究会が開催されているほか、関連の授業も開講されています。

【ジェンダー言語文化学プロジェクト】

私たちが日常使っている言葉や、読んでいるものは、生物学的な性差とは別の、社会的・文化的・歴史的な性のあり方によって強く影響を受けています。特に言葉や文学には、それが使われる、あるいは書かれる時代の風潮や思想が色濃く映し出されるため、女性・男性という性のあり方がどのように認識され、変遷を遂げたのかということを知る上で格好の材料となります。このプロジェクトは、このジェンダー（社会的・文化的・歴史的・心理的な性のあり方）の視点をを用いて言葉や文学を読み解く方法を学び、考えようとするものです。本年度の授業科目では、「ジェンダー言語文化学概論」において、ジェンダーという概念の基礎と、言葉や文学

に文化的な性のあり方が表れていることの具体例を示します。次いで、「フェミニズム文学批評概論」（旧名称「ジェンダー言語文化学演習」）では、文学作品をフェミニズムやジェンダーの視点から読む方法を学び、実際に文学作品を精読しながら批評の実践を行います。さらに、「ジェンダー言語文化学特殊研究」では、担当教員が専門分野とする地域の言語や文学作品をとりあげつつ、ジェンダーの問題について、より専門的に考察します。

13. 文学部で取れる資格

文学部では、以下の資格（受験資格等を含む）を取得することができます。

(1) 教員免許

文学部では、所定の科目を修得することで、以下の教員免許を取得することができます。

- 高等学校一種免許（国語、地理歴史、公民、英語、書道）
- 中学校一種免許（社会、国語、英語）
- 小学校一種免許（子ども教育専修プログラム生のみ）
- 幼稚園一種免許（子ども教育専修プログラム生のみ）

※ 上記の校種と科目については、大学院において専修免許を取得できます。 但し、書道を除く。詳しくは、『全学教育ガイド』『キャリア教育科目の履修』をご覧ください。

(2) 資格等

文学部では、所定の科目を修得することで、以下の資格及び受験資格を取得することができます。

- 学校図書館司書教諭
- 学芸員
- 専門社会調査士（大学院） ＊
- 公認心理師（受験資格） ＊

※ ＊印が付された資格は、大学院進学、もしくは実務経験が必要になります。

①「社会福祉主事（任用資格）」について

文学部においては、社会福祉に関する３科目以上の単位を修得し、卒業すれば、社会福祉主事任用資格を得ることができます。

該当科目は、「社会学概論A・B」「法学概論A・B」「経済学概論A・B」「倫理学概論」「教育学概論」「心理学概論」です。

※科目名の末尾に「A」、「B」がついており、複数の科目に区分されている科目については、いずれか一方しか履修していない場合、指定科目を履修したことにはなりませんので、ご注意ください。

詳細は厚生労働省HPをご確認のうえ、学務課文学部係までお尋ねください。

②「公認心理師」について

「公認心理師」は、保健医療・福祉・教育・産業・司法などの領域で、他職種と協働しながら心理に関する支援を行う国家資格です。「公認心理師」受験資格を得るには、下記の科目を学部4年間のうちに履修し、さらに大学院博士前期課程（2年間）で所定の科目を履修するか、学部卒業後実務経験（2年以上）が必要です。

科目名称	履修区分	履修方法
公認心理師の職責	必修	
心理学概論 （生）心身健康学概論Ⅱ（心理学概論）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
臨床心理学概論	必修	
心理学研究法	必修	
心理学統計法Ⅰ （生）心理学統計法	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
心理学実験 （生）心理学実験演習（心理学実験）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
知覚・認知心理学	必修	
学習・言語心理学	必修	
感情・人格心理学 （生）感情・人格心理学	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（生）神経・生理心理学	必修	
社会・集団・家族心理学 （生）家族心理学（社会・集団・家族心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
発達心理学 （生）発達臨床心理学（発達心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
障害者・障害児心理学	必修	
心理検査法（心理的アセスメント） （生）心理療法学（心理学的支援法）	必修	
（生）健康・医療心理学	必修	
福祉心理学	必修	
教育・学校心理学 （生）教育臨床心理学（教育・学校心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（生）司法・犯罪心理学	必修	
産業・組織心理学	必修	
生活内科学（人体の構造と機能及び疾病） （生）精神疾患とその治療	必修	
関係行政論	必修	
心理演習	必修	
心理実習A （生）臨床心理学実習（心理実習B）	必修	心理実習A・Bそれぞれで 40時間以上、2科目あわせて 80時間以上の実習を行う

※上記科目のうち、「必修」とあるものはすべて必修、「選択」とあるものは2科目あるうちから1科目を選択必修です。「(生)」とあるのは生活環境学部の開講科目です。

※詳細は担当教員（心理学コース：狗巻）に確認してください。

14. 履修モデル

人文社会学科

(入学年度によってカリキュラムが異なりますので、必ず自分の入学年度を確認してください。)

令和4年度以降入学者

【人文社会学科の特徴】

人文社会学科は、奈良盆地がはぐくんできた歴史的な時間とグローバルなつながりを背景に、古代から現代にいたるさまざまな社会と文化と地域について、歴史学・地理学・社会学などが連携して研究をすすめています。学科内に設けられた3つのコースでは、時間（歴史）・空間（地理）・関係（社会）の視点と、それぞれの専門分野の方法を用いて、自分で問題を発見し、その解明に必要な資料の収集方法や読解方法、分析技術などを身につけます。

【履修上の注意（学科全体）】

専門科目には、概論、特殊研究（特研）、講読、実習、演習、卒業論文演習があります。

人文社会学科の学生は、専門科目の卒業要件として、文学部の「基礎演習」および「概論」科目から16単位以上、本学科の「特殊研究」（特研）科目から12単位以上、本学科の「講読」科目から6単位以上（歴史学コースは8単位以上）、本学科の「実習」科目から2単位以上、本学科の「演習」から10単位以上（歴史学コースは8単位以上、卒業論文演習を含む）、「卒業論文」8単位を履修してください。また、各コースでは、履修が推奨されている科目（推奨）、必修となっている科目（必修）が定められていますので、注意してください。

1年次では、全学共通科目と合わせて、専門科目の概論を履修することができます。できるだけ異なる分野の概論を受講して、知識を広めましょう。

2年次からは、特殊研究（特研）、講読、実習を履修することができます。講読と実習はできるだけ4年次になる前に履修しておきましょう。

演習の配当年次は、主として3年次、卒業演習の配当年次は、原則として4年次ですが、演習科目には2年次から履修できるものもあります。特殊研究（特研）、講読、実習、演習のいずれも、科目によって、履修学年が異なることがありますので、シラバスをよく確認した上で履修計画を立ててください。

特殊研究（特研）は、複数開講されており、毎年内容が変わるので、開講時間・時期、内容をシラバスでよく確認して履修してください。

【コースごとの注意】

◆歴史学コース

2年次では、「日本古代史講読」「日本史講読A・B」「東洋古代史講読」「東洋史講読A・B」「西洋史講読A・B」「考古学講読」「日本美術史講読」の中から4単位以上を履修することを推奨します（2年次推奨）。

3年次では、「日本古代史演習Ⅰ・Ⅱ」「日本史演習Ⅰ・Ⅱ」「東洋古代史演習Ⅰ・Ⅱ」「東洋史演習Ⅰ・Ⅱ」「西洋史演習Ⅰ・Ⅱ」「考古学演習Ⅰ・Ⅱ」「日本美術史演習Ⅰ・Ⅱ」の中から、少なくとも4単位以上を履修してください（3年次選択必修）。

4年次では、必ず「歴史学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）。

◆地理学コース

2年次では、「地理学入門講読A・B」「地理学実習A・B」「地理学統計実習」「地理情報システム実習」「地理学演習Ⅰ」「フィールド探究演習」を履修することを推奨します（2年次推奨）。

3年次では、「地理学専門講読」「地理学演習Ⅱ」「地理学フィールド演習Ⅰ・Ⅱ」を履修することを推奨します（3年次推奨）。

4年次では、必ず「地理学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）。

◆社会学コース

2年次では、「社会学講読A・B・C」「質的調査実習」「コミュニティ・リサーチ」「コミュニティ・アクション」を履修することを推奨します（2年次推奨）。

3年次では、「社会調査実習Ⅰ・Ⅱ」を履修することを推奨します（3年次推奨）。
 2～3年次で、「社会学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修することを推奨します（2～3年次推奨）。
 4年次では、必ず「社会学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）。

履修モデル

1年次	全学共通科目（人文社会科学と関連の深い科目）						
	なら学 人類史 国際関係論 ジェンダー論入門 人権と差別 など						
	【歴史系】		【地理系】		【社会系】		
	歴史学 環太平洋くろしお文化論		地域のひと暮らし 自然環境の地理学		社会学 経済学		
	日本の美と芸術 西洋の美と芸術		政治学				
2年次以降	概論科目	基礎演習（1年次のみ）				学ぶことと女性のライフスタイル	
	および基礎演習	【歴史系】		【地理系】		【社会系】	
	（計16単位以上）	考古学概論	日本史概論	人文地理学概論	地誌	社会学概論	法学概論
		日本美術史概論	東洋史概論	自然地理学概論		文化社会学概論	政治学概論
			西洋史概論	地域情報学概論		文化人類学概論	経済学概論
	特殊研究	日本古代史	日本史	人文地理学	地域分析論	社会学理論	観光社会学
	（12単位以上）	東洋古代史	東洋史	経済地理学	地域環境論	現代社会論	家族社会学
		考古学	西洋史	都市地理学	地形環境学	社会調査法	ジェンダー社会学
		日本美術史		社会地理学	環境変遷史	計量社会学	文化人類学
				文化地理学	気候・風土学	文化社会学	文化とメディア
			環境地理学	地域調査法	地域社会学		
	講読	日本古代史	日本史	地理学入門	社会学		
	（歴史学：8単位以上、地理学・社会学：6単位以上）	東洋古代史	東洋史	地理学専門			
		考古学	西洋史				
		日本美術史					
	実習						
	（2単位以上）	古代文化学	歴史学	地理学	社会調査		
		古代文化学野外	史料学	地理学統計	質的調査		
			古文書学	地理情報システム	コミュニティ・リサーチ		
					コミュニティ・アクション		
	演習						
	（歴史学：8単位以上、地理学・社会学：10単位以上）	日本古代史	日本史	地理学	社会学		
		東洋古代史	東洋史	フィールド探究			
		考古学	西洋史	地理学フィールド			
		日本美術史					
		（歴史学コース）		（地理学コース）		（社会学コース）	
4年次	各コースの卒業論文演習（4単位、演習単位に含む）						
	卒業論文（8単位）						

【人文社会学科の特徴】

人文社会学科は、奈良盆地がはぐくんできた歴史的な時間とグローバルなつながりを背景に、古代から現代にいたるさまざまな社会と文化と地域について、歴史学・地理学・社会学などが連携して研究をすすめています。学科内に設けられた5つのコースでは、時間（歴史）・空間（地理）・関係（社会）の視点と、それぞれの専門分野の方法を用いて、自分で問題を発見し、その解明に必要な資料の収集方法や読解方法、分析技術などを身につけます。

【履修上の注意（学科全体）】

専門科目には、概論、特殊研究（特研）、講読、実習、巡検、演習、卒業論文演習があります。

人文社会学科の学生は、専門科目の卒業要件として、文学部の「基礎演習」および「概論」科目から16単位以上、本学科の「特殊研究」（特研）科目から12単位以上、本学科の「講読」科目から8単位以上、本学科の「実習」科目から2単位以上（地域環境学コースは「地域環境学巡検」を含めて4単位以上）、本学科の「演習」から8単位以上、「卒業論文」8単位を履修してください。また、各コースでは、履修が推奨されている科目（推奨）、必修となっている科目（必修）が定められていますので、注意してください。

1年次では、全学共通科目と合わせて、専門科目の概論を履修することができます。できるだけ異なる分野の概論を受講して、知識を広めましょう。

2年次からは、特殊研究（特研）、講読、実習を履修することができます。講読と実習はできるだけ4年次になる前に履修しておきましょう。

演習の配当年次は、主として3年次、卒業論文演習の配当年次は、原則として4年次ですが、演習科目には2年次から、卒業論文演習には3年次から履修できるものもあります。特殊研究（特研）、講読、実習、演習のいずれも、科目によって、履修学年が異なることがありますので、シラバスをよく確認した上で履修計画を立ててください。

特殊研究（特研）は、複数開講されており、毎年内容が変わるので、開講時間・時期、内容をシラバスでよく確認して履修してください。

【コースごとの注意】

◆古代文化学コース

2年次では、「古代学・歴史学基礎演習」を履修することを推奨します。また、「日本古代史講読B」「東洋古代史講読」「東洋史講読A」「考古学講読A・B」「日本美術史講読」の中から4単位以上を履修することを推奨します（2年次推奨）。

3年次では、「古代文化学野外実習」を履修することを推奨します。また、「日本史演習Ⅰ・Ⅱ」「東洋古代史演習Ⅰ・Ⅱ」「東洋史演習Ⅰ・Ⅱ」「西洋史演習Ⅰ・Ⅱ」「考古学演習Ⅰ・Ⅱ」「日本美術史演習Ⅰ・Ⅱ」の中から、少なくとも4単位以上を、「古代文化学演習」とともに履修してください（3年次選択必修）。

4年次では、必ず、「古代文化学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）。

◆歴史学コース

2年次では、「日本史講読A・B」「東洋史講読A・B」「西洋史講読A・B」の中から4単位以上を履修することを推奨します（2年次推奨）。

3年次では、「日本史演習Ⅰ・Ⅱ」「東洋史演習Ⅰ・Ⅱ」「西洋史演習Ⅰ・Ⅱ」の中から、少なくとも2単位以上を履修してください（3年次選択必修）。特に自分が興味を持っている分野の演習は必ず履修するように心がけましょう。

4年次では、必ず、「歴史学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）。

◆社会情報学コース

2年次～4年次の間に、「社会調査実習Ⅰ・Ⅱ」「地域情報学実習Ⅰ・Ⅱ」「コミュニティ・リサーチ」「コミュニティ・アクション」「地域環境学実習Ⅰ・Ⅱ」「文化メディア学実習A・B」「なら学フィールドワーク実習」の中から、少なくとも2単位以上を履修してください（2～4年次選択必修）。

2年次～4年次の間に、必ず、「社会情報学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（2～4年次必修）。

4年次では、必ず、「社会情報学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）

◆地域環境学コース

2年次では、「地域環境学入門講読A・B」「地域環境学実習Ⅰ・Ⅱ」「地域探究実践演習」「地域社会の課題演習」を履修することを推奨します（2年次推奨）。

3年次では、必ず、「地域環境学巡検」「地域環境学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修して下さい（3年次必修）。また「地域環境学専門講読A・B」を履修することを推奨します（3年次推奨）。

4年次では、必ず、「地域環境学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）。

◆文化メディア学コース

2年次～4年次の間に、「なら学演習」「地域メディア論演習」「文化人類学演習」「文化社会学演習」「現代民俗論演習」の中から、少なくとも2単位以上を履修してください（2～4年次選択必修）。

4年次では、必ず、「文化メディア学卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください（4年次必修）。

履修モデル

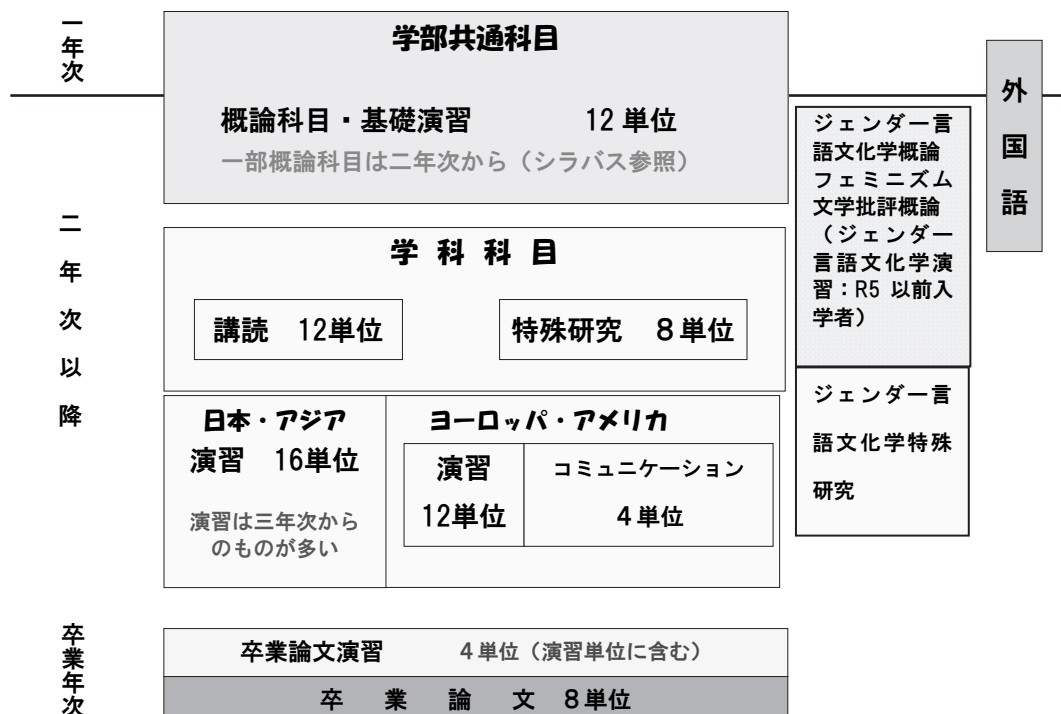
1年次	全学共通科目（人文社会科学科と関連の深い科目） 【歴史系】 歴史学 シルクロードと古代日本 日本の美と芸術 西洋の美と芸術 【地理系】 地域のひととらし 自然環境の地理学 【社会系】 社会学 政治学 ジェンダー入門 女性と社会 【その他】 国際関係論 日本とヨーロッパ 人権と差別 など						
	概論科目および基礎演習 （計16単位以上） 基礎演習（1年次のみ） 						
2年次以降	特殊研究 （12単位以上）	日本古代史 東洋古代史 西洋古代史 日本美術史	日本史 東洋史 西洋史 考古学	人文地理学 社会地理学 環境問題論 環境変遷史 気候・風土学 地域自然環境論	地域文化論 地域環境学 地理情報システム 地域分析論 地域情報学 都市文化論 観光文化論	文化社会学 地域社会学 環境社会学 家族社会学 女性学	社会調査法 計量社会学 現代社会論 社会学理論 文化人類学 現代民俗論 環境文化論
	講読 （8単位以上）	日本古代史 東洋古代史	日本美術史 考古学	日本史 東洋史 西洋史	地域環境学入門 地域環境学専門	社会情報学入門 社会情報学専門	文化メディア学
	実習 （2単位以上） ※地域環境学 コースのみ地域 環境学巡検を含 めて4単位以上	古代文化学 古代文化学野外	歴史学 史料学 古文書学	地域環境学 地域環境学巡検	社会調査 地域情報学 コミュニティ・リサーチ コミュニティ・アクション	文化メディア学 なら学フィールドワーク 文化メディアインターンシップ	
	演習 （8単位以上）	古代文化学 日本古代史 東洋古代史	古代学・歴史学基礎 日本美術史 考古学	日本史 東洋史 西洋史	地域環境学 地域探究実践演習 地域社会の課題演習	社会情報学 文化社会学 地域メディア論 なら学	現代民俗論 文化人類学
4年次		（古代文化学コース） （歴史学コース） （地域環境学コース） （社会情報学コース） （文化メディア学コース） 各コースの卒業論文演習（4単位：演習単位に含む）					
		卒業論文（8単位）					

言語文化学科

本学科は、日本、中国を中心に東アジア（漢字文化圏）の言語文化を学ぶ日本アジア言語文化学と、英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏の言語文化を対象とするヨーロッパ・アメリカ言語文化学の二つのコースから成ります。この二つのコースのいずれかを選択して、それぞれの言語文化への知見を深めていくことが一般的ですが、他の言語文化との対照、あるいは交流史を探究する比較文化論的な観点から学ぶことも可能です。各自の関心に応じて、授業科目を履修してください。

- (1) 中国語・中国文学、英語・英文学、ドイツ語・ドイツ文学、フランス語・フランス文学を専門にしようと考えている人は、外国語科目として、それぞれの言語を履修していることが前提となります。専門の基礎となるものですから、1・2年次は語学力の向上につとめてください。また、ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コースを選択した人は、英語、ドイツ語、フランス語のいずれかの「コミュニケーション科目」が必修（4単位）となります。
- (2) 国語学・国文学、中国語・中国文学を専門にしようと考えている人は、専門のための基礎学力を養う科目として、1年次に「日本アジア言語文化学入門A（国語・国文学）」「同 B（中国語・中国文学）」のいずれかを履修することをお勧めします。
- (3) 言語文化学科では「ジェンダー言語文化学」のプロジェクト科目を推進しており、関連授業として学部共通科目の「ジェンダー言語文化学概論」「フェミニズム文学批評概論（令和5年度以前入学者はジェンダー言語文化学演習）」、学科科目の「ジェンダー言語文化学特殊研究」を開講しています。専門の枠を超えて広く、社会的・文化的・歴史的な性のあり方（ジェンダー）という視点から、言語文化学を掘り下げることができますので、積極的に履修してください。

言語文化学科 履修ツリー



人間科学科

(子ども教育専修プログラム生については22ページから記載しています。)

人間科学科は、社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点を合わせ、人間の存在と形成について総合的に研究する学科です。学科内の2つのコースでは、それぞれの専門分野に応じた研究対象や問題のたて方、研究方法について学習していきます。

■人間科学科における履修について

専門科目には、概論、特殊研究、実習、演習・研究演習、卒業演習などがあります。人間科学科の学生の専門科目に関する卒業要件はコースによって異なります。学部共通科目の基礎演習及び概論から16単位以上、学科科目の卒業演習4単位及び卒業論文8単位が必修なのは2コース共通ですが、特殊研究、実習、演習・研究演習の卒業に必要な単位数はコース毎に決められています(下記の履修ツリーを参照してください)。

基礎演習は1年次に履修してください。概論も1年次から履修可能です。多様な領域の概論を受講して、「人間」をとらえる視野を拡張してください。

2年次以降、各自の関心に応じて、特殊研究、実習、演習などの学科科目を履修していきます。ただし、コースによっては履修時期を指定している科目もあります。具体的には「各コースの履修について」を参照してください。研究演習は3年次に、卒業演習は4年次に履修するのが標準です。

人間科学科 履修ツリー



※令和3年度以前入学者対象

■ 各コースの履修について

◇教育学・人間学コース

本コースは、非常に広範な領域を対象とするコースです。哲学、倫理、思想、教育、子ども、身体、アート、スポーツ、サブカルチャー、音楽などのあらゆる文化現象を研究対象とすると共に、身近なテーマを論理的に語ることを目指しています。

卒業論文は「哲学」「教育学」「身体文化学」「音楽」の4領域のどこかに所属して作成します。それぞれの領域には、もちろん固有の研究対象がありますが、われわれは「人間とは何なのか、いかにしてヒトは人間になるのか」という問いを共有しています。文献研究、フィールドワークを中心にこうしたテーマについて深く考えます。

【特殊研究／演習】：2年次から履修可能です。教育学・人間学コースでは3年、4年次で自らが卒業論文を書く領域を上記の4領域から1つに絞ってゆきます。それぞれの領域ではどんな研究ができるのかを知るためにも、特研や演習は各領域にわたって幅広く履修してください。他コースの授業も概論を含め幅広く履修を勧めます。

【実 習】：2年次から履修可能です。「教育学・人間学実習Ⅰ・Ⅱ」の2単位を履修してください。「教育学・人間学実習Ⅰ・Ⅱ」はコース生全員の履修を強く推奨します。原則として、「教育学・人間学実習Ⅰ」は2年次、「教育学・人間学実習Ⅱ」は3年次に履修してください。

【研究演習／卒業演習】：卒業論文作成のための重要な演習です。研究演習、卒業演習、共に上記の4領域で開講されています。

3年次では「研究演習」を履修し、各領域の研究方法を学ぶことが大切です。前期の「研究演習Ⅰ」は1もしくは2領域、後期の「研究演習Ⅱ」は1領域を原則履修してください。それ以上の領域を履修して幅広く学ぶことは歓迎しますが、負担が大きくなることも考えられますので、必ず教員に相談するようにしてください。

なお、3年次においてどの領域を選ぶか決めるために、2年次ではコースの教員の授業を幅広く履修することを推奨します。

4年次で「卒業演習」を履修し卒業論文を作成します。4領域から原則1領域を履修してください。

◇心理学コース

誕生から死まで、人間の生涯にわたる経験を対象に、行動や人間関係にあらわれる心理作用を学び、研究します。おかれた状況や環境、かかわりをもつ他者、経過する時間などによって心理作用が異なることに着目し、人間が生きることの総体を学びます。

本コースでは、発達心理学、認知心理学、社会心理学、教育心理学などの分野を中心に基礎科学と応用科学の両方の側面から心理学を捉えていきます。同時に、観察、面接、調査、実験といった心理学の方法論について学び、「現実を分析する力」を習得します。また、理論と実践・現実とを往還させながら、学んでいきます。発達支援や臨床、教育や保育の実践などの現場で参観や体験を積み、「現場にかかわる力」を習得することが可能です。「公認心理師」受験資格にも対応しています。

それぞれの領域や方法論で学んだことを活かし、コース生それぞれが、自分なりの追究テーマをもち、独創的な卒業研究を行います。

【特殊研究】：心理学の科目を中心に、各自の関心に応じて教育学・人間学コースの科目を履修してください。人間学や教育学について造詣があることは、心理学の研究をより豊かなものにします。また「心理学統計法Ⅰ・Ⅱ」の履修を強く推奨します。

【実 習】：卒業要件は4単位で、「心理学実験」と「心理学測定検査法実習」（各2単位）は必修です。必ず2年次に履修してください。

【演習・研究演習】：「心理学文献演習Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究演習Ⅰ・Ⅱ」（いずれも3年次以上）の履修を強く推奨します。

【卒業演習】：4年次に「心理学卒業演習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください。

人間科学科 履修モデル

人間科学科 履修モデル					
1年次以降	全学共通科目(学科の専門と関連の深い授業)				
		<教育学・人間学分野関連>		<心理学分野関連>	<その他>
		哲学の歴史 現代の倫理 現代宗教学への招待	文化と民族 科学史 音楽概説	人権と差別 生命・運動・健康 など	心の科学への招待 社会と文化の心理学 など ジェンダー論入門 社会学 歴史学 など
	文学部共通科目(概論、基礎演習など)				
	概論	基礎演習 (1年次のみ) 哲学概論 倫理学概論 教育学概論／※教育学概論B 教育史概論 社会教育論 身体文化学概論 子ども文化学概論 発達心理学 音楽概論 教育・学校心理学 心の研究史概論 心理学概論 社会・集団・家族心理学 教育学・人間学分野 心理学分野			
2年次以降	以下、人間科学科共通科目				
	特殊研究	哲学 倫理学 思想文化学 宗教学 人間存在論 哲学思想史	教育学 比較教育学 教育史 生涯教育学 教育社会学 身体文化学	子ども史 子どもメディア文化論 子ども心理学 障害者・障害児心理学 音楽教育学 音楽と子ども	発達心理学 教育心理学 臨床心理学 感情・人格心理学 対人心理学 社会心理学 産業・組織心理学 福祉心理学 (3年次から) 心理学研究法 心理学統計法Ⅲ・Ⅳ
	演習	哲学A・B／※哲学 教育社会学	倫理学A・B／※倫理学 比較教育学 身体文化学	教育史 音楽教育学 音楽と子ども	心理学文献演習Ⅰ・Ⅱ(3年次から)
	実習	教育学・人間学実習Ⅰ・Ⅱ			心理学実験 心理学測定検査法実習 心理実習A(3年次から)
3年次	研究演習	哲学 教育学 身体文化学 音楽	心理学		
4年次	卒業演習	<教育学・人間学コース> 哲学 教育学 身体文化学 音楽			<心理学コース> 心理学
卒業論文					
注意 この表は、人間科学科の科目と、どの学年でどのような科目を履修するかについての大きな概念図です。 履修に当たっては、各コースのガイダンスなどを聞いて、計画的に履修するようにしてください。 全科目が毎年開講されるわけではありません。各年度の開講科目は、その年度の『専門教育ガイド』内「文学部専門教育科目一覧」で確認してください。 各コースで卒業に必要な単位数は、『Campus Life』の文学部規程や、「履修ソリー」で確認してください。 ※の科目は令和3年度以前入学者対象です。					

子ども教育専修プログラム生

■令和5年度以降入学者

◇子ども教育専修プログラム

子ども教育専修プログラムでは、幼稚園教員・小学校教員として活躍できる人材の育成をめざします。具体的には人間科学科の目的と関連して、グローバル化し複雑化する現代社会において、子ども一人ひとりが充実して生きていくことのできる社会と文化の創造に、教育の立場から貢献できる教員を育てることを目的としています。幼児教育・初等教育に関する学修と教育学・人間学分野及び心理学分野の学修を通して、人間の存在と形成に関する深い理解にもとづいて教育に関わる課題を主体的に発見し、解決する力を養います。

【カリキュラムの特徴と履修上の注意】

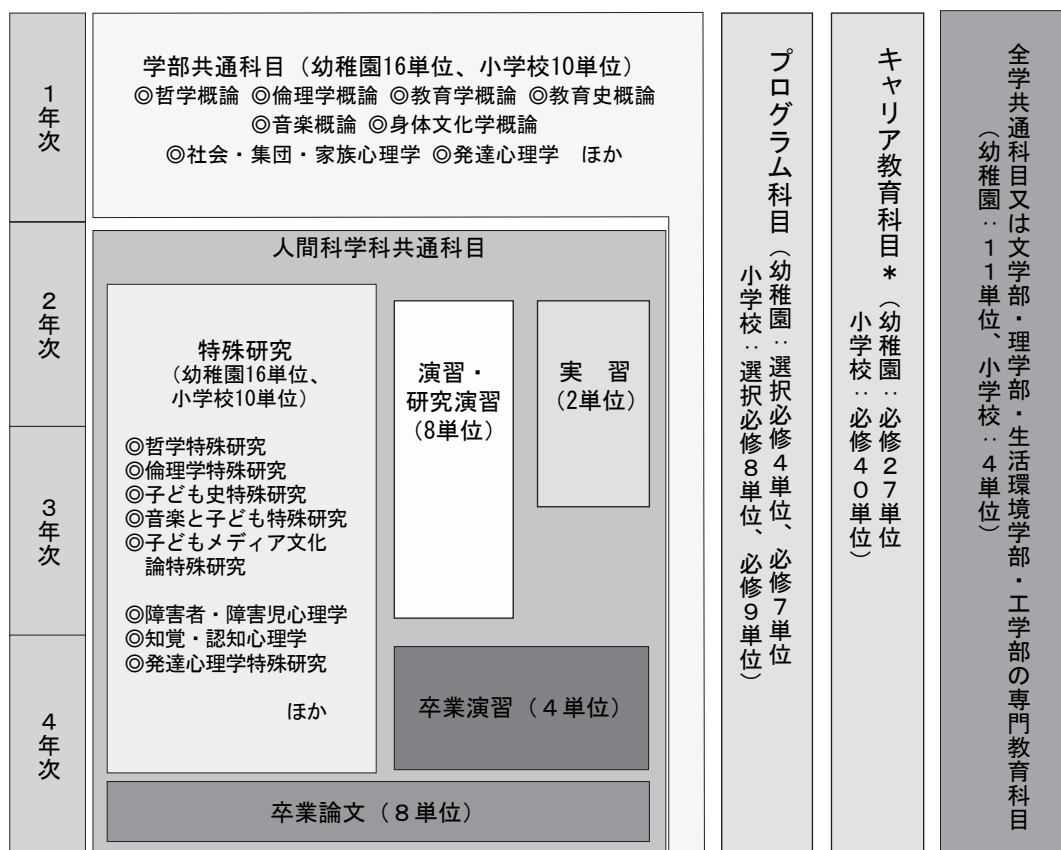
- ① 1年次より人間科学科に所属し、幼稚園・小学校の教員免許の取得に必要な科目のすべてが卒業要件単位の中に含まれています（卒業に必要な単位数は幼小ともに133単位）。なお、キャリア教育科目（教職科目群）のうち、「子ども教育専修プログラム必修・選択必修科目一覧」に示されているものは卒業要件単位に含めることができます。
- ② 教員免許の取得に必要な科目の履修が入学後の最初の学期（1年次前期）から始まり、早い段階から教育学や各領域・各教科の基礎的知識・技能を学びつつ、教育問題に真摯に向き合う意欲や態度とともに、実践的指導力を身につけます。なお、1年次前期に履修できる教職科目は「教職論」だけですので注意してください。
- ③ 教職に関する科目も十分に学びながら、他方で奈良女子大学文学部ならではの専門科目も学ぶことを通して、教育を取り巻く人間や社会、文化について多角的に学びます。
- ④ 3年次までの幼児教育・初等教育に関する学修を活かして、「教育実習Ⅱ」（3年次以上）および「教育実習Ⅰ」（4年次）を体験し、教師としての専門的力量を伸長します。「教育実習ⅠⅡ」を履修するにあたっては、重要なガイダンスを事前に行いますので、必ず出席するようにしてください。なお、4年次には「教育実習Ⅰ」とともに「事前・事後指導」と「教職実践演習」も併せて履修する必要があります。

幼小ともに卒業に必要な単位数は一緒ですが、卒業要件の科目区分ごとに必要とされる単位数が幼小共通で同じものと、希望する校種によって異なるものがありますので、十分に注意して履修してください。また、「学部共通科目」「学科科目」には推奨科目がありますので積極的に履修するようにしてください。

プログラムが設けられている人間科学科には「教育学・人間学コース」と「心理学コース」の2つのコースがあります。3年次にコースを選択し、一人ひとりの問題関心にあわせて、教職の専門性を高めながら卒業論文を作成していきます。卒業論文作成に必要な「研究演習」「卒業演習」の履修に関しては、各コースの履修の仕方を参考にしてください。

なお2回生は、3年次に選択するコースの履修の仕方を必ず読んで、時間割を組んでください。特に「心理学コース」では、2年次に履修しなければならない必修科目がありますので、十分に注意してください。

子ども教育専修プログラム 履修ツリー（令和6年度以降入学者用）



◎印の科目から、幼稚園免許取得希望者は14単位以上、小学校免許取得希望者は2単位以上を履修すること。

*卒業要件単位となるキャリア教育科目は「子ども教育専修プログラム必修・選択必修科目一覧（令和6年度以降入学者用）」に示しているので、必ず確認すること。

人間科学科 子ども教育専修プログラム 必修・選択必修科目一覧（令和6年度以降入学者用）

キャリア教育科目（教職科目群）

科目区分	科目名	単位数	必修／選択 (必要単位数)	配当学年
基礎教育（幼小共通）	教職論	2	必修	1回生以上
	教育原理	2		2回生以上
	教育社会学	2		
	教育心理学	2		
	特別支援論	1		
	教育課程論	1		
	教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）	2		
	教育相談	2		
領域の指導法（幼）	幼児理解の理論と方法	1	必修	2回生以上
	保育内容指導法（総論）	2		
	保育内容指導法（健康）	2		
	保育内容指導法（人間関係）	2		
	保育内容指導法（環境）	2		
	保育内容指導法（言葉）	2		
	保育内容指導法（表現・音楽分野）	1		
	保育内容指導法（表現・造形分野）	1		
基礎教育（小）	道德教育の理論と実践	2	必修	2回生以上
	総合的な学習の時間の理論と実践	1		
	特別活動論（道德、総合的な学習の時間に関する内容を含む）	1		
	生徒指導・進路指導論	2		
教科の指導法（小）	初等教科教育法 国語	2	必修	2回生以上
	初等教科教育法 社会	2		
	初等教科教育法 算数	2		
	初等教科教育法 理科	2		
	初等教科教育法 生活	2		
	初等教科教育法 音楽	2		
	初等教科教育法 図画工作	2		
	初等教科教育法 家庭	2		
	初等教科教育法 体育	2		
	初等教科教育法 英語	2		

専門教育科目

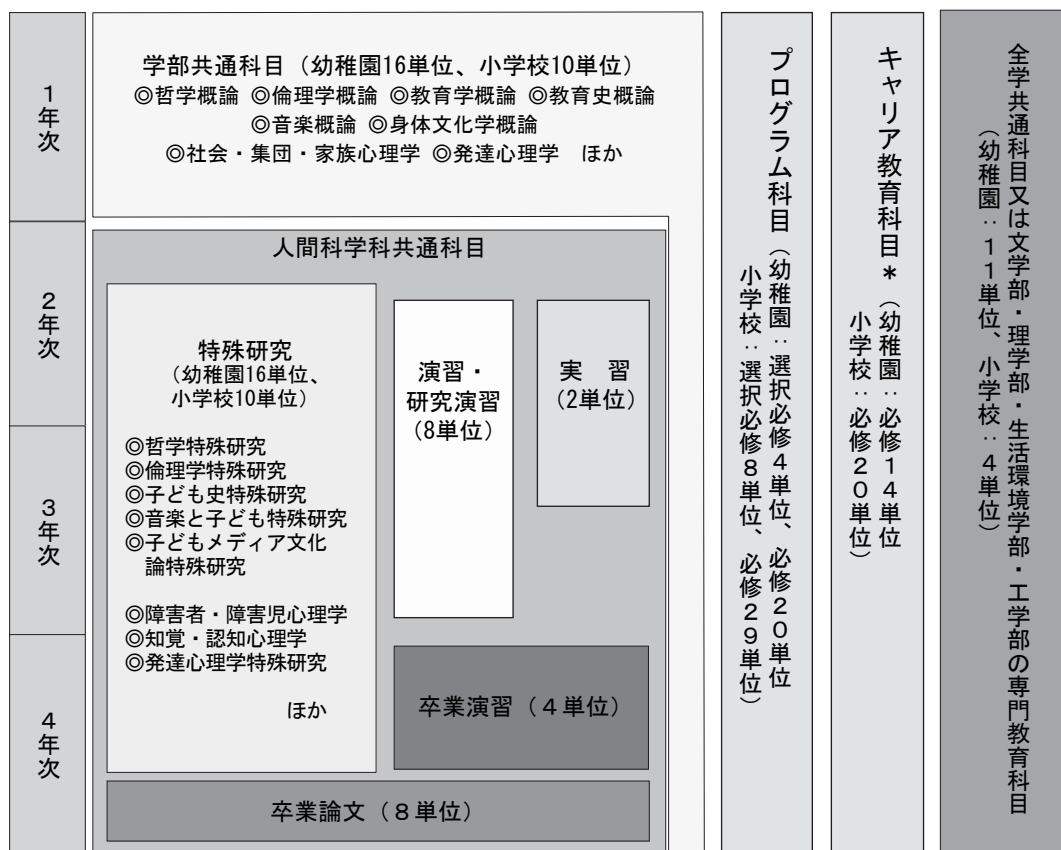
科目区分	科目の種類	科目名	単位数	必修／選択 (必要単位数)	配当学年
プログラム科目 (幼小共通)	教育実践	教育実習Ⅰ	2	必修	4回生
		教育実習Ⅱ	2		3回生以上

		事前・事後指導	1		4回生
		教職実践演習（幼・小）	2		4回生
プログラム科目 （幼）	領域の専門性	健康	1	選択必修 （4）	1回生 後期以降
		人間関係	1		
		環境	1		
		言葉	1		
		表現	1		
プログラム科目 （小）	教科の内容	国語	2	選択必修 （8）	1回生 後期以降
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		英語	2	必修	
学部共通科目	基礎演習・概論	◎哲学概論	2	選択必修 （幼16, 小10）	1回生以上
		◎倫理学概論	2		
		◎教育学概論	2		
		◎教育史概論	2		
		◎音楽概論	2		
		◎身体文化学概論	2		
		◎社会・集団・家族心理学	2		
		◎発達心理学	2		
		基礎演習・その他の概論	各2		
学科科目	特殊研究	◎哲学特殊研究	2	選択必修 （幼16, 小10）	2回生以上 （一部3回生以上）
		◎倫理学特殊研究	2		
		◎子ども史特殊研究	2		
		◎音楽と子ども特殊研究	2		
		◎子どもメディア文化論特殊研究	2		
		◎障害者・障害児心理学	2		
		◎知覚・認知心理学	2		
		◎発達心理学特殊研究	2		
		その他の人間科学科の特殊研究	各2		
	演習・研究演習	哲学演習	2	選択必修 （8）	2回生以上 （一部3回生以上）
		倫理学演習	2		
		教育社会学演習	2		
		教育史演習	2		
		音楽教育学演習	2		
		音楽と子ども演習	2		
		身体文化学演習	2		
		心理学文献演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		哲学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		教育学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		

		身体文化学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		音楽研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		心理学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		その他の人間科学科の演習	各2		
	卒業演習	哲学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2	選択必修 (4)	4回生
		教育学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		身体文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		音楽卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		心理学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
	実習	教育学・人間学実習Ⅰ・Ⅱ	各1	選択必修 (2)	2回生以上
		心理学実験	2		
		心理学測定検査法実習	2		
		心理実習A	2		
	卒業論文	卒業論文	8	必修	4回生
自由選択		全学共通科目又は文学部・理学部・生活環境学部・工学部の専門教育科目	—	選択必修 (幼11、小4)	—

◎印の科目から、小学校免許取得希望者は2単位以上、幼稚園免許取得希望者は14単位以上履修すること。

子ども教育専修プログラム 履修ツリー（令和5年度入学者用）



◎印の科目から、幼稚園免許取得希望者は14単位以上、小学校免許取得希望者は2単位以上を履修すること。

*卒業要件単位となるキャリア教育科目は「子ども教育専修プログラム必修・選択必修科目一覧（令和6年度以降入学者用）」に示しているので、必ず確認すること。

人間科学科 子ども教育専修プログラム 必修・選択必修科目一覧（令和5年度入学者用）

キャリア教育科目（教職科目群）

科目区分	科目名	単位数	必修／選択 (必要単位数)	配当学年
基礎教育（幼小共通）	教職論	2	必修	1回生以上
	教育原理	2		2回生以上
	教育社会学	2		
	教育心理学	2		
	特別支援論	1		
	教育課程論	1		
	教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）	2		
	教育相談	2		
基礎教育（小）	道德教育の理論と実践	2	必修	2回生以上
	総合的な学習の時間の理論と実践	1		
	特別活動論	1		
	生徒指導・進路指導論	2		

専門教育科目

科目区分	科目の種類	科目名	単位数	必修／選択 (必要単位数)	配当学年
プログラム科目 (幼小共通)	教育実践	教育実習Ⅰ	2	必修	4回生
		教育実習Ⅱ	2		3回生以上
		事前・事後指導	1		4回生
		教職実践演習（幼・小）	2		4回生
プログラム科目 (幼)	領域の専門性と指導法	幼児理解の理論と方法	1	必修	2回生以上
		健康	1	選択必修 (4)	1回生 後期以降
		人間関係	1		
		環境	1		
		言葉	1		
		表現	1		
		保育内容指導法(総論)	2	必修	2回生以上
		保育内容指導法(健康)	2		
		保育内容指導法(人間関係)	2		
		保育内容指導法(環境)	2		
		保育内容指導法(言葉)	2		
		保育内容指導法(表現・音楽分野)	1		
		保育内容指導法(表現・造形分野)	1		
プログラム科目 (小)	教科の内容と指導法	国語	2	選択必修 (8)	1回生 後期以降
		社会	2		
		算数	2		

		理科	2	必修	
		生活	2		
		英語	2		
		初等教科教育法 国語	2	必修	2 回生以上
		初等教科教育法 社会	2		
		初等教科教育法 算数	2		
		初等教科教育法 理科	2		
		初等教科教育法 生活	2		
		初等教科教育法 音楽	2		
		初等教科教育法 図画工作	2		
		初等教科教育法 家庭	2		
		初等教科教育法 体育	2		
		初等教科教育法 英語	2		
学部共通科目	基礎演習・概論	◎哲学概論	2	選択必修 (幼16, 小10)	1 回生以上
		◎倫理学概論	2		
		◎教育学概論	2		
		◎教育史概論	2		
		◎音楽概論	2		
		◎身体文化学概論	2		
		◎社会・集団・家族心理学	2		
		◎発達心理学	2		
		基礎演習・その他の概論	各 2		
学科科目	特殊研究	◎哲学特殊研究	2	選択必修 (幼16, 小10)	2 回生以上 (一部 3 回生以上)
		◎倫理学特殊研究	2		
		◎子ども史特殊研究	2		
		◎音楽と子ども特殊研究	2		
		◎子どもメディア文化論特殊研究	2		
		◎障害者・障害児心理学	2		
		◎知覚・認知心理学	2		
		◎発達心理学特殊研究	2		
		その他の人間科学科の特殊研究	各 2		
	演習・研究演習	哲学演習	2	選択必修 (8)	2 回生以上 (一部 3 回生以上)
		倫理学演習	2		
		教育社会学演習	2		
		教育史演習	2		
		音楽教育学演習	2		
		音楽と子ども演習	2		
		身体文化学演習	2		
		心理学文献演習 I・II	各 2		
		哲学研究演習 I・II	各 2		
		教育学研究演習 I・II	各 2		

		身体文化学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		音楽研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		心理学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		その他の人間科学科の演習	各2		
	卒業演習	哲学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2	選択必修 (4)	4回生
		教育学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		身体文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		音楽卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
		心理学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各2		
	実習	教育学・人間学実習Ⅰ・Ⅱ	各1	選択必修 (2)	2回生以上
		心理学実験	2		
		心理学測定検査法実習	2		
		心理実習A	2		
	卒業論文	卒業論文	8	必修	4回生
自由選択		全学共通科目又は文学部・理学部・生活環境学部・工学部の専門教育科目	—	選択必修 (幼11、小4)	—

◎印の科目から、小学校免許取得希望者は2単位以上、幼稚園免許取得希望者は14単位以上履修すること。

■令和4年度以前入学者

◇子ども教育専修プログラム

子ども教育専修プログラムでは、幼稚園教員・小学校教員として活躍できる人材の育成をめざします。具体的には人間科学科の目的と関連して、グローバル化し複雑化する現代社会において、子ども一人ひとりが充実して生きていくことのできる社会と文化の創造に、教育の立場から貢献できる教員を育てることを目的としています。幼児教育・初等教育に関する学修と教育学・人間学分野及び心理学分野の学修を通して、人間の存在と形成に関する深い理解にもとづいて教育に関わる課題を主体的に発見し、解決する力を養います。

【カリキュラムの特徴と履修上の注意】

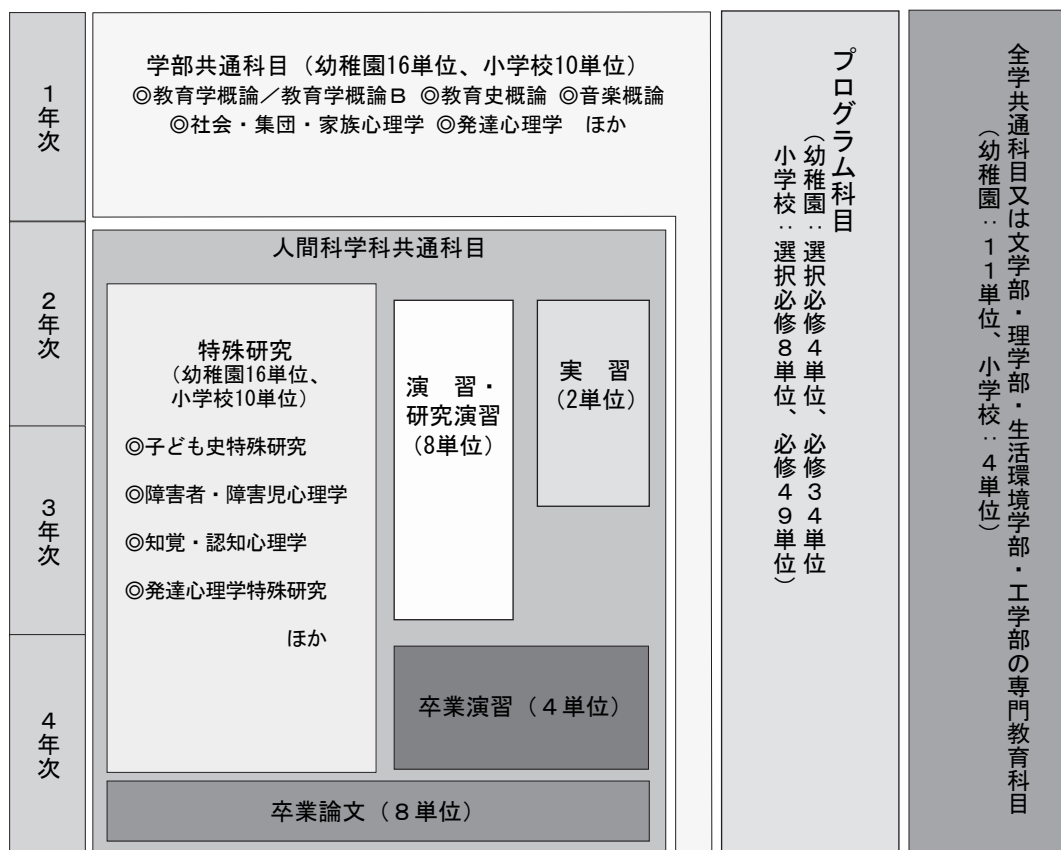
- ① 1年次より人間科学科に所属し、幼稚園・小学校の教員免許の取得に必要な科目のすべてが卒業要件単位の中に含まれています（卒業に必要な単位数は幼小ともに133単位）。なお、プログラム科目を未履修の場合、同じ名称のキャリア教育科目（教職科目群）を履修することで卒業要件にすることができます。
- ② 教員免許の取得に必要な科目の履修が入学後の最初の学期（1年次前期）から始まり、早い段階から教育学や各領域・各教科の基礎的知識・技能を学びつつ、教育問題に真摯に向き合う意欲や態度とともに、実践的指導力を身につけます。なお、1年次前期に履修できる教職科目は「教職論」だけです。注意してください。
- ③ 教職に関する科目も十分に学びながら、他方で奈良女子大学文学部ならではの専門科目も学ぶことを通して、教育を取り巻く人間や社会、文化について多角的に学びます。
- ④ 3年次までの幼児教育・初等教育に関する学修を活かして、「教育実習Ⅱ」（3年次以上）および「教育実習Ⅰ」（4年次）を体験し、教師としての専門的力量を伸長します。「教育実習ⅠⅡ」を履修するにあたっては、重要なガイダンスを事前に行いますので、必ず出席するようにしてください。なお、4年次には「教育実習Ⅰ」とともに「事前・事後指導」と「教職実践演習」も併せて履修する必要があります。

幼小ともに卒業に必要な単位数は一緒ですが、卒業要件の科目区分ごとに必要とされる単位数が幼小共通で同じものと、希望する校種によって異なるものがありますので、十分に注意して履修してください。また、「学部共通科目」「学科科目」には推奨科目がありますので積極的に履修するようにしてください。

プログラムが設けられている人間科学科には「教育学・人間学コース」と「心理学コース」の2つのコースがあります。3年次にコースを選択し、一人ひとりの問題関心にあわせて、教職の専門性を高めながら卒業論文を作成していきます。卒業論文作成に必要な「研究演習」「卒業演習」の履修に関しては、各コースの履修の仕方を参考にしてください。

なお2回生は、3年次に選択するコースの履修の仕方を必ず読んで、時間割を組んでください。特に「心理学コース」では、2年次に履修しなければならない必修科目がありますので、十分に注意してください。

子ども教育専修プログラム 履修ツリー（令和４年度以前入学者用）



◎印の科目から、幼稚園免許取得希望者は14単位以上、小学校免許取得希望者は2単位以上を履修すること。

*卒業要件単位となるキャリア教育科目は「子ども教育専修プログラム必修・選択必修科目一覧（令和6年度以降入学者用）」に示しているので、必ず確認すること。

人間科学科 子ども教育専修プログラム 必修・選択必修科目一覧（令和4年度以前入学者用）

科目区分	科目の種類	科目名	単位数	必修／選択 (必要単位数)	配当学年
プログラム科目 (幼小共通)	基礎科目	教職論	2	必修	1回生以上
		教育原理	2		2回生以上
		教育社会学	2		
		教育心理学	2		
		特別支援論	1		
		教育課程論	1		
		初等教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）	2		
		教育相談	2		
	実践科目	教育実習Ⅰ	2	必修	4回生
		教育実習Ⅱ	2		3回生以上
		事前・事後指導	1		4回生
		教職実践演習（幼・小）	2		4回生
プログラム科目 (幼小専門)	幼稚園	幼児理解の理論と方法	1	必修	2回生以上
		健康	1	選択必修 (4)	1回生 後期以降
		人間関係	1		
		環境	1		
		言葉	1		
		表現	1		
		保育内容指導法（総論）	2	必修	2回生以上
		保育内容指導法（健康）	2		
		保育内容指導法（人間関係）	2		
		保育内容指導法（環境）	2		
		保育内容指導法（言葉）	2		
		保育内容指導法（表現・音楽分野）	1		
		保育内容指導法（表現・造形分野）	1		
	小学校	道德教育の理論と実践	2	必修	2回生以上
		総合的な学習の時間の理論と実践	1		
		特別活動論	1		
		生徒指導・進路指導論	2		
		国語	2	選択必修 (8)	1回生 後期以降
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		音楽	2		
		図画工作	2		
		家庭	2		
		体育	2		
		英語	2	必修	

		初等教科教育法 国語	2	必修	2 回生以上
		初等教科教育法 社会	2		
		初等教科教育法 算数	2		
		初等教科教育法 理科	2		
		初等教科教育法 生活	2		
		初等教科教育法 音楽	2		
		初等教科教育法 図画工作	2		
		初等教科教育法 家庭	2		
		初等教科教育法 体育	2		
		初等教科教育法 英語	2		
学部共通科目	基礎演習・概論	◎教育学概論／※教育学概論 B	2	選択必修 (幼16, 小10)	1 回生以上
		◎教育史概論	2		
		◎音楽概論	2		
		◎社会・集団・家族心理学	2		
		◎発達心理学	2		
		基礎演習・その他の概論	各 2		
学科科目	特殊研究	◎子ども史特殊研究	2	選択必修 (幼16, 小10)	2 回生以上 (一部 3 回生以上)
		◎障害者・障害児心理学	2		
		◎知覚・認知心理学	2		
		◎発達心理学特殊研究	2		
		その他の人間科学科の特殊研究	各 2		
	演習・研究演習	哲学演習	2	選択必修 (8)	2 回生以上
		倫理学演習	2		
		教育社会学演習	2		
		教育史演習	2		
		音楽教育学演習	2		
		音楽と子ども演習	2		
		身体文化学演習	2		
		心理学文献演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		3 回生以上
		哲学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
		教育学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
		身体文化学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
		音楽研究演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
		心理学研究演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		

※令和 3 年度以前入学者対象科目

学科科目	卒業演習	哲学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各 2	選択必修 (4)	4 回生
		教育学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
		身体文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
		音楽卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
		心理学卒業演習Ⅰ・Ⅱ	各 2		
	実習	教育学・人間学実習Ⅰ・Ⅱ	各 1	選択必修 (2)	2 回生以上
		※教育社会学調査法実習Ⅰ・Ⅱ	各 1		
		心理学実験	2		
		心理学測定検査法実習	2		
		心理実習 A	2		
	卒業論文	卒業論文	8	必修	4 回生
自由選択		全学共通科目又は文学部・理学部・生活環境学部・工学部の専門教育科目	—	選択必修 (幼11、小4)	—

◎印の科目から、小学校免許取得希望者は 2 単位、幼稚園免許取得希望者は 14 単位履修すること。

※令和 3 年度以前入学者対象科目

人間科学科 子ども教育専修プログラム 履修モデル

人間科学科 子ども教育専修プログラム 履修モデル					
取得する免許		小学校1種免許状		幼稚園1種免許状	
1年次以降	全学共通科目(学科の専門と関連の深い授業)				
	<教育学・人間学分野関連>		<心理学分野関連>	<その他>	
	哲学の歴史 現代宗教学への招待 人権と差別		心の科学への招待	ジェンダー論入門	
	現代の倫理 科学史 文化と民族		社会と文化の心理学	社会学	
	音楽概説 生命・運動・健康 など		など	歴史学 など	
文学部共通科目(概論、基礎演習など)					
基礎演習(1年次のみ) 教育学・人間学分野 教育学概論／教育学概論B 教育史概論 音楽概論 心理学分野 社会・集団・家族心理学 発達心理学 その他の概論					
キャリア教育・プログラム科目(1年次から)					
教職論 幼小共通 (後期～)国語 算数 社会 理科 英語 生活 音楽 図画工作 体育 家庭 (後期～)健康 人間関係 環境 言葉 表現					
2年次以降	キャリア教育・プログラム科目(2年次から)				
	教育原理 教育社会学 教育心理学 特別支援論 教育課程論 教育相談 初等教育方法論(情報通信技術の活用を含む。) 幼小共通				
	道徳教育の理論と実践 総合的な学習の時間の理論と実践		幼児理解の理論と方法		
	生徒指導・進路指導論 特別活動論		保育内容指導法		
	初等教科教育法(国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育・英語)		(総論・健康・人間関係・環境・言葉・表現・音楽分野・表現・造形分野)		
特殊研究	子ども史特殊研究 障害者・障害児心理学 発達心理学特殊研究 知覚・認知心理学 その他人間科学科の特殊研究				
演習	教育学・人間学分野 心理学分野 哲学演習A・B／哲学演習 比較教育学演習 身体文化学演習 倫理学演習A・B／倫理学演習 音楽教育学演習 心理学文献演習Ⅰ・Ⅱ(3年次から) 教育史演習 音楽と子ども演習 教育社会学演習				
実習	教育学・人間学実習Ⅰ・Ⅱ 心理学実験 心理学測定検査法実習 心理実習A(3年次から)				
3年次	プログラム科目(3年次から)				
		教育実習Ⅱ 幼小共通			
研究演習	哲学	教育学	身体文化学	音楽	心理学
4年次	プログラム科目(4年次)				
		教育実習Ⅰ 事前・事後指導 教職実践演習 幼小共通			
卒業演習	<教育学・人間学コース> <心理学コース> 哲学 教育学 身体文化学 音楽 心理学				
卒業論文					
注意					
この表はプログラムの科目と、どの学年でどのような科目を履修するかについての大きな概念図です。ガイダンス時や担当教員に確認し、計画的に履修してください。					
プログラムの卒業に必要な単位数は、『Campus Life』の文学部規程や、「履修ソリ」で確認してください。					
全科目が毎年開講されるわけではありません。各年度の開講科目は、その年度の『専門教育ガイド』内の「文学部専門教育科目一覧」で確認してください。					
入学年度によって履修できる科目が異なりますので、履修する際には注意してください。					

6年一貫教育プログラム

(入学年度によってカリキュラムが異なりますので、自分の入学年度を確認してください。)

【令和4年度以降入学者】

学科	コース名	6年一貫教育プログラム特別研究 認定内容				「特別研究」の学修設計 (具体例)
		留学	インターンシップ	調査	その他	
		国外/国内	対人/対物/対情報	国内/国外	(具体的な内容を記載)	
人文社会科学科	歴史学	○		○		・国内外の文書館・資料館・図書館等で集中的に調査を行う。それにより、研究に必要な史料を収集するとともに、歴史学の基本である文献調査の実践的スキルを身につける。 ・研究対象地域でのフィールドワーク。それを通して、現地の史跡・地勢等に関する調査データと文献研究とを合わせ、立体的な歴史像を構築する視野を養う。 ・遺跡の発掘や美術作品の調査等に参加し、高度な専門知識や調査技術を身につける。
	地理学	○	○	○	ボランティア活動	・国内や海外の大学や研究機関に滞在し、当地の専門家の協力を得てフィールドワークを行う。 ・災害被災地でのボランティア活動や途上国における支援活動など、社会貢献を通じて研究を行う。 ・学内外の教員の研究プロジェクトに参加し、調査手法を習得する。 ・学外で開催される研修やセミナーに参加し、高度な専門知識やスキルを身につける。 ・学会発表の準備や学会誌への投稿論文を執筆し、研究職へのキャリアを積む。
	社会学	○	○	○	ボランティア活動	・大学交換留学制度や自主留学により、現地に赴いて資料を収集したり、海外でのフィールドワークを行う。 ・地域の文化資源や観光資源、インバウンド観光、地域の祭礼等の伝統文化の研究を行う。 ・公共の価値に資するNPO・企業、地域振興イベントや地域の博物館・図書館・MLA連携施設、新聞社、放送局等でのインターンシップを行う。 ・調査技術の習得や専門社会調査士資格取得のために必要となる社会調査を実施する。
言語文化学科	日本アジア言語文化学	○		○		・大学交換留学制度を利用して、中国/台湾に半年間/1年間の留学。中国語運用能力を向上させるとともに、各地の古跡・博物館などを参観し、地理歴史に対する理解を深める。 ・国内各地での文献・史料の調査・収集 (国文学研究資料館・日本近代文学館・国立国語研究所・寺社など)。 ・中国・台湾その他の国や地域の図書館などでの文献・史料の調査・収集。 ・研究対象地域でのフィールドワーク (方言調査、文献調査等)。
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学	○	○	○		・大学交換留学を利用して、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア等に半年間/1年間の留学。 (以下の海外活動の例については、「トビタテ留学JAPAN」プログラム等を積極的に活用する) ・自主留学で、英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏に留学。現地に赴いて言語の使われ方のリサーチを行ったり、美術館や博物館を訪問しての海外リサーチを行う。(特に英語学を専門とする場合について) 海外フィールドワークを行う。 ・(同じく英語学について) 出版社等のインターンシップで辞書編集補助をする。
人間科学科	教育学・人間学	○	○	○		・大学交換留学制度を利用して半年間/1年間、海外の大学で学ぶことにより、知的関心を深めるとともにグローバルな視野を獲得する。 ・附属学校園をはじめとする教育現場でフィールドワークやインターンシップを行うことにより、高度の問題探究能力とともに実践力を身につける。 ・研究に必要な資料を豊富に所蔵する遠方の図書館や資料館に赴いて集中的に調査と収集を行うことにより、課題の発見と探究の力を深化させる。
	心理学	○	○	○	発達臨床・心理臨床にかかわる実習	・発達臨床、心理臨床にかかわる施設・機関・病院でインターンシップを行う。 ・幼稚園や学校などの保育・教育現場で教職関係のインターンシップを行う。 ・調査機関やシンクタンクなどの民間団体・企業でインターンシップを行う。 ・海外に渡航し、心理学領域で留学したり、海外調査を行う。 ・地域に長期滞在し、フィールドワークを行う。 ・実験、観察、社会調査など調査活動に徹する。 ・学会発表の準備や学会誌への投稿論文を執筆し、研究職へのキャリアを積む。

通常型

卒業										修了	
1回生		2回生		3回生		4回生		M1回生		M2回生	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通カリキュラム											

6年一貫教育プログラム履修モデル例

6年一貫教育プログラム応募要件 74単位										学部卒業要件 124単位										学 士 号
共通カリキュラム						大学院科目履修				特別研究(留学)										
共通カリキュラム						特別研究(留学)		大学院科目(集中講義)		大学院科目履修				特別研究(留学)						
								学部科目(集中講義)		学部科目履修										
共通カリキュラム						特別研究(調査等)		大学院科目履修				特別研究(調査等)								

□ 通常型・6年一貫型に共通した学部カリキュラム

□ 学部カリキュラム

■ 大学院カリキュラム

■ 6年一貫「特別研究」

文学部専門科目一覧

令和4年度以降入学者用

☆学部共通科目

は、本年度開講せず。

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
110000B1	基礎演習 A	田 中 希 生	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110002B1	基礎演習 B	浅 田 晴 久	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110004B1	基礎演習 C	寺 岡 伸 悟	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110006B1	基礎演習 D	前 田 真砂美	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110008B1	基礎演習 E	吉 川 仁 子	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110010B1	基礎演習 F	笹 本 涼 子	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110012B1	基礎演習 G	小野寺 香	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110014B1	基礎演習 H	町 田 奈緒士	前期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110020E1	学ぶことと女性のライフスタイル	高岡 尚子 他	後期	1 回生のみ	2		文学部学生限定
110025E1	日本文化研究 A				3		短期留学生のみ 対象
110026E1	日本文化研究 B				2		短期留学生のみ 対象
110028E1	異文化交流演習				2		
110030E1	探究入門	齊藤・林・浅田・ 村上	前期	1 回生のみ	1		探究力入試Q入 学者のみ対象
110036A2	ジェンダー言語文化学概論	高 岡 尚 子	前期	2 回生以上	2	○	
110036A2	ジェンダー言語文化学演習	高 岡 尚 子	後期	2 回生以上	2	○	令和5年度以前入 学者対象
110036A2	フェミニズム文学批評概論	高 岡 尚 子	後期	2 回生以上	2	○	令和6年度以降入 学者対象
110060A1	日本史概論 A	村 上 麻佑子	前期	1 回生以上	2	○	
110062A1	日本史概論 B	前 田 英 之	後期	1 回生以上	2	○	
110070A1	東洋史概論 A				2	○	
110072A1	東洋史概論 B	矢 島 洋 一	前期	1 回生以上	2	○	
110080A1	西洋史概論 A				2	○	
110082A1	西洋史概論 B	木 村 容 子	前期	1 回生以上	2	○	
110090A1	考古学概論	宮 路 淳 子	前期	1 回生以上	2	○	
110098A1	日本美術史概論	岡 田 健	前期	1 回生以上	2	○	
110130A1	地域情報学概論 A	石 崎 研 二	前期	1 回生以上	2	○	
110132A1	地域情報学概論 B	石 崎 研 二	後期	1 回生以上	2	○	
110140A1	人文地理学概論 A	西 村 雄一郎	後期	1 回生以上	2	○	
110142A1	人文地理学概論 B				2	○	
110150A1	自然地理学概論 A	浅 田 晴 久	前期	1 回生以上	2	○	
110152A1	自然地理学概論 B				2	○	
110155A1	社会学概論 A				2	○	

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1100156A1	社会学概論B	小 川 伸 彦	前期	1 回生以上	2	○	
1100175A1	文化社会学概論				2	○	
1100176A1	文化人類学概論				2	○	
1100178A1	地誌A				2	○	
1100179A1	地誌B	浅 田 晴 久	前期	1 回生以上	2	○	
1100180A1	法学概論A	栗 須 直 樹	前期	1 回生以上	2	○	
1100182A1	法学概論B				2	○	
1100190A1	政治学概論A	小 島 吉 之	後期	1 回生以上	2	○	
1100192A1	政治学概論B				2	○	
1100200A1	経済学概論A	横 見 宗 樹	後期	1 回生以上	2	○	
1100202A1	経済学概論B				2	○	
1100250A1	日本アジア言語文化学入門A	児 島 啓 祐	前期	1 回生以上	2		
1100252A1	日本アジア言語文化学入門B	西 尾 和 子	後期	1 回生以上	2		
1100257A1	国語学概論A				2	○	
1100259A1	国語学概論B	尾 山 慎	後期	1 回生以上	2	○	
1100263A1	国語史概論A				2		
1100265A1	国語史概論B	尾 山 慎	前期	1 回生以上	2		
1100280E2	中国語学概論Ⅰ	前 田 真砂美	前期	2 回生以上	2		
1100282E2	中国語学概論Ⅱ	前 田 真砂美	後期	2 回生以上	2		
1100300A1	日本言語文化学概論A	奥 村 和 美	後期	1 回生以上	2	○	
1100302A1	日本言語文化学概論B				2	○	
1100320A1	中国言語文化学概論A	大 平 幸 代	前期	1 回生以上	2	○	
1100322A1	中国言語文化学概論B	大 平 幸 代	後期	1 回生以上	2	○	
1100340A1	東アジア文学史論A				2		令和7年度から廃止
1100342A1	東アジア文学史論B				2		令和7年度から廃止
1100371A1	英語理論概論A				2	○	
1100373A1	英語理論概論B				2	○	
1100381E1	英語学概論A	須 賀 あゆみ	前期	1 回生以上	2	○	
1100383A1	英語学概論B	須 賀 あゆみ	後期	1 回生以上	2	○	
1100391A1	表象文化論概論A				2		
1100393A1	表象文化論概論B				2		
1100401A1	イギリス言語文化史概論A	齊 藤 美 和	前期	1 回生以上	2		
1100403A1	イギリス言語文化史概論B	市 川 千恵子	後期	1 回生以上	2		
1100411A1	アメリカ言語文化史概論A	竹 本 憲 昭	前期	1 回生以上	2		
1100413A1	アメリカ言語文化史概論B	竹 本 憲 昭	後期	1 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1100421A1	ドイツ言語文化史概論A	吉 田 孝 夫	前期	1 回生以上	2		
1100423A1	ドイツ言語文化史概論B	吉 田 孝 夫	後期	1 回生以上	2	○	
1100431A1	フランス言語文化史概論A	高 岡 尚 子	前期	1 回生以上	2	○	
1100433A1	フランス言語文化史概論B	森 田 俊 吾	後期	1 回生以上	2	○	
1100530B2	英語ゼミナール(ライティング)I				2	○	
1100532B2	英語ゼミナール(ライティング)IIA				2	○	
1100534B2	英語ゼミナール(ライティング)IIB				2	○	
1100536B2	英語ゼミナール(プレゼンテーション)A				2	○	
1100538B2	英語ゼミナール(プレゼンテーション)B				2	○	
1100450B1	ギリシャ語 I				1		概論科目には該当 しない
1100452B1	ギリシャ語 II				1		概論科目には該当 しない
1100460B1	ラテン語 I				1		概論科目には該当 しない
1100462B1	ラテン語 II	山 下 修 一	前期	1 回生以上	1		概論科目には該当 しない
1100550A1	哲学概論	柳 澤 有 吾	前期	1 回生以上	2	○	
1100554A1	倫理学概論				2	○	
1100570A1	教育学概論	二井・保田・小野寺	前期	1 回生以上	2	○	
1100572A1	教育史概論				2	○	
1100580A1	子ども文化学概論				2	○	
1100584A1	音楽概論	藤 井 康 之	後期	1 回生以上	2	○	
1100608A1	心の研究史概論	天ヶ瀬 正 博	前期	1 回生以上	2	○	
1100604A1	心理学概論	天ヶ瀬 正 博	後期	1 回生以上	2	○	
1100588A1	身体文化学概論	鈴 木 康 史	後期	1 回生以上	2	○	
1100620A1	教育・学校心理学	竹 橋 洋 毅	前期	1 回生以上	2	○	
1100612A1	社会・集団・家族心理学	中 山 満 子 町 田 奈緒士	前期	1 回生以上	2	○	
1100616A1	発達心理学	狗 巻 修 司	後期	1 回生以上	2	○	
1100592A1	児童文学概論	伊 達 桃 子	後期	1 回生以上	2	○	

☆人文社会科学共通科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1213020A2	日本古代史特殊研究A	村 上 麻佑子	後期	2 回生以上	2		
1213040A2	日本古代史特殊研究B	長 田 明日華	後期	2 回生以上	2		
1213060A2	日本史特殊研究A	前 田 英 之	前期	2 回生以上	2		
1213080A2	日本史特殊研究B				2		
1213100A2	日本史特殊研究C	田 中 希 生	前期	2 回生以上	2		
1213120A2	日本史特殊研究D	上 田 健 介	前期	2 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1213140A2	日本史特殊研究 E	西 村 さとみ	後期	2 回生以上	2		
1213160A2	東洋古代史特殊研究				2		
1213180A2	東洋史特殊研究 A	矢 島 洋 一	後期	2 回生以上	2		
1213200A2	東洋史特殊研究 B	山 内 瑞 貴	前期	2 回生以上	2		
1213220A2	西洋史特殊研究 A				2		
1213240A2	西洋史特殊研究 B	貝 原 哲 生	前期	2 回生以上	2		
1213260A2	西洋史特殊研究 C	野 口 理 恵	前期	2 回生以上	2		
1213280A2	考古学特殊研究 A	宮 路 淳 子	後期	2 回生以上	2		
1213300A2	考古学特殊研究 B	小田木 治太郎	後期	2 回生以上	2		
1213320A2	日本美術史特殊研究 A	佐 藤 有希子	後期	2 回生以上	2		
1213340A2	日本美術史特殊研究 B	北 澤 菜 月	前期	2 回生以上	2		
1213360A2	人文地理学特殊研究	久木元 美 琴	後期	2 回生以上	2		
1213380A2	経済地理学特殊研究	石 崎 研 二	前期	2 回生以上	2		
1213400A2	都市地理学特殊研究	吉 田 容 子	後期	2 回生以上	2		
1213420A2	社会地理学特殊研究				2		
1213440A2	文化地理学特殊研究	濱 田 琢 司	後期	2 回生以上	2		
1213460A2	環境地理学特殊研究	浅 田 晴 久	後期	2 回生以上	2		
1213480A2	地域分析論特殊研究				2		
1213500A2	地域環境論特殊研究	西 村 雄一郎	前期	2 回生以上	2		
1213520A2	地形環境学特殊研究	宇津川 喬 子	後期	2 回生以上	2		
1213540A2	環境変遷史特殊研究				2		
1213560A2	気候・風土学特殊研究	名 波 哲	前期	2 回生以上	2		
1213580A2	地域調査法特殊研究				2		
1213600A2	社会学理論特殊研究				2		
1213620A2	現代社会論特殊研究	林 拓 也	後期	2 回生以上	2		
1213640A2	社会調査法特殊研究	脇 田 彩	前期	2 回生以上	2		
1213660A2	計量社会学特殊研究	林 拓 也	前期	2 回生以上	2		
1213680A2	文化社会学特殊研究	小 川 伸 彦	後期	2 回生以上	2		
1213700A2	地域社会学特殊研究	水 垣 源太郎	前期	2 回生以上	2		
1213720A2	観光社会学特殊研究	寺 岡 伸 悟	後期	2 回生以上	2		
1213740A2	家族社会学特殊研究				2		
1213760A2	ジェンダー社会学特殊研究	三 部 倫 子	後期	2 回生以上	2		
1213780A2	文化人類学特殊研究	曾 璟 蕙	前期	2 回生以上	2		
1213800A2	文化とメディア特殊研究	陳 怡 禎	後期	2 回生以上	2		
1213820E2	日本古代史講読	村 上 麻佑子	前期	2 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1213840E2	日本史講読A	前 田 英 之	前期	2 回生以上	2		
1213860E2	日本史講読B	田 中 希 生	後期	2 回生以上	2		
1213880E2	東洋古代史講読				2		
1213900E2	東洋史講読A				2		
1213920E2	東洋史講読B	矢 島 洋 一	後期	2 回生以上	2		
1213940E2	西洋史講読A				2		
1213960E2	西洋史講読B	木 村 容 子	前期	2 回生以上	2		
1213980E2	考古学講読	宮 路 淳 子	後期	2 回生以上	2		
1214000E2	日本美術史講読	佐 藤 有希子	後期	2 回生以上	2		
1214020B2	地理学入門講読A	浅 田 晴 久	後期	2 回生以上	2		
1214040B2	地理学入門講読B				2		
1214060B3	地理学専門講読	西 村 雄一郎	前期	3 回生以上	2		
1214080B2	社会学講読A	中 田 奈 月	後期	2 回生以上	2		
1214100B2	社会学講読B	小 森 達 郎	後期	2 回生以上	2		
1214120B2	社会学講読C	小 川 伸 彦	前期	2 回生以上	2		
1214140D2	なら学実習	寺 岡 伸 悟	後期	2 回生以上	1		令和8年度から廃止
1214160D2	古文書学実習A	西 村 さとみ	前期	2 回生以上	1		
1214180D2	古文書学実習B	前 田 英 之	後期	2 回生以上	1		
1214200D2	史料学実習				1		令和7年度から廃止
1214220D2	古代文化学実習	宮 路 淳 子	前期	2 回生以上	1		
1214240D3	古代文化学野外実習	宮 路 淳 子 村 上 麻佑子	前期	3 回生以上	1		
1214260D3	歴史学実習	西村(さ)・矢島・ 田中・木村・前田(英)	後期	3 回生以上	1		
1214280D2	地理学実習A	浅 田 晴 久 宇津川 喬 子	前期	2 回生以上	1		
1214300D2	地理学実習B	西 村 雄一郎	後期	2 回生以上	1		
1214320D2	地理情報システム実習				1		
1214340D2	地理学統計実習	石 崎 研 二	後期	2 回生以上	1		
1214360D3	社会調査実習 I	林 拓 也	前期	3 回生以上	1		
1214380D3	社会調査実習 II	林 拓 也	後期	3 回生以上	1		
1214400D2	質的調査実習	三 部 倫 子	前期	2 回生以上	1		
1214420D2	コミュニティ・リサーチ	水垣・佐藤(克)・ 寺岡	前期	2 回生以上	1	○	
1214440D2	コミュニティ・アクション	水垣・佐藤(克)・ 寺岡	後期	2 回生以上	1	○	
1214460B2	なら学演習	寺 岡 伸 悟	前期	2 回生以上	2	○	令和8年度から廃止
1214480B3	日本古代史演習 I	村 上 麻佑子	前期	3 回生以上	2		
1214500B3	日本古代史演習 II	村 上 麻佑子	後期	3 回生以上	2		
1214520B3	日本史演習 I	西 村 さとみ	前期	3 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1214540B3	日本史演習Ⅰ	田 中 希 生	前期	3 回生以上	2		
1214560B3	日本史演習Ⅱ	前 田 英 之	後期	3 回生以上	2		
1214580B3	東洋古代史演習Ⅰ				2		
1214600B3	東洋古代史演習Ⅱ				2		
1214620B3	東洋史演習Ⅰ	矢 島 洋 一	前期	3 回生以上	2		
1214640B3	東洋史演習Ⅱ	矢 島 洋 一	後期	3 回生以上	2		
1214660B3	西洋史演習Ⅰ	木 村 容 子	前期	3 回生以上	2		
1214680B3	西洋史演習Ⅱ	木 村 容 子	後期	3 回生以上	2		
1214700B3	考古学演習Ⅰ	宮 路 淳 子	前期	3 回生以上	2		
1214720B3	考古学演習Ⅱ	宮 路 淳 子	後期	3 回生以上	2		
1214740B3	日本美術史演習Ⅰ	佐 藤 有希子	前期	3 回生以上	2		
1214760B3	日本美術史演習Ⅱ	佐 藤 有希子	後期	3 回生以上	2		
1214780B2	地理学演習Ⅰ	石 崎 研 二	前期	2 回生以上	2		
1214790B2	地理学演習Ⅰ	浅 田 晴 久	後期	2 回生以上	2		
1214800B3	地理学演習Ⅱ	吉田(容)・石崎・ 西村(雄)	後期	3 回生以上	2		
1214810B3	地理学演習Ⅱ	浅 田 晴 久 宇津川 喬	後期	3 回生以上	2		
1214820E2	フィールド探究演習	西 浅 田 晴 久 村 雄 一 郎	後期	2 回生以上	2	○	
1214840E3	地理学フィールド演習	石 崎 研 二 宇津川 喬	前期	3 回生以上	2		令和4年度以前入 学者対象
1214845E3	地理学フィールド演習	石 崎 研 二 宇津川 喬	後期	3 回生以上	2		令和4年度以前入 学者対象
1214850E3	地理学フィールド演習Ⅰ	石 崎 研 二 宇津川 喬	前期	3 回生以上	2		令和5年度以降入 学者対象
1214855E3	地理学フィールド演習Ⅱ	石 崎 研 二 宇津川 喬	後期	3 回生以上	2		令和5年度以降入 学者対象
1214860B2	社会学演習Ⅰ				2		
1214880B2	社会学演習Ⅰ				2		
1214900B2	社会学演習Ⅰ	林 拓 也	前期	2 回生以上	2		
1214920B2	社会学演習Ⅰ	小 川 伸 彦	前期	2 回生以上	2		
1214940B3	社会学演習Ⅱ	三 部 倫 子	後期	3 回生以上	2		
1214960B2	社会学演習Ⅱ	水 垣 源太郎	後期	2 回生以上	2		
1214980B3	社会学演習Ⅱ	林 拓 也	後期	3 回生以上	2		
1215000B3	社会学演習Ⅱ	小 川 伸 彦	後期	3 回生以上	2		
1215020B3	社会学演習Ⅱ	寺 岡 伸 悟	前期	3 回生以上	2	○	
1215030B3	社会学演習Ⅱ	陳 怡 禎	後期	3 回生以上	2		
1215040B3	文化人類学演習				2	○	令和6年度から廃 止
1219000E3	特別研究【長期海外】Ⅰ	—	—	3 回生以上	4		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1219020E3	特別研究【長期海外】Ⅱ	—	—	3 回生以上	4		
1219040E3	特別研究【長期海外】Ⅲ	—	—	3 回生以上	4		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1219060E3	特別研究【長期海外】Ⅳ	—	—	3 回生以上	4		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1219080E3	特別研究【長期国内】Ⅰ	—	—	3 回生以上	4		
1219100E3	特別研究【長期国内】Ⅱ	—	—	3 回生以上	4		
1219120E3	特別研究【長期国内】Ⅲ	—	—	3 回生以上	4		
1219140E3	特別研究【長期国内】Ⅳ	—	—	3 回生以上	4		
1219160E3	特別研究【不定期】A	—	—	3 回生以上	2		
1219180E3	特別研究【不定期】B	—	—	3 回生以上	2		
1219200E3	特別研究【不定期】C	—	—	3 回生以上	2		
1219220E3	特別研究【不定期】D	—	—	3 回生以上	2		
1217000F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	村 上 麻佑子	前期	4 回生	2		
1217040F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	前 田 英 之	前期	4 回生	2		
1217080F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	田 中 希 生	前期	4 回生	2		
1217120F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	西 村 さとみ	前期	4 回生	2		
1217160F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	矢 島 洋 一	前期	4 回生	2		
1217200F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	木 村 容 子	前期	4 回生	2		
1217240F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	宮 路 淳 子	前期	4 回生	2		
1217280F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	佐 藤 有希子	前期	4 回生	2		
1217020F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	村 上 麻佑子	後期	4 回生	2		
1217060F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	前 田 英 之	後期	4 回生	2		
1217100F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	田 中 希 生	後期	4 回生	2		
1217140F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	西 村 さとみ	後期	4 回生	2		
1217180F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	矢 島 洋 一	後期	4 回生	2		
1217220F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	木 村 容 子	後期	4 回生	2		
1217260F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	宮 路 淳 子	後期	4 回生	2		
1217300F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	佐 藤 有希子	後期	4 回生	2		
1217320F4	地理学卒業論文演習Ⅰ	吉 田 容 子	前期	4 回生	2		
1217360F4	地理学卒業論文演習Ⅰ	石 崎 研 二	前期	4 回生	2		
1217400F4	地理学卒業論文演習Ⅰ	西 村 雄一郎	前期	4 回生	2		
1217440F4	地理学卒業論文演習Ⅰ	浅 田 晴 久	前期	4 回生	2		
1217480F4	地理学卒業論文演習Ⅰ	宇津川 喬 子	前期	4 回生	2		
1217520F4	地理学卒業論文演習Ⅰ				2		
1217340F4	地理学卒業論文演習Ⅱ	吉 田 容 子	後期	4 回生	2		
1217380F4	地理学卒業論文演習Ⅱ	石 崎 研 二	後期	4 回生	2		
1217420F4	地理学卒業論文演習Ⅱ	西 村 雄一郎	後期	4 回生	2		
1217460F4	地理学卒業論文演習Ⅱ	浅 田 晴 久	後期	4 回生	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1217500F4	地理学卒業論文演習Ⅱ	宇津川 喬 子	後期	4 回生	2		
1217540F4	地理学卒業論文演習Ⅱ				2		
1217560F4	社会学卒業論文演習Ⅰ	三 部 倫 子	前期	4 回生	2		
1217580F4	社会学卒業論文演習Ⅰ	林 拓 也	前期	4 回生	2		
1217600F4	社会学卒業論文演習Ⅰ	水 垣 源太郎	前期	4 回生	2		
1217620F4	社会学卒業論文演習Ⅰ	寺 岡 伸 悟	前期	4 回生	2		
1217640F4	社会学卒業論文演習Ⅰ	小 川 伸 彦	前期	4 回生	2		
1217660F4	社会学卒業論文演習Ⅰ				2		
1217680F4	社会学卒業論文演習Ⅱ	三 部 倫 子	後期	4 回生	2		
1217700F4	社会学卒業論文演習Ⅱ	林 拓 也	後期	4 回生	2		
1217720F4	社会学卒業論文演習Ⅱ	水 垣 源太郎	後期	4 回生	2		
1217740F4	社会学卒業論文演習Ⅱ	寺 岡 伸 悟	後期	4 回生	2		
1217760F4	社会学卒業論文演習Ⅱ	小 川 伸 彦	後期	4 回生	2		
1217780F4	社会学卒業論文演習Ⅱ				2		
1219240F4	学部研究論文演習 A	—	前期	4 回生	2		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1219260F4	学部研究論文演習 B	—	後期	4 回生	2		
1219280F4	学部研究論文	—	—	4 回生	8		
1218000F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		歴史学コース選択 者対象
1218020F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		地理学コース選択 者対象
1218040F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		社会学コース選択 者対象

☆言語文化学科共通科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1220000A2	ジェンダー言語文化特殊研究A	高岡 尚子 他	前期	2 回生以上	2		
1220030A2	ジェンダー言語文化特殊研究B	磯 部 敦 吉 川 仁 子	後期	2 回生以上	2		
1220090A2	国語学特殊研究 A				2		
1220150A2	国語学特殊研究 B	鈴 木 広 光	後期	2 回生以上	2		
1220210A2	中国語学特殊研究 A	池 田 巧	後期	2 回生以上	2		
1220270A2	中国語学特殊研究 B				2		
1220330A2	上代国文学特殊研究 A	山 村 桃 子	後期	2 回生以上	2		
1220390A2	上代国文学特殊研究 B				2		
1220450A2	中古中世国文学特殊研究 A	星 優 也	前期	2 回生以上	2		
1220510A2	中古中世国文学特殊研究 B	礪 波 美和子	前期	2 回生以上	2		
1220570A2	中世近世国文学特殊研究 A				2		
1220630A2	中世近世国文学特殊研究 B	早 川 由 美	前期	2 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1220690A2	近代国文学特殊研究 A	屋 木 瑞 穂	後期	2 回生以上	2		
1220750A2	近代国文学特殊研究 B				2		
1220810A2	中国文学特殊研究 A	唐 顯 芸	後期	2 回生以上	2		
1220870A2	中国文学特殊研究 B				2		
1220900A2	言語文化情報処理論				2		令和7年度から廃止
1220930A2	英語分析論特殊研究				2		
1220960A2	英語表現論特殊研究	松 井 智 子	後期	2 回生以上	2		
1220990A2	英語テキスト論特殊研究	松 原 史 典	前期	2 回生以上	2	○	
1221021A2	英語構造論特殊研究 A				2		
1221051A2	英語構造論特殊研究 B				2		
1221080A2	英語対照論特殊研究	五十嵐 海 理	後期	2 回生以上	2		
1221011A2	フランス語表現論特殊研究 A				2		
1221141A2	フランス語表現論特殊研究 B				2		
1221171A2	イギリス文学テキスト論特殊研究 A	齊 藤 美 和	後期	2 回生以上	2		
1221101A2	イギリス文学テキスト論特殊研究 B				2		
1221231A2	アメリカ文学テキスト論特殊研究 A	畔 柳 和 代	後期	2 回生以上	2		
1221261A2	アメリカ文学テキスト論特殊研究 B				2		
1221351A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究 A				2		
1221381A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究 B				2		
1221291A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究 C				2		
1221321A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究 D				2		
1221311A2	フランス文学テキスト論特殊研究 A				2		
1221441A2	フランス文学テキスト論特殊研究 B	岡 本 夢 子	前期	2 回生以上	2		
1221471A2	イギリス地域文化論特殊研究 A	ジェイムズ・ティンク	前期	2 回生以上	2		
1221401A2	イギリス地域文化論特殊研究 B	杉 村 寛 子	前期	2 回生以上	2		
1221531A2	アメリカ地域文化論特殊研究 A				2		
1221561A2	アメリカ地域文化論特殊研究 B				2		
1221591A2	ドイツ地域文化論特殊研究 A	信 國 萌	前期	2 回生以上	2		
1221621A2	ドイツ地域文化論特殊研究 B	信 國 萌	後期	2 回生以上	2		
1221651A2	フランス地域文化論特殊研究 A	森 田 俊 吾	前期	2 回生以上	2		
1221681A2	フランス地域文化論特殊研究 B	高 岡 尚 子	後期	2 回生以上	2		
1221610A2	国語学講読Ⅰ				2		
1221740A2	国語学講読Ⅱ	尾 山 慎	後期	2 回生以上	2		
1221771A2	上代国文学講読 A				2		
1221701A2	上代国文学講読 B	奥 村 和 美	後期	2 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1221831E2	中古中世国文学講読A				2		
1221861E2	中古中世国文学講読B				2		
1221891E2	中世近世国文学講読A	児 島 啓 祐	後期	2 回生以上	2		
1221921E2	中世近世国文学講読B				2		
1221951E2	近代国文学講読A	吉 川 仁 子	前期	2 回生以上	2		
1221981E2	近代国文学講読B	磯 部 敦	後期	2 回生以上	2		
1221911E2	中国文学講読A	狩 野 雄	前期	2 回生以上	2		
1222041E2	中国文学講読B	狩 野 雄	後期	2 回生以上	2		
1222071E2	中国文学講読C	松 家 裕 子	後期	2 回生以上	2		
1222001E2	中国文学講読D				2		
1222031E2	英文法講読A	笹 本 涼 子	前期	2 回生以上	2	○	
1222161E2	英文法講読B	笹 本 涼 子	後期	2 回生以上	2	○	
1222191E2	英語学講読A				2	○	
1222121E2	英語学講読B				2		
1222251E2	イギリス文学テキスト論講読A	市 川 千恵子	前期	2 回生以上	2		
1222281E2	イギリス文学テキスト論講読B	市 川 千恵子	後期	2 回生以上	2		
1222211E2	アメリカ文学テキスト論講読A	竹 本 憲 昭	前期	2 回生以上	2		
1222341E2	アメリカ文学テキスト論講読B				2		
1222371E2	ドイツ文学テキスト論講読A	吉 田 孝 夫	前期	2 回生以上	2		
1222301E2	ドイツ文学テキスト論講読B	吉 田 孝 夫	後期	2 回生以上	2		
1222331E2	フランス文学テキスト論講読A	森 田 俊 吾	前期	2 回生以上	2		
1222461E2	フランス文学テキスト論講読B	森 田 俊 吾	後期	2 回生以上	2		
1222491E2	イギリス地域文化論講読A				2		
1222421E2	イギリス地域文化論講読B	Edsall, Dominic Guy	前期	2 回生以上	2		
1222551E2	アメリカ地域文化論講読A				2		
1222581E2	アメリカ地域文化論講読B	ハナ・ダールバーグ＝ドッド	後期	2 回生以上	2		
1222511E2	ドイツ地域文化論講読A	児 玉 麻 美	前期	2 回生以上	2		
1222641E2	ドイツ地域文化論講読B	児 玉 麻 美	後期	2 回生以上	2		
1222671E2	ドイツ地域文化論講読C				2		
1222601E2	フランス地域文化論講読A				2		
1222631E2	フランス地域文化論講読B	高 岡 尚 子	前期	2 回生以上	2		
1222761B2	英語コミュニケーションA	SOWTER ANDREW PHILIP	前期	2 回生以上	1		
1222791B2	英語コミュニケーションB	ハナ・ダールバーグ＝ドッド	後期	2 回生以上	1		
1222721B2	英語コミュニケーションC	SOWTER ANDREW PHILIP	前期	2 回生以上	1		
1222851B2	英語コミュニケーションD	ハナ・ダールバーグ＝ドッド	後期	2 回生以上	1		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1222881B2	英語コミュニケーションE	リー・マクダウル	前期	2回生以上	1		
1222811B2	英語コミュニケーションF	リー・マクダウル	後期	2回生以上	1		
1222941B2	英語コミュニケーションG	キャサリン 山根	前期	2回生以上	1		
1222971B2	英語コミュニケーションH	キャサリン 山根	後期	2回生以上	1		
1222901B2	ドイツ語コミュニケーションA	トーマス・ハックナー	前期	2回生以上	1		
1222931B2	ドイツ語コミュニケーションB	トーマス・ハックナー	後期	2回生以上	1		
1223061B2	ドイツ語コミュニケーションC	トーマス・ハックナー	前期	2回生以上	1		
1223091B2	ドイツ語コミュニケーションD	トーマス・ハックナー	後期	2回生以上	1		
1223021B2	フランス語コミュニケーションA	イザベル トノムラ	前期	2回生以上	1		
1223051B2	フランス語コミュニケーションB	イザベル トノムラ	後期	2回生以上	1		
1223181B2	フランス語コミュニケーションC	イザベル トノムラ	前期	2回生以上	1		
1223111B2	フランス語コミュニケーションD	イザベル トノムラ	後期	2回生以上	1		
1223140B2	国語学演習Ⅰ	尾 山 慎	前期	2回生以上	2		
1223270B2	国語学演習Ⅱ	鈴 木 広 光	後期	2回生以上	2		
1223200B2	中国語学演習Ⅰ	前 田 真砂美	前期	2回生以上	2		
1223230B2	中国語学演習Ⅱ	前 田 真砂美	後期	2回生以上	2		
1223360B3	上代国文学演習Ⅰ	奥 村 和 美	前期	3回生以上	2		
1223390B3	上代国文学演習Ⅱ	奥 村 和 美	後期	3回生以上	2		
1223320B3	中古中世国文学演習Ⅰ	児 島 啓 祐	前期	3回生以上	2		
1223350B3	中古中世国文学演習Ⅱ	児 島 啓 祐	後期	3回生以上	2		
1223480B3	中世近世国文学演習Ⅰ				2		
1223410B3	中世近世国文学演習Ⅱ				2		
1223440B3	近代国文学演習Ⅰ	磯 部 敦	前期	3回生以上	2		隔週
1223500B3	近代国文学演習Ⅰ	吉 川 仁 子	前期	3回生以上	2		
1223570B3	近代国文学演習Ⅱ	磯 部 敦	後期	3回生以上	2		
1223530B3	近代国文学演習Ⅱ	吉 川 仁 子	後期	3回生以上	2		
1223660B2	中国文学演習Ⅰ	大 平 幸 代	前期	2回生以上	2		
1223620B2	中国文学演習Ⅰ				2		
1223690B2	中国文学演習Ⅱ	大 平 幸 代	後期	2回生以上	2		
1223650B2	中国文学演習Ⅱ				2		
1223780B2	英語分析論演習				2		
1223710B2	英語表現論演習				2		
1223740B2	英語テキスト論演習	松 原 史 典	後期	2回生以上	2		
1223870B2	英語構造論演習	内 田 充 美	前期	2回生以上	2		
1223800B2	英語対照論演習	須 賀 あゆみ	前期	2回生以上	2	○	

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1223830B3	英語学演習	笹 本 涼 子	後期	3回生以上	2		
1223961B2	イギリス文学テキスト論演習A				2		
1223991B2	イギリス文学テキスト論演習B	齊 藤 美 和	前期	2回生以上	2		
1223921B2	アメリカ文学テキスト論演習A				2		
1223951B2	アメリカ文学テキスト論演習B				2		
1224081B2	ドイツ文学テキスト論演習A	吉 田 孝 夫	前期	2回生以上	2		
1224011B2	ドイツ文学テキスト論演習B				2		
1224041B2	フランス文学テキスト論演習A				2		
1224071B2	フランス文学テキスト論演習B	高 岡 尚 子	後期	2回生以上	2		
1224101B2	フランス文学テキスト論演習C				2		
1224131B2	フランス文学テキスト論演習D				2		
1224161B2	イギリス地域文化論演習A				2		
1224291B2	イギリス地域文化論演習B				2		
1224221B2	アメリカ地域文化論演習A	中 川 千 帆	前期	2回生以上	2		
1224251B2	アメリカ地域文化論演習B	中 川 千 帆	後期	2回生以上	2		
1224381B2	ドイツ地域文化論演習A	トーマス・ハックナー	前期	2回生以上	2		
1224341B2	ドイツ地域文化論演習B	トーマス・ハックナー	後期	2回生以上	2		
1224371B2	ドイツ地域文化論演習C				2		
1224401B2	ドイツ地域文化論演習D	児 玉 麻 美	後期	2回生以上	2		
1224402B2	ドイツ地域文化論演習E				2		
1224431B2	フランス地域文化論演習A	イザベル トノムラ	前期	2回生以上	2		
1224461B2	フランス地域文化論演習B	イザベル トノムラ	後期	2回生以上	2		
1228020E3	特別研究【長期海外】Ⅰ	—	—	3回生以上	4		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1228040E3	特別研究【長期海外】Ⅱ	—	—	3回生以上	4		
1228060E3	特別研究【長期海外】Ⅲ	—	—	3回生以上	4		
1228080E3	特別研究【長期海外】Ⅳ	—	—	3回生以上	4		
1228220E3	特別研究【長期国内】Ⅰ	—	—	3回生以上	4		
1228240E3	特別研究【長期国内】Ⅱ	—	—	3回生以上	4		
1228260E3	特別研究【長期国内】Ⅲ	—	—	3回生以上	4		
1228280E3	特別研究【長期国内】Ⅳ	—	—	3回生以上	4		
1228420E3	特別研究【不定期】A	—	—	3回生以上	2		
1228440E3	特別研究【不定期】B	—	—	3回生以上	2		
1228460E3	特別研究【不定期】C	—	—	3回生以上	2		
1228480E3	特別研究【不定期】D	—	—	3回生以上	2		
1225000F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ				2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1225010F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	尾 山 慎	前期	4回生	2		
1225020F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	奥 村 和 美	前期	4回生	2		
1225030F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	児 島 啓 祐	前期	4回生	2		
1225040F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ				2		
1225050F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	磯 部 敦	前期	4回生	2		
1225060F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	吉 川 仁 子	前期	4回生	2		
1225070F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	前 田 真砂美	前期	4回生	2		
1225080F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	大 平 幸 代	前期	4回生	2		
1225090F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ				2		
1225200F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	鈴 木 広 光	後期	4回生	2		
1225210F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	尾 山 慎	後期	4回生	2		
1225220F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	奥 村 和 美	後期	4回生	2		
1225230F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	児 島 啓 祐	後期	4回生	2		
1225240F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ				2		
1225250F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	磯 部 敦	後期	4回生	2		
1225260F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	吉 川 仁 子	後期	4回生	2		
1225270F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	前 田 真砂美	後期	4回生	2		
1225280F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	大 平 幸 代	後期	4回生	2		
1225290F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ				2		
1225400F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	笹 本 涼 子	前期	4回生	2		
1225410F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ				2		
1225420F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	須 賀 あゆみ	前期	4回生	2		
1225430F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	高 岡 尚 子	前期	4回生	2		
1225440F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	森 田 俊 吾	前期	4回生	2		
1225450F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ				2		
1225460F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	市 川 千恵子	前期	4回生	2		
1225470F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	齊 藤 美 和	前期	4回生	2		
1225480F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	竹 本 憲 昭	前期	4回生	2		
1225490F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	中 川 千 帆	前期	4回生	2		
1225500F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	吉 田 孝 夫	前期	4回生	2		
1225510F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	児 玉 麻 美	前期	4回生	2		
1225600F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	笹 本 涼 子	後期	4回生	2		
1225610F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ				2		
1225620F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	須 賀 あゆみ	後期	4回生	2		
1225630F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	高 岡 尚 子	後期	4回生	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1225640F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	森 田 俊 吾	後期	4回生	2		
1225650F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ				2		
1225660F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	市 川 千恵子	後期	4回生	2		
1225670F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	齊 藤 美 和	後期	4回生	2		
1225680F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	竹 本 憲 昭	後期	4回生	2		
1225690F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	中 川 千 帆	後期	4回生	2		
1225700F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	吉 田 孝 夫	後期	4回生	2		
1225710F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	児 玉 麻 美	後期	4回生	2		
1228600F4	学部研究論文演習A	—	前期	4回生	2		6年一貫教育プログラム専用科目
1228620F4	学部研究論文演習B	—	後期	4回生	2		
1228800F4	学部研究論文	—	—	4回生	8		
1226000F4	卒業論文	—	—	4回生	8		日ア言語文化学 コース選択者対象
1226200F4	卒業論文	—	—	4回生	8		欧米言語文化学 コース選択者対象

☆人間科学科共通科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1232000A2	哲学特殊研究	柿 本 佳 美	前期	2回生以上	2		
1232030A2	倫理学特殊研究				2		
1232060A2	思想文化学特殊研究				2		
1232090A2	人間存在論特殊研究				2		
1232100A2	哲学思想史特殊研究				2		
1232120A2	宗教学特殊研究	濱 崎 雅 孝	後期	2回生以上	2		
1232180A2	生涯教育学特殊研究	村 井 尚 子	前期	2回生以上	2		
1232210A2	教育学特殊研究				2		
1232240A2	教育社会学特殊研究	保 田 卓	後期	2回生以上	2		
1232270A2	教育史特殊研究				2		
1232510A2	比較教育学特殊研究	小野寺 香	前期	2回生以上	2		
1232300A2	子ども史特殊研究	二 井 仁 美	前期	2回生以上	2		
1232330A2	音楽教育学特殊研究				2		
1232360A2	音楽と子ども特殊研究				2		
1232390A2	身体文化学特殊研究	鈴 木 康 史	前期	2回生以上	2		
1232480A2	子どもメディア文化論特殊研究				2		令和7年度から廃止
1233110E2	心理学統計法Ⅰ	野中 慶子 上山 満子	前期	2回生以上	2		
1233140E2	心理学統計法Ⅱ	野中 慶子 上山 満子	後期	2回生以上	2		
1233170E3	心理学統計法Ⅲ				2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1233200E3	心理学統計法Ⅳ				2		
1232660E3	心理学研究法	竹 橋 洋 毅 狗 卷 修 司	後期	3 回生以上	2		
1233050B3	心理検査法（心理的アセスメント）	梅 垣 佑 介	前期	3 回生以上	2		
1233080A3	生活内科学（人体の構造と機能及び疾病）	横 山 ちひろ	前期	3 回生以上	2		
1233020A3	臨床心理学概論	黒 川 嘉 子	前期	3 回生以上	2		
1233230A2	知覚・認知心理学	天ヶ瀬 正 博	後期	2 回生以上	2		
1232720A2	発達心理学特殊研究	小 松 孝 至	前期	2 回生以上	2		
1232750A2	教育心理学特殊研究	竹 橋 洋 毅	後期	2 回生以上	2		
1232780A2	子ども心理学特殊研究				2		
1232810A2	社会心理学特殊研究	中 山 満 子	前期	2 回生以上	2		
1232840A2	対人心理学特殊研究				2		
1232900A2	臨床心理学特殊研究				2		
1233260A2	産業・組織心理学	高 原 龍 二	前期	2 回生以上	2		
1233290A2	感情・人格心理学	椎 野 智 子	前期	2 回生以上	2		
1233320A2	障害者・障害児心理学	狗 卷 修 司	前期	2 回生以上	2		
1233350A2	学習・言語心理学	豊 田 弘 司	前期	2 回生以上	2		
1233380A2	福祉心理学	鈴 木 志 乃	後期	2 回生以上	2		
1233390A2	ジェンダー心理学特殊研究	町 田 奈緒士	後期	2 回生以上	2		
1233410B2	哲学演習 A				2		
1233420B2	哲学演習 B				2		
1233440B2	倫理学演習 A				2		
1233450B2	倫理学演習 B	柳 澤 有 吾	後期	2 回生以上	2		
1233470B2	教育社会学演習	保 田 卓	後期	2 回生以上	2		
1233530B2	教育史演習				2		
1233650B2	比較教育学演習	小野寺 香	後期	2 回生以上	2		
1233560B2	音楽と子ども演習	藤 井 康 之	前期	2 回生以上	2		
1233590B2	音楽教育学演習	木 本 雅 子	後期	2 回生以上	2		
1233620B2	身体文化学演習	鈴 木 康 史	前期	2 回生以上	2		
1233710B3	心理演習	岡本・黒川・梅垣・ 時岡・竹谷	前期	3 回生以上	2		
1233740B3	心理学文献演習Ⅰ	竹 橋 洋 毅 野 上 慶	前期	3 回生以上	2		
1233770B3	心理学文献演習Ⅱ	町 田 奈緒士	後期	3 回生以上	2		
1234300D2	教育学・人間学実習Ⅰ	保田 卓 他	前期	2 回生以上	1		
1234330D2	教育学・人間学実習Ⅱ	小野寺 香 他	前期	2 回生以上	1		
1234510C2	心理学実験	天ヶ瀬・中山・竹橋 狗卷・町田・野上	前期	2 回生以上	2		
1234450C2	心理学測定検査法実習	中山・天ヶ瀬・竹橋 狗卷・町田・野上	後期	2 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1234540D3	心理実習A	中山・天ヶ瀬・竹橋 狗巻・町田	前期	3回生以上	2		
1233800B3	哲学研究演習Ⅰ	柳 澤 有 吾	前期	3回生以上	2		
1233830B3	哲学研究演習Ⅱ	柳 澤 有 吾	後期	3回生以上	2		
1233860B3	教育学研究演習Ⅰ	二井・保田・小野寺	前期	3回生以上	2		
1233890B3	教育学研究演習Ⅱ	二井・保田・小野寺	後期	3回生以上	2		
1233920B3	音楽研究演習Ⅰ	藤 井 康 之	前期	3回生以上	2		
1233950B3	音楽研究演習Ⅱ	藤 井 康 之	後期	3回生以上	2		
1233980B3	身体文化学研究演習Ⅰ	鈴 木 康 史	前期	3回生以上	2		
1234010B3	身体文化学研究演習Ⅱ	鈴 木 康 史	後期	3回生以上	2		
1234100B3	心理学研究演習Ⅰ	竹 橋 洋 毅	前期	3回生以上	2		
1234110B3	心理学研究演習Ⅰ	狗 巻 修 司	前期	3回生以上	2		
1234120B3	心理学研究演習Ⅰ	天ヶ瀬 正 博	前期	3回生以上	2		
1234130B3	心理学研究演習Ⅰ	野 上 慶 子 中 山 満 子	前期	3回生以上	2		
1234140B3	心理学研究演習Ⅰ	町 田 奈緒士	前期	3回生以上	2		
1234200B3	心理学研究演習Ⅱ	竹 橋 洋 毅	後期	3回生以上	2		
1234210B3	心理学研究演習Ⅱ	狗 巻 修 司	後期	3回生以上	2		
1234220B3	心理学研究演習Ⅱ	天ヶ瀬 正 博	後期	3回生以上	2		
1234230B3	心理学研究演習Ⅱ	野 上 慶 子 中 山 満 子	後期	3回生以上	2		
1234250B3	心理学研究演習Ⅱ	町 田 奈緒士	後期	3回生以上	2		
1238020E3	特別研究【長期海外】Ⅰ	—	—	3回生以上	4		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1238040E3	特別研究【長期海外】Ⅱ	—	—	3回生以上	4		
1238060E3	特別研究【長期海外】Ⅲ	—	—	3回生以上	4		
1238080E3	特別研究【長期海外】Ⅳ	—	—	3回生以上	4		
1238220E3	特別研究【長期国内】Ⅰ	—	—	3回生以上	4		
1238240E3	特別研究【長期国内】Ⅱ	—	—	3回生以上	4		
1238260E3	特別研究【長期国内】Ⅲ	—	—	3回生以上	4		
1238280E3	特別研究【長期国内】Ⅳ	—	—	3回生以上	4		
1238420E3	特別研究【不定期】Ⅰ	—	—	3回生以上	2		
1238440E3	特別研究【不定期】Ⅱ	—	—	3回生以上	2		
1238460E3	特別研究【不定期】Ⅲ	—	—	3回生以上	2		
1238480E3	特別研究【不定期】Ⅳ	—	—	3回生以上	2		
1235000F4	哲学卒業演習Ⅰ	柳 澤 有 吾	前期	4回生	2		
1235030F4	哲学卒業演習Ⅱ	柳 澤 有 吾	後期	4回生	2		
1235060F4	教育学卒業演習Ⅰ	二井・保田・小野寺	前期	4回生	2		
1235090F4	教育学卒業演習Ⅱ	二井・保田・小野寺	後期	4回生	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1235120F4	音楽卒業演習Ⅰ	藤 井 康 之	前期	4回生	2		
1235150F4	音楽卒業演習Ⅱ	藤 井 康 之	後期	4回生	2		
1235180F4	身体文化学卒業演習Ⅰ	鈴 木 康 史	前期	4回生	2		
1235210F4	身体文化学卒業演習Ⅱ	鈴 木 康 史	後期	4回生	2		
1235300F4	心理学卒業演習Ⅰ	竹 橋 洋 毅	前期	4回生	2		
1235310F4	心理学卒業演習Ⅰ	狗 巻 修 司	前期	4回生	2		
1235320F4	心理学卒業演習Ⅰ	天ヶ瀬 正 博	前期	4回生	2		
1235330F4	心理学卒業演習Ⅰ	中 山 満 子	前期	4回生	2		
1235340F4	心理学卒業演習Ⅰ	町 田 奈緒士	前期	4回生	2		
1235400F4	心理学卒業演習Ⅱ	竹 橋 洋 毅	後期	4回生	2		
1235410F4	心理学卒業演習Ⅱ	狗 巻 修 司	後期	4回生	2		
1235420F4	心理学卒業演習Ⅱ	天ヶ瀬 正 博	後期	4回生	2		
1235430F4	心理学卒業演習Ⅱ	中 山 満 子	後期	4回生	2		
1235440F4	心理学卒業演習Ⅱ	町 田 奈緒士	後期	4回生	2		
1238620F4	学部研究論文演習A	—	前期	4回生	2		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1238640F4	学部研究論文演習B	—	後期	4回生	2		
1238800F4	学部研究論文	—	—	4回生	8		
1236400F4	卒業論文	—	—	4回生	8		教育学・人間学コース 選択者対象
1236500F4	卒業論文	—	—	4回生	8		心理学コース選択 者対象

☆人間科学科子ども教育専修プログラム科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
	教職論				2		キャリア教育科目 教職科目群
	教育原理				2		
	教育社会学				2		
	教育心理学				2		
	特別支援論				1		
	教育課程論				1		
	初等教育方法論（情報通信技術の 活用を含む。）				2		
	教育相談				2		
	特別活動論				1		
	生徒指導・進路指導論				2		
	道德教育の理論と実践				2		
	総合的な学習の時間の理論と実践				1		
1239315D4	教育実習Ⅰ（幼）	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4回生	2		プログラム生専用 科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1239300D4	教育実習Ⅰ（小）	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4回生	2		プログラム生専用 科目
1239320D3	教育実習Ⅱ（幼）	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	3回生以上	2		
1239305D3	教育実習Ⅱ（小）	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	3回生以上	2		
1239325D4	事前・事後指導（幼）	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4回生	1		
1239310D4	事前・事後指導（小）	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4回生	1		
1239330B4	教職実践演習（幼・小）	藤井・堀本・竹橋	後期	4回生	2		
1239500A1	国語	龍 本 那津子	後期	1回生以上	2		
1239510A1	社会	鮫 島 京 一	前期	1回生以上	2		
1239520A1	算数	橋 本 隆 公	前期	1回生以上	2		
1239530A1	理科	森 本 弘 一	後期	1回生以上	2		
1239540A1	生活	鈴 木 康 史	後期	1回生以上	2		
1239550D1	音楽	中 村 征 司	前期	1回生以上	2		令和5年度以降入 学者履修不可 プログラム生専用 科目
1239560A1	図画工作	鮫 島 壽 理	前期	1回生以上	2		
1239570A1	家庭	堀 本 三和子	前期	1回生以上	2		
1239580A1	体育				2		
1239590A1	英語	伊 達 桃 子	前期	1回生以上	2		
	初等教科教育法 国語				2		キャリア教育科目 教職科目群
	初等教科教育法 社会				2		
	初等教科教育法 算数				2		
	初等教科教育法 理科				2		
	初等教科教育法 生活				2		
	初等教科教育法 音楽				2		
	初等教科教育法 図画工作				2		
	初等教科教育法 家庭				2		
	初等教科教育法 体育				2		
	初等教科教育法 英語				2		
	幼児理解の理論と方法				1		
1239720A1	健康	功 刀 俊 雄	後期	1回生以上	1		
1239730A1	人間関係	町 田 奈緒士	後期	1回生以上	1		
1239740A1	環境				1		
1239750A1	言葉	島 袋 光	後期	1回生以上	1		
1239760A1	表現	竹 井 史	前期	1回生以上	1		
	保育内容指導法（総論）				2		キャリア教育科目 教職科目群
	保育内容指導法（健康）				2		
	保育内容指導法（人間関係）				2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
	保育内容指導法（環境）				2		キャリア教育科目 教職科目群
	保育内容指導法（言葉）				2		
	保育内容指導法（表現：音楽分野）				1		
	保育内容指導法（表現：造形分野）				1		

☆文学部資格関連科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1227000E1	書道AⅠ	福 光 由 布	後期	1 回生以上	1		
1227020E1	書道AⅡ				1		
1227040E1	書道BⅠ				1		
1227060E1	書道BⅡ				1		
1227080E1	書写Ⅰ	福 光 由 布	前期	1 回生以上	1		
1227100E1	書写Ⅱ				1		
1227120A2	書道史A	福 光 由 布	前期	2 回生以上	2		
1227140A2	書道史B				2		
1227160A1	書道理論	福 光 由 布	後期	1 回生以上	2		
1227180A1	書道名品鑑賞				2		
1237580A3	公認心理師の職責	岡本・天ヶ瀬 他	前期	3 回生以上	2		
1237600A3	関係行政論	外 木 央 晃	後期	3 回生以上	2		

文学部専門教育科目 時間割（令和4年度以降入学者）

月曜日

【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通			シラバスを確認のこと
	人文	歴史		
		地理		
		社会	社会学卒業論文演習Ⅰ	
	言語	日ア		
		欧米	アメリカ文学テキスト論講読A	
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
	資格	社会教育論	林 美 輝	
3・4	学部共通		ラテン語Ⅱ	
	人文	歴史	日本史演習Ⅰ	
		地理		
		社会		
	言語	日ア	国語学演習Ⅰ	
		欧米		
		教育	教育学・人間学実習Ⅱ	
	人間	心理	心理検査法（心理的アセスメント）	
		子ども		
	資格			
5・6	学部共通		地誌B	
			アメリカ言語文化史概論A	
			中国言語文化学概論A	
			教育・学校心理学	
	人文	歴史	東洋史演習Ⅰ	
		地理		
		社会		
	言語	日ア		
		欧米	フランス文学テキスト論講読A	
	人間	教育		
		心理	感情・人格心理学	
		子ども		
	資格			
7・8	学部共通			
	人文	歴史	歴史学卒業論文演習Ⅰ	
			歴史学卒業論文演習Ⅰ	
			歴史学卒業論文演習Ⅰ	
			歴史学卒業論文演習Ⅰ	
			東洋史特殊研究B	
	言語	社会	社会学卒業論文演習Ⅰ	
		日ア	中古中世国文学特殊研究B	
		欧米	ドイツ語コミュニケーションC フランス語コミュニケーションA	
	人間	教育	音楽と子ども演習	
		心理	感情・人格心理学	
		子ども	音楽	
	資格			
9・10	学部共通			
	人文	歴史		
		地理		
		社会		
	言語	日ア	中国文学講読A	
		欧米	ジェンダー言語文化学特殊研究A	
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
	資格	公認心理師の職業	岡 本・天ヶ瀬 他	

（／（スラッシュ）によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください）

月曜日
【後期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通			シラバスを確認のこと
	人文	歴史		
		地理		
		社会	社会学卒業論文演習Ⅱ	
	言語	日ア	三 部 倫 子	
		欧米		
		教育		
	人間	心理		
		子ども	国語	
	資格		龍 本 那津子	
3・4	学部共通			
	人文	歴史		
		地理		
		社会	現代社会論特殊研究	
	言語	日ア	国語学講読Ⅱ	
			中国文学講読C	
			アメリカ文学テキスト論特殊研究A	
		欧米	英語コミュニケーションB	
	人間	教育	ハナ・ダールバーグ＝ドッド	
		心理	教育社会学演習	
		子ども	保 田 卓	
	資格		森 本 弘 一	
5・6	学部共通		アメリカ言語文化史概論B	
	人文		中国言語文化学概論B	
		歴史	東洋史演習Ⅱ	
			日本史講読B	
	言語	地理	地形環境学特殊研究	
		社会	文化とメディア特殊研究	
		日ア	陳 怡 禎	
	人間	欧米	フランス文学テキスト論講読B	
		教育	森 田 俊 吾	
		心理	教育心理学特殊研究	
		子ども	竹 橋 洋 毅	
7・8	学部共通			
	人文	歴史	歴史学卒業論文演習Ⅱ	
			歴史学卒業論文演習Ⅱ	
			歴史学卒業論文演習Ⅱ	
			歴史学卒業論文演習Ⅱ	
	言語	地理		
		社会	社会学演習Ⅱ	
		日ア	陳 怡 禎	
			中世近世国文学講読A	
	人間	欧米	ドイツ語コミュニケーションD	
			フランス語コミュニケーションB	
			アメリカ地域文化論講読B	
		教育	ハナ・ダールバーグ＝ドッド	
9・10	学部共通			
	人文	歴史		
		地理		
		社会		
	言語	日ア	中国文学講読B	
		欧米	狩 野 雄	
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
	資格			

(／(スラッシュ)によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

火曜日
【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通	哲学概論	柳 澤 有 吾	シラバスを確認のこと
		歴史		
		地理		
		社会	寺 岡 伸 悟	
	言語	日ア		
		欧米	英語コミュニケーションC ドイツ文学テキスト論講読A	
		教育	SOWTER ANDREW PHILIP	
		心理	吉 田 孝 夫	
3・4	学部共通	基礎演習A	田 中 希 生	
		基礎演習B	浅 田 晴 久	
		基礎演習C	寺 岡 伸 悟	
		基礎演習D	前 田 真砂美	
	人間	基礎演習E	吉 川 仁 子	
		基礎演習F	笹 本 涼 子	
		基礎演習G	小野寺 香	
		基礎演習H	町 田 奈緒士	
5・6	学部共通	ジェンダー言語文化概論	高 岡 尚 子	
		日本史特殊研究D	上 田 健 介	
	言語	歴史		
		地理		
	人間	社会	林 拓 也	
		日ア	尾 山 慎	
		欧米	英語コミュニケーションA	
		教育	SOWTER ANDREW PHILIP	
7・8	学部共通	哲学研究演習 I	柳 澤 有 吾	
		哲学卒業演習 I	柳 澤 有 吾	
		心理	小 松 孝 至	
		子ども		
	人間	資格	書写 I	
		考古学概論	福 光 由 布	
		社会学概論B	宮 路 淳 子	
		イギリス言語文化史概論A	小 川 伸 彦	
9・10	学部共通	歴史	齊 藤 美 和	
		地理		
		社会		
		日ア		
	言語	ドイツ地域文化論演習A	トーマス・ハックナー	
		英語コミュニケーションE	リー・マクダウル	
		ヨーロッパ・アメリカ言語文化卒業論文演習 I	須 賀 あゆみ	
		ヨーロッパ・アメリカ言語文化卒業論文演習 I	中 川 千 帆	
9・10	学部共通	ヨーロッパ・アメリカ言語文化卒業論文演習 I	市 川 千恵子	
		哲学特殊研究	柿 本 佳 美	
		身体文化学演習	鈴 木 康 史	
		産業・組織心理学	高 原 龍 二	
	人間	子ども		
		資格		
		日本美術史概論	岡 田 健	
		国語史概論B	尾 山 慎	
9・10	学部共通	フランス言語文化史概論A	高 岡 尚 子	
		心の研究史概論	天ヶ瀬 正 博	
		日本史特殊研究C	田 中 希 生	
		地理学演習 I	石 崎 研 二	
	言語	社会学卒業論文演習 I	林 拓 也	
		地域社会学特殊研究	水 垣 源太郎	
		中国語学演習 I	前 田 真砂美	
		日本アジア言語文化卒業論文演習 I	吉 川 仁 子	
9・10	学部共通	ドイツ地域文化論特殊研究A	信 國 萌	
		イギリス文学テキスト論演習B	齊 藤 美 和	
		英語テキスト論特殊研究	松 原 史 典	
		ヨーロッパ・アメリカ言語文化卒業論文演習 I	竹 本 憲 昭	
	人間	身体文化学特殊研究	鈴 木 康 史	
		音楽研究演習 I	藤 井 康 之	
		音楽卒業演習 I	藤 井 康 之	
		生活内科学（人体の構造と機能及び疾病）	横 山 ちひろ	
9・10	学部共通	子ども		
		資格	書道史A	
		法学概論A	福 光 由 布	
		歴史	栗 須 直 樹	
	言語	地理		
		社会		
		日ア	コミュニティ・リサーチ	
		欧米	水垣・佐藤（克）・寺岡	
9・10	学部共通	ヨーロッパ・アメリカ言語文化卒業論文演習 I		
		教育	齊 藤 美 和	
		身体文化学特殊研究	鈴 木 康 史	
		心理	岡 本 英 生 他	
	人間	子ども		
		資格		
		心理学演習		

（／（スラッシュ）によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください）

火曜日
【後期】

時間	科 目 名			担当教員	教 室
1・2	学部共通				
		歴史			
	人文	地理			
		社会			
		日ア			
	言語	欧米	ドイツ文学テキスト論講読B	吉 田 孝 夫	
		教育	倫理学演習B	柳 澤 有 吾	
		心理			
	人間	子ども			
資格		関係行政論	外 木 央 晃		
3・4	学部共通	学ぶことと女性のライフスタイル		高 岡 尚 子 他	
	人文	歴史			
		地理	地理学演習Ⅱ	浅 田・宇津川	
		社会	社会調査実習Ⅱ	林 拓 也	
		社会	社会学卒業論文演習Ⅱ	水 垣 源太郎	
	言語	日ア	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	鈴 木 広 光	
		日ア	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	尾 山 慎	
	人間	欧米	英語学演習	笹 本 涼 子	
		教育	哲学研究演習Ⅱ	柳 澤 有 吾	
		教育	哲学卒業演習Ⅱ	柳 澤 有 吾	
		心理	心理学文献演習Ⅱ	町 田 奈緒士	
		子ども			
	資格	書道AⅠ	福 光 由 布		
	5・6	学部共通	フェミニズム文学批評概論／ジェンダー言語文化学演習		
人文		歴史	古文書実習B	前 田 英 之	
		地理	都市地理学特殊研究	吉 田 容 子	
		社会			
言語		日ア			
		欧米	ドイツ地域文化論演習B	トーマス・ハックナー	
			英語コミュニケーションF	リー・マクダウル	
			イギリス文学テキスト論特殊研究A	齊 藤 美 和	
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	須 賀 あゆみ	
人間		教育	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	中 川 千 帆	
		心理			
		子ども			
		資格			
		7・8	学部共通		国語学概論B
	フランス言語文化史概論B			森 田 俊 吾	
	心理学概論			天ヶ瀬 正 博	
人文	歴史		東洋史講読B	矢 島 洋 一	
	地理		地理学演習Ⅰ	浅 田 晴 久	
	社会		社会学講読B	小 森 達 郎	
言語	社会		社会学演習Ⅱ	水 垣 源太郎	
			中国語学演習Ⅱ	前 田 真砂美	
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	吉 川 仁 子	
	日ア		上代国文学特殊研究A	山 村 桃 子	
			ドイツ地域文化論特殊研究B	信 國 萌	
			英語テキスト論演習	松 原 史 典	
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	竹 本 憲 昭	
人間	教育		音楽研究演習Ⅱ	藤 井 康 之	
	教育		音楽卒業演習Ⅱ	藤 井 康 之	
	心理				
子ども					
資格	書道理論	福 光 由 布			
9・10	学部共通				
	人文	歴史			
		地理	フィールド探究演習	西村(雄)・浅田	
		社会	コミュニティ・アクション	水垣・佐藤(克)・寺岡	
	言語	日ア			
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	齊 藤 美 和	
	人間	教育			
		心理			
		子ども			
	資格				

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

水曜日
【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通		日本アジア言語文化学入門A	児 島 啓 祐
	人文	歴史		
		地理		
		社会		
	言語	日ア		
		欧米	ドイツ語コミュニケーションA	
			英語対照論演習	
	人間	教育	トーマス・ハックナー	
		心理	須 賀 あゆみ	
		子ども		
3・4	学部共通		日本史概論A	村 上 麻佑子 吉 田 孝 夫
	人文	歴史	ドイツ言語文化史概論A	
		地理	地理学卒業論文演習 I	
			地理学卒業論文演習 I	
			地理学卒業論文演習 I	
			地理学卒業論文演習 I	
			地理学卒業論文演習 I	
	言語	社会	文化人類学特殊研究	
			社会学演習 II	
		日ア	上代国文学演習 I	
		欧米	日本アジア言語文化学卒業論文演習 I	
5・6	人間	教育	アメリカ地域文化論演習A	磯 部 敦 中 川 千 帆 イザベル・トノムラ
		心理	フランス語コミュニケーションC	
		子ども		
		資格		
	言語	日ア		
		欧米	フランス文学テキスト論特殊研究B	
		教育		
	人文	心理		
		子ども		
		資格		
7・8	学部共通			野 口 理 恵 名 波 哲 岡 本 夢 子
	人文	歴史	西洋史特殊研究C	
		地理	気候・風土学特殊研究	
		社会		
	言語	日ア		
		欧米		
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
		資格		
9・10	学部共通			名 波 哲 石 崎・宇津川
	人文	歴史		
		地理	気候・風土学特殊研究	
		社会	地理学フィールド演習／地理学フィールド演習 I	
	言語	日ア		
		欧米		
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
		資格		

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ)によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

水曜日
【後期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通		日本語文化学概論A	奥 村 和 美
	人文	歴史		
		地理		
		社会		
	言語	日ア		
		欧米	ドイツ語コミュニケーションB	トーマス・ハックナー
	人間	教育		
		心理		
		子ども	人間関係 健康	町 田 奈緒士 功 刀 俊 雄
	資格			
3・4	学部共通		ドイツ言語文化史概論B	吉 田 孝 夫
	人文	歴史	日本古代史特殊研究A	村 上 麻佑子
		地理	文化地理学特殊研究	濱 田 琢 司
		社会	なら学実習	寺 岡 伸 悟
	言語	日ア	国語学特殊研究B	鈴 木 広 光
			上代国文学演習Ⅱ	奥 村 和 美
		日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ		磯 部 敦
		欧米	ドイツ地域文化論演習D	児 玉 麻 美
			フランス語コミュニケーションD	イザベル・トノムラ
		英語コミュニケーションD		ハナ・ダールバーグ＝ドッド
	人間	教育		
		心理		
		子ども	生活	鈴 木 康 史
	資格			
	学部共通			
5・6	人文	歴史	日本古代史特殊研究B	長 田 明日華
		地理	地理学卒業論文演習Ⅱ	吉 田 容 子
			地理学卒業論文演習Ⅱ	石 崎 研 二
			地理学卒業論文演習Ⅱ	西 村 雄一郎
			地理学卒業論文演習Ⅱ	浅 田 晴 久
			地理学卒業論文演習Ⅱ	宇津川 喬 子
	言語	日ア		
		欧米		
	人間	教育	音楽教育学演習	木 本 雅 子
		心理		
		子ども		
	資格			
	学部共通			
7・8	人文	歴史		
		地理	地理学フィールド演習／地理学フィールド演習Ⅱ	石 崎・宇津川
		社会	社会学講読A	中 田 奈 月
	言語	日ア	近代国文学特殊研究A	屋 木 瑞 穂
		欧米		
	人間	教育		
		心理		
		子ども	言葉	島 袋 光
	資格			
9・10	学部共通			
	人文	歴史		
		地理	地理学フィールド演習／地理学フィールド演習Ⅱ	石 崎・宇津川
		社会	文化社会学特殊研究	小 川 伸 彦
	言語	日ア		
		欧米		
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
	資格			

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ)によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

木曜日
【前期】

時間	科 目 名			担当教員	教 室	
1・2	人文	学部共通	自然地理学概論A	浅 田 晴 久		
		歴史	古代文化学実習	宮 路 淳 子		
			日本美術史特殊研究B	北 澤 菜 月		
	言語	欧米	イギリス地域文化論特殊研究B	杉 村 寛 子		
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	森 田 俊 吾		
		教育	子ども史特殊研究	二 井 仁 美		
			心理学実験	天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田・野上		
			心理実習A	天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田		
子ども						
資格						
3・4	人文	学部共通	東洋史概論B	矢 島 洋 一		
		歴史	日本古代史講読	村 上 麻佑子		
			経済地理学特殊研究	石 崎 研 二		
			社会学演習Ⅰ	林 拓 也		
	言語	日ア	近代国文学演習Ⅰ	磯 部 敦		
			中国文学演習Ⅰ	大 平 幸 代		
		欧米	英文法講読A	笹 本 涼 子		
			ドイツ文学テクスト論演習A	吉 田 孝 夫		
			フランス地域文化論特殊研究A	森 田 俊 吾		
	人間	教育				
心理		心理学実験	天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田・野上			
心理実習A		天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田				
子ども						
資格						
5・6	人文	学部共通	西洋史概論B	木 村 容 子		
		歴史	中国語学概論Ⅰ	前 田 真砂美		
			日本古代史演習Ⅰ	村 上 麻佑子		
			日本史特殊研究A	前 田 英 之		
	言語	日ア	近代国文学演習Ⅰ	三 部 倫 子		
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	吉 川 仁 子		
		欧米	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	奥 村 和 美		
			ドイツ地域文化論講読A	児 島 啓 祐		
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	児 玉 麻 美		
	人間	教育		笹 本 涼 子		
心理学研究演習Ⅰ			竹 橋 洋 毅			
心理学研究演習Ⅰ			狗 巻 修 司			
心理学研究演習Ⅰ			天ヶ瀬 正 博			
心理学研究演習Ⅰ			野 上・中 山			
心理学研究演習Ⅰ	町 田 奈緒士					
子ども						
資格						
7・8	人文	学部共通				
		歴史	日本史講読A	前 田 英 之		
			西洋史講読B	木 村 容 子		
			考古学演習Ⅰ	宮 路 淳 子		
	言語	地理	地域環境論特殊研究	西 村 雄一郎		
			計量社会学特殊研究	林 拓 也		
		社会	中世近世国文学特殊研究B	早 川 由 美		
		日ア	フランス地域文化論講読B	高 岡 尚 子		
		人間	教育	教育学研究演習Ⅰ	二井・保田・小野寺	
	教育学卒業演習Ⅰ			二井・保田・小野寺		
心理	心理学卒業演習Ⅰ		竹 橋 洋 毅			
	心理学卒業演習Ⅰ		狗 巻 修 司			
	心理学卒業演習Ⅰ		天ヶ瀬 正 博			
心理学卒業演習Ⅰ	中 山 満 子					
心理学卒業演習Ⅰ	町 田 奈緒士					
子ども						
資格						
9・10	人文	学部共通	教育学概論	二井・保田・小野寺		
		歴史				
			地理			
			社会			
	言語	日ア	中世近世国文学特殊研究B	早 川 由 美		
			イギリス地域文化論講読B	ドミニク・エデソル		
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	吉 田 孝 夫		
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	児 玉 麻 美		
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	高 岡 尚 子		
	人間	教育				
心理						
子ども						
資格						

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

木曜日
【後期】

時間	科 目 名			担当教員	教 室	
1・2	学部共通		経済学概論A	横 見 宗 樹		
	人文	歴史	考古学特殊研究B	小田木 治太郎		
		地理				
		社会				
	言語	日ア				
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	森 田 俊 吾		
	人間	教育				
		心理	心理学測定検査法実習	中山・天ヶ瀬・竹橋・狗巻・町田・野上		
子ども						
3・4	学部共通		日本史概論B	前 田 英 之		
	人文	歴史	日本美術史演習Ⅱ	佐 藤 有希子		
		考古学演習Ⅱ	宮 路 淳 子			
		地理	地理学統計実習	石 崎 研 二		
		社会	社会学演習Ⅱ	林 拓 也		
	言語	ジェンダー社会学特殊研究	三 部 倫 子			
		近代国文学演習Ⅱ	磯 部 敦			
		中国文学演習Ⅱ	大 平 幸 代			
欧米		英文法講読B	笹 本 涼 子			
人間	教育	教育社会学特殊研究	保 田 卓			
	心理	心理学測定検査法実習	中山・天ヶ瀬・竹橋・狗巻・町田・野上			
	子ども					
	資格					
5・6	学部共通		中国語学概論Ⅱ	前 田 真砂美	シラバスを確認のこと	
	人文	音楽概論	藤 井 康 之			
		歴史	東洋史特殊研究A	矢 島 洋 一		
			日本美術史特殊研究A	佐 藤 有希子		
			日本古代史演習Ⅱ	村 上 麻佑子		
	言語	地理	環境地理学特殊研究	浅 田 晴 久		
		社会	社会学演習Ⅱ	三 部 倫 子		
		日ア	近代国文学演習Ⅱ	吉 川 仁 子		
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	奥 村 和 美		
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	児 島 啓 祐		
			イギリス文学テキスト論講読B	市 川 千恵子		
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	笹 本 涼 子		
			フランス地域文化論特殊研究B	高 岡 尚 子		
	ドイツ地域文化論講読B		児 玉 麻 美			
	人間		教育			
		心理	心理学研究演習Ⅱ	竹 橋 洋 毅		
心理学研究演習Ⅱ			狗 巻 修 司			
心理学研究演習Ⅱ			天ヶ瀬 正 博			
心理学研究演習Ⅱ	野 上・中 山					
子ども	心理学研究演習Ⅱ	町 田 奈緒士				
資格						
7・8	学部共通		人文地理学概論A	西 村 雄一郎		
	人文	イギリス言語文化史概論B	市 川 千恵子			
		歴史	日本美術史講読	佐 藤 有希子		
			日本史演習Ⅱ	前 田 英 之		
			社会	社会学卒業論文演習Ⅱ		林 拓 也
	言語	日ア	上代国文学講読B	奥 村 和 美		
		欧米	ジェンダー言語文化学特殊研究B	磯 部・吉 川		
			英語対照論特殊研究	五十嵐 海 里		
			フランス文学テキスト論演習B	高 岡 尚 子		
	人間	教育	宗教学特殊研究	濱 崎 雅 孝		
		心理	教育学研究演習Ⅱ	二井・保田・小野寺		
			教育学卒業演習Ⅱ	二井・保田・小野寺		
			心理学卒業演習Ⅱ	竹 橋 洋 毅		
			心理学卒業演習Ⅱ	狗 巻 修 司		
			心理学卒業演習Ⅱ	天ヶ瀬 正 博		
			心理学卒業演習Ⅱ	中 山 満 子		
心理学卒業演習Ⅱ			町 田 奈緒士			
子ども						
資格						
9・10	学部共通		日本アジア言語文化学入門B	西 尾 和 子		
	人文	歴史				
		地理				
		社会				
	言語	日ア				
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	市 川 千恵子		
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	高 岡 尚 子		
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	児 玉 麻 美		
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ		吉 田 孝 夫			
	人間	教育				
心理						
子ども						
資格						

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ)によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

金曜日
【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通			シラバスを確認のこと
	人文	歴史		
		地理		
		社会	社会学卒業論文演習Ⅰ	
	言語	日ア	社会学卒業論文演習Ⅰ	
		日ア	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	
		欧米	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	
	人間	教育	教育学・人間学実習Ⅰ	
		心理	心理学統計法Ⅰ	
		子ども		
	資格			
3・4	学部共通		社会・集団・家族心理学	
	人文	歴史	日本史演習Ⅰ	
		地理	地理学専門講読	
		社会		
	言語	日ア		
		欧米	英語コミュニケーションG	
		教育	比較教育学特殊研究	
	人間	心理	臨床心理学概論	
		子ども		
	資格			
5・6	学部共通		地域情報学概論A	
	人文	歴史	古文書学実習A	
		歴史	西洋史演習Ⅰ	
		地理		
	言語	社会	社会学講読C	
		日ア	近代国文学講読A	
		欧米	イギリス文学テキスト論講読A	
	人間	教育	フランス地域文化論演習A	
		心理		
		子ども		
	資格			
7・8	学部共通		英語学概論A	
	人文	歴史	歴史学卒業論文演習Ⅰ	
		歴史	西洋史特殊研究B	
		地理	地理学実習A	
	言語	社会	社会学演習Ⅰ	
		日ア	中古中世国文学演習Ⅰ	
		欧米		
	人間	教育		
		心理	社会心理学特殊研究	
		子ども		
	資格			
9・10	学部共通			
	人文	歴史		
		地理		
		社会		
	言語	日ア	中古中世国文学特殊研究A	
		欧米		
	人間	教育	身体文化学研究演習Ⅰ	
		教育	身体文化学卒業論文演習Ⅰ	
		心理		
		子ども		
	資格			

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

金曜日
【後期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通			シラバスを確認のこと
	人文	歴史	考古学講読	
		地理	地理学入門講読A	
		社会	社会学卒業論文演習Ⅱ	
			社会学卒業論文演習Ⅱ	
	言語	日ア	中国文学特殊研究A	
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
		欧米		
	人間	教育		
		心理	心理学研究法	
		子ども		
	資格			
3・4	学部共通		身体文化学概論	
			発達心理学	
	人文	歴史	考古学特殊研究A	
		地理	地理学演習Ⅱ	
		社会	吉田（容）・石崎・西村（雄）	
	言語	日ア	国語学演習Ⅱ	
		欧米	英語コミュニケーションH	
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
	資格			
5・6	学部共通		地域情報学概論B	
			政治学概論A	
			児童文学概論	
	人文	歴史	日本史特殊研究E	
		地理	西洋史演習Ⅱ	
			木村 容子	
	言語	社会	社会学演習Ⅱ	
		日ア	近代国文学講読B	
		欧米	アメリカ地域文化論演習B	
			フランス地域文化論演習B	
	人間	教育	イザベル・トノムラ	
		心理	比較教育学演習	
		子ども	小野寺 香	
	資格		天ヶ瀬 正博	
7・8	学部共通		英語学概論B	
	人文	歴史	歴史学卒業論文演習Ⅱ	
		地理	地理学実習B	
		社会	西村 雄一郎	
			寺岡 伸悟	
	言語	日ア	中国語学特殊研究A	
		欧米	中古中世国文学演習Ⅱ	
			児島 啓祐	
	人間	教育		
		心理	心理学統計法Ⅱ	
		子ども	野上・中山	
	資格			
9・10	学部共通			
	人文	歴史		
		地理		
		社会		
	言語	日ア		
		欧米		
	人間	教育	身体文化学研究演習Ⅱ	
		心理	身体文化学卒業論文演習Ⅱ	
			鈴木 康史	
		子ども	福祉心理学	
	資格		鈴木 志乃	

（／（スラッシュ）によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください）

文学部専門科目一覧

令和3年度以前入学者用

☆学部共通科目

は、本年度開講せず。

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1100025E1	日本文化研究A				3		短期留学生のみ 対象
1100026E1	日本文化研究B				2		短期留学生のみ 対象
1100028E1	異文化交流演習				2		
1100050A1	なら学概論A				2	○	令和3年度から廃 止
1100052A1	なら学概論B				2	○	令和3年度から廃 止
1100360A2	ジェンダー言語文化学概論	高岡尚子	前期	2回生以上	2	○	
1100362B2	ジェンダー言語文化学演習	高岡尚子	後期	2回生以上	2	○	
1100060A1	日本史概論A	村上麻佑子	前期	1回生以上	2	○	
1100062A1	日本史概論B	前田英之	後期	1回生以上	2	○	
1100070A1	東洋史概論A				2	○	
1100072A1	東洋史概論B	矢島洋一	前期	1回生以上	2	○	
1100080A1	西洋史概論A				2	○	
1100082A1	西洋史概論B	木村容子	前期	1回生以上	2	○	
1100090A1	考古学概論	宮路淳子	前期	1回生以上	2	○	
1100094A1	歴史地理学概論				2	○	令和3年度から廃 止
1100098A1	日本美術史概論	岡田健	前期	1回生以上	2	○	
1100110A1	社会学概論A				2	○	
1100112A1	社会学概論B	小川伸彦	前期	1回生以上	2	○	
1100130A1	地域情報学概論A	石崎研二	前期	1回生以上	2	○	
1100132A1	地域情報学概論B	石崎研二	後期	1回生以上	2	○	
1100140A1	人文地理学概論A	西村雄一郎	後期	1回生以上	2	○	
1100142A1	人文地理学概論B				2	○	
1100150A1	自然地理学概論A	浅田晴久	前期	1回生以上	2	○	
1100152A1	自然地理学概論B				2	○	
1100160A1	環境社会学概論				2	○	
1100170A1	文化人類学概論				2	○	
1100174A1	文化社会学概論				2	○	
1100180A1	法学概論A	栗須直樹	前期	1回生以上	2	○	
1100182A1	法学概論B				2	○	
1100190A1	政治学概論A	小島吉之	後期	1回生以上	2	○	
1100192A1	政治学概論B				2	○	

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1100200A1	経済学概論A	横 見 宗 樹	後期	1回生以上	2	○	
1100202A1	経済学概論B				2	○	
1100210A1	地誌A				2	○	
1100212A1	地誌B	浅 田 晴 久	前期	1回生以上	2	○	
1100250A1	日本アジア言語文化学入門A	児 島 啓 祐	前期	1回生以上	2		
1100252A1	日本アジア言語文化学入門B	西 尾 和 子	後期	1回生以上	2		
1100256A1	国語学概論I				2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100258A1	国語学概論II	尾 山 慎	後期	1回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100262A1	国語史概論I				2		令和2年度以前入 学者対象
1100264A1	国語史概論II	尾 山 慎	前期	1回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1100257A1	国語学概論A				2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100259A1	国語学概論B	尾 山 慎	後期	1回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100263A1	国語史概論A				2		令和3年度以降入 学者対象
1100265A1	国語史概論B	尾 山 慎	前期	1回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1100280E2	中国語学概論I	前 田 真砂美	前期	2回生以上	2		
1100282E2	中国語学概論II	前 田 真砂美	後期	2回生以上	2		
1100300A1	日本言語文化学概論A	奥 村 和 美	後期	1回生以上	2	○	
1100302A1	日本言語文化学概論B				2	○	
1100320A1	中国言語文化学概論A	大 平 幸 代	前期	1回生以上	2	○	
1100322A1	中国言語文化学概論B	大 平 幸 代	後期	1回生以上	2	○	
1100340A1	東アジア文学史論A				2		令和7年度から廃 止
1100342A1	東アジア文学史論B				2		令和7年度から廃 止
1100370A1	英語理論概論I				2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100372A1	英語理論概論II				2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100380E1	英語学概論I	須 賀 あゆみ	前期	1回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100382A1	英語学概論II	須 賀 あゆみ	後期	1回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100390A1	表象文化論概論I				2		令和2年度以前入 学者対象
1100392A1	表象文化論概論II				2		令和2年度以前入 学者対象
1100400A1	イギリス言語文化史概論I	齊 藤 美 和	前期	1回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1100402A1	イギリス言語文化史概論II	市 川 千恵子	後期	1回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1100410A1	アメリカ言語文化史概論I	竹 本 憲 昭	前期	1回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1100412A1	アメリカ言語文化史概論II	竹 本 憲 昭	後期	1回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1100420A1	ドイツ言語文化史概論I	吉 田 孝 夫	前期	1回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1100422A1	ドイツ言語文化史概論II	吉 田 孝 夫	後期	1回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100430A1	フランス言語文化史概論I	高 岡 尚 子	前期	1回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1100432A1	フランス言語文化史概論Ⅱ	森 田 俊 吾	後期	1回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象
1100371A1	英語理論概論A				2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100373A1	英語理論概論B				2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100381E1	英語学概論A	須 賀 あゆみ	前期	1回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100383A1	英語学概論B	須 賀 あゆみ	後期	1回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100391A1	表象文化論概論A				2		令和3年度以降入 学者対象
1100393A1	表象文化論概論B				2		令和3年度以降入 学者対象
1100401A1	イギリス言語文化史概論A	齊 藤 美 和	前期	1回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1100403A1	イギリス言語文化史概論B	市 川 千恵子	後期	1回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1100411A1	アメリカ言語文化史概論A	竹 本 憲 昭	前期	1回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1100413A1	アメリカ言語文化史概論B	竹 本 憲 昭	後期	1回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1100421A1	ドイツ言語文化史概論A	吉 田 孝 夫	前期	1回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1100423A1	ドイツ言語文化史概論B	吉 田 孝 夫	後期	1回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100431A1	フランス言語文化史概論A	高 岡 尚 子	前期	1回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100433A1	フランス言語文化史概論B	森 田 俊 吾	後期	1回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1100530B2	英語ゼミナール(ライティング)Ⅰ				2	○	
1100532B2	英語ゼミナール(ライティング)ⅡA				2	○	
1100534B2	英語ゼミナール(ライティング)ⅡB				2	○	
1100536B2	英語ゼミナール(プレゼンテーション)A				2	○	
1100538B2	英語ゼミナール(プレゼンテーション)B				2	○	
1100450B1	ギリシャ語Ⅰ				1		概論科目には該当 しない
1100452B1	ギリシャ語Ⅱ				1		概論科目には該当 しない
1100460B1	ラテン語Ⅰ				1		概論科目には該当 しない
1100462B1	ラテン語Ⅱ	山 下 修 一	前期	1回生以上	1		概論科目には該当 しない
1100550A1	哲学概論	柳 澤 有 吾	前期	1回生以上	2	○	
1100554A1	倫理学概論				2	○	
1100558A1	教育学概論Ⅰ				2		平成26年度以降平成31 年度以前入学者対象
1100560A1	教育学概論A				2		令和2・3年度入学 者対象
1100564A1	教育学概論Ⅱ	二井・保田・小野寺	前期	1回生以上	2	○	平成26年度以降平成31 年度以前入学者対象
1100568A1	教育学概論B	二井・保田・小野寺	前期	1回生以上	2	○	令和2・3年度入学 者対象
1100572A1	教育史概論				2	○	
1100576A1	人権と教育				2	○	平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1100580A1	子ども文化学概論				2	○	
1100584A1	音楽概論	藤 井 康 之	後期	1回生以上	2	○	
1100608A1	心の研究史概論	天ヶ瀬 正 博	前期	1回生以上	2	○	

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1100604A1	心理学概論	天ヶ瀬 正 博	後期	1回生以上	2	○	
1100588A1	身体文化学概論	鈴 木 康 史	後期	1回生以上	2	○	
1100596A1	子ども心理学概論	竹 橋 洋 毅	前期	1回生以上	2	○	平成26年度以降平成30 年度以前入学者対象
1100620A1	教育・学校心理学	竹 橋 洋 毅	前期	1回生以上	2	○	平成31年度以降入 学者対象
1100600A1	社会心理学概論	中 山 満 子 町 田 奈 緒 士	前期	1回生以上	2	○	平成26年度以降平成29 年度以前入学者対象
1100612A1	社会・集団・家族心理学	中 山 満 子 町 田 奈 緒 士	前期	1回生以上	2	○	平成30年度以降入 学者対象
1100616A1	発達心理学	狗 巻 修 司	後期	1回生以上	2	○	
1100592A1	児童文学概論	伊 達 桃 子	後期	1回生以上	2	○	

☆人文社会学科共通科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1210000A2	日本古代史特殊研究A	村 上 麻佑子	後期	2回生以上	2		
1210020A2	日本古代史特殊研究B	長 田 明日華	後期	2回生以上	2		
1210040A2	日本古代史特殊研究C				2		令和3年度から廃 止
1210060A2	日本史特殊研究A	前 田 英 之	前期	2回生以上	2		
1210080A2	日本史特殊研究B				2		
1210100A2	日本史特殊研究C	田 中 希 生	前期	2回生以上	2		
1210120A2	日本史特殊研究D	上 田 健 介	前期	2回生以上	2		
1210140A2	日本史特殊研究E	西 村 さとみ	後期	2回生以上	2		
1210160A2	日本史特殊研究F				2		令和3年度から廃 止
1210180A2	東洋古代史特殊研究A				2		
1210200A2	東洋古代史特殊研究B				2		
1210220A2	東洋史特殊研究A	矢 島 洋 一	後期	2回生以上	2		
1210240A2	東洋史特殊研究B	山 内 瑞 貴	前期	2回生以上	2		
1210260A2	西洋古代史特殊研究A				2		
1210280A2	西洋古代史特殊研究B				2		
1210300A2	西洋史特殊研究A				2		
1210320A2	西洋史特殊研究B	貝 原 哲 生	前期	2回生以上	2		
1210340A2	西洋史特殊研究C	野 口 理 恵	前期	2回生以上	2		
1210360A2	西洋史特殊研究D				2		
1210380A2	考古学特殊研究A	宮 路 淳 子	後期	2回生以上	2		
1210400A2	考古学特殊研究B	小田木 治太郎	後期	2回生以上	2		
1210420A2	歴史地理学特殊研究A				2		令和3年度から廃 止
	歴史地理学特殊研究B				2		平成30年度から廃 止
1210440A2	歴史地理学特殊研究				2		令和3年度から廃 止

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1210460A2	日本美術史特殊研究A	佐 藤 有希子	後期	2 回生以上	2		
1210480A2	日本美術史特殊研究B	北 澤 菜 月	前期	2回生以上	2		
	社会情報学特殊研究				2		平成29年度から廃止
1210500A2	社会学理論特殊研究				2		
	社会システム学特殊研究				2		平成29年度から廃止
1210520A2	社会調査法特殊研究A	脇 田 彩	前期	2 回生以上	2		
1210540A2	社会調査法特殊研究B				2		
	社会意識学特殊研究				2		平成29年度から廃止
1210560A2	計量社会学特殊研究	林 拓 也	前期	2 回生以上	2		
	比較社会学特殊研究				2		平成29年度から廃止
1210580A2	現代社会論特殊研究	林 拓 也	後期	2 回生以上	2		
	経験社会学特殊研究				2		平成29年度から廃止
1210600A2	地域社会学特殊研究	水 垣 源太郎	前期	2 回生以上	2		
1210620A2	家族社会学特殊研究				2		
	福祉社会学特殊研究				2		平成29年度から廃止
1210640A2	女性学特殊研究	三 部 倫 子	後期	2 回生以上	2		
1210660A2	地理情報システム特殊研究				2		
1210680A2	地域情報学特殊研究	石 崎 研 二	前期	2回生以上	2		
1210700A2	地域分析論特殊研究				2		
1210720A2	地域文化論特殊研究A				2		
1210740A2	地域文化論特殊研究B	西 村 雄一郎	前期	2 回生以上	2		
1210760A2	人文地理学特殊研究A				2		
1210780A2	人文地理学特殊研究B	久木元 美 琴	後期	2回生以上	2		
1210800A2	社会地理学特殊研究A				2		
1210820A2	社会地理学特殊研究B	吉 田 容 子	後期	2回生以上	2		
1210840A2	気候・風土学特殊研究A				2		
1210860A2	気候・風土学特殊研究B	名 波 哲	前期	2回生以上	2		
1210880A2	地形環境学特殊研究	宇津川 喬 子	後期	2 回生以上	2		
1210900A2	環境変遷史特殊研究				2		
1210920A2	環境社会学特殊研究A				2		
1210940A2	環境社会学特殊研究B				2		
	環境社会学特殊研究C				2		平成30年度から廃止
	環境社会学特殊研究D				2		平成27年度から廃止
1210960A2	環境問題論特殊研究				2		
1210980A2	地域自然環境論特殊研究	浅 田 晴 久	後期	2 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1211000A2	地域環境学特殊研究A				2		
1211020A2	地域環境学特殊研究B				2		
	地域環境学特殊研究C				2		平成30年度から廃止
1211040A2	文化メディア学特殊研究	陳 怡 禎	後期	2 回生以上	2		
1211060A2	文化人類学特殊研究	曾 璟 蕙	前期	2 回生以上	2		
1211080A2	文化社会学特殊研究	小 川 伸 彦	後期	2回生以上	2		
1211100A2	観光文化論特殊研究	寺 岡 伸 悟	後期	2 回生以上	2		
1211120A2	都市文化論特殊研究				2		
1211160A2	文化地理学特殊研究	濱 田 琢 司	後期	2回生以上	2		
1211140A2	環境文化論特殊研究				2		
1211180A2	地域メディア論特殊研究				2		
1211200A2	マスメディア論特殊研究				2		
1211220A2	現代民俗論特殊研究				2		
1211240E2	日本古代史講読A	村 上 麻佑子	前期	2 回生以上	2		
1211260E2	日本古代史講読B				2		
1211280E2	日本史講読A	前 田 英 之	前期	2 回生以上	2		
1211300E2	日本史講読B	田 中 希 生	後期	2 回生以上	2		
1211320E2	日本史講読C				2		
1211340E2	東洋古代史講読				2		
1211360E2	東洋史講読A				2		
1211380E2	東洋史講読B	矢 島 洋 一	後期	2 回生以上	2		
1211400E2	西洋史講読A				2		
1211420E2	西洋史講読B	木 村 容 子	前期	2回生以上	2		
	考古学講読A				2		令和3年度から廃止
1211440A2	考古学講読B				2		令和3年度から廃止
1211445E2	考古学講読	宮 路 淳 子	後期	2 回生以上	2		
1211460E2	歴史地理学講読A				2		令和3年度から廃止
1211480E2	歴史地理学講読B				2		令和3年度から廃止
1211500E2	日本美術史講読	佐 藤 有希子	後期	2 回生以上	2		
1211520A2	社会情報学入門講読A	中 田 奈 月	後期	2 回生以上	2		
1211540A2	社会情報学入門講読B				2		
1211560A3	社会情報学専門講読A	小 森 達 郎	後期	3 回生以上	2		
1211580A3	社会情報学専門講読B				2		
1211600B2	地域環境学入門講読A	浅 田 晴 久	後期	2 回生以上	2		
1211620B2	地域環境学入門講読B				2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1211640B3	地域環境学専門講読A				2		
1211660B3	地域環境学専門講読B	西 村 雄一郎	前期	3回生以上	2		
1211680B2	文化メディア学講読A				2		
1211700B2	文化メディア学講読B				2		
1211720B2	文化メディア学講読C	小 川 伸 彦	前期	2 回生以上	2		
1211740D2	なら学フィールドワーク実習	寺 岡 伸 悟	後期	2 回生以上	1		令和8年度から廃止
1211760D3	古代文化学野外実習	宮 路 淳 子 村 上 麻佑子	前期	3 回生以上	1		
1211780D2	古代文化学実習A				1		
1211800D2	古代文化学実習B	宮 路 淳 子	前期	2 回生以上	1		
1211820D2	古文書学実習A	西 村 さとみ	前期	2 回生以上	1		
1211840D2	古文書学実習B	前 田 英 之	後期	2 回生以上	1		
1211860D2	史料学実習				1		令和7年度から廃止
1211880D3	歴史学実習	西村(さ)・矢島・田中・ 木村・前田(英)	後期	3 回生以上	1		
	社会情報学実習				1		平成26年度から廃止
1211900D3	社会調査実習I	林 拓 也	前期	3 回生以上	1		
1211920D3	社会調査実習II	林 拓 也	後期	3 回生以上	1		
1211940D2	地域情報学実習I				1		
1211960D2	地域情報学実習II				1		
1211980D2	コミュニティ・リサーチ	水垣・佐藤(克)・ 寺岡	前期	2 回生以上	1	○	
1212000D2	コミュニティ・アクション	水垣・佐藤(克)・ 寺岡	後期	2 回生以上	1	○	
1212020D2	地域環境学実習I	浅 田 晴 久子 宇津川 喬	前期	2 回生以上	1		
1212040D2	地域環境学実習II	西 村 雄一郎	後期	2 回生以上	1		
1212060D2	文化メディア学実習A				1		
1212080D2	文化メディア学実習B				1		
1212100D2	文化メディア学インターンシップA				1		
1212120D2	文化メディア学インターンシップB				1		
1212140E3	地域環境学巡検	石 崎 研 二子 宇津川 喬	前期	3 回生以上	2		隔週(一部集中)
1212150E3	地域環境学巡検	石 崎 研 二子 宇津川 喬	後期	3回生以上	2		隔週(一部集中)
1212160B2	なら学演習	寺 岡 伸 悟	前期	2 回生以上	2	○	令和8年度から廃止
1212240B2	古代学・歴史学基礎演習				2		
1212180B3	古代文化学演習				2		
1212200B3	日本古代史演習I	村 上 麻佑子	前期	3回生以上	2		
1212220B3	日本古代史演習II	村 上 麻佑子	後期	3回生以上	2		
1212300B3	日本史演習AI	西 村 さとみ	前期	3 回生以上	2		
1212320B3	日本史演習BI	田 中 希 生	前期	3 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1212340B3	日本史演習CI				2		令和3年度から廃止
1212260B3	日本史演習I				2		令和3年度から廃止
1212280B3	日本史演習II	前 田 英 之	後期	3回生以上	2		
1212360B3	東洋古代史演習I				2		
1212380B3	東洋古代史演習II				2		
1212400B3	東洋史演習I	矢 島 洋 一	前期	3 回生以上	2		
1212420B3	東洋史演習II	矢 島 洋 一	後期	3 回生以上	2		
1212440B3	西洋史演習AI	木 村 容 子	前期	3 回生以上	2		
1212460B3	西洋史演習AII	木 村 容 子	後期	3回生以上	2		
1212480B3	西洋史演習BI				2		令和3年度から廃止
1212500B3	西洋史演習BII				2		令和3年度から廃止
1212520B3	考古学演習I	宮 路 淳 子	前期	3 回生以上	2		
1212540B3	考古学演習II	宮 路 淳 子	後期	3回生以上	2		
1212560B3	歴史地理学演習I				2		令和3年度から廃止
1212580B3	歴史地理学演習II				2		令和3年度から廃止
1212600B3	日本美術史演習I	佐 藤 有希子	前期	3 回生以上	2		
1212620B3	日本美術史演習II	佐 藤 有希子	後期	3 回生以上	2		
1212820B2	社会情報学演習I				2		
1212840B3	社会情報学演習I				2		
1212860B2	社会情報学演習I				2		
	社会情報学演習I				2		平成29年度から廃止
1212880B2	社会情報学演習I	林 拓 也	前期	2 回生以上	2		
1212900B2	社会情報学演習I				2		令和5年度から廃止
1212920B3	社会情報学演習II	三 部 倫 子	後期	3回生以上	2		
1212940B3	社会情報学演習II				2		
1212960B2	社会情報学演習II	水 垣 源太郎	後期	2回生以上	2		
	社会情報学演習II				2		平成29年度から廃止
1212980B3	社会情報学演習II	林 拓 也	後期	3 回生以上	2		
1213000B2	社会情報学演習II				2		令和5年度から廃止
1212640B3	地域環境学演習I	浅 田 晴 久	前期	3回生以上	2		
1212660B3	地域環境学演習II	吉 田 容 子	後期	3回生以上	2		
	地域環境学入門演習A				2		平成28年度から廃止
	地域環境学入門演習B				2		平成28年度から廃止
1212680E2	地域探究実践演習	西 村 雄一郎 浅 田 晴 久	後期	2回生以上	2	○	
1212700E2	地域社会の課題演習				2	○	

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1212720B3	地域メディア論演習	寺 岡 伸 悟	前期	3回生以上	2	○	
1212740B3	文化人類学演習				2	○	令和6年度から廃止
1212760B2	文化社会学演習	小 川 伸 彦	前期	2回生以上	2		
1212800B2	現代民俗論演習				2		
1212780B2	文化地理学演習				2		
1216000E3	特別研究【長期海外】I	—	—	3 回生以上	4		6年一貫教育プログラム専用科目
1216040E3	特別研究【長期海外】II	—	—	3 回生以上	4		
1216060E3	特別研究【長期海外】III	—	—	3 回生以上	4		
1216080E3	特別研究【長期海外】IV	—	—	3 回生以上	4		
1216220E3	特別研究【長期国内】I	—	—	3 回生以上	4		
1216240E3	特別研究【長期国内】II	—	—	3 回生以上	4		
1216260E3	特別研究【長期国内】III	—	—	3 回生以上	4		
1216280E3	特別研究【長期国内】IV	—	—	3 回生以上	4		
1216420E3	特別研究【不定期】A	—	—	3 回生以上	2		
1216440E3	特別研究【不定期】B	—	—	3 回生以上	2		
1216460E3	特別研究【不定期】C	—	—	3 回生以上	2		
1216480E3	特別研究【不定期】D	—	—	3 回生以上	2		
1214000F4	古代文化学卒業論文演習I				2		
1214020F4	古代文化学卒業論文演習II				2		
1214100F4	歴史学卒業論文演習I	西村・田中・前田（英）	前期	4 回生	2		
1214140F4	歴史学卒業論文演習I	矢 島 洋 一	前期	4 回生	2		
1214180F4	歴史学卒業論文演習I	木 村 容 子	前期	4 回生	2		
1214220F4	歴史学卒業論文演習I				2		
1214260F4	歴史学卒業論文演習I				2		令和3年度から廃止
1214120F4	歴史学卒業論文演習II	西村・田中・前田（英）	後期	4回生	2		
1214160F4	歴史学卒業論文演習II	矢 島 洋 一	後期	4回生	2		
1214200F4	歴史学卒業論文演習II	木 村 容 子	後期	4回生	2		
1214240F4	歴史学卒業論文演習II				2		
1214280F4	歴史学卒業論文演習II				2		令和3年度から廃止
1214300F4	社会情報学卒業論文演習I	三 部 倫 子	前期	4回生	2		
1214320F4	社会情報学卒業論文演習I				2		
1214340F4	社会情報学卒業論文演習I	水 垣 源太郎	前期	4回生	2		
	社会情報学卒業論文演習I				2		平成29年度から廃止
1214360F4	社会情報学卒業論文演習I	林 拓 也	前期	4 回生	2		
1214380F4	社会情報学卒業論文演習II	三 部 倫 子	後期	4回生	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1214400F4	社会情報学卒業論文演習Ⅱ				2		
1214420F4	社会情報学卒業論文演習Ⅱ	水 垣 源太郎	後期	4回生	2		
	社会情報学卒業論文演習Ⅱ				2		平成29年度から廃止
1214440F4	社会情報学卒業論文演習Ⅱ	林 拓 也	後期	4 回生	2		
1214500F4	地域環境学卒業論文演習Ⅰ	石 崎 研 二	前期	4 回生	2		
1214520F4	地域環境学卒業論文演習Ⅰ	浅 田 晴 久	前期	4 回生	2		
1214560F4	地域環境学卒業論文演習Ⅰ	西 村 雄一郎	前期	4 回生	2		
1214580F4	地域環境学卒業論文演習Ⅰ				2		
1214600F4	地域環境学卒業論文演習Ⅰ	吉 田 容 子	前期	4 回生	2		
1214620F4	地域環境学卒業論文演習Ⅱ	石 崎 研 二	後期	4 回生	2		
1214640F4	地域環境学卒業論文演習Ⅱ	浅 田 晴 久	後期	4 回生	2		
1214660F4	地域環境学卒業論文演習Ⅱ	西 村 雄一郎	後期	4 回生	2		
1214680F4	地域環境学卒業論文演習Ⅱ				2		
1214700F4	地域環境学卒業論文演習Ⅱ	吉 田 容 子	後期	4 回生	2		
1214800F4	文化メディア学卒業論文演習Ⅰ	小寺 川岡 伸彦 彦悟	前期	4 回生	2		
1214820F4	文化メディア学卒業論文演習Ⅱ	小寺 川岡 伸彦 彦悟	後期	4 回生	2		
1216600F4	学部研究論文演習A	—	前期	4 回生	2		6年一貫教育プログラム専用科目
1216620F4	学部研究論文演習B	—	後期	4 回生	2		
1216800F4	学部研究論文	—	—	4 回生	8		
1215000F4	卒業論文				8		古代文化学コース 選択者対象
1215200F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		歴史学コース選択 者対象
1215400F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		社会情報学コース 選択者対象
1215600F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		地域環境学コース 選択者対象
1215800F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		文化メディア学コース 選択者対象

☆言語文化学科共通科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1220000A2	ジェンダー言語文化学特殊研究A	高岡 尚子 他	前期	2 回生以上	2		
1220030A2	ジェンダー言語文化学特殊研究B	磯 部 敦子 吉 川 仁	後期	2 回生以上	2		
1220060A2	国語学特殊研究Ⅰ				2		平成29年度以前 入学者対象
1220120A2	国語学特殊研究Ⅱ	鈴 木 広 光	後期	2回生以上	2		平成29年度以前 入学者対象
1220180A2	中国語学特殊研究Ⅰ	池 田 巧	後期	2回生以上	2		平成29年度以前 入学者対象
1220240A2	中国語学特殊研究Ⅱ				2		平成29年度以前 入学者対象
1220300A2	上代国文学特殊研究Ⅰ	山 村 桃 子	後期	2回生以上	2		平成29年度以前 入学者対象
1220360A2	上代国文学特殊研究Ⅱ				2		平成29年度以前 入学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1220420A2	中古中世国文学特殊研究I	星 優 也	前期	2 回生以上	2		平成29年度以前入学者対象
1220480A2	中古中世国文学特殊研究II	礪 波 美和子	前期	2 回生以上	2		平成29年度以前入学者対象
1220540A2	中世近世国文学特殊研究I				2		平成29年度以前入学者対象
1220600A2	中世近世国文学特殊研究II	早 川 由 美	前期	2回生以上	2		平成29年度以前入学者対象
1220660A2	近代国文学特殊研究I	屋 木 瑞 穂	後期	2回生以上	2		平成29年度以前入学者対象
1220720A2	近代国文学特殊研究II				2		平成29年度以前入学者対象
1220780A2	中国文学特殊研究I	唐 顯 芸	後期	2回生以上	2		平成29年度以前入学者対象
1220840A2	中国文学特殊研究II				2		平成29年度以前入学者対象
1220090A2	国語学特殊研究A				2		平成30年度以降入学者対象
1220150A2	国語学特殊研究B	鈴 木 広 光	後期	2回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220210A2	中国語学特殊研究A	池 田 巧	後期	2回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220270A2	中国語学特殊研究B				2		平成30年度以降入学者対象
1220330A2	上代国文学特殊研究A	山 村 桃 子	後期	2回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220390A2	上代国文学特殊研究B				2		平成30年度以降入学者対象
1220450A2	中古中世国文学特殊研究A	星 優 也	前期	2 回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220510A2	中古中世国文学特殊研究B	礪 波 美和子	前期	2 回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220570A2	中世近世国文学特殊研究A				2		平成30年度以降入学者対象
1220630A2	中世近世国文学特殊研究B	早 川 由 美	前期	2回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220690A2	近代国文学特殊研究A	屋 木 瑞 穂	後期	2回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220750A2	近代国文学特殊研究B				2		平成30年度以降入学者対象
1220810A2	中国文学特殊研究A	唐 顯 芸	後期	2回生以上	2		平成30年度以降入学者対象
1220870A2	中国文学特殊研究B				2		平成30年度以降入学者対象
1220900A2	言語文化情報処理論				2		令和7年度から廃止
1220930A2	英語分析論特殊研究				2		
1220960A2	英語表現論特殊研究	松 井 智 子	後期	2 回生以上	2		
1220990A2	英語テキスト論特殊研究	松 原 史 典	前期	2回生以上	2	○	
1221020A2	英語構造論特殊研究I				2		令和2年度以前入学者対象
1221050A2	英語構造論特殊研究II				2		令和2年度以前入学者対象
1221021A2	英語構造論特殊研究A				2		令和3年度以降入学者対象
1221051A2	英語構造論特殊研究B				2		令和3年度以降入学者対象
1221080A2	英語対照論特殊研究	五十嵐 海 理	後期	2 回生以上	2		
1221010A2	フランス語表現論特殊研究I				2		令和2年度以前入学者対象
1221140A2	フランス語表現論特殊研究II				2		令和2年度以前入学者対象
1221170A2	イギリス文学テキスト論特殊研究I	齊 藤 美 和	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入学者対象
1221100A2	イギリス文学テキスト論特殊研究II				2		令和2年度以前入学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1221230A2	アメリカ文学テキスト論特殊研究I	畔 柳 和 代	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221260A2	アメリカ文学テキスト論特殊研究II				2		令和2年度以前入 学者対象
1221290A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究I				2		令和2年度以前入 学者対象
1221320A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究II				2		令和2年度以前入 学者対象
1221350A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究I				2		令和2年度以前入 学者対象
1221380A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究II				2		令和2年度以前入 学者対象
1221310A2	フランス文学テキスト論特殊研究I				2		令和2年度以前入 学者対象
1221440A2	フランス文学テキスト論特殊研究II	岡 本 夢 子	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221470A2	イギリス地域文化論特殊研究I	ジェイムズ・ティンク	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221400A2	イギリス地域文化論特殊研究II	杉 村 寛 子	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221530A2	アメリカ地域文化論特殊研究I				2		令和2年度以前入 学者対象
1221560A2	アメリカ地域文化論特殊研究II				2		令和2年度以前入 学者対象
1221590A2	ドイツ地域文化論特殊研究I	信 國 萌	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221620A2	ドイツ地域文化論特殊研究II	信 國 萌	後期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221650A2	フランス地域文化論特殊研究I	森 田 俊 吾	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221680A2	フランス地域文化論特殊研究II	高 岡 尚 子	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221011A2	フランス語表現論特殊研究A				2		令和3年度以降入 学者対象
1221141A2	フランス語表現論特殊研究B				2		令和3年度以降入 学者対象
1221171A2	イギリス文学テキスト論特殊研究A	齊 藤 美 和	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221101A2	イギリス文学テキスト論特殊研究B				2		令和3年度以降入 学者対象
1221231A2	アメリカ文学テキスト論特殊研究A	畔 柳 和 代	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221261A2	アメリカ文学テキスト論特殊研究B				2		令和3年度以降入 学者対象
1221351A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究A				2		令和3年度以降入 学者対象
1221381A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究B				2		令和3年度以降入 学者対象
1221291A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究C				2		令和3年度以降入 学者対象
1221321A2	ドイツ文学テキスト論特殊研究D				2		令和3年度以降入 学者対象
1221311A2	フランス文学テキスト論特殊研究A				2		令和3年度以降入 学者対象
1221441A2	フランス文学テキスト論特殊研究B	岡 本 夢 子	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221471A2	イギリス地域文化論特殊研究A	ジェイムズ・ティンク	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221401A2	イギリス地域文化論特殊研究B	杉 村 寛 子	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221531A2	アメリカ地域文化論特殊研究A				2		令和3年度以降入 学者対象
1221561A2	アメリカ地域文化論特殊研究B				2		令和3年度以降入 学者対象
1221591A2	ドイツ地域文化論特殊研究A	信 國 萌	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221621A2	ドイツ地域文化論特殊研究B	信 國 萌	後期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221651A2	フランス地域文化論特殊研究A	森 田 俊 吾	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1221681A2	フランス地域文化論特殊研究B	高 岡 尚 子	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221610A2	国語学講読I				2		
1221740A2	国語学講読II	尾 山 慎	後期	2 回生以上	2		
1221770A2	上代国文学講読I				2		令和2年度以前入 学者対象
1221700A2	上代国文学講読II	奥 村 和 美	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221830E2	中古中世国文学講読I				2		令和2年度以前入 学者対象
1221860E2	中古中世国文学講読II				2		令和2年度以前入 学者対象
1221890E2	中世近世国文学講読I	児 島 啓 祐	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221920E2	中世近世国文学講読II				2		令和2年度以前入 学者対象
1221950E2	近代国文学講読I	吉 川 仁 子	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221980E2	近代国文学講読II	磯 部 敦	後期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1221910E2	中国文学講読I	狩 野 雄	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222040E2	中国文学講読II	狩 野 雄	後期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222070E2	中国文学講読I	松 家 裕 子	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222000E2	中国文学講読II				2		令和2年度以前入 学者対象
1221771A2	上代国文学講読A				2		令和3年度以降入 学者対象
1221701A2	上代国文学講読B	奥 村 和 美	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221831E2	中古中世国文学講読A				2		令和3年度以降入 学者対象
1221861E2	中古中世国文学講読B				2		令和3年度以降入 学者対象
1221891E2	中世近世国文学講読A	児 島 啓 祐	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221921E2	中世近世国文学講読B				2		令和3年度以降入 学者対象
1221951E2	近代国文学講読A	吉 川 仁 子	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221981E2	近代国文学講読B	磯 部 敦	後期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1221911E2	中国文学講読A	狩 野 雄	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222041E2	中国文学講読B	狩 野 雄	後期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222071E2	中国文学講読C	松 家 裕 子	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222001E2	中国文学講読D				2		令和3年度以降入 学者対象
1222030E2	英文法講読I	笹 本 涼 子	前期	2回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象
1222160E2	英文法講読II	笹 本 涼 子	後期	2回生以上	2	○	令和2年度以前入 学者対象
1222190E2	英語学講読I				2	○	令和2年度以前入 学者対象
1222120E2	英語学講読II				2		令和2年度以前入 学者対象
1222250E2	イギリス文学テキスト論講読I	市 川 千恵子	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222280E2	イギリス文学テキスト論講読II	市 川 千恵子	後期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222210E2	アメリカ文学テキスト論講読I	竹 本 憲 昭	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222340E2	アメリカ文学テキスト論講読II				2		令和2年度以前入 学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1222370E2	ドイツ文学テキスト論講読I	吉 田 孝 夫	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222300E2	ドイツ文学テキスト論講読II	吉 田 孝 夫	後期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222330E2	フランス文学テキスト論講読I	森 田 俊 吾	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222460E2	フランス文学テキスト論講読II	森 田 俊 吾	後期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222490E2	イギリス地域文化論講読I				2		令和2年度以前入 学者対象
1222420E2	イギリス地域文化論講読II	Edsall, Dominic Guy	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222550E2	アメリカ地域文化論講読I				2		令和2年度以前入 学者対象
1222580E2	アメリカ地域文化論講読II	ハナ・ダールバーグ=ドッド	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222510E2	ドイツ地域文化論講読I	児 玉 麻 美	前期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222640E2	ドイツ地域文化論講読II	児 玉 麻 美	後期	2 回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222670E2	ドイツ地域文化論講読II				2		令和2年度以前入 学者対象
1222600E2	フランス地域文化論講読I				2		令和2年度以前入 学者対象
1222630E2	フランス地域文化論講読II	高 岡 尚 子	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1222031E2	英文法講読A	笹 本 涼 子	前期	2回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1222161E2	英文法講読B	笹 本 涼 子	後期	2回生以上	2	○	令和3年度以降入 学者対象
1222191E2	英語学講読A				2	○	令和3年度以降入 学者対象
1222121E2	英語学講読B				2		令和3年度以降入 学者対象
1222251E2	イギリス文学テキスト論講読A	市 川 千恵子	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222281E2	イギリス文学テキスト論講読B	市 川 千恵子	後期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222211E2	アメリカ文学テキスト論講読A	竹 本 憲 昭	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222341E2	アメリカ文学テキスト論講読B				2		令和3年度以降入 学者対象
1222371E2	ドイツ文学テキスト論講読A	吉 田 孝 夫	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222301E2	ドイツ文学テキスト論講読B	吉 田 孝 夫	後期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222331E2	フランス文学テキスト論講読A	森 田 俊 吾	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222461E2	フランス文学テキスト論講読B	森 田 俊 吾	後期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222491E2	イギリス地域文化論講読A				2		令和3年度以降入 学者対象
1222421E2	イギリス地域文化論講読B	Edsall, Dominic Guy	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222551E2	アメリカ地域文化論講読A				2		令和3年度以降入 学者対象
1222581E2	アメリカ地域文化論講読B	ハナ・ダールバーグ=ドッド	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222511E2	ドイツ地域文化論講読A	児 玉 麻 美	前期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222641E2	ドイツ地域文化論講読B	児 玉 麻 美	後期	2 回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222671E2	ドイツ地域文化論講読C				2		令和3年度以降入 学者対象
1222601E2	フランス地域文化論講読A				2		令和3年度以降入 学者対象
1222631E2	フランス地域文化論講読B	高 岡 尚 子	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1222760B2	英語コミュニケーションAI	SOWTER ANDREW PHILIP	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1222790B2	英語コミュニケーションAII	ハナ・ダールバーグ=ドッド	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222720B2	英語コミュニケーションBI	SOWTER ANDREW PHILIP	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222850B2	英語コミュニケーションBII	ハナ・ダールバーグ=ドッド	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222880B2	英語コミュニケーションCI	リー・マクダウル	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222810B2	英語コミュニケーションCII	リー・マクダウル	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222940B2	英語コミュニケーションDI	キャサリン 山根	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222970B2	英語コミュニケーションDII	キャサリン 山根	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222900B2	ドイツ語コミュニケーションAI	トーマス・ハックナー	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222930B2	ドイツ語コミュニケーションAII	トーマス・ハックナー	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1223060B2	ドイツ語コミュニケーションBI	トーマス・ハックナー	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1223090B2	ドイツ語コミュニケーションBII	トーマス・ハックナー	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1223020B2	フランス語コミュニケーションAI	イザベル トノムラ	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1223050B2	フランス語コミュニケーションAII	イザベル トノムラ	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1223180B2	フランス語コミュニケーションBI	イザベル トノムラ	前期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1223110B2	フランス語コミュニケーションBII	イザベル トノムラ	後期	2 回生以上	1		令和2年度以前入 学者対象
1222761B2	英語コミュニケーションA	SOWTER ANDREW PHILIP	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222791B2	英語コミュニケーションB	ハナ・ダールバーグ=ドッド	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222721B2	英語コミュニケーションC	SOWTER ANDREW PHILIP	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222851B2	英語コミュニケーションD	ハナ・ダールバーグ=ドッド	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222881B2	英語コミュニケーションE	リー・マクダウル	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222811B2	英語コミュニケーションF	リー・マクダウル	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222941B2	英語コミュニケーションG	キャサリン 山根	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222971B2	英語コミュニケーションH	キャサリン 山根	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222901B2	ドイツ語コミュニケーションA	トーマス・ハックナー	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1222931B2	ドイツ語コミュニケーションB	トーマス・ハックナー	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1223061B2	ドイツ語コミュニケーションC	トーマス・ハックナー	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1223091B2	ドイツ語コミュニケーションD	トーマス・ハックナー	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1223021B2	フランス語コミュニケーションA	イザベル トノムラ	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1223051B2	フランス語コミュニケーションB	イザベル トノムラ	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1223181B2	フランス語コミュニケーションC	イザベル トノムラ	前期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1223111B2	フランス語コミュニケーションD	イザベル トノムラ	後期	2 回生以上	1		令和3年度以降入 学者対象
1223140B2	国語学演習I	尾 山 慎	前期	2 回生以上	2		
1223270B2	国語学演習II	鈴 木 広 光	後期	2 回生以上	2		
1223200B2	中国語学演習I	前 田 真砂美	前期	2 回生以上	2		
1223230B2	中国語学演習II	前 田 真砂美	後期	2 回生以上	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1223360B3	上代国文学演習I	奥村和 美	前期	3回生以上	2		
1223390B3	上代国文学演習II	奥村和 美	後期	3回生以上	2		
1223320B3	中古中世国文学演習I	児島啓 祐	前期	3回生以上	2		
1223350B3	中古中世国文学演習II	児島啓 祐	後期	3回生以上	2		
1223480B3	中世近世国文学演習I				2		
1223410B3	中世近世国文学演習II				2		
1223440B3	近代国文学演習I	磯部 敦	前期	3回生以上	2		
1223500B3	近代国文学演習I	吉川仁 子	前期	3回生以上	2		
1223570B3	近代国文学演習II	磯部 敦	後期	3回生以上	2		
1223530B3	近代国文学演習II	吉川仁 子	後期	3回生以上	2		
1223660B2	中国文学演習I	大平幸 代	前期	2回生以上	2		
1223620B2	中国文学演習I				2		
1223690B2	中国文学演習II	大平幸 代	後期	2回生以上	2		
1223650B2	中国文学演習II				2		
1223780B2	英語分析論演習				2		
1223710B2	英語表現論演習				2		
1223740B2	英語テキスト論演習	松原史 典	後期	2回生以上	2		
1223870B2	英語構造論演習	内田充 美	前期	2回生以上	2		
1223800B2	英語対照論演習	須賀あ ゆみ	前期	2回生以上	2	○	
1223830B3	英語学演習	笹本涼 子	後期	3回生以上	2		
1223960B2	イギリス文学テキスト論演習I				2		令和2年度以前入 学者対象
1223990B2	イギリス文学テキスト論演習II	齊藤美 和	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1223920B2	アメリカ文学テキスト論演習I				2		令和2年度以前入 学者対象
1223950B2	アメリカ文学テキスト論演習II				2		令和2年度以前入 学者対象
1224080B2	ドイツ文学テキスト論演習I	吉田孝 夫	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1224010B2	ドイツ文学テキスト論演習II				2		令和2年度以前入 学者対象
1224040B2	フランス文学テキスト論演習I				2		令和2年度以前入 学者対象
1224070B2	フランス文学テキスト論演習II	高岡尚 子	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1224100B2	フランス文学テキスト論演習I				2		令和2年度以前入 学者対象
1224130B2	フランス文学テキスト論演習II				2		令和2年度以前入 学者対象
1224160B2	イギリス地域文化論演習I				2		令和2年度以前入 学者対象
1224290B2	イギリス地域文化論演習II				2		令和2年度以前入 学者対象
1224220B2	アメリカ地域文化論演習I	中川千 帆	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1224250B2	アメリカ地域文化論演習II	中川千 帆	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1224380B2	ドイツ地域文化論演習I	トーマス・ハックナー	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1224370B2	ドイツ地域文化論演習I				2		令和2年度以前入 学者対象
1224310B2	ドイツ地域文化論演習II				2		令和2年度以前入 学者対象
1224340B2	ドイツ地域文化論演習II	トーマス・ハックナー	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1224400B2	ドイツ地域文化論演習II	児 玉 麻 美	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1224430B2	フランス地域文化論演習I	イザベル トノムラ	前期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1224460B2	フランス地域文化論演習I	イザベル トノムラ	後期	2回生以上	2		令和2年度以前入 学者対象
1223961B2	イギリス文学テキスト論演習A				2		令和3年度以降入 学者対象
1223991B2	イギリス文学テキスト論演習B	齊 藤 美 和	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1223921B2	アメリカ文学テキスト論演習A				2		令和3年度以降入 学者対象
1223951B2	アメリカ文学テキスト論演習B				2		令和3年度以降入 学者対象
1224081B2	ドイツ文学テキスト論演習A	吉 田 孝 夫	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224011B2	ドイツ文学テキスト論演習B				2		令和3年度以降入 学者対象
1224041B2	フランス文学テキスト論演習A				2		令和3年度以降入 学者対象
1224071B2	フランス文学テキスト論演習B	高 岡 尚 子	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224101B2	フランス文学テキスト論演習C				2		令和3年度以降入 学者対象
1224131B2	フランス文学テキスト論演習D				2		令和3年度以降入 学者対象
1224161B2	イギリス地域文化論演習A				2		令和3年度以降入 学者対象
1224291B2	イギリス地域文化論演習B				2		令和3年度以降入 学者対象
1224221B2	アメリカ地域文化論演習A	中 川 千 帆	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224251B2	アメリカ地域文化論演習B	中 川 千 帆	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224381B2	ドイツ地域文化論演習A	トーマス・ハックナー	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224341B2	ドイツ地域文化論演習B	トーマス・ハックナー	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224371B2	ドイツ地域文化論演習C				2		令和3年度以降入 学者対象
1224401B2	ドイツ地域文化論演習D	児 玉 麻 美	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224402B2	ドイツ地域文化論演習E				2		令和3年度以降入 学者対象
1224431B2	フランス地域文化論演習A	イザベル トノムラ	前期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1224461B2	フランス地域文化論演習B	イザベル トノムラ	後期	2回生以上	2		令和3年度以降入 学者対象
1228020E3	特別研究【長期海外】I	—	—	3回生以上	4		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1228040E3	特別研究【長期海外】II	—	—	3回生以上	4		
1228060E3	特別研究【長期海外】III	—	—	3回生以上	4		
1228080E3	特別研究【長期海外】IV	—	—	3回生以上	4		
1228220E3	特別研究【長期国内】I	—	—	3回生以上	4		
1228240E3	特別研究【長期国内】II	—	—	3回生以上	4		
1228260E3	特別研究【長期国内】III	—	—	3回生以上	4		
1228280E3	特別研究【長期国内】IV	—	—	3回生以上	4		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1228420E3	特別研究【不定期】A	—	—	3 回生以上	2		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1228440E3	特別研究【不定期】B	—	—	3 回生以上	2		
1228460E3	特別研究【不定期】C	—	—	3 回生以上	2		
1228480E3	特別研究【不定期】D	—	—	3 回生以上	2		
1225000F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I				2		
1225010F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I	尾 山 慎	前期	4 回生	2		
1225020F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I	奥 村 和 美	前期	4 回生	2		
1225030F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I	児 島 啓 祐	前期	4 回生	2		
1225040F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I				2		
1225050F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I	磯 部 敦	前期	4 回生	2		
1225060F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I	吉 川 仁 子	前期	4 回生	2		
1225070F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I	前 田 真砂美	前期	4 回生	2		
1225080F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I	大 平 幸 代	前期	4 回生	2		
1225090F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習I				2		
1225200F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	鈴 木 広 光	後期	4 回生	2		
1225210F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	尾 山 慎	後期	4 回生	2		
1225220F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	奥 村 和 美	後期	4 回生	2		
1225230F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	児 島 啓 祐	後期	4 回生	2		
1225240F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II				2		
1225250F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	磯 部 敦	後期	4 回生	2		
1225260F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	吉 川 仁 子	後期	4 回生	2		
1225270F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	前 田 真砂美	後期	4 回生	2		
1225280F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II	大 平 幸 代	後期	4 回生	2		
1225290F4	日本アジア言語文化学卒業論文演習II				2		
1225400F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	笹 本 涼 子	前期	4 回生	2		
1225410F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I				2		
1225420F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	須 賀 あゆみ	前期	4 回生	2		
1225430F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	高 岡 尚 子	前期	4 回生	2		
1225440F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	森 田 俊 吾	前期	4 回生	2		
1225450F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I				2		
1225460F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	市 川 千恵子	前期	4 回生	2		
1225470F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	齊 藤 美 和	前期	4 回生	2		
1225480F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	竹 本 憲 昭	前期	4 回生	2		
1225490F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	中 川 千 帆	前期	4 回生	2		
1225500F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	吉 田 孝 夫	前期	4 回生	2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1225510F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習I	児 玉 麻 美	前期	4 回生	2		
1225600F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	笹 本 涼 子	後期	4 回生	2		
1225610F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II				2		
1225620F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	須 賀 あゆみ	後期	4 回生	2		
1225630F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	高 岡 尚 子	後期	4 回生	2		
1225640F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	森 田 俊 吾	後期	4 回生	2		
1225650F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II				2		
1225660F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	市 川 千恵子	後期	4 回生	2		
1225670F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	齊 藤 美 和	後期	4 回生	2		
1225680F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	竹 本 憲 昭	後期	4 回生	2		
1225690F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	中 川 千 帆	後期	4 回生	2		
1225700F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	吉 田 孝 夫	後期	4 回生	2		
1225710F4	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習II	児 玉 麻 美	後期	4 回生	2		
1228600F4	学部研究論文演習A	—	前期	4 回生	2		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1228620F4	学部研究論文演習B	—	後期	4 回生	2		
1228800F4	学部研究論文	—	—	4 回生	8		
1226000F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		日ア言語文化学 コース選択者対象
1226200F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		欧米言語文化学 コース選択者対象

☆人間科学科共通科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1232000A2	哲学特殊研究	柿 本 佳 美	前期	2回生以上	2		
1232030A2	倫理学特殊研究				2		
1232060A2	思想文化学特殊研究				2		
1232090A2	人間存在論特殊研究				2		
1232120A2	宗教学特殊研究	濱 崎 雅 孝	後期	2回生以上	2		
1232150A2	教育人間学特殊研究				2		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1232180A2	生涯教育学特殊研究	村 井 尚 子	前期	2回生以上	2		
1232210A2	教育学特殊研究				2		
1232240A2	教育社会学特殊研究	保 田 卓	後期	2 回生以上	2		
1232270A2	教育史特殊研究				2		
1232510A2	比較教育学特殊研究	小野寺 香	前期	2回生以上	2		
1232300A2	子ども史特殊研究	二 井 仁 美	前期	2回生以上	2		
1232330A2	音楽教育学特殊研究				2		
1232360A2	音楽と子ども特殊研究				2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1232390A2	身体教育学特殊研究	鈴木 康 史	前期	2回生以上	2		
1232420A2	身体文化史特殊研究				2		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1232450A2	ポピュラー文化論特殊研究				2		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1232480A2	子どもメディア社会論特殊研究				2		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1233110E2	心理学統計法I	野中 上山 慶子 野中 上山 慶子	前期	2 回生以上	2		平成26年度以降入 学者対象
1233140E2	心理学統計法II	野中 上山 慶子 野中 上山 慶子	後期	2回生以上	2		平成26年度以降入 学者対象
1233170E3	心理学統計法III				2		平成26年度以降入 学者対象
1233200E3	心理学統計法IV				2		平成26年度以降入 学者対象
1232660E3	心理学研究法	竹 橋 洋 毅 狗 巻 修 司	後期	3回生以上	2		
	行動科学調査法				2		平成30年度から廃 止
1233050B3	心理検査法(心理的アセスメント)	梅 垣 佑 介	前期	3回生以上	2		
1233080A3	生活内科学(人体の構造と機能及び疾病)	横 山 ちひろ	前期	3 回生以上	2		
1233020A3	臨床心理学概論	黒 川 嘉 子	前期	3回生以上	2		
1232690A2	認知心理学特殊研究	天ヶ瀬 正 博	後期	2 回生以上	2		平成26年度以降平成29 年度以前入学者対象
1233230A2	知覚・認知心理学	天ヶ瀬 正 博	後期	2回生以上	2		平成30年度以降入 学者対象
1232720A2	発達心理学特殊研究	小 松 孝 至	前期	2 回生以上	2		
1232750A2	教育心理学特殊研究	竹 橋 洋 毅	後期	2回生以上	2		
	学校臨床心理学特殊研究				2		平成30年度から廃 止
1232780A2	子ども心理学特殊研究				2		
1232810A2	社会心理学特殊研究	中 山 満 子	前期	2 回生以上	2		
1232840A2	対人心理学特殊研究				2		
1232870A2	青年心理学特殊研究				2		令和3年度から廃 止
1232900A2	臨床心理学特殊研究				2		
1233260A2	産業・組織心理学	高 原 龍 二	前期	2 回生以上	2		
1232930A2	人格心理学特殊研究	椎 野 智 子	前期	2 回生以上	2		平成26年度以降平成29 年度以前入学者対象
1233290A2	感情・人格心理学	椎 野 智 子	前期	2 回生以上	2		平成30年度以降入 学者対象
1232960A2	発達臨床心理学特殊研究	狗 巻 修 司	前期	2回生以上	2		平成26年度以降平成29 年度以前入学者対象
1233320A2	障害者・障害児心理学	狗 巻 修 司	前期	2 回生以上	2		平成30年度以降入 学者対象
1233350A2	学習・言語心理学	豊 田 弘 司	前期	2 回生以上	2		平成26年度以降入 学者対象
1233380A2	福祉心理学	鈴 木 志 乃	後期	2 回生以上	2		
1233390A2	ジェンダー心理学特殊研究	町 田 奈緒士	後期	2 回生以上	2		
1233410B2	哲学演習				2		
1233440B2	倫理学演習	柳 澤 有 吾	後期	2 回生以上	2		
1233470B2	教育社会学演習	保 田 卓	後期	2 回生以上	2		
1233500B2	教育人間学演習				2		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1233530B2	教育史演習				2		
1233650B2	比較教育学演習	小野寺 香	後期	2 回生以上	2		
1233560B2	音楽と子ども演習	藤 井 康 之	前期	2 回生以上	2		
1233590B2	音楽教育学演習	木 本 雅 子	後期	2 回生以上	2		
1233620B2	身体文化学演習	鈴 木 康 史	前期	2 回生以上	2		
1233680B2	身体文化史演習				2		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1233710B3	心理演習	岡本・黒川・梅垣・ 時岡・竹谷	前期	3 回生以上	2		
1233740B3	心理学文献演習I	竹 橋 洋 毅 野 上 慶 子	前期	3 回生以上	2		
1233770B3	心理学文献演習II	町 田 奈緒士	後期	3 回生以上	2		
1234300D2	教育学・人間学実習I	保田 卓 他	前期	2 回生以上	1		
1234330D2	教育学・人間学実習II	小野寺 香 他	前期	2 回生以上	1		
1234360D2	教育社会学調査法実習I				1		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1234390D2	教育社会学調査法実習II				1		平成26年度以降令和3 年度以前入学者対象
1234510C2	心理学実験	天ヶ瀬・中山・竹橋・ 狗巻・町田・野上	前期	2回生以上	2		平成26年度以降 入学者対象
1234450C2	心理学測定検査法実習	中山・天ヶ瀬・竹橋・ 狗巻・町田・野上	後期	2回生以上	2		
1234540D3	心理実習A	中山・天ヶ瀬・竹橋・ 狗巻・町田	前期	3 回生以上	2		平成26年度以降 入学者対象
1233800B3	哲学研究演習I	柳 澤 有 吾	前期	3回生以上	2		
1233830B3	哲学研究演習II	柳 澤 有 吾	後期	3 回生以上	2		
1233860B3	教育学研究演習I	二井・保田・小野寺	前期	3 回生以上	2		
1233890B3	教育学研究演習II	二井・保田・小野寺	後期	3 回生以上	2		
1233920B3	音楽研究演習I	藤 井 康 之	前期	3 回生以上	2		
1233950B3	音楽研究演習II	藤 井 康 之	後期	3 回生以上	2		
1233980B3	身体文化学研究演習I	鈴 木 康 史	前期	3 回生以上	2		
1234010B3	身体文化学研究演習II	鈴 木 康 史	後期	3 回生以上	2		
1234100B3	心理学研究演習I	竹 橋 洋 毅	前期	3 回生以上	2		
1234110B3	心理学研究演習I	狗 巻 修 司	前期	3回生以上	2		
1234120B3	心理学研究演習I	天ヶ瀬 正 博	前期	3 回生以上	2		
1234130B3	心理学研究演習I	野 上 慶 子 中 山 満 子	前期	3 回生以上	2		
1234140B3	心理学研究演習I	町 田 奈緒士	前期	3 回生以上	2		
1234200B3	心理学研究演習II	竹 橋 洋 毅	後期	3 回生以上	2		
1234210B3	心理学研究演習II	狗 巻 修 司	後期	3 回生以上	2		
1234220B3	心理学研究演習II	天ヶ瀬 正 博	後期	3 回生以上	2		
1234230B3	心理学研究演習II	野 上 慶 子 中 山 満 子	後期	3 回生以上	2		
1234250B3	心理学研究演習II	町 田 奈緒士	後期	3 回生以上	2		
1238020E3	特別研究【長期海外】I	—	—	3 回生以上	4		6年一貫教育プロ グラム専用科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1238040E3	特別研究【長期海外】Ⅱ	—	—	3 回生以上	4		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1238060E3	特別研究【長期海外】Ⅲ	—	—	3 回生以上	4		
1238080E3	特別研究【長期海外】Ⅳ	—	—	3 回生以上	4		
1238220E3	特別研究【長期国内】Ⅰ	—	—	3 回生以上	4		
1238240E3	特別研究【長期国内】Ⅱ	—	—	3 回生以上	4		
1238260E3	特別研究【長期国内】Ⅲ	—	—	3 回生以上	4		
1238280E3	特別研究【長期国内】Ⅳ	—	—	3回生以上	4		
1238420E3	特別研究【不定期】A	—	—	3回生以上	2		
1238440E3	特別研究【不定期】B	—	—	3 回生以上	2		
1238460E3	特別研究【不定期】C	—	—	3 回生以上	2		
1238480E3	特別研究【不定期】D	—	—	3 回生以上	2		
1235000F4	哲学卒業演習Ⅰ	柳 澤 有 吾	前期	4 回生	2		
1235030F4	哲学卒業演習Ⅱ	柳 澤 有 吾	後期	4 回生	2		
1235060F4	教育学卒業演習Ⅰ	二井・保田・小野寺	前期	4 回生	2		
1235090F4	教育学卒業演習Ⅱ	二井・保田・小野寺	後期	4 回生	2		
1235120F4	音楽卒業演習Ⅰ	藤 井 康 之	前期	4回生	2		
1235150F4	音楽卒業演習Ⅱ	藤 井 康 之	後期	4 回生	2		
1235180F4	身体文化学卒業演習Ⅰ	鈴 木 康 史	前期	4 回生	2		
1235210F4	身体文化学卒業演習Ⅱ	鈴 木 康 史	後期	4 回生	2		
1235300F4	心理学卒業演習Ⅰ	竹 橋 洋 毅	前期	4 回生	2		
1235310F4	心理学卒業演習Ⅰ	狗 卷 修 司	前期	4 回生	2		
1235320F4	心理学卒業演習Ⅰ	天ヶ瀬 正 博	前期	4 回生	2		
1235330F4	心理学卒業演習Ⅰ	中 山 満 子	前期	4 回生	2		
1235340F4	心理学卒業演習Ⅰ	町 田 奈緒士	前期	4 回生	2		
1235400F4	心理学卒業演習Ⅱ	竹 橋 洋 毅	後期	4 回生	2		
1235410F4	心理学卒業演習Ⅱ	狗 卷 修 司	後期	4 回生	2		
1235420F4	心理学卒業演習Ⅱ	天ヶ瀬 正 博	後期	4 回生	2		
1235430F4	心理学卒業演習Ⅱ	中 山 満 子	後期	4 回生	2		
1235440F4	心理学卒業演習Ⅱ	町 田 奈緒士	後期	4 回生	2		
1238620F4	学部研究論文演習A	—	前期	4 回生	2		6年一貫教育プロ グラム専用科目
1238640F4	学部研究論文演習B	—	後期	4 回生	2		
1238800F4	学部研究論文	—	—	4 回生	8		
1236400F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		教育学・人間学コー ス選択者対象
1236500F4	卒業論文	—	—	4 回生	8		心理学コース選択 者対象

☆人間科学科子ども教育専修プログラム科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
	教職論				2		キャリア教育科目 教職科目群
	教育原理				2		
	教育社会学				2		
	教育心理学				2		
	特別支援論				1		
	教育課程論				1		
	初等教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)				2		
	教育相談				2		
	特別活動論				1		
	生徒指導・進路指導論				2		
	道德教育の理論と実践				2		
	総合的な学習の時間の理論と実践				1		
1239315D4	教育実習I(幼)	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4 回生	2		プログラム生専用 科目
1239300D4	教育実習I(小)	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4 回生	2		
1239320D3	教育実習II(幼)	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	3 回生以上	2		
1239305D3	教育実習II(小)	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	3 回生以上	2		
1239325D4	事前・事後指導(幼)	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4 回生	1		
1239310D4	事前・事後指導(小)	藤井・二井・堀本・ 竹橋	不定期	4 回生	1		
1239330B4	教職実践演習(幼・小)	藤井・堀本・竹橋	後期	4 回生	2		
1239500A1	国語	龍 本 那津子	後期	1回生以上	2		
1239510A1	社会	鮫 島 京 一	前期	1 回生以上	2		
1239520A1	算数	橋 本 隆 公	前期	1 回生以上	2		
1239530A1	理科	森 本 弘 一	後期	1 回生以上	2		
1239540A1	生活	鈴 木 康 史	後期	1回生以上	2		
1239550D1	音楽	中 村 征 司	前期	1 回生以上	2		プログラム生専用 科目
1239560A1	図画工作	鮫 島 壽 理	前期	1 回生以上	2		
1239570A1	家庭	堀 本 三和子	前期	1 回生以上	2		
1239580A1	体育				2		
1239590A1	英語	伊 達 桃 子	前期	1 回生以上	2		
	初等教科教育法 国語				2		キャリア教育科目 教職科目群
	初等教科教育法 社会				2		
	初等教科教育法 算数				2		
	初等教科教育法 理科				2		
	初等教科教育法 生活				2		
	初等教科教育法 音楽				2		

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
	初等教科教育法 図画工作				2		キャリア教育科目 教職科目群
	初等教科教育法 家庭				2		
	初等教科教育法 体育				2		
	初等教科教育法 英語				2		
	幼児理解の理論と方法				1		
1239720A1	健康	功 刀 俊 雄	後期	1 回生以上	1		
1239730A1	人間関係	町 田 奈緒士	後期	1 回生以上	1		
1239740A1	環境				1		
1239750A1	言葉	島 袋 光	後期	1 回生以上	1		
1239760A1	表現	竹 井 史	前期	1 回生以上	1		
	保育内容指導法(総論)				2		キャリア教育科目 教職科目群
	保育内容指導法(健康)				2		
	保育内容指導法(人間関係)				2		
	保育内容指導法(環境)				2		
	保育内容指導法(言葉)				2		
	保育内容指導法(表現:音楽分野)				1		
	保育内容指導法(表現:造形分野)				1		

☆文学部資格関連科目

ナンバリング コード	科目名	担当	開講期	対象学年	単位	積極開 放科目	備考
1227000E1	書道AI	福 光 由 布	後期	1回生以上	1		
1227020E1	書道AII				1		
1227040E1	書道BI				1		
1227060E1	書道BII				1		
1227080E1	書写I	福 光 由 布	前期	1回生以上	1		
1227100E1	書写II				1		
1227120A2	書道史A	福 光 由 布	前期	2回生以上	2		
1227140A2	書道史B				2		
1227160A1	書道理論	福 光 由 布	後期	1回生以上	2		
1227180A1	書道名品鑑賞				2		
1237580A3	公認心理師の職責	岡本・天ヶ瀬 他	前期	3 回生以上	2		
1237600A3	関係行政論	外 木 央 晃	後期	3 回生以上	2		
1237560A1	社会教育論	林 美 輝	前期	1 回生以上	2		

文学部専門教育科目 時間割（令和3年度以前入学者）

月曜日

【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通			シラバスを確認のこと
	人文	古代		
		歴史		
		社情	社会情報学卒業論文演習Ⅰ	
		地域		
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	アメリカ文学テキスト論講読A／アメリカ文学テキスト論講読Ⅰ	
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
	資格	社会教育論	林 美 輝	
3・4	学部共通		ラテン語Ⅱ	
	人文	古代		
		歴史	日本史演習BⅠ	
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア	国語学演習Ⅰ	
		欧米		
	人間	教育	教育学・人間学実習Ⅱ	
		心理	心理検査法（心理的アセスメント）	
		子ども		
	資格			
5・6	学部共通		地誌B アメリカ言語文化史概論A／アメリカ言語文化史概論Ⅰ 中国言語文化史概論A 教育・学校心理学／子ども心理学概論	
	人文	古代		
		歴史	東洋史演習Ⅰ	
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	フランス文学テキスト論講読A／フランス文学テキスト論講読Ⅰ	
	人間	教育		
		心理	感情・人格心理学／人格心理学特殊研究	
		子ども		
	資格			
7・8	学部共通			
	人文	古代		
		歴史	歴史学卒業論文演習Ⅰ	
			歴史学卒業論文演習Ⅰ	
			東洋史特殊研究B	
		社情	社会情報学卒業論文演習Ⅰ	
		地域		
		メディア		
	言語	日ア	中古中世国文学特殊研究B／中古中世国文学特殊研究Ⅱ	
		欧米	ドイツ語コミュニケーションC／ドイツ語コミュニケーションBⅠ フランス語コミュニケーションA／フランス語コミュニケーションAⅠ	
	人間	教育	音楽と子ども演習	
		心理	感情・人格心理学／人格心理学特殊研究	
		子ども	音楽	
	資格			
9・10	学部共通			
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア	中国文学講読A／中国文学講読Ⅰ	
		欧米	ジェンダー言語文化学特殊研究A	
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
	資格	公認心理師の職業	岡 本・天ヶ瀬 他	

（／（スラッシュ）によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください）

月曜日
【後期】

時間	科 目 名			担当教員	教 室		
1・2	学部共通						
	人文	古代					
		歴史					
		社情	社会情報学卒業論文演習Ⅱ	三 部 倫 子			
		地域					
		メディア					
	言語	日ア					
		欧米					
	人間	教育					
		心理					
子ども		国語	龍 本 那津子				
資格							
3・4	学部共通						
	人文	古代					
		歴史					
		社情	現代社会論特殊研究	林 拓 也			
		地域					
		メディア					
	言語	日ア	国語学講読Ⅱ	尾 山 慎			
			中国文学講読C／中国文学講読Ⅰ	松 家 裕 子			
		欧米	アメリカ文学テキスト論特殊研究A／アメリカ文学テキスト論特殊研究Ⅰ 英語コミュニケーションB／英語コミュニケーションAⅡ	畔 柳 和 代 ハナ・ダールバーグ＝ドッド			
	人間	教育	教育社会学演習	保 田 卓			
		心理					
		子ども	理科	森 本 弘 一			
	資格						
	5・6	学部共通		アメリカ言語文化史概論B／アメリカ言語文化史概論Ⅱ 中国言語文化学概論B		竹 本 憲 昭 大 平 幸 代	シラバスを確認のこと
人文		古代					
		歴史	東洋史演習Ⅱ 日本史講読B	矢 島 洋 一 田 中 希 生			
		社情					
		地域	地形環境学特殊研究	宇津川 喬 子			
		メディア	文化メディア学特殊研究	陳 怡 禎			
言語		日ア					
		欧米	フランス文学テキスト論講読B／フランス文学テキスト論講読Ⅱ	森 田 俊 吾			
人間		教育					
		心理	教育心理学特殊研究	竹 橋 洋 毅			
		子ども					
資格							
7・8		学部共通					
		人文	古代				
			歴史	歴史学卒業論文演習Ⅱ 歴史学卒業論文演習Ⅱ	田中・西村（さ）・前田（英） 矢 島 洋 一		
			社情				
	地域						
	メディア						
	言語	日ア	中世近世国文学講読A／中世近世国文学講読Ⅰ ドイツ語コミュニケーションD／ドイツ語コミュニケーションBⅡ	児 島 啓 祐 トーマス・ハックナー			
		欧米	フランス語コミュニケーションB／フランス語コミュニケーションAⅡ アメリカ地域文化論講読B／アメリカ地域文化論講読Ⅱ	イザベル・トノムラ ハナ・ダールバーグ＝ドッド			
		教育					
	人間	心理	ジェンダー心理学特殊研究	町 田 奈緒士			
		子ども					
		資格					
	9・10	学部共通					
		人文	古代				
			歴史				
			社情				
地域							
メディア							
言語		日ア	中国文学講読B／中国文学講読Ⅱ	狩 野 雄			
		欧米					
人間		教育					
		心理					
		子ども					
資格							

（／（スラッシュ）によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください）

火曜日
【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通	哲学概論	柳 澤 有 吾	
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
	メディア	なら学演習	寺 岡 伸 悟	
		日ア		
3・4	学部共通	ジェンダー言語文化学概論	高 岡 尚 子	
	人文	古代		
		歴史	日本史特殊研究D	
		社情	社会調査実習 I	
		地域	林 拓 也	
	メディア			
5・6	学部共通	ドイツ学概論	福 光 由 布	シラバスを確認のこと
		社会学概論B	宮 路 淳 子	
	人文	イギリス言語文化史概論A/イギリス言語文化史概論 I	小 川 伸 彦	
			齊 藤 美 和	
		古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
7・8	学部共通	ドイツ学概論	岡 田 健	
		国語史概論B/国語史概論 II	尾 山 慎	
	人文	フランス言語文化史概論A/フランス言語文化史概論 I	高 岡 尚 子	
		心の研究史概論	天ヶ瀬 正 博	
		古代		
		歴史	日本史特殊研究C	
		社情	社会情報学卒業論文演習 I	
		地域	地域社会学特殊研究	
9・10	学部共通	中国語学演習 I	前 田 真砂美	
		日本アジア言語文化学卒業論文演習 I	吉 川 仁 子	
	言語	ドイツ地域文化論特殊研究A/ドイツ地域文化論特殊研究 I	信 國 萌	
		イギリス文学テキスト論演習B/イギリス文学テキスト論演習 II	齊 藤 美 和	
		英語テキスト論特殊研究	松 原 史 典	
		ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習 I	竹 本 憲 昭	
	人間	身体文化学特殊研究/身体教育学特殊研究	鈴木 康 史	
		音楽研究演習 I	藤 井 康 之	
11・12	学部共通	生活内科学 (人体の構造と機能及び疾病)	横 山 ちひろ	
		子ども		
	資格	書道史A	福 光 由 布	
		法学概論A	栗 須 直 樹	
		古代		
		歴史		
	メディア	コミュニティ・リサーチ	水垣・佐藤 (克) ・寺岡	

(／ (スラッシュ) によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

火曜日
【後期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通			
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	ドイツ文学テキスト論講読B／ドイツ文学テキスト論講読Ⅱ	
	人間	教育	倫理学演習B／倫理学演習	
		心理		
		子ども		
	資格	関係行政論	外 木 央 晃	
3・4	学部共通		学ぶことと女性のライフスタイル	高 岡 尚 子 他
	人文	古代		
		歴史		
		社情	社会調査実習Ⅱ	林 拓 也
		地域	社会情報学卒業論文演習Ⅱ	水 垣 源太郎
		メディア		
	言語	日ア	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	鈴 木 広 光
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	尾 山 慎
		欧米	英語学演習	笹 本 涼 子
	人間	教育	哲学研究演習Ⅱ	柳 澤 有 吾
			哲学卒業演習Ⅱ	柳 澤 有 吾
		心理	心理学文献演習Ⅱ	町 田 奈緒士
		子ども		
	資格	書道AⅠ		福 光 由 布
5・6	学部共通		ジェンダー言語文化学演習	高 岡 尚 子
	人文	古代		
		歴史	古文書学実習B	前 田 英 之
		社情		
		地域	社会地理学特殊研究B	吉 田 容 子
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	ドイツ地域文化論演習B／ドイツ地域文化論演習Ⅱ	トーマス・ハックナー
			英語コミュニケーションF／英語コミュニケーションCⅡ	リー・マクダウル
			イギリス文学テキスト論特殊研究A／イギリス文学テキスト論特殊研究Ⅰ	齊 藤 美 和
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	須 賀 あゆみ
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	中 川 千 帆
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
	資格			
7・8	学部共通		国語学概論B／国語学概論Ⅱ	尾 山 慎
	人文	フランス言語文化史概論B／フランス言語文化史概論Ⅱ		森 田 俊 吾
		心理学概論		天ヶ瀬 正 博
		古代		
		歴史	東洋史講読B	矢 島 洋 一
		社情	社会情報学専門講読A	小 森 達 郎
	言語	地域	社会情報学演習Ⅱ	水 垣 源太郎
		メディア		
		日ア	中国語学演習Ⅱ	前 田 真砂美
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	吉 川 仁 子
			上代国文学特殊研究A／上代国文学特殊研究Ⅰ	山 村 桃 子
	人間	教育	ドイツ地域文化論特殊研究B／ドイツ地域文化論特殊研究Ⅱ	信 國 萌
			英語テキスト論演習	松 原 史 典
		心理	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	竹 本 憲 昭
			音楽研究演習Ⅱ	藤 井 康 之
	人間	子ども	音楽卒業演習Ⅱ	藤 井 康 之
	資格	書道理論		福 光 由 布
9・10	学部共通			
	人文	古代		
		歴史		
		社情	コミュニティ・アクション	水垣・佐藤（克）・寺岡
		地域	地域探究実践演習	西村（雄）・浅田
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	齊 藤 美 和
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
	資格			

シラバスを確認のこと

（／（スラッシュ）によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください）

水曜日
【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通		日本アジア言語文化学入門A	児 島 啓 祐
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	ドイツ語コミュニケーションA／ドイツ語コミュニケーションAⅠ 英語対照論演習	
	人間	教育	トーマス・ハックナー 須 賀 あゆみ	
		心理		
		子ども	算数	
3・4	学部共通		日本史概論A ドイツ言語文化史概論A／ドイツ言語文化史概論Ⅰ	村 上 麻佑子 吉 田 孝 夫
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域	地域環境学卒業論文演習Ⅰ	
			地域環境学卒業論文演習Ⅰ	
	メディア		地域環境学卒業論文演習Ⅰ	
			地域環境学卒業論文演習Ⅰ	
			文化人類学特殊研究	
			地域メディア論演習	
	言語	日ア	上代国文学演習Ⅰ 日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	
		欧米	アメリカ地域文化論演習A／アメリカ地域文化論演習Ⅰ フランス語コミュニケーションC／フランス語コミュニケーションBⅠ	
			イザベル・トノムラ	
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
	資格			
5・6	学部共通			野 口 理 恵 名 波 哲
	人文	古代		
		歴史	西洋史特殊研究C	
		社情		
		地域	気候・風土学特殊研究B	
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	フランス文学テキスト論特殊研究B／フランス文学テキスト論特殊研究Ⅱ	
	人間	教育	岡 本 夢 子	
		心理		
		子ども		
7・8	学部共通			名 波 哲 石 崎・宇津川
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域	気候・風土学特殊研究B 地域環境学巡検	
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米		
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
9・10	学部共通			石 崎・宇津川
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域	地域環境学巡検	
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米		
	人間	教育		
		心理		
		子ども		
	資格			

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ)によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

水曜日
【後期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通		日本語文化学概論A	奥 村 和 美
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
	言語	メディア		
		日ア		
		欧米	ドイツ語コミュニケーションB／ドイツ語コミュニケーションAⅡ	トーマス・ハックナー
	人間	教育		
		心理		
		子ども	人間関係 健康	町 田 奈緒士 功 刀 俊 雄
	資格			
3・4	学部共通		ドイツ言語文化史概論B／ドイツ言語文化史概論Ⅱ	吉 田 孝 夫
	人文	古代	日本古代史特殊研究A	村 上 麻佑子
		歴史		
		社情		
		地域	文化地理学特殊研究	濱 田 琢 司
		メディア	なら学フィールドワーク実習	寺 岡 伸 悟
	言語	日ア	国語学特殊研究B／国語学特殊研究Ⅱ	鈴 木 広 光
			上代国文学演習Ⅱ	奥 村 和 美
		欧米	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	磯 部 敦
			ドイツ地域文化論演習D／ドイツ地域文化論演習Ⅱ	児 玉 麻 美
			フランス語コミュニケーションD／フランス語コミュニケーションBⅡ	イザベル・トノムラ
	人間	英語コミュニケーションD／英語コミュニケーションBⅡ		ハナ・ダールバーグ＝ドッド
		教育		
		心理		
		子ども	生活	鈴 木 康 史
	資格			
5・6	学部共通			
	人文	古代	日本古代史特殊研究B	長 田 明日華
		歴史		
		社情		
		地域	地域環境学卒業論文演習Ⅱ	吉 田 容 子
			地域環境学卒業論文演習Ⅱ	石 崎 研 二
			地域環境学卒業論文演習Ⅱ	西 村 雄一郎
	言語	メディア	地域環境学卒業論文演習Ⅱ	浅 田 晴 久
		日ア		
		欧米		
	人間	教育	音楽教育学演習	木 本 雅 子
		心理		
		子ども		
	資格			
7・8	学部共通			
	人文	古代		
		歴史		
		社情	社会情報学入門講読A	中 田 奈 月
		地域	地域環境学巡検	石 崎・宇津川
		メディア		
	言語	日ア	近代国文学特殊研究A／近代国文学特殊研究Ⅰ	屋 木 瑞 穂
		欧米		
		教育		
	人間	心理		
		子ども	言葉	島 袋 光
	資格			
9・10	学部共通			
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域	地域環境学巡検	石 崎・宇津川
		メディア	文化社会学特殊研究	小 川 伸 彦
	言語	日ア		
		欧米		
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
	資格			

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

木曜日
【前期】

時間	科 目 名			担当教員	教 室
1・2	人文	学部共通	自然地理学概論A	浅 田 晴 久	
		古代	古代文化学実習B	宮 路 淳 子	
			日本美術史特殊研究B	北 澤 菜 月	
	言語	日ア			
		欧米	イギリス地域文化論特殊研究B／イギリス地域文化論特殊研究Ⅱ	杉 村 寛 子	
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	森 田 俊 吾	
		教育	子ども史特殊研究	二 井 仁 美	
人間	心理	心理学実験	天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田・野上		
		心理実習A	天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田		
	子ども				
	資格				
3・4	人文	学部共通	東洋史概論B	矢 島 洋 一	
		古代	日本古代史講読A	村 上 麻佑子	
		歴史			
		社情	社会情報学演習Ⅰ	林 拓 也	
		地域	地域情報学特殊研究	石 崎 研 二	
		メディア			
	言語	日ア	近代国文学演習Ⅰ	磯 部 敦	
			中国文学演習Ⅰ	大 平 幸 代	
		欧米	英文法講読A／英文法講読Ⅰ	笹 本 涼 子	
			ドイツ文学テキスト論演習A／ドイツ文学テキスト論演習Ⅰ	吉 田 孝 夫	
人間	教育	フランス地域文化論特殊研究A／フランス地域文化論特殊研究Ⅰ	森 田 俊 吾		
	心理	心理学実験	天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田・野上		
		心理実習A	天ヶ瀬・中山・竹橋・狗巻・町田		
	子ども				
資格					
5・6	人文	学部共通	西洋史概論B	木 村 容 子	
		中国語学概論Ⅰ	前 田 真砂美		
		古代	日本古代史演習Ⅰ	村 上 麻佑子	
		歴史	日本史特殊研究A	前 田 英 之	
		社情			
		地域			
	言語	メディア			
		日ア	近代国文学演習Ⅰ	吉 川 仁 子	
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	奥 村 和 美	
		欧米	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	児 島 啓 祐	
人間	教育	ドイツ地域文化論講読A／ドイツ地域文化論講読Ⅰ	児 玉 麻 美		
		ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	笹 本 涼 子		
	心理	心理学研究演習Ⅰ	竹 橋 洋 毅		
		心理学研究演習Ⅰ	狗 巻 修 司		
7・8	人文	学部共通	考古学演習Ⅰ	宮 路 淳 子	
		歴史	日本史講読A	前 田 英 之	
		西洋史講読B	木 村 容 子		
		社情	計量社会学特殊研究	林 拓 也	
		地域	地域文化論特殊研究B	西 村 雄一郎	
		メディア			
	言語	日ア	中世近世国文学特殊研究B／中世近世国文学特殊研究Ⅱ	早 川 由 美	
		欧米	フランス地域文化論講読B／フランス地域文化論講読Ⅱ	高 岡 尚 子	
		教育	教育学研究演習Ⅰ	二井・保田・小野寺	
			教育学卒業演習Ⅰ	二井・保田・小野寺	
人間	心理	心理学卒業演習Ⅰ	竹 橋 洋 毅		
		心理学卒業演習Ⅰ	狗 巻 修 司		
		心理学卒業演習Ⅰ	天ヶ瀬 正 博		
		心理学卒業演習Ⅰ	中 山 満 子		
子ども	心理学卒業演習Ⅰ	町 田 奈緒士			
資格					
9・10	人文	学部共通	教育学概論B／教育学概論Ⅱ	二井・保田・小野寺	
		古代			
		歴史			
		社情			
		地域			
		メディア			
	言語	日ア	中世近世国文学特殊研究B／中世近世国文学特殊研究Ⅱ	早 川 由 美	
		欧米	イギリス地域文化論講読B／イギリス地域文化論講読Ⅱ	ドミニク・エデソル	
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	吉 田 孝 夫	
			ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	児 玉 麻 美	
人間	教育	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅰ	高 岡 尚 子		
	心理				
	子ども				
	資格				

シラバスを確認のこと

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

木曜日
【後期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通		横 見 宗 樹	
	人文	古代	小田木 治太郎	
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
	人間	教育	森 田 俊 吾	
		心理		
		子ども	中山・天ヶ瀬・竹橋・狗巻・町田・野上	
3・4	学部共通		前 田 英 之	
	人文	古代	佐 藤 有希子	
		歴史	宮 路 淳 子	
		社情	社会情報学演習Ⅱ	
		地域	女性学特殊研究	
		メディア		
	言語	日ア	近代国文学演習Ⅱ	
		欧米	中国文学演習Ⅱ	
		教育	英文法講読B／英文法講読Ⅱ	
	人間	心理	笹 本 涼 子	
		子ども	保 田 卓	
5・6	学部共通		中国語学概論Ⅱ	シラバスを確認のこと
	人文	音楽概論	前 田 真砂美	
		古代	藤 井 康 之	
		歴史	佐 藤 有希子	
		社情	村 上 麻佑子	
		地域	矢 島 洋 一	
	言語	日ア	三 部 倫 子	
		欧米	浅 田 晴 久	
		教育	吉 川 仁 子	
		心理	奥 村 和 美	
		子ども	児 玉 麻 美	
7・8	学部共通		西 村 雄一郎	
	人文	古代	市 川 千恵子	
		歴史	佐 藤 有希子	
		社情	前 田 英 之	
		地域	林 拓 也	
		メディア		
	言語	日ア	上代国文学講読B／上代国文学講読Ⅱ	
		欧米	ジェンダー言語文化学特殊研究B	
		教育	英語対照論特殊研究	
	人間	心理	フランス文学テキスト論演習B／フランス文学テキスト論演習Ⅱ	
		子ども	宗教学特殊研究	
9・10	学部共通		日本アジヤ言語文化学入門B	
	人文	古代	西 尾 和 子	
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
		教育	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
	人間	心理	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
		子ども	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学卒業論文演習Ⅱ	

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

金曜日
【前期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	人文	学部共通		シラバスを確認のこと
		古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア	文化メディア学卒業論文演習Ⅰ	
	言語	日ア	文化メディア学卒業論文演習Ⅰ	
		欧米	日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅰ	
		教育	教育学・人間学実習Ⅰ	
	人間	心理	心理学統計法Ⅰ	
		子ども		
		資格		
3・4	人文	学部共通	社会・集団・家族心理学／社会心理学概論	
		古代		
		歴史	日本史演習AⅠ	
		社情		
		地域	地域環境学専門講読B	
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米	英語コミュニケーションG／英語コミュニケーションDⅠ	
		教育	比較教育学特殊研究	
	人間	心理	臨床心理学概論	
		子ども		
		資格		
5・6	人文	学部共通	地域情報学概論A	
		古代		
		歴史	古文書学実習A	
		社情	西洋史演習AI	
		地域		
		メディア	文化メディア学講読C	
	言語	日ア	近代国文学講読A／近代国文学講読Ⅰ	
		欧米	イギリス文学テキスト論講読A／イギリス文学テキスト論講読Ⅰ	
		教育	フランス地域文化論演習A／フランス地域文化論演習Ⅰ	
	人間	心理	心理学文献演習Ⅰ	
		子ども	英語	
		資格		
7・8	人文	学部共通	英語学概論A／英語学概論Ⅰ	
		古代		
		歴史	歴史学卒業論文演習Ⅰ	
		社情	西洋史特殊研究B	
		地域		
		メディア	文化社会学演習	
	言語	日ア	中古中世国文学演習Ⅰ	
		欧米		
		教育		
	人間	心理	社会心理学特殊研究	
		子ども		
		資格		
9・10	人文	学部共通		
		古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア	中古中世国文学特殊研究A／中古中世国文学特殊研究Ⅰ	
		欧米		
		教育	身体文化学研究演習Ⅰ	
	人間	心理	身体文化学卒業論文Ⅰ	
		子ども		
		資格		

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

金曜日
【後期】

時間	科 目 名		担当教員	教 室
1・2	学部共通			シラバスを確認のこと
	人文	古代	考古学講読	
		歴史		
		社情		
		地域	地域環境学入門講読A	
		メディア	文化メディア学卒業論文演習Ⅱ	
	言語	日ア	中国文学特殊研究A／中国文学特殊研究Ⅰ	
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
			日本アジア言語文化学卒業論文演習Ⅱ	
		欧米		
	人間	教育		
		心理	心理学研究法	
		子ども		
	資格			
3・4	学部共通		身体文化学概論	
			発達心理学	
	人文	古代	考古学特殊研究A	
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア	国語学演習Ⅱ	
		欧米	英語コミュニケーションH／英語コミュニケーションDⅡ	
		教育		
	人間	心理		
		子ども		
	資格			
5・6	学部共通		地域情報学概論B	
			政治学概論A	
			児童文学概論	
	人文	古代		
		歴史	日本史特殊研究E	
		社情	西洋史演習AⅡ	
		地域		
		メディア		
	言語	日ア	近代国文学講読B／近代国文学講読Ⅱ	
		欧米	アメリカ地域文化論演習B／アメリカ地域文化論演習Ⅱ	
			フランス地域文化論演習B／フランス地域文化論演習Ⅱ	
	人間	教育	比較教育学演習	
		心理	知覚・認知心理学／認知心理学特殊研究	
		子ども		
	資格			
7・8	学部共通		英語学概論B／英語学概論Ⅱ	
	人文	古代		
		歴史	歴史学卒業論文演習Ⅱ	
		社情		
		地域	地域環境学実習Ⅱ	
		メディア	観光文化論特殊研究	
	言語	日ア	中国語学特殊研究A／中国語学特殊研究Ⅰ	
			中古中世国文学演習Ⅱ	
		欧米		
	人間	教育		
		心理	心理学統計法Ⅱ	
		子ども		
	資格			
9・10	学部共通			
	人文	古代		
		歴史		
		社情		
		地域		
		メディア		
	言語	日ア		
		欧米		
	人間	教育	身体文化学研究演習Ⅱ	
			身体文化学卒業論文演習Ⅱ	
		心理	福祉心理学	
	子ども			
	資格			

(／(スラッシュ))によって併記されている科目は異なる科目番号がつけられています。シラバス等を参照の上、履修登録時に注意してください)

Ⅱ 理学部

学部の目的

本学部は、高いレベルの基礎科学の教育・研究活動を通じて、広い視野にもとづく問題発掘・問題解決能力を持ち、次世代の課題にリーダーシップを発揮することのできる教養豊かな女性を育成することを目的とする。

学科の目的

- 一 数物科学科は、数学と物理学が連携した基礎科学の専門教育によって、自分の専門分野に加えて他分野の知識も備え、新たな課題を発見し斬新な方法論を開拓できる女性人材を育てることを目的とする。
- 二 化学生物環境学科は、化学、生物科学、自然環境科学が連携した理系共通基礎教育とそれらの実践的な専門教育を通して、物質や生命とそれらを取りまく地球環境を総合的にとらえた視野をもち、様々な分野で活躍できる理系女性人材の育成を目的とする。

ほかに、理学部と各学科・各コースでは、それぞれ授業カリキュラム編成の理念を述べた「カリキュラムポリシー」が定められています。ガイダンスなどでカリキュラム編成の考え方を聞いて、履修に役立ててください。

大学在学中の授業の履修方法、卒業に必要な単位等については、原則として、入学年度に配付された『Campus Life』に掲載されている学則及び理学部規程が卒業するまで適用されます。紛失しないよう、卒業時まで大切に保管してください。

科目の履修は、この冊子（『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』）の履修案内欄、大学のWebページから見るができる『開講科目概要』及び『シラバス』をよく読み、また、各学期の始めに行われる学科別・コース別ガイダンスをふまえて、計画的に行ってください。

教員免許状の取得を希望する人は、『全学教育ガイド』の「VI キャリア教育科目の履修 2 教職科目群」をよく見て履修計画を立ててください。

その他疑問点があればその都度、学科長・コース長、各学科・コースの教務担当教員や学年担任、又は学務課理学部係に確認してください。

§ 1. 専門教育科目等の履修

- (1) 各自の入学年次の『Campus Life』に従って履修科目を選択し、本冊子だけではなく、『開講科目概要（Web版）』、『シラバス（Web版）』、及び履修指導（ガイダンス）をもとに、全学共通科目（教養科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア教育科目）とのバランスも考えつつ、各自の時間割を作ってください。
- (2) 理学部では、理科系に共通する「基礎」を固めるために、下記のような基礎理学科目群を開講しています。高校で該当する理系科目を履修していない学生はもちろん、履修はしたが基礎を学び直しておきたいという学生の受講も歓迎します。受講選択にあたっては、各学科・コースのガイダンスや『開講科目概要（Web版）』、『シラバス（Web版）』を参考にしてください。

数物科学科

数 学：「微分積分学Ⅰ」「線形代数学Ⅰ」

物理学：「基礎の物理（A）」「現代の物理（A）」

化 学：「化学概論Ⅰ」※「化学概論Ⅱ」※

生物学：「基礎生物学Ⅰ」※「基礎生物学Ⅱ」※

※は化学生物環境学科開講の積極開放科目

化学生物環境学科

数 学：「微分積分学概論Ⅰ」「線型代数学概論Ⅰ」

物理学：「基礎の物理（B）」「現代の物理（B）」

化 学：「基礎化学Ⅰ／基礎化学Ⅰ」「基礎化学Ⅱ／基礎化学Ⅱ」「化学概論Ⅰ」「化学概論Ⅱ」

生物学：「基礎生物学Ⅰ」「基礎生物学Ⅱ」

- (3) 理学部共通科目「現代科学の最前線—数学・宇宙・物質・生命・情報のフロンティア—」「サイエンス・オープンラボⅠ、Ⅱ」「グローバル理系女性育成国際サマーキャンプ」「数物の探求」の履修単位については卒業要件単位数（124単位）に算入されますが、専門教育科目の必要単位

数（数物科学科60単位、化学生物環境学科75単位）には算入されません。これらの科目は、履修登録単位数の制限の対象外となります。また、アクティブ・ラーニング的要素の強い科目です。受講対象や内容等の詳細は、『シラバス（Web版）』やガイダンスを参考にしてください。

§ 2. 1 年間に履修登録できる単位数の上限

1 年間に履修登録できる単位数には上限が設定されています。詳細は各学科・コースで別定めているので、新学期当初に行われる学科・コース別ガイダンスに必ず出席するとともに、本冊子や『全学教育ガイド』をよく読んで履修計画を立ててください。

- (1) 1 年間に履修登録できる授業科目の単位数は44単位以下です。
- (2) ここでの授業科目とは、基礎科目群の科目、教養科目群の科目、専門教育科目をいいます。キャリア教育科目は含みません。
- (3) 前年度以前に履修し不合格となった科目を再履修する場合も、上記の44単位に含めます。
- (4) 前期の履修登録修正期間内に履修登録の取り消しを行った科目の単位については、上記の44単位には含めません（後期に、その分の単位数の履修登録が可能になります）。
- (5) 奈良県大学連合との単位互換により取得する単位は上記44単位に含めますが、放送大学教育協力型単位互換科目の単位は上記44単位に含めません。
- (6) 教育上の必要に応じて、履修登録単位数の制限（年間44単位）の適用をうけない例外科目を、各学科・コースで設定している場合があります。
- (7) 所定の単位を優れた成績をもって修得した人（上限緩和者、あるいは成績優秀者）は、翌年度に上記の単位数の上限（44単位）を超えて履修登録することができます。「所定の単位」や「優れた成績」についての基準、及び上限を超えて履修登録できる単位数については、各学科・コースで定めています。

§ 3. 3 年以上 4 年未満での早期卒業

- (1) 本学に3年以上在籍し、理学部規程第4条に定められた所定の単位を優れた成績をもって修得した人は、3年次終了時あるいは4年次前期終了時に、卒業資格を得たものと認定される場合があります。
- (2) 3年以上4年未満での卒業資格認定に関しては、各学科・コースでさらに詳細な履修条件・認定基準等が設定されています。各学科・コースの内規等に注意し、適切な履修指導を受けてください。

§ 4. 学期末試験と成績

- (1) 学期末試験は、各学期末の補講期間を含む授業期間中に行います。授業中の指示及び掲示に注意して受験してください。また、成績評価の方法については、各科目のシラバスをよく読んで理解しておいてください。
- (2) 成績評価の公正を期するため、試験中の不正行為に対しては厳しく対応します。
- (3) 病気や事故など、やむを得ない事情によって試験を受けられない場合は、理学部規程第12条第4項に定める「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。該当者は速やかに学務課理理学部係に連絡してください。
- (4) 学期ごとの成績は、翌学期開始時期前後に、Campusmate-J上で確認してください。

§ 5. 学外での学修に係る単位の認定

- (1) 他の大学や短期大学（外国への留学の場合を含む）の授業科目を履修することができます。ただし、事前に学部長（外国への留学の場合は、学長）に願い出てその許可を受けなければなりません。
- (2) 上記の科目履修によって取得した単位は、教授会において教育上有益と認められるときは、60単位を超えない範囲で、本学部における履修単位として認定されます。
- (3) その他、文部科学大臣が定める学外の学修についても、同様に単位として認定されることがあります。具体的には『全学教育ガイド』の「Ⅲ 教養教育科目の仕組み・履修案内」の「外国語科目の履修」等を参照してください。
- (4) 詳細は学務課理理学部係に問い合わせてください。

§ 6. 6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム

6年一貫教育プログラムは、学部4年と大学院博士前期課程2年の6年間を、編入生大学院進学支援プログラムにおいては学部2年と大学院博士前期課程2年の4年間を切れ目なく柔軟に活用し、学業優秀な学部学生が本学大学院人間文化総合科学研究科（以下「研究科」という。）の授業科目を履修することで早期に高度な内容を学ぶことを可能にするほか、短期間の海外留学やサマースクール、インターンシップに行く機会を提供することなどを通して、高度な専門知識を有すると同時に広い視野とコミュニケーション能力を有した女性をはぐくむことを目的として設定されました。このプログラムに選抜された学生は、学部4年次に、研究科の授業科目を数物科学科は8単位、化学生物環境学科は10単位まで科目等履修生として履修することができます。科目等履修生として取得した単位は、研究科入学後、所定の申請期間中に本人から申し出ることにより、課程修了に必要な単位として認定されます。ただし、単位認定時に、教員の退職等により学部で履修した科目が廃止されている場合は、課程修了に必要な単位としての認定はできません。履修できる科目と応募資格は、学科・コースごとに決められています。募集期間は、3年次の1

月上旬から2月上旬であり、応募する場合は、「奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）6年一貫教育プログラム申請書」、または、「奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）編入生大学院進学支援プログラム申請書」をコースごとの指示に従って教員または学務課理学部係に提出して下さい。募集期間終了後1週間以内に、学務課理学部係から申請者の奈良女メールアドレス(@cc.nara-wu.ac.jp)へ申請受付確認のメールが送信されます。確認のメールが届かない場合は、学務課理学部係に連絡してください。プログラム生の選抜は、理学部専門教育科目の成績をもとに行われ、結果は、4年次4月のガイダンスで通知されます。また、プログラム生として選抜された学生の大学院への進学は、6年一貫教育プログラム特別選抜により行われます。

申請書は、奈良女子大学理学部・大学院の学内専用ページ内の6年一貫教育プログラム・先行履修教育プログラムの以下のページからダウンロードできます。

http://www.nara-wu.ac.jp/rigaku/n/6nen_ikkan/index.html

上記URLには、以下の経路でアクセスできます。

奈良女子大学のホームページ→理学部のホームページ→学内専用ページ（左下の方にあります）
→6年一貫教育プログラム・先行履修教育プログラム

§ 7. 先行履修教育プログラム

先行履修教育プログラムは、学部4年と大学院博士前期課程2年の6年間で、3年次編入学生においては学部2年と大学院博士前期課程2年の4年間で切れ目なく柔軟に活用し、学業優秀な学部学生が本学大学院人間文化総合科学研究科（以下「研究科」という。）の授業科目を履修することで早期に高度な内容を学ぶことを可能にすることにより、高度な専門知識を有すると同時に広い視野とコミュニケーション能力を有した女性をはぐくむことを目的として設定されました。このプログラムに選抜された学生は、学部4年次に、研究科の授業科目を4単位まで科目等履修生として履修することができます。本学大学院に進学した場合、科目等履修生として取得した単位は、研究科入学後、所定の申請期間中に本人から申し出ることにより、課程修了に必要な単位として認定されます。ただし、単位認定時に、教員の退職等により学部で履修した科目が廃止されている場合は、課程修了に必要な単位としての認定はできません。履修できる科目や応募資格は、学科・コースごとに決められています。募集期間は、3年次の1月上旬から2月上旬、あるいは4年次の7月上旬から7月下旬です。応募する場合は、「奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）先行履修教育プログラム申請書」をコースごとの指示に従って教員または学務課理学部係に提出して下さい。募集期間終了後1週間以内に、学務課理学部係から申請者の奈良女メールアドレス(@cc.nara-wu.ac.jp)へ申請受付確認のメールが送信されます。確認のメールが届かない場合は、学務課理学部係に連絡してください。プログラム生の選抜は、理学部専門教育科目の成績をもとに行われ、結果は4年次の4月および9月のガイダンスで

通知されます。

申請書は、奈良女子大学理学部・大学院の学内専用ページ内の6年一貫教育プログラム・先行履修教育プログラムの以下のページからダウンロードできます。

http://www.nara-wu.ac.jp/rigaku/n/6nen_ikkan/index.html

上記URLには、以下の経路でアクセスできます。

奈良女子大学のホームページ→理学部のホームページ→学内専用ページ（左下の方にあります）

→6年一貫教育プログラム・先行履修教育プログラム

§ 8. 学科関係専門教育科目・履修モデル等の案内

8. 1 数物科学科

数物科学科には、「数学コース」、「物理学コース」、「数物連携コース」の3コースがあります。1年次においてはコースに属さず、2年次に進む際に各コースに分かれます。学科共通科目（「数学物理の歩き方」は必修）の他に、各コースで履修を推奨している科目（（A）、（B）のクラス指定にも注意）がありますので、1年次においてはどのコースに進むかを考えつつ履修する科目を選んでください。また、卒業に必要な科目のうち専門教育科目はコース毎に異なります。以下の「各コース専門教育科目の履修」の注意事項をよく読んで履修計画を立て、単位を取得してください。ただし、2年次以降でも各年度初めにコースを変更することは可能です。

その他の一般的な注意

1. コースへの分属

コース分属については、1年次後期の末にコースの希望登録を行います。ガイダンスや掲示による案内に注意し、必ず登録するようにしてください。また、2年次以降での転コース希望者は、転コースする前年度の1月末までに理学部係に申請してください。

2. 卒業に必要な単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。教養教育科目の必修単位数30と専門教育科目の必修単位数60のみでは達しないので注意してください。教養教育科目は基礎科目群と教養科目群に分かれています。基礎科目群の最低必要単位数を上回る取得単位は教養科目群の履修単位に含めることができます。

卒業に必要な単位、教員免許に関係する単位などについては、『Campus Life』、『全学教育ガイド』にも記載されていますのでよく読んでください。卒業に必要な外国語科目、保健体育科目の単位は1、2年次の間に取得しておくようにしてください。教員免許に関係する単位の取得が遅れると教育実習の登録ができなくなることがあるので注意してください。

3. 他学科向け科目

「微分積分学概論Ⅰ・Ⅱ」、「線型代数学概論Ⅰ・Ⅱ」、「基礎の物理（B）」、「現代の物理（B）」、「物理学実験Ⅰ（B）」、「化学基礎実験Ⅰ（B）」、「生物学実験（B）、（C）」、「地球環境科学Ⅰ（B）」、「地球環境科学Ⅱ（B）」、「地学概論Ⅰ（B）」、「地学概論Ⅱ（B）」、「地学実験Ⅰ（B）、（C）」、「地学実験Ⅱ（B）」は、化学生物環境学科向けの科目なので、数物科学科の学生は受講しないでください。また、全学共通科目の「数学入門」も他学部・学科向けの科目なので、受講しないでください。

4. 履修登録上の注意

同一時間帯に開講される科目の二重登録はできませんので、受講登録の際は開講時間割に注意してください。また、適正な単位取得計画と厳正な成績評価のために、1年間に履修登録可能な授業科目（基礎科目群、教養科目群、専門教育科目）の単位数として44単位の上限が設定されています。前年

度以前に履修し、不合格となった科目の再履修も上限の制約を受けるので注意してください。ただし、この上限設定については以下の3点に注意してください。

- 1年次において、線形代数学Ⅰ演習、線形代数学Ⅱ演習、微分積分学Ⅰ演習（Ａ）（Ｂ）、微分積分学Ⅱ演習（Ａ）（Ｂ）、物理学実験Ⅰ（Ａ）は、履修登録科目の単位の上限設定の制約を受けません。
- 優れた成績を修めたと認定された者（以下、成績優秀者）に対しては、上限緩和措置が認められ、1年次終了時に下記に記載した成績優秀者の条件を満たす人には、2年次において登録できる授業科目の単位数の上限を56単位とします。2年次以降の上限緩和措置については、各コースの登録単位数の上限の項目を参照してください。
- 教職科目とサイエンス・オープンラボⅠ、Ⅱ、数物の探求、現代科学の最前線・数学・宇宙・物質・生命・情報のフロンティアは、上限設定の制約を受けません。また、コース毎に上記の上限設定の制約を受けない科目が設定されています。各コースの登録単位数の上限の項目を参照してください。

5. 成績優秀者

1年次の成績優秀者は、数物科学科の専門科目（ただし、地学概論Ⅰ（Ａ）、地学概論Ⅱ（Ａ）、地球環境科学Ⅰ（Ａ）、地球環境科学Ⅱ（Ａ）、化学基礎実験Ⅰ（Ａ）、生物学実験（Ａ）、地学実験Ⅰ（Ａ）、地学実験Ⅱ（Ａ）は除く）において80点以上の成績をおさめた科目が18単位以上ある学生とします。2年次以降の成績優秀者は各コースの成績優秀者の項目を参照してください。

6. その他の注意

数物科学科専門教育科目では時間割に記載されている科目以外に、3年次編入生向けの「数物通論Ⅰ、Ⅱ」、「基礎量子力学Ⅰ、Ⅱ」、および4回生向けの「卒業研究Ⅰ、Ⅱ」、「卒業研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、集中講義等が開講されています。編入生以外は、「数物通論Ⅰ、Ⅱ」、「基礎量子力学Ⅰ、Ⅱ」の履修は出来ません。

7. 3年次編入生

3年次編入生には、各コースの同学年の学生と同じ学則・学部規程が卒業時まで適用されますので、コース長や関係教員と十分相談して履修計画を立ててください。特に、編入学以前に履修した科目の認定等については、その後の履修計画にも影響することとなるので、個別に教務担当の教員とよく相談の上、決めるようにしてください。卒業に必要な単位数は124単位ですが、編入時に認定される単位の上限は62単位ですので、本学における取得単位数は62単位以上であることが必要です。ただし、卒業に必要な専門科目の単位数は60単位であるので注意してください。

8. 卒業研究

卒業研究のための研究室分属については、3年次の10月から11月にかけて各コースにおいてガイダンスが行われます。「各コース専門教育科目の履修」の卒業研究の項目に注意してください。また、卒業研究Ⅰ、Ⅱ、および卒業研究Ⅰ、Ⅱは、2つのコースにまたがって履修することは出来ません。

9. 大学院への進学について

本学大学院人間文化総合科学研究科数物科学専攻では、「専門分野についてもっと学びたい」、「教職・企業への就職のために修士号を修得したい」といった多様な動機を持つ学生の要望に柔軟に応じられる体制を整えています。

理学部では、105ページに説明されているように、大学院進学に向けて大学院の授業科目を4年次に先行して履修できる制度があり、さらに6年一貫教育プログラムまたは編入生大学院進学支援プログラム生に選抜されると本学大学院を受験の際、特別選抜に出願することができます。応募を希望する学生は3年次の12月に行われる説明会に出席してください。各プログラムの応募資格および先行履修できる大学院授業科目は以下の通りです。これらの応募資格のコース分けは、大学院進学および先行履修を希望する受入先のコースとします。なお、先行履修する大学院の科目についてはWebシラバスを参考にして、研究室の指導教員となる教員および授業担当教員とよく相談した上で決めてください。

(1) 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム

【応募資格】

数学コース：第一類講義科目（14科目）のうち12科目以上の単位を取得していること。あるいは、これに準ずる資格を有していると数学コース長が判断していること。

物理学コース：数学物理の歩き方、及び、物理学コース必修10科目の単位を取得し、かつ、微分積分学Ⅰ、Ⅱ及び線形代数学Ⅰ、Ⅱの計4科目中2科目以上の単位を取得していること。あるいは、上記に準ずる資格を有していると物理学コース長が判断していること。

数物連携コース：必修4科目に加えて、選択必修科目のうち9科目以上の単位を取得し、かつ微分積分学Ⅰ、Ⅱおよび線形代数学Ⅰ、Ⅱの計4科目中2科目以上の単位を取得していること。あるいは、上記に準ずる資格を有していると数物連携コース長が判断していること。

【先行履修できる大学院授業科目および上限単位数】

数物科学専攻教養科目群の「現代数物概論A、B、C」および数物科学専攻専門群の専門科目群の科目（数学特別セミナーⅠ～Ⅲ、数物特別セミナーA～Dを除く）から8単位まで履修できます。

(2) 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）先行履修教育プログラム

【応募資格】

数学コース：理学部規程別表Ⅱ 2－1 数学コースの表に記載の科目から50単位以上を取得していること。あるいは、これに準ずる資格を有していると数学コース長または指導教員が判断していること。

物理学コース：卒業要件単位のうち、1～2月に申請する場合は100単位以上、7月に申請する場合は110単位以上取得していること。

数物連携コース：次のいずれかを満たしていること。

- A. 理学部規程別表Ⅱ 2－1 数学コースの表に記載の科目から50単位以上を取得していること。あるいはこれに準ずる資格を有していると数物連携コース長または指導教員が判断出来ること。
- B. 卒業要件単位のうち、1～2月に申請する場合は100単位以上、7月に申請する場合は110単位以上取得していること。

【先行履修できる大学院授業科目および上限単位数】

数物科学専攻教養科目群の「現代数物概論A、B、C」および数物科学専攻専門群の専門科目群の科目（数学特別セミナーⅠ～Ⅲ、数物特別セミナーA～Dを除く）から4単位まで履修できます。

〈数学コース〉

専門教育科目の履修

1. 科目についての注意と卒業要件

- 数学コース専門教育科目は以下の3つの種類に分類されます。数学コースの学生はこれらの科目を履修します。

1) 第一類講義科目（すべての分野の基礎となる講義）

線形代数学Ⅰ（A）、Ⅱ（A）、ベクトルと空間の幾何学、集合・位相、微分積分学Ⅰ（A）、Ⅱ（A）、Ⅲ、および各科目の演習

2) 第二類講義科目（それぞれの分野の入門講義）

ガロア理論入門、代数入門、曲面と多様体、幾何学的トポロジー、複素解析学、実解析学、非線型解析学、フラクタル解析学、確率解析学、代数系の数理論、関数解析入門、および各科目の演習、形態の数理論、シンメトリーの数理論

3) その他の科目

確率論入門、数理論統計学、プログラミング、プログラミング演習、数学特別講義Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、グラフ理論、数学物理の歩き方、数学物理の展開、卒業研究など

- 第一類講義科目はすべての分野の基礎となるので、2年次前期までに単位を取得することが望ましいです。これらの科目に未取得のものがある場合、卒業研究Ⅰ、Ⅱにおいて希望するセミナーへの所属が認められないことがあります。
- 第二類講義科目は、学生が自分で選択して履修することになります。2年次後期および3年次前期に履修します。履修しなかった科目は3年次後期以降に履修することもできます。
- その他の科目は、学生が必要に応じて履修します。それぞれの科目で履修対象学年が定められているので注意してください。下記の履修モデル表にない科目が開講されることがありますので、それらについては数学コースガイダンスでの説明および本学ホームページ掲載の『開講科目概要』および『シラバス』を参照してください。

2. 履修モデル

数学コースの履修モデルを例示します。この図を参考にして履修計画を立ててください。

履修モデル表（太字は数学コース指定専門教育科目）

1 年 前期	第一類 講義	線形代数学Ⅰ(A)、微分積分学Ⅰ(A)、 および各演習		数学物理の歩き方（必修）	
1 年 後期		線形代数学Ⅱ(A)、微分積分学Ⅱ(A)、 および各演習			
2 年 前期		ベクトルと空間の幾何学、集合・位相、 微分積分学Ⅲ、および各演習		数学物理の展開	
2 年 後期	第二類 講義	ガロア理論入門、代数入門、曲面と 多様体、幾何学的トポロジー、複素 解析学、実解析学、非線型解析学、 フラクタル解析学、確率解析学、代 数系の数論、関数解析入門、および 各演習、形態の数論、シンメトリの 数論 (上記科目のうち、2年後期・3年 前期で履修しなかったものを履修 する)			
3 年 前期				確率論入門・数理統計学 (隔年開講)	数学特別講義 (集中講義)
3 年 後期				プログラミング、 プログラミング演習	
4 年 前期				卒業研究Ⅰ	
			4 年 後期	卒業研究Ⅱ	

3. 登録単位数の上限

数学コースで定める履修登録の単位上限に含まれない科目は以下の通りです。

線形代数学Ⅰ演習、線形代数学Ⅱ演習、微分積分学Ⅰ演習(A)、微分積分学Ⅱ演習(A)、
微分積分学Ⅲ演習、ベクトルと空間の幾何学演習、集合・位相演習、
数学物理の歩き方(2回生以上)、数学物理の展開(3回生以上)、プログラミング演習、数
学特別講義Ⅰ～Ⅳ、卒業研究Ⅰ、Ⅱ

また、数学コースでは、2年次終了時に3年次の受講登録単位数の上限緩和を希望する学生の調査を行います。この調査において上限緩和を希望した学生で、下記に記載した成績優秀者の条件を満たす人には、3年次において登録できる授業科目の単位数の上限を56単位とします。これを希望する人は、希望調査の際に申し出てください。なお、休学等で別途相談の必要のある学生は、数学コース教務担当教員まで問い合わせてください。

4. 卒業研究

卒業研究の為の研究室分属が3年次の10月から11月にかけて行われます。研究室が確定するまでのさまざまな掲示等に注意してください。締め切りまでに必要な書類の提出等がなかった場合は、次年度の卒業研究を受講することができなくなります。詳細は、数学コースが行う卒業研究の登録及び振り分け等についてのガイダンス(3年次の10月頃を予定)で説明されます。

5. 早期卒業

2年次前期終了時に早期卒業を希望する学生の調査を行います。この調査において早期卒業を希望した学生で、次の要件を満たしている人については、3年次終了時に卒業資格を得たものと認定されます。下記の条件については、数学コースガイダンスの際に説明します。

1. 2年次終了時において、下記に記載した成績優秀者の条件を満たしていること。
2. 数学コース指定専門教育科目（履修モデル表中の科目のうち卒業研究Ⅰ、Ⅱを除いた科目（太字の科目））を、3年次終了時まで所定の単位数以上取得していること。ただし所定の単位数とは『数学コース指定専門教育科目の総単位数－2』から、さらに『2・3年次に非開講のため履修できない科目の総単位数』を引いたものとする。
3. 卒業研究Ⅰおよび卒業研究Ⅱの単位を取得していること。
4. 数学コースにおいて最終成績に基づいて行われる早期卒業のための判定に合格していること。
5. 数学コース指定専門教育科目以外の卒業要件をすべて満たしていること。

早期卒業を希望する人は、希望調査の際に申し出てください。なお、休学等で別途相談の必要のある学生は、数学コース教務担当教員まで問い合わせてください。

6. 3年次編入学生への履修案内

編入学生に対して適用される規程は、原則として当該編入年次生の本学入学年度のものとします。例えば、令和7（2025）年度に3年次に編入学した学生には、令和5（2023）年度の規程が適用されます。履修モデルについてはガイダンスで説明します。教員免許に関する規定については、数学コース教務担当教員に問い合わせてください。

7. 成績優秀者

数学コースの成績優秀者は、2年次終了時において第一類講義科目（14科目）のうち、13科目以上の単位を取得し、かつ、そのなかで80点以上の科目が11科目以上である学生の中から選ばれます。

8. 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム、先行履修教育プログラムについての説明は105～107ページに、応募資格等は＜数物科学科＞の欄（110、111ページ）に記載されています。

〈物理学コース〉

専門教育科目の履修

1. 科目についての注意と卒業要件

物理学コースでは、『Campus Life』の理学部規程に表で示されている「物理学コース専門教育科目」から60単位以上取得し、その他、教養教育科目から30単位以上、専門教育科目（上記以外の数物科学科科目、理学部共通科目、理学部他学科科目、ただし教職科目・資格関連科目を含まない）の単位を加えて、合わせて124単位以上取得することが卒業に必要です。（『Campus Life』参照）

以下の表に記載されている「物理学コース関連科目」の履修を推奨しています。これらの科目は「物理学コース専門教育科目」に含まれています。一部は数学コース、数物連携コース開講科目ですが、これらの科目は物理学コースと数物連携コースの学生を対象とする科目になっています。太字の科目は物理学コース必修科目です。

物理学コース関連科目一覧

学年	実験・計算機科目	数学関係科目	基礎科目	各論的専門科目
4 回生			場の量子論序論	放射線物理学 宇宙論入門 一般相対性理論入門 結晶物理学
3 回生	物理学特別実験 1 物理学特別実験 2 計算機処理 計算機処理演習	フーリエ解析	相対性理論 統計力学 1 統計力学 1 演習 統計力学 2 統計力学 2 演習 量子力学 2 量子力学 2 演習 量子力学 3 固体物理学序論	固体量子論 核物理学 高エネルギー物理学概論 宇宙物理学入門 多粒子系の量子力学 発展方程式の数値解法 協力現象の統計力学 連続体力学
2 回生	物理学実験 2	ベクトル解析 ベクトル解析演習 応用複素解析 応用複素解析演習	力学 2 力学演習 電磁気学 1 電磁気学 1 演習 電磁気学 2 電磁気学 2 演習 量子力学 1 量子力学 1 演習 熱力学	
1 回生	物理学実験 1 (A) 統計処理論	微分積分学入門 微分積分学 I (B) 微分積分学 II (B) 線形代数学 I (B) 線形代数学 II (B) 微分積分学 I 演習 (B) 微分積分学 II 演習 (B)	基礎の物理 (A) 現代の物理 (A) 力学 1	

卒業に必要な履修科目と単位数は以下の表、および『Campus Life』を参照してください。

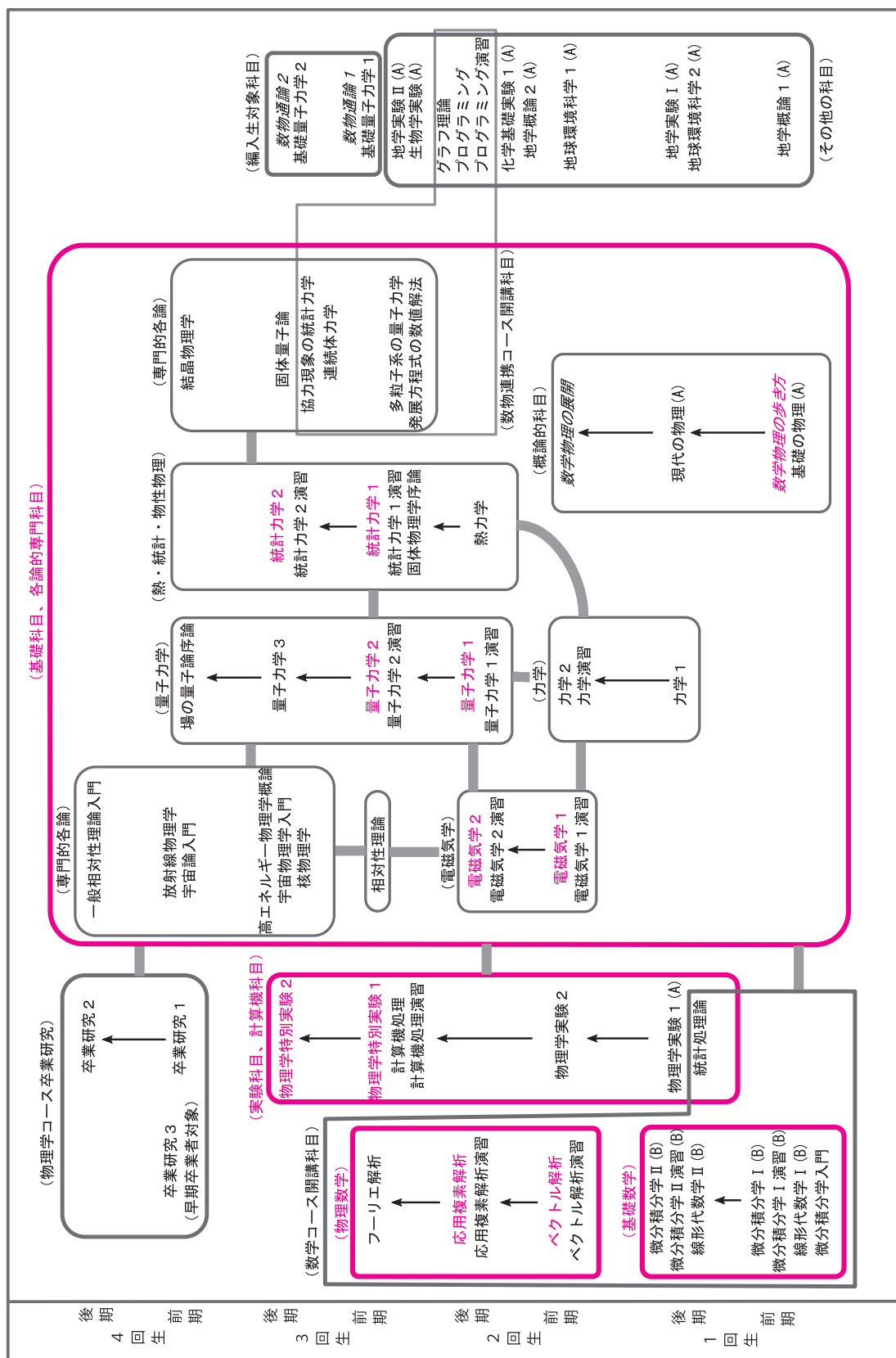
科目の種類		科目分野	履修方法	必要 単位数	合計
教養教育科目	基礎科目群	情報処理科目		12 以上	30以上
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語の中から計8単位以上を取得すること		
		保健体育科目	健康運動実習Ⅰ、Ⅱ 各1単位、合計2単位を必ず取得すること。		
	科目群養		必要単位数を超えて取得した基礎科目群の単位は教養科目群の単位に代えることができる。	18以上	
専門教育科目		数物科学科 必修科目	数学物理の歩き方	2	60以上
		物理学コース 必修科目	物理学特別実験1、物理学特別実験2、ベクトル解析、応用複素解析、電磁気学1、電磁気学2、量子力学1、量子力学2、統計力学1、統計力学2の10科目	20	
		必修科目以外の数物科学科物理学コース 専門教育科目	上記以外の物理学コース専門教育科目から	38以上	
その他の科目（教職科目、資格関連科目などを除く）			上記以外の数物科学科科目、理学部共通科目、他学科・他学部開講科目		
卒業に必要な最小取得単位数			上記科目の取得単位数の合計	124以上	

2. 履修モデル

物理学コース専門教育科目の間の関係をあらわした「物理学コース専門教育科目相関図」を次項に示しますので、各自の履修計画を立てる上で参考にしてください。

相関図には、専門的科目の学問的なつながりや関連が図示されています。科目の大きな分類と関係が枠で囲って示されています。また、矢印は標準的な履修順序を示しており、例えば、「統計力学1」や「固体物理学序論」を履修する前に、「熱力学」の履修をすることが望ましい事などを表しています。

物理学コース専門教育科目相關図



赤色枠内は必修科目、斜体は学科共通科目

3. 登録単位数の上限

物理学コースでは、以下に記載する専門科目に関しては、履修登録科目の単位の上限設定の制約を受けません。上限設定の制約を受けない科目は、学年毎に別々に定められており、同一科目であっても履修する学年により取り扱いが異なるので注意してください。また、各学年の成績優秀者の単位上限は56単位となります。

● 2 年生：上限44単位、1 年次成績優秀者は上限56単位

力学 1、物理学実験 1、力学演習、物理学実験 2、電磁気学 1 演習、電磁気学 2 演習、量子力学 1 演習、ベクトル解析演習、応用複素解析演習

● 3 年生：上限44単位、2 年次成績優秀者は上限56単位

電磁気学 1、電磁気学 2、ベクトル解析、応用複素解析、量子力学 1、量子力学 2 演習、物理学特別実験 1、物理学特別実験 2、統計力学 1 演習、統計力学 2 演習

● 4 年生：上限44単位、3 年次成績優秀者は上限56単位

量子力学 2、統計力学 1、統計力学 2、物理学特別実験 1、物理学特別実験 2、卒業研究 1、卒業研究 2

4. 卒業研究

卒業研究として、以下の科目が開講されます

卒業研究 1（前期：5 単位）

卒業研究 2（後期：5 単位）

卒業研究 3（前期に臨時的に開講：5 単位、4 年次前期修了時早期卒業希望者対象）。

これらの履修にあたっては、以下の点に注意してください。

- 卒業研究 1、2 は、研究室に所属し、原則として同一教員の指導のもとに行います。各研究室への所属に関する物理学コース分属ガイダンスは、10 月頃に行われますので掲示に注意してください。次年度に研究室分属を希望する学生は、必ずガイダンスに出席してください。
- 卒業研究の履修順は、通常、卒業研究 1→卒業研究 2 ですが、特例として卒業研究 2→卒業研究 1 も認めることがありますので教務担当者に相談してください。
- 卒業研究は、一年間行うことを想定しています。前半期は、特定分野の進んだ内容を学習する上級コースであり、主としてセミナー形式で行います。後半期は、前半期の内容を土台として行う特定分野の研究です。前半期単独の履修は可能ですが、後半期単独の履修は認めません。
- 分属するためには取得単位数に関する条件があり、卒業要件単位（124 単位）のうち分属前年度前期終了時点で 60 単位以上、前年度後期終了時点で 80 単位以上取得している必要がありますので注意してください。
- 留学等の特殊事情で分属ガイダンスに出席できない人は、事前に必ず教務担当教員に相談してください。

5. 早期卒業

優れた成績で卒業に必要な単位を取得した学生は、在学期間3年又は3年半での卒業（以下、早期卒業）が可能となります。早期卒業に関する成績評価、評価時期、上限設定については、早期卒業を希望する年度の4月初めに行われる物理学コースのガイダンスの時点またはそれまでに教務担当教員に必ず相談してください。なお、3年次編入生に対しては、早期卒業は認められていません。

● 3年次修了時の早期卒業

1年次終了時及び2年次終了時の成績優秀者で、かつ3年次修了時での卒業を希望する人は、3年次において卒業研究1、2を履修しなければなりません。3年次修了時で早期卒業するためには卒業研究1、2は必修科目です。本人の意思表示を受けて、当該教員との話し合いに基づき、3年次4月に研究室へ分属します。4月初めに行われる物理学コースのガイダンスの時点またはそれまでに教務担当教員に必ず相談してください。

● 4年次前期修了時の早期卒業

1、2、3年次終了時に全ての学年で成績優秀者と認められ、かつ4年次前期修了時での卒業を希望する人は、4年次前期において、卒業研究1と並行して卒業研究3を履修しなければなりません。4年次前期修了時で早期卒業するためには卒業研究1、3は必修科目です。4年次の4月初めに行われる物理学コースのガイダンスの時点またはそれまでに分属している研究室の指導教員を通じて教務担当教員に必ず相談してください。

6. 3年次編入学生への履修案内

物理学コース編入学生対象の科目、数物通論1、2、基礎量子力学1、2は、必要な場合には、読み替え表（「編入学生のために」を参照）に従って、以下の様に卒業要件必修科目と読み替えることができます。

数物通論1は、ベクトル解析もしくは電磁気学1に読み替え

数物通論2は、応用複素解析もしくは電磁気学2に読み替え

基礎量子力学1、2は、各々量子力学1、2に読み替え

ただし、これらの科目の開講形態、開講時期については、編入学生向けガイダンスにおいて各担当教員と相談のうえ決定しますので、編入学生向けガイダンスに必ず出席してください。また、これらの科目は読み替えを行わない場合には、通常の物理学コース専門教育科目として取り扱われます。

7. 成績優秀者

物理学コースの成績優秀者の判定基準は以下の通りです。尚、物理学コースの成績優秀者は、当該年次より1年上の学年で配当される科目（物理学コース関連科目に限る）を履修することができます。成績優秀者以外は、上の学年で配当される科目を履修することはできません。

〈2回生終了時〉

- 2年次に取得した物理学コース関連科目で85点以上の成績をおさめた科目が22単位以上あること。
- 2年次までに配当されている物理学コース必修科目の単位を全て取得していること。
- 教養教育科目の取得単位数が、卒業要件を満たしていること。

〈3回生終了時〉

- 3年次に取得した物理学コース関連科目で85点以上の成績をおさめた科目が24単位以上あること。ただし、編入生には編入生対象科目も含めます。
- 3年次までに配当されている物理学コース必修科目の単位を全て取得していること。ただし、編入生には、読み替え表に従って編入生対象科目の必修科目への読み替えを行う。
- 教養教育科目の取得単位数が、卒業要件を満たしていること。

8. 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム、先行履修教育プログラムについての説明は105～107ページに、応募資格等は〈数物科学科〉の欄（110、111ページ）に記載されています。

〈数物連携コース〉

専門教育科目の履修

1. 科目についての注意と卒業要件

数物科学科 1 回生共通必修科目「数学物理の歩き方」に加え、数物連携コースでは、2 回生科目「数学物理の展開」、「プログラミング」、「プログラミング演習」を必修科目に指定しています。これらを含めて、『Campus Life』の理学部規程に表で示されている数物連携コース専門教育科目の中から 60 単位以上を取得することが必要ですが、その中で以下に示す選択必修科目群から 18 単位以上取得することが必要です。

これに加えて、教養教育科目（30 単位以上）と専門教育科目（理学部共通科目、理学部他学科科目、ただし教職科目・資格関連科目を含まない）を含めた単位を、合わせて 124 単位以上取得することが卒業に必要です。卒業に必要な履修科目と単位数は以下の表、および『Campus Life』を参照してください。

科目の種類		科目分野	履修方法	必要 単位数	合計
教養教育科目	基礎科目群	情報処理科目		12 以上	30 以上
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語の中から計 8 単位以上を取得すること		
		保健体育科目	健康運動実習Ⅰ、Ⅱ 各 1 単位、合計 2 単位を必ず取得すること。		
	科教目群養		必要単位数を超えて取得した基礎科目群の単位は教養科目群の単位に代えることができる。	18 以上 ＊	
専門教育科目		数物科学科必修科目	数学物理の歩き方	2	60 以上
		数物連携コース必修科目	数学物理の展開、プログラミング、プログラミング演習の 3 科目	6	
		数物連携コース選択必修科目	下記の選択必修科目群から 18 単位以上を取得	18 以上	
		必修科目、選択必修科目以外の数物連携コース専門教育科目（注）	卒業研究 1、2 を含む		
その他の科目（教職科目、資格関連科目などを除く）			上記以外の数物科学科科目、理学部共通科目、他学科・他学部開講科目		
卒業に必要な最小取得単位数			上記科目の取得単位数の合計	124 以上	

（注）地学概論 1、2、地球環境科学 1、2、化学基礎実験 1、生物学実験、地学実験Ⅰ、Ⅱは数物連携コース専門教育科目に含まれません。

（注）＊平成 31（2019）年度以降令和 6 年度までの入学生については、3、4 年次に履修することを別に指定する教養科目（高年次教養科目）1 単位以上を含みます。

数物連携コース選択必修科目一覧

	科目名	年次		科目名	年次
数物連携コース科目	ベクトルと空間の幾何学	2 前	数学コース科目	微分積分学入門	1 前
	ベクトルと空間の幾何学演習	2 前		微分積分学Ⅲ	2 前
	グラフ理論	2 後		微分積分学Ⅲ演習	2 前
	シンメトリーの数理	2・3 後		集合・位相	2 前
	*****シンメトリーの数理演習	2・3 後		集合・位相演習	2 前
	***双曲幾何学	2・3 後		ベクトル解析	2 前
	***双曲幾何学演習	2・3 後		応用複素解析	2 後
	多粒子系の量子力学	3 前	物理学コース科目	力学Ⅰ	1 後
	**情報統計力学	2・3 前		電磁気学Ⅰ	2 前
	発展方程式の数値解法	3 前		量子力学Ⅰ	2 後
	****発展方程式の数値解法Ⅰ	3 前		統計力学Ⅰ	3 前
	形態の数理	3・4 前			
	***形態の数理演習	2・3 後			
	*知識社会の数理学	3・4 前			
	*****フラクタル解析学	3・4 前			
	*****フラクタル解析学演習	3・4 前			
	*数値解析	2 前			
	*数式処理論	2 前			
	****発展方程式の数値解法Ⅱ	3 後			
	協力現象の統計力学	3 後			
	連続体力学	3 後			

(注) * 令和2（2020）年度入学者まで適用。 ** 令和3（2021）年度入学者まで適用。

*** 令和4（2022）年度入学者まで適用。**** 令和5（2023）年度入学者まで適用。

***** 令和6（2024）年度入学者まで適用。***** 令和8年度までの開講（令和9年度から新科目開講予定）。

2. 履修モデル

数物連携コースにおける数物科学科専門科目の履修モデルとして、数学系科目に重点をおいた履修と、物理系科目に重点をおいた履修の例を以下に示します。各自の履修計画を立てる上で参考にしてください。太字は必修科目です。

数学系科目に重点をおいた履修モデル

	必修・選択必修科目	数物科学科専門科目
1 年前期	数学物理の歩き方	線形代数学Ⅰ(A)、微分積分学Ⅰ(A)、および各演習
1 年後期		線形代数学Ⅱ(A)、微分積分学Ⅱ(A)、および各演習
2 年前期	数学物理の展開、ベクトルと空間の幾何学、集合・位相、微分積分学Ⅲ、および各演習	
2 年後期	プログラミング、プログラミング演習、シンメトリーの数理、形態の数理、グラフ理論	ガロア理論入門、代数入門、曲面と多様体、幾何学的トポロジー、複素解析学、実解析学、非線型解析学、フラクタル解析学、確率解析学、代数系の数理、関数解析入門、および各演習、確率論入門・数理統計学（隔年開講）
3 年前期		
3 年後期	（上記科目のうち、2 年後期・3 年前期で履修しなかったものを履修する）	ガロア理論入門、代数入門、曲面と多様体、幾何学的トポロジー、複素解析学、実解析学、非線型解析学、フラクタル解析学、確率解析学、代数系の数理、関数解析入門、および各演習、確率論入門・数理統計学（隔年開講）
4 年前期		卒業研究Ⅰ
4 年後期		卒業研究Ⅱ

物理系科目に重点をおいた履修モデル（注）

	必修・選択必修科目	数物科学科専門科目
1 年前期	数学物理の歩き方	微分積分学入門、微分積分学Ⅰ（Ｂ）、微分積分学Ⅰ演習（Ｂ）、線形代数学Ⅰ（Ｂ）、基礎の物理（Ａ）
1 年後期	力学Ⅰ	微分積分学Ⅱ（Ｂ）、微分積分学Ⅱ演習（Ｂ）、線形代数学Ⅱ（Ｂ）、現代の物理（Ａ）、統計処理論、物理学実験Ⅰ（Ａ）
2 年前期	数学物理の展開、ベクトル解析、電磁気学Ⅰ	ベクトル解析演習、電磁気学Ⅰ演習、力学Ⅱ、力学演習
2 年後期	プログラミング、プログラミング演習、応用複素解析、量子力学Ⅰ	応用複素解析演習、量子力学Ⅰ演習、電磁気学Ⅱ、電磁気学Ⅱ演習、熱力学
3 年前期	多粒子系の量子力学、発展方程式の数値解法、統計力学Ⅰ	統計力学Ⅰ演習、量子力学Ⅱ、量子力学Ⅱ演習、フーリエ解析、計算機処理、計算機処理演習、固体物理学序論、相対性理論
3 年後期	協力現象の統計力学、連続体力学	統計力学Ⅱ、統計力学Ⅱ演習、量子力学Ⅲ
4 年前期		結晶物理学、卒業研究Ⅰ
4 年後期		卒業研究Ⅱ

（注）物理学系の研究室に分属を希望する学生は、選択必修の物理学コース科目だけでなく、電磁気学Ⅱ、量子力学Ⅱ、統計力学Ⅱ（実験系研究室の場合は、さらに物理学特別実験Ⅰ、Ⅱ）の単位を取得することが強く望まれます。

3. 登録単位数の上限

数物連携コースでは、以下に記載する専門科目に関しては、履修登録科目の単位の上限設定の制約を受けません。上限設定の制約を受けない科目は、学年毎に別々に定められており、同一科目であっても履修する学年により取り扱いが異なるので注意してください。また、各学年の成績優秀者の単位上限は 56 単位となります。

- 2 回生：上限 44 単位、1 年次成績優秀者は上限 56 単位

数学物理の歩き方、線形代数学Ⅰ演習、線形代数学Ⅱ演習、微分積分学Ⅰ演習（Ａ）（Ｂ）、微分積分学Ⅱ演習（Ａ）（Ｂ）、力学Ⅰ、プログラミング演習、ベクトルと空間の幾何学演習、微分積分学Ⅲ演習、集合・位相演習、力学演習、電磁気学Ⅰ演習、電磁気学Ⅱ演習、量子力学Ⅰ演習、ベクトル解析演習、応用複素解析演習

- 3 回生：上限 44 単位、2 年次成績優秀者は上限 56 単位

数学物理の歩き方、数学物理の展開、プログラミング演習、線形代数学Ⅰ演習、線形代数学Ⅱ演習、微分積分学Ⅰ演習（Ａ）（Ｂ）、微分積分学Ⅱ演習（Ａ）（Ｂ）、ベクトルと空間の幾何学演習、微分積分学Ⅲ演習、集合・位相演習、数学特別講義Ⅰ～Ⅳ、電磁気学Ⅰ、ベクトル解析、応用複素解析、量子力学Ⅰ、量子力学Ⅱ演習、統計力学Ⅰ演習、統計力学Ⅱ演習

- 4 回生：上限 44 単位、3 年次成績優秀者は上限 56 単位

数学物理の歩き方、数学物理の展開、プログラミング演習、線形代数学Ⅰ演習、線形代数学Ⅱ演習、微分積分学Ⅰ演習（Ａ）（Ｂ）、微分積分学Ⅱ演習（Ａ）（Ｂ）、ベクトルと空間の幾何

学演習、微分積分学Ⅲ演習、集合・位相演習、数学特別講義Ⅰ～Ⅳ、統計力学Ⅰ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ

4. 卒業研究

卒業研究として、以下の科目が開講されます

卒業研究Ⅰ（前期：5単位）

卒業研究Ⅱ（後期：5単位）

卒業研究Ⅲ（前期に臨時的に開講：5単位、4年次前期終了時早期卒業希望者対象）

これらの履修にあたっては、以下の点に注意してください。

- 卒業研究Ⅰ、Ⅱは、原則として同一教員の指導のもとに行います。各研究室への分属に関する数物連携コースの分属ガイダンスは、10月頃に行われますので掲示に注意してください。次年度に研究室分属を希望する学生は、必ずガイダンスに出席してください。
- 卒業研究の履修順は、通常、卒業研究Ⅰ→卒業研究Ⅱですが、特例として卒業研究Ⅱ→卒業研究Ⅰも認めることがありますので教務担当者に相談してください。
- 卒業研究は、1年間行うことを想定しています。前半期は、特定分野の進んだ内容を学習する上級コースであり、主としてセミナー形式で行います。後半期は、前半期を土台として行う特定分野の研究です。前半期単独での履修は可能ですが、後半期単独の履修は認めません。
- 分属するためには取得単位数に関する条件があり、卒業要件単位（124単位）のうち分属前年度前期終了時点で60単位以上取得している必要がありますので注意してください。
- 留学等の特殊事情で分属ガイダンスに出席できない人は、事前に必ず教務担当教員に相談してください。

5. 早期卒業

優れた成績で卒業に必要な単位を取得した学生は、在学期間3年又は3年半での卒業（以下、早期卒業）が可能となります。

早期卒業に関する成績評価、評価時期、上限設定については、2年次前期終了時までには教務担当教員に必ず相談してください。なお、3年次編入生に対しては、早期卒業は認められていません。

早期卒業要件は、分属する研究室に応じて、数学コースまたは物理学コースの要件に準じます。

6. 3年次編入学生への履修案内

数物連携コース編入学生対象の科目は、数物通論Ⅰ、Ⅱです。その他、物理学コース科目の基礎量子力学Ⅰ、Ⅱを履修することが出来ます。また、必要な場合には、読み替え表（「編入学生のために」を参照）に従って、以下の様に卒業要件の選択必修科目に読み替えることができます。

数物通論Ⅰは、ベクトル解析もしくは電磁気学Ⅰに読み替え

数物通論Ⅱは、応用複素解析に読み替え

基礎量子力学Ⅰは、量子力学Ⅰに読み替え

ただし、これらの科目の開講形態、開講時期については、編入学生向けガイダンスにおいて各担当教員と相談のうえ決定しますので、編入学生向けガイダンスに必ず出席してください。また、これらの科目は読み替えを行わない場合には、通常の学科専門教育科目として取り扱われます。

7. 成績優秀者

数物連携コースの成績優秀者は、以下の条件を満たす学生としています。

〈2回生終了時〉

- 2年次終了時まで、数学コース第一類講義科目（線形代数学Ⅰ（A）または（B）、Ⅱ（A）または（B）、ベクトルと空間の幾何学、集合・位相、微分積分学Ⅰ（A）または（B）、Ⅱ（A）または（B）、Ⅲ、および各科目の演習の計14科目）のうち、13科目以上の単位を取得し、かつ、そのなかで80点以上の科目が11科目以上である。もしくは、2年次に取得した数物科学科専門科目（ただし、地学概論Ⅰ（A）、地学概論Ⅱ（A）、地球環境科学Ⅰ（A）、地球環境科学Ⅱ（A）、化学基礎実験Ⅰ（A）、生物学実験（A）、地学実験Ⅰ（A）、地学実験Ⅱ（A）は除く）で、85点以上の成績をおさめた科目が22単位以上あること。
- 高年次教養科目を除く教養教育科目の取得単位数が、卒業要件を満たしていること。

〈3回生終了時〉

- 3年次に取得した数物科学科専門科目（ただし、地学概論Ⅰ（A）、地学概論Ⅱ（A）、地球環境科学Ⅰ（A）、地球環境科学Ⅱ（A）、化学基礎実験Ⅰ（A）、生物学実験（A）、地学実験Ⅰ（A）、地学実験Ⅱ（A）は除く）で、85点以上の成績をおさめた科目が24単位以上あること。ただし、編入生には編入生対象科目も含めます。
- 数物連携コース必修科目の単位を全て取得していること。3年次までに配当されている数物連携コース選択必修科目の単位を、18単位以上取得していること。ただし、編入生には、読み替え表に従って編入生対象科目の必修科目への読み替えを行う。
- 高年次教養科目を除く教養教育科目の取得単位数が、卒業要件を満たしていること。

8. 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）6年一貫教育プログラムおよび編入生大学院進学支援プログラム、先行履修教育プログラムについての説明は105～107ページに、応募資格等は〈数物科学科〉の欄（110、111ページ）に記載されています。

8.2 化学生物環境学科

はじめに

化学生物環境学科では専門教育科目として約180科目を4年間にわたって開講します。これらのうち、複数のコースに共通性の高い内容を扱う科目を「学科共通科目」、各コースにおいて開講されるより専門性の高い科目を「コース科目」としています。これらの科目はそれぞれ、その内容に応じて「化学系科目」、「生物科学系科目」、「環境科学系科目」に分かれています。（学科共通科目にはそのほか、「全般」というカテゴリーがあります。）

皆さんは卒業までに124単位以上の「卒業要件単位」を取得しなければなりません。専門教育科目についてはそのうち75単位以上の取得が義務付けられています。化学生物環境学科に入学した皆さんは基本的には「学科共通科目」「コース科目」のいずれについても、自分自身の興味に応じて自由に履修することができます。また、そこで取得した単位は卒業要件における専門教育科目の単位として認定されます。

専門教育科目について

化学生物環境学科の学科共通科目、コース科目はいずれも各コースが指定する必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目のいずれかに分類されます（理学部規程第4条）。この分類はコース毎に異なっており、皆さんは自分が配属されたコースで定められている規則に従って単位を取得しなければなりません。その詳細については本冊子の各コースのページ、ならびに理学部規程に記載されていますので、しっかり目を通して理解しておいてください。

必修科目：卒業までに必ず履修し、そのすべての単位を修得することが卒業の要件になっている科目です。卒業研究を履修するためには、卒業研究開始時までにはその単位のほとんどを取得していなければなりませんので注意してください（表1参照）。

選択必修科目：いくつかの科目の組のなかから、指定された単位数を修得することが卒業の要件となっている科目です。

選択科目：各コースの標準的なカリキュラムに密接に関連した専門性の高い科目で、できるだけ多くを履修することが望ましい科目です。

自由科目：上記以外の専門教育科目で、皆さんの興味に応じて自由に選択し履修できる科目です。他のコースの科目の大部分が自由科目になっています。

皆さんが履修登録した科目を無理なく受講し、その内容を十分に理解できるよう、一年間に履修登録できる科目数には上限が設けられています。また、各コースでは各種科目の履修時期、履修の順番が綿密に検討されており、（必修・選択必修科目に加えて）選択科目を指定された時期や順序で履修していくことにより、各コースで扱う専門的な学問の全容を体系的に無理なく修得できるようになっています。そのため、各科目については受講時期が指定されており、成績優秀者あるいは

上限緩和認定を受けた者以外は上回生向けの科目を受講することはできません。

同一名称で他学科でも開講されている科目の履修に関する注意

「基礎の物理」「現代の物理」「物理学実験1」「化学基礎実験1」「生物学実験」「地球環境科学1」「地球環境科学2」「地学概論1」「地学概論2」「地学実験I」「地学実験II」は、理学部としてはそれぞれ(A)、(B)科目を開講していますが、化学生物環境学科の学生は必ず(B)科目の方を履修してください。(A)科目は数物科学科向けの科目なので履修しないでください(誤って(A)科目を履修した場合は、卒業要件科目の判定の際に「専門教育科目」としてはカウントされません。)。特に教員免許(理科)の取得を目指している場合は注意してください。不明の点は各コース教務担当教員または学務課理学部係に問い合わせてください。

卒業研究、課題研究について

皆さんは通常、最終年度は各研究室に配属され、大学教育の総まとめとして一年間の卒業研究に取り組み、「卒業研究I～IV」(それぞれ5単位)の中から2科目、10単位を修得します。「卒業研究」は学部専門教育課程においてもっとも重要なものとして位置づけられており、その履修のための要件は各コースの「卒業研究履修に関する内規」に厳密に定められています(表1参照)。この「卒業研究履修に関する内規」は卒業要件とは独立した規則です。この内規を満たしたうえで卒業研究の単位を取得すれば自動的に卒業要件を満たす訳ではないので、注意してください。

卒業研究を履修するためには「卒業要件科目について100単位以上を修得していること」を3コース共通の条件の一つとしていますが、この他にも細かな規則がコースごとの「卒業研究履修に関する内規」に決められています。その内規の概要は表1にまとめましたが、コース毎の内規の詳細については以下のページに目を通して確認してください。不注意で卒業研究の履修時期が遅れることのないよう、履修計画は十分に検討してください。

化 学 コ ー ス : 141ページ (令和2 (2020) 年度以降入学者用)

生物科学コース : 163ページ

環境科学コース : 175ページ

また、様々な事情によっては「卒業研究I～IV」ではなく、実験・実習を必ずしも伴わない「課題研究I～IV」(それぞれ2単位)を履修することも可能です。課題研究の履修にあたっては事前に各コースに申請し、履修についての承認を受けることが必要です。詳細については「課題研究履修に関する内規」に記されています(表1参照)。なお、最初に課題研究の2単位を取得した場合、それ以降に履修できるのは課題研究のみで、卒業研究を履修することはできなくなります。課題研究の履修を検討する際はこのことも十分に考慮してください。

「卒業研究IおよびIV」「課題研究IおよびIV」は年度の前期に、「卒業研究IIおよびIII」「課題

研究ⅡおよびⅢ」は年度の後期に、それぞれ開講されます。4月から卒業研究・課題研究を開始する学生はⅠ、Ⅱの順に、10月から卒業研究・課題研究を開始する学生はⅢ、Ⅳの順に履修してください。なお、卒業研究ⅠあるいはⅢ、課題研究ⅠあるいはⅢのいずれかを履修した学生が相応の理由により単位を取得できなかった場合、次の学期には課題研究ⅢおよびⅡ、あるいは課題研究ⅠおよびⅣの両方を同時に履修することが可能です。

成績優秀者等の認定と履修登録条件の緩和措置について

所定の時期に所定の優秀な成績を修めたものは成績優秀者（3コースとも）、あるいは履修上限緩和者（化学コースのみ）として認定されます。各コースにおける成績優秀者等の認定の要件と時期を表2にまとめました。

成績優秀者について：化学コースにおいては三回生終了時と早期卒業時に成績優秀者を認定します。生物科学コースと環境科学コースにおいては一回生終了時、二回生終了時、三回生終了時、および早期卒業時に認定が行われます。一回生終了時、二回生終了時に成績優秀者に認定されると、翌年度の履修登録科目数の上限が54単位まで緩和されるとともに、上回生向けの科目の履修が可能となります。

履修上限緩和者について：化学コースにおいては、一回生終了時と二回生終了時に所定の成績を修めたものは履修上限緩和者として認定され、翌年度の履修登録科目数の上限が54単位まで緩和されるとともに、上回生向けの科目の履修が可能となります。また、二回生前期終了時に所定の成績を修め、履修上限緩和者として認定されたものは、二回生時の履修登録科目数の上限が50単位まで緩和されるとともに、二回生後期に三回生向け科目の履修が可能となります。

上回生対象科目の履修にあたっての注意：上限緩和者（化学コース）あるいは成績優秀者（生物科学コース、環境科学コース）制度に基づき上回生対象科目を履修しようとする場合は、履修登録前に必ず所属コースの教務担当教員に受講希望を伝え、指導を受けて下さい。

転コース

化学生物環境学科においては、各コースの学生受け入れ数の上限の範囲内で他のコースへの所属の移動（転コース）を認めています。転コースの時期は2回生、3回生、4回生開始時の計3回です。転コースに必要な単位の取得条件は移動先のコースによって異なっており（表3参照）、化学コースにおいては2回生開始時と3回生開始時でも条件が異なります（化学コースの内規参照）。なお、実験、実習等の際の安全を考慮し、各コース、各学年における学生の受け入れ数には上限が定められており（化学コース、生物科学コースはそれぞれ42名、環境科学コースは35名）、この上限数を超えて学生を受け入れることはできません。転コース希望者が多数となり、新年度開始時の学生数がこの上限数を超えると予想される場合は、それまでに取得した理学部専門教育科目の平均点をもとに、転コース希望者に対する選抜を行います。

新年度から転コースを希望する者は、前年度の2月までに化学生物環境学科長に申請することが必要です。なお、4回生から転コースしたい場合は、3回生時の後期開始時頃までに各コースに相談する必要があります。各コースのページを参照して下さい。申請の方法や書類については学務課理学部係に尋ねてください。

表 1. 卒業研究履修および課題研究履修に関する内規

表中の必修科目、選択必修科目、選択科目とは理学部専門教育科目のうち各コースがそれと指定した科目のことである。

化学コース	生物科学コース	環境科学コース
卒業研究Ⅰ、Ⅲ履修条件 (令和2年度以降入学者) ・卒業要件科目100単位以上 ・卒業要件の教養教育科目27単位以上 ・化学基礎実験、化学専門実験の単位をすべて取得 ・実験系科目以外の必修科目14単位中12単位以上 ・選択必修科目20単位中10単位以上 ・選択科目(化学系)31単位中15単位以上 (平成31年度以前入学者) ・卒業要件科目100単位以上 ・卒業要件の教養教育科目27単位以上 ・化学基礎実験、化学専門実験の単位をすべて取得 ・実験系科目以外の必修科目14単位中12単位以上 ・選択必修科目20単位中10単位以上 ・選択科目(化学系)35単位中15単位以上 ・化学キャリアセミナーⅠ～Ⅳから1単位以上	卒業研究Ⅰ、Ⅲ履修条件 (令和4年度以降入学者) ・卒業要件科目100単位以上 ・理学部専門教育科目60単位以上 ・必修科目12科目22単位中9科目16単位以上 ・選択必修の実習8科目8単位中4科目4単位以上 ・選択必修の「特論」系23科目23単位中5科目5単位以上 ・選択必修の「生物科学研究入門」系4科目12単位中1科目3単位(原則、卒業研究履修の直前の学期に修得していること) (令和3年度以前入学者) ・卒業要件科目100単位以上 ・理学部専門教育科目60単位以上 ・必修科目11科目20単位中9科目16単位以上 ・2回生対象の選択必修実習4科目4単位中2科目2単位以上を修得済み ・3回生対象の実習8科目8単位中、4科目4単位以上を修得済み ・3回生対象の演習科目2科目4単位中、1科目2単位以上を修得済み ・3回生対象の特論科目20科目20単位中、6科目6単位以上を修得済み	卒業研究Ⅰ、Ⅲ履修条件 ・卒業要件科目100単位以上 ・必修科目12単位中10単位以上 ・理学部専門教育科目50単位以上
卒業研究Ⅱ、Ⅳ履修条件 卒業研究ⅠまたはⅢの単位を取得済みである		
課題研究Ⅰ～Ⅳ履修条件 履修開始の要件：何らかの事情により卒業研究を履修することが困難で、事前に申請し、当該コースにおいて履修を承認されていること		
課題研究Ⅰ、Ⅲの履修 ・卒業要件科目80単位以上 (生物科学コースの令和4年度以降入学者に関しては、「生物科学研究入門」3単位を修得済みであることも必要)		
課題研究Ⅱ、Ⅳの履修 ・卒業要件科目100単位以上 ・卒業研究Ⅰ、Ⅲ、課題研究Ⅰ、Ⅲのいずれかの科目を履修済		

表 2. 成績優秀者、上限緩和認定者の認定に関する内規

表中の必修科目、選択必修科目、選択科目とは、理学部専門教育科目のうち各コースがそれと指定した科目のことである。

化学コース	生物科学コース	環境科学コース
上限緩和認定 1 回生終了時 - 卒業要件科目40単位以上、平均点85点以上 - 必修科目および選択必修科目の単位をすべて取得、化学生物環境学入門を除いた科目の平均点が90点以上 - 外国語科目 4 単位以上 - 保健体育科目 2 単位以上 - 外国語科目の 4 単位分、保健体育科目 2 単位分以外に教養教育科目を10単位以上	成績優秀者 1 回生終了時 - 卒業要件科目42単位以上、平均点80点以上 1 年次に配当される必修科目の単位を全て取得 - 専門教育科目10単位以上、平均点が85点以上	成績優秀者 1 回生終了時 - 卒業要件科目40単位以上、平均点85点以上 - 必修専門科目の単位全て取得 - 外国語科目 4 単位以上 - 保健体育科目 2 単位以上
上限緩和認定 2 回生前期終了時 - 卒業要件科目52単位以上、平均点が85点以上 - 必修科目、選択必修科目の単位をすべて取得、化学生物環境学入門を除いた科目のうち85点以上の科目が75%以上 - 外国語科目 6 単位以上 - 保健体育科目 2 単位以上 - 外国語科目 6 単位分、保健体育科目 2 単位分以外に教養教育科目を12単位以上		
上限緩和認定 2 回生後期終了時 - 卒業要件科目85単位以上、平均点85点以上 - 必修科目、選択必修科目の単位をすべて取得、化学生物環境学入門を除いた科目のうち85点以上の科目が70%以上 - 外国語科目 8 単位以上 - 保健体育科目 2 単位以上 - 外国語科目 8 単位分、保健体育科目 2 単位分以外に教養教育科目を20単位以上	成績優秀者 2 回生終了時 - 卒業要件科目84単位以上、平均点80点以上 2 年次までに配当される必修科目の単位を全て取得 - 専門教育科目35単位以上、平均点85点以上	成績優秀者 2 回生終了時 - 卒業要件科目80単位以上、平均点85点以上 - 専門科目40単位以上、平均点85点以上 - 必修科目の単位全て取得 - 外国語科目 8 単位以上 - 保健体育科目 2 単位以上
成績優秀者 3 回生終了時 - 卒業要件科目110単位以上 - 卒業研究履修に関する化学コース内規を満たす - 卒業に必要な教養教育科目を全て取得、平均80点以上 - 取得した必修科目、選択必修科目、選択科目のうち、85点以上の科目が70%以上	成績優秀者 3 回生終了時 - 卒業要件科目126単位以上 - 平均点80点以上 3 年次までに配当される必修科目の単位を全て取得 - 専門教育科目70単位以上、平均点88点以上	成績優秀者 3 回生終了時 - 卒業要件科目120単位以上、平均点85点以上 - 専門科目80単位以上、平均点85点以上 - 外国語科目 8 単位以上 - 保健体育科目 2 単位以上 - 必修科目の単位全て取得
成績優秀者 早期卒業時 - 卒業に必要な単位（理学部規程第4条）の取得 - 卒業研究Ⅰ～Ⅳのうち2科目10単位が90点以上 - 取得した教養教育科目の平均点80点以上 - 取得した必修科目、選択必修科目、選択科目のうち、85点以上の科目が70%以上	成績優秀者 早期卒業時 - 卒業要件科目131単位以上 - 平均点80点以上 4 年前期までに配当される必修科目の単位を全て取得 - 専門教育科目75単位以上、平均点88点以上 - 卒業研究2科目10単位を取得	成績優秀者 早期卒業時 - 卒業研究Ⅰ～Ⅳのうち履修した2科目についてそれぞれ85点以上 - 卒業要件科目平均点85点以上 - 専門科目（化学生物環境学科開講科目）平均点85点以上

表 3. 転コースに関する内規

化学コース※	生物科学コース※※	環境科学コース※※
各コースの受入上限数（各学年、化学コースと生物科学コースは42人、環境科学コースは35人）を超える場合、理学部専門教育科目の点数の平均点上位の者から順に受入		
「化学生物環境学入門」「化学基礎実験1」の単位取得 - 選択必修科目から3科目6単位以上	「化学生物環境学入門」「基礎細胞生物学」「生物多様性学」の単位取得	「化学生物環境学入門」「環境科学基礎プログラミング」「環境科学基礎プログラミング演習」の単位取得

※ 化学コースについては、年次によって転コースに関する規則が異なる。ここに示したのは二年次進級時の規則である。三年次進級時以降の転コースについては化学コースの内規を参照すること。
 なお、表中の選択必修科目とは理学部専門教育科目のうち化学コースがそれと指定した科目のことである。

※※ 生物科学コース、環境科学コースへの転コースについては、二回生開始時、三回生開始時、四回生開始時のいずれについてもここに示した規則が適用される。

〈化学コース〉

◆令和2（2020）年度以降入学者用

※平成31（2019）年度以前入学者の方は、個別に配布する履修案内をご覧ください。

あなたの時間割は、教養教育科目の授業時間割表と理学部専門教育科目（化学生物環境学科共通科目と化学生物環境学科コース科目）の授業時間割表を相互に参照して作成して下さい。どの科目を履修するか、どのような時間割を立てるかは、皆さんの自由です。しかし、卒業するには所定の単位を取らなければなりません。卒業に必要な単位数は、『Campus Life』（あなたの入学年度発行のもの）に記載されている理学部規程第4条で規定されています。また、1年間に履修登録できる授業科目の単位数には上限があります。また、化学コースでは4年次で「卒業研究Ⅰ～Ⅳ（化学）」から2つあるいは「課題研究Ⅰ～Ⅳ（化学）」から2つを履修する前提として、3年次までに所定の単位を取得する必要があります（これを「化学コース内規」と呼びます）。これについては後述の内規についての項（Ⅳ章）を参照してください。

Ⅰ. 教養教育科目

教養教育科目は大学生としての一般教養を深める科目です。化学系の科目として「化学の常識」も開講されますので、皆さんの興味に基づいて自由に科目を選択し、学問的な視野を広げてください。ただし、卒業のために必要な単位数が規定されています（理学部規程第4条参照）ので注意してください。なお、外国語科目については、化学の分野では英語が重要ですので、外国語科目の単位のうちの必修8単位分についてはできるだけ英語を選択することが望ましいです（もちろんそれに加えて他の外国語を学ぶことも自由です）。

また、1回生の最初に大学の「学問」に触れることを目的とした「パサーージュ」も開講されています。化学や化学を学ぶのに必要な科目も設定されていますので、履修制限はありますが、興味に応じて履修してください。

Ⅱ. 学部共通科目

理学部共通科目として「サイエンス・オープンラボⅠおよびⅡ」、「数物の探求」、「現代科学の最前線—数学・宇宙・物質・生命・情報のフロンティア—」が開講されます。詳細についてはガイダンス等で適宜連絡します。履修登録科目単位数の上限設定の制約を受けない科目です。

Ⅲ. 専門教育科目

化学生物環境学科の専門教育科目には、学科共通科目とコース科目（化学系、生物科学系、環境科学系）があります。卒業のために必要な「専門教育科目」の単位数も規定されています（理学部規程第4条参照）。また、卒業要件以外にも化学コースの内規として履修を求める要件があります。

(卒業のために必要な「専門教育科目」の単位数)

1. 専門教育科目のうち、必修科目24単位、選択必修科目20単位以上(卒業研究2科目履修の場合)又は17単位以上(卒業研究1科目及び課題研究1科目履修の場合)又は14単位以上(課題研究2科目履修の場合)のいずれか、選択科目20単位以上および自由科目を含め、計75単位以上を修得すること。
2. 選択必修科目のうち、微分積分学概論Ⅰ、線型代数学概論Ⅰ、微分積分学概論Ⅱ、線型代数学概論Ⅱ、化学のための物理1、化学のための物理2、基礎化学1、基礎化学2、基礎化学3、基礎化学4の中から5科目10単位を選択必修すること。
3. 卒業研究Ⅰ(化学)、卒業研究Ⅲ(化学)、課題研究Ⅰ(化学)、課題研究Ⅲ(化学)の中から1科目(5または2単位)を選択必修すること。
4. 卒業研究Ⅱ(化学)、卒業研究Ⅳ(化学)、課題研究Ⅱ(化学)、課題研究Ⅳ(化学)の中から1科目(5または2単位)を選択必修すること。
5. 卒業研究Ⅱまたは卒業研究Ⅳを履修するためには卒業研究Ⅰまたは卒業研究Ⅲの単位取得が必要である。
6. 課題研究Ⅱまたは課題研究Ⅳを履修するためには課題研究Ⅰまたは課題研究Ⅲ、あるいは卒業研究Ⅰまたは卒業研究Ⅲを履修済み(単位を取得していなくてもよい)であることが必要である。
7. 卒業研究、課題研究で単位として認められるのは2科目までとする。
8. 卒業研究の履修については別に定める(Ⅳ-A、「卒業研究履修に関する化学コース内規について」を参照)。

Ⅲ-A. 専門教育科目の連携と分類

令和2(2020)年度以降入学の皆さんの専門教育科目の体系を図1(136ページ)に示します。
それぞれの科目は以下の4種類に分類されています(図中では色分けされています)。

必修科目(薄赤色)：

卒業するためには必ず単位を取得する必要がある科目です。主に1、2年次に履修する化学の基礎となる科目と実験系科目です(理学部規程上の必修科目)。

選択必修科目：(薄赤色グラデーション)

1年次に配当されている学科共通科目10科目20単位については、その中から10単位以上の取得が卒業の要件になっています。4年次に配当されている「卒業研究Ⅰ～Ⅳ(化学)」は研究室に配属されたあとに履修する科目で4科目中2科目の修得が必要です。
場合によっては「卒業研究」ではなく、研究室に配属されない「課題研究Ⅰ～Ⅳ(化学)」を履修することも可能ですが、詳細はⅣ章を参照してください(理学部規程上の選択必修科目)。

選択科目：(灰色)

化学の基礎的な内容からやや応用的な内容までが含まれており、カリキュラムに沿って科目を連続して履修することで化学の体系を修得できます。また、化学・生物科学・環境科学を学ぶにあたり関連の深い数学系の科目や、化学と生物科学または環境科学との学際的な内容を含む科目も該当します（理学部規程上の選択科目）。

自由科目（図 1 には示されていません）：

上記以外の学科共通科目およびコース科目です。皆さんの興味に応じて自由に選択できる科目です（理学部規程上の自由科目）。

1 年次に開講される次の枠内に掲げた物理系、化学系、数学系科目は選択必修科目ですが、これらは化学にとどまらず理科系の学問を専攻する上での基礎となる重要な科目ですので、必ず履修してください。

化学のための物理 1・2

基礎化学 1・2・3・4

微分積分学概論 I・II

線型代数学概論 I・II

図 1 化学コースにおける主な科目の連携を示す図 (令和 2 (2020) 年度以降入学用) 括弧内の数字は単位数

	<基礎系>			<数学系>	<共通系>	<実験系>	<生物科学系・環境科学系>
前期	↑ 化学のための物理1 (2) (力学)	↑ 基礎化学1 (2) (原子と周期表)	↑ 基礎化学2 (2) (酸・塩基)	↑ 微分積分学概論 I (2) ↑ 線型代数学概論 I (2)	化学生物環境学入門(2)		化学生物環境数学1(2)
1 年次							
後期	↑ 化学のための物理2 (2) (電磁気・波動)	↑ 基礎化学3 (2) (化学結合)	↑ 基礎化学4 (2) (有機化学全般基礎)	↑ 微分積分学概論 II (2) ↑ 線型代数学概論 II (2)	化学基礎実験1 (B)(2)	化学基礎実験2 (2)	化学生物環境数学2(2)
前期	<物理化学系> 物理化学通論1 (2) (熱力学基礎)	<基礎系> 固体化学入門 (1)	<無機化学系> 無機化学通論1 (2) (典型元素)	<有機化学系> 有機化学通論1 (2) (飽和炭化水素)	機器分析法 I (1)	化学基礎実験2 (2)	生物環境統計学(2) 生化学(2) 基礎遺伝学(2) 数値計算法(2)
2 年次	物理化学通論2 (2) (量子論入門) 物理化学通論3 (1) (熱力学基礎) 化学熱力学1 (1)		無機化学通論2 (2) (遷移元素) 無機化学通論3 (2) (酸塩基・酸化還元)	有機化学通論2 (2) (不飽和炭化水素)	機器分析法 II (1)	化学基礎実験3 (2)	生命圏の地球化学(2) 分子遺伝学(2)
後期							
前期	量子化学 (2) 化学熱力学2 (1) 化学熱力学3 (1)	錯体化学 I (1) 錯体化学 II (1)	脂肪族化学 I (1) 脂肪族化学 II (1)	共役系化学 (1) 芳香族化学 (1)	基礎化学英語 (1) 奈良女子大の化学 (1)	化学専門実験1 (2)	
3 年次							
後期	化学統計力学 (2) 化学反応速度論 (1)	固体物性化学 (1) 有機金属化学入門 (1) 光化学入門 (1)	高分子科学 (1) 有機化学演習 (1)	生物化学 I (1) 生物化学 II (1)	有機化合物構造決定法 (2)	化学専門実験2 (2)	環境機能化学 (2)
前期							
4 年次	卒業研究 I or IV (5) 卒業研究 II or III (5)	化学英語アクティブラーニング I or IV (1) 化学英語アクティブラーニング II or III (1)	化学情報アクティブラーニング I or IV (1) 化学情報アクティブラーニング II or III (1)		<課題研究> 課題研究 I or IV (2) 課題研究 II or III (2)	<大学院科目先行履修> 大学院人間文化総合科学研究科(博士前期課程)開講科目 受講対象:6年一貫教育プログラム生、先行履修教育プログラム生、編入生大学院進学支援プログラム生	

必修科目 選択必修科目 選択科目 学科共通科目

↑ 1 0 科目中 5 科目必修 4 科目中 2 科目必修

Ⅲ－B．化学生物環境学科共通科目

化学生物環境学科共通科目は重要性などに応じて必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目に分かれています。

化学コースでは「化学生物環境学入門」「化学基礎実験 1、2、3」（いずれも履修登録科目単位数の上限設定の制約を受けません）を必修科目として指定しています。「化学生物環境学入門」では化学生物環境学科に入学した皆さんが卒業までの4年間にどのような学問を学んでいくのかを概観していきます。1年次に開講される「化学基礎実験 1」においては、実験を開始するにあたって必要な安全教育、安全実習を経た後、化学薬品や実験器具の基礎的な取り扱い方法を身につけていきます。実験系科目の詳細についてはⅢ－D節で詳述します。

「化学のための物理 1 および 2」、「基礎化学 1～4」、「微分積分学概論 I および II」、「線型代数学概論 I および II」は選択必修科目となっており、この中から10単位以上の取得が卒業要件となっています。これらいずれもの科目も、広く理科および化学の基礎となる重要な内容を含んでいますので必ず履修してください。また、最終年度に皆さんが研究室に配属されるためには、配属時までこの中から10単位以上の取得が必要なのが化学コースの「卒業研究履修に関する内規」によって定められています。しかし、これらの科目はいずれも基礎的なものであり、内規や卒業要件の規程にかかわらず積極的に履修してください。「卒業研究履修に関する内規」については141ページを参照してください。「卒業研究」でなく、「課題研究」を履修する場合も内規があります。

「化学のための物理 1 および 2」（各 2 単位計 4 単位）は科目名が「…物理」となっていますが、内容は専門的な物理学ではなく、大学でどの分野の理科を専攻する上でもその基本になるもので、化学を専攻する理科系の大学生として皆さんの「常識」となってほしい「基本の物理」です（もちろんこれらの科目は大学の教科内容であり、「高校物理」の補習や復習ではありません）。これらの科目は、高校物理を履修していたかどうかにかかわらず、大学の理科すべての基礎となりますので、履修して学んでください。

「基礎化学 1～4」（各 2 単位計 8 単位）はどの科目もあらゆる化学の分野の基礎となる内容となっています。その上にそれ以降の化学の専門科目が積み重ねられていきます。これらの基礎的な科目を確実に修得することにより、丸暗記とは異なる「考える化学」、「本質を理解する化学」といった大学の化学の世界へ皆さんが入って行くことになります。

「基礎化学 1～4」では、以下の書籍を共通の教科書として指定していますので、購入して使ってください（この書籍は国内外の大学で一般化学の教科書として広く使われている著名で定評のあるものです）。

基礎化学 1～4：ブラウン著『一般化学』（原書13版） I・II 丸善出版

「微分積分学概論ⅠおよびⅡ」、「線型代数学概論ⅠおよびⅡ」（各2単位計8単位）も必ず履修してください。なぜなら数学は理科のための必須のツールだからです。

化学の内容は生物科学・環境科学とも関連しており、そのような分野の科目も多数開講されます。皆さんの興味に応じて上記以外の科目を自由に選択し、科学的な視野を広げることが望ましいでしょう。

Ⅲ－C. 化学生物環境学科コース科目（化学系）について

化学生物環境学科コース科目の中でも、化学系の科目は本コースの専門教育の中心をなすものです。1年次の化学の基礎に引き続き、2～4年次にかけて世界標準の化学系学部教育の内容を網羅した体系になっています。これらの科目の履修に際しては、単に授業に出席して聴講するだけでは内容の修得はおぼつきません。むしろ講義は皆さんの“勉強の一助”くらいの心構えで、講義自体や自分の講義ノートに加えて、教科書、推薦参考書、図書館蔵書の参考書、インターネット等を総合的に使って、自分で労を惜しまずにじっくり時間をかけて自習することが大切です（年間の登録単位数に上限の設定があるのも、このような自習時間を十分確保するという趣旨で行われています）。化学コースの教員は授業時間外でも皆さんの個別の質問に快く応じますので、遠慮せずに教員の居室を訪ねてください（全学教育ガイドの巻末掲載の各教員のオフィスアワーの項を参照）。

コース科目（化学系）は、内容別に物理化学系科目、無機化学系科目、有機化学系科目の3大分野の科目と、それ以外の化学の全分野に共通的な内容を含む共通系科目、それに実験系科目とに分類することができます。

2年次以降、1年次までの土台の上に、物理化学系、無機化学系、有機化学系の各分野の科目を履修します。必修科目や2年次までに配当される選択科目は、化学を理解するためには不可欠で基礎的な科目です。その後、3年次に配当される選択科目を履修することにより、化学全般の基礎からより発展的な内容までを履修することになります。

2年次以降のコース科目（化学系）では、以下の書籍を基本的教科書として指定していますので、購入して使ってください（これらの教科書は国内外の大学の化学コース学部課程で教科書として広く使われている定評のあるものです）。

物理化学系：ボール著『ボール物理化学』（第2版）上・下 化学同人

無機化学系：シュライバー・アトキンス著『無機化学』（第6版）上・下 東京化学同人

有機化学系：ボルハルト・ショアー著『現代有機化学』（第8版）上・下 化学同人

Ⅲ－D．実験系科目

化学は自然科学ですので、実験を行って観察することがすべての原点です。実験を行って初めて講義や本で学ぶことを実感として捉えることができます。実験系科目は大変重要で、もちろん全て必修科目です。

化学基礎実験 1（1 年次後期、2 単位）

化学基礎実験 2（2 年次前期、2 単位）

化学基礎実験 3（2 年次後期、2 単位）

化学専門実験 1（3 年次前期、2 単位）

化学専門実験 2（3 年次後期、2 単位）

1 年次後期に「化学基礎実験 1」（木曜の午後）を履修し、化学実験を行うにあたり最も重要な安全に関する知識（安全教育）と化学実験の基本操作について修得します。その後 3 年次終了まで、「化学基礎実験 2、3」、「化学専門実験 1、2」を履修し、毎週（2 年次は火曜の午後、3 年次は木曜および金曜の午後）実験を行います。実験は化学コース学生実験室（C 棟 2、3 階）、化学生物環境学科共通実験室（G 棟 2 階）および計算機実習室（G 棟 1、3、4 階）で行います。「化学基礎実験 1～3」と「化学専門実験 1、2」は化学コースの専門授業科目と密接に連携しているため（シラバス参照）、履修登録科目単位数の上限設定の制約を受けません。

これら実験系科目の履修に際しては、白衣・防護めがねの着用と「保険」の加入を義務づけています。ここでいう「保険」とは、学生生活課にて加入することができる「学生教育研究災害障害保険」と「学研災付帯賠償責任保険」（『Campus Life』に詳細が記載されています）、あるいは「これらの保険が保障する内容以上の補償が可能な他の（皆さんが独自に加入された、生協等が斡旋している）保険」のことを指します。後者の保険に加入している場合は、保険証券のコピーを実験開始時まで教員の指示に従って提出してください。

実験系科目では、実験内容の説明やレポートの添削・講評がその中で行われます。実験に先立ち、必ず予習をし当日の実験に備える必要があります。また全ての実験テーマの全実験参加、全レポート提出は単位認定の必要条件です。また全回出席・参加しなければなりません。実験操作を行うだけでなく、レポートを執筆・作成し提出することは理科系の世界では大変重要なことです。なお、実験欠席に対する代替の措置は原則としてできませんので注意してください。

Ⅲ－E．履修モデル

表 1 に示す履修モデルは、学生が修得することが望ましい科目の一覧を示しています。2 年生選択科目のうち化学コース専門科目については、どの科目も 3 年生科目の内容と関連する重要な科目ですので、できるだけ優先して履修するようにしてください。

表 1 化学コース履修モデル (令和 2 (2020) 年度以降入学者用)

(赤：必修科目、黒下線：選択必修科目、黒：選択科目 括弧内の数字は単位数を表す。)

年次	学期	科目名	単位数
1 年	前期	化学生物環境学入門(2) 化学のための物理 1 (2) 基礎化学 1 (2) 基礎化学 2 (2) 微分積分学概論 I (2) 線型代数学概論 I (2)	12
	後期	化学基礎実験 1 (B) (2) 化学のための物理 2 (2) 基礎化学 3 (2) 基礎化学 4 (2) 微分積分学概論 II (2) 線型代数学概論 II (2)	12
2 年	前期	化学基礎実験 2 (2) 物理化学通論 1 (2) 無機化学通論 1 (2) 有機化学通論 1 (2) 《以下の科目から 2 単位分を選択》 機器分析法 I (1) 固体化学入門(1) 生物環境統計学(2) 生化学(2) 基礎遺伝学(2) 数値計算法(2)	10
	後期	化学基礎実験 3 (2) 物理化学通論 2 (2) 無機化学通論 2 (2) 有機化学通論 2 (2) 《以下の科目から 5 単位分を選択》 物理化学通論 3 (1) 無機化学通論 3 (2) 機器分析法 II (1) 化学熱力学 1 (1) 生命圏の地球化学(2) 分子遺伝学(2)	13
3 年	前期	化学専門実験 1 (2) 教養としての化学数学(1) * 《以下の科目から 10 単位分を選択》 量子化学(2) 化学熱力学 2 (1) 化学熱力学 3 (1) 錯体化学 I (1) 錯体化学 II (1) 脂肪族化学 I (1) 脂肪族化学 II (1) 共役系化学 (1) 芳香族化学(1) 基礎化学英語(1) 奈良女子大の化学(1)	13
	後期	化学専門実験 2 (2) 化学統計力学(2) 化学反応速度論(1) 固体物性化学(1) 有機金属化学入門(1) 光化学入門(1) 高分子科学(1) 有機化学演習(1) 生物化学 I (1) 生物化学 II (1) 環境機能化学 (2) 有機化合物構造決定法(2)	16
4 年	前期	卒業研究 I (5) 化学英語アクティブラーニング I (1) 化学情報アクティブ検索 I (1)	7
	後期	卒業研究 II (5) 化学英語アクティブラーニング II (1) 化学情報アクティブ検索 II (1)	7
*令和 6 年度以前入学者用			計 90

IV. 卒業研究、課題研究

化学コースでは「卒業研究」を学部専門教育課程の中で最も重要なものと位置づけています。卒業研究は1～3年次までの「学習」の集大成といえますが、既成の知識の単なる「学習」ではなく、皆さんが希望する分野の研究室で、未知の対象の「研究」を（指導教員の助言を得て）皆さん自身の手で行うものです。この創造的な作業こそが理科系の学問の最も本質的なことです。その1年間皆さんには“単位や成績”を超越した、自然現象の真実をつかんでくださることを私たち教員は願っています。

4年次に研究室に配属されて行う科目には「卒業研究Ⅰ～Ⅳ（化学）」（それぞれ5単位）があります。「卒業研究Ⅰ～Ⅳ（化学）」を履修できる前提として化学コース内規で条件が定められています（Ⅳ－A、「卒業研究履修に関する化学コース内規について」を参照）。「卒業研究Ⅰ～Ⅳ（化学）」では化学コースのいずれかの分野の研究室に配属され、一年を通じて同一の指導教員のもとに2科目（10単位）を履修する（卒業研究を行う）ものです。卒業研究についての詳しい内容は3年次後期になってから履修ガイダンスで説明します。卒業研究のための各研究室への配属は通常、毎年2月末に行われ、配属の際には学生各自の志望が優先されますが、状況に応じて成績も考慮されます。卒業研究履修者は、「化学英語アクティブラーニングⅠ～Ⅳ」「化学情報アクティブ検索Ⅰ～Ⅳ」（前期・後期開講、各1単位）を履修できます（理学部専門教育科目一覧の表を参照）。

なお、「卒業研究」を履修せずに、配属によらない「課題研究Ⅰ～Ⅳ（化学）」（それぞれ2単位）を履修することも可能です。課題研究を履修できる前提として化学コース内規で条件が定められています（Ⅳ－B、「課題研究履修に関する化学コース内規について」を参照）。ただし、4年次前期に課題研究の2単位を取得した場合、4年次後期で履修できるのは課題研究のみで卒業研究を履修することができなくなりますので、課題研究を選択する際には十分に考慮してください。なお、卒業研究、課題研究はともに履修登録科目単位数の上限設定の制約を受けません。

Ⅳ－A. 卒業研究履修に関する化学コース内規について

本内規は、卒業研究（4年次配当）を履修するための要件を設定したものです。要件は必要単位のあくまで「下限」を示したものですので、専門教育科目については表の数値にこだわらず、できるだけ多くの科目を消化不良にならない範囲で履修するようにしてください。令和2（2020）年度以降入学の皆さんの内規は次の通りです。

【内規】

4年次で卒業研究を履修するためには、3年次終了時に以下の要件を満たすことが必要である。

要件1）卒業要件科目の取得単位数が100単位以上であること。（*）

要件2）卒業要件の教養教育科目（30単位以上、理学部規程を確認のこと）の取得単位数が27単位以上であること。

要件3) 化学生物環境学科専門教育科目について表2の条件を満たしていること。

(*) 3年次編入生に対しては、卒業要件科目の取得単位数が96単位以上とする。

表2. 化学コース卒業研究履修条件 (令和2(2020)年度以降入学者用 括弧内の数字は単位数を表す)

必修科目	化学生物環境学入門(2) 物理化学通論1(2) 無機化学通論1(2) 有機化学通論1(2) 物理化学通論2(2) 無機化学通論2(2) 有機化学通論2(2)	12単位以上
必修科目	化学基礎実験1(2) 化学基礎実験2(2) 化学基礎実験3(2) 化学専門実験1(2) 化学専門実験2(2)	10単位
選択必修科目	基礎化学1(2) 基礎化学2(2) 基礎化学3(2) 基礎化学4(2) 化学のための物理1(2) 化学のための物理2(2) 微分積分学概論Ⅰ(2) 微分積分学概論Ⅱ(2) 線型代数学概論Ⅰ(2) 線型代数学概論Ⅱ(2)	10単位以上
選択科目 コース科目 (化学系)	無機化学通論3(2) 化学統計力学(2) 量子化学(2) 有機化合物構造決定法(2) 物理化学通論3(1) 化学熱力学1(1) 化学熱力学2(1) 化学熱力学3(1) 化学反応速度論(1) 固体化学入門(1) 錯体化学Ⅰ(1) 錯体化学Ⅱ(1) 固体物性化学(1) 有機金属化学入門(1) 光化学入門(1) 脂肪族化学Ⅰ(1) 脂肪族化学Ⅱ(1) 共役系化学(1) 芳香族化学(1) 高分子科学(1) 有機化学演習(1) 生物化学Ⅰ(1) 生物化学Ⅱ(1) 機器分析法Ⅰ(1) 機器分析法Ⅱ(1) 基礎化学英語(1) 奈良女子大の化学(1)	15単位以上
選択科目 学科共通科目 コース科目 (生物科学系、 環境科学系)	化学生物環境数学1(2) 化学生物環境数学2(2) 生物環境統計学(2) 生化学(2) 基礎遺伝学(2) 数値計算法(2) 生命圏の地球化学(2) 分子遺伝学(2) 分子細胞工学(2)* グリーンケミストリー(2)* 環境機能化学(2) 大気化学入門(2)*	

*令和4年度以前入学者用

(注) 卒業のために必要な単位数については、入学年度に対応した『Campus Life』の理学部規程第4条をよく読むこと。総単位数だけでなく、科目区分に対しても細かく(理学部規程第4条の表のように)設定されていることに注意されたい。化学コース本内規はそれらそれぞれの必要単位に対して要件を別途設定しているものであり、上記の要件が満たされ、かつ卒業研究の単位を取得すれば直ちに卒業要件が満たされるということではない。また、卒業に必要な化学生物環境学科専門教育科目の単位数は、必修科目、選択必修科目、選択科目および自由科目をあわせて75単位以上であることに留意すること。

【内規は以上】

Ⅳ－B. 課題研究履修に関する化学コース内規について

課題研究の履修にあたっては履修開始前に化学コースにおいて承認を受ける必要があります。手続き等の詳細については化学コース長に問い合わせてください。

【内規】

課題研究を履修できるのは、以下の「課題研究履修についての要件」を満たし課題研究の履修を学生本人が希望した場合、あるいは「卒業研究履修に関する化学コース内規」を満たしているが特別な理由により本人が課題研究の履修を希望した場合である。なお、課題研究の第一学期目の2単位を取得した場合、それ以降の学期に「卒業研究」は履修できない。また、課題研究履修にあたっては事前にその履修指導を受けることが必要である。

- 課題研究Ⅰまたは課題研究Ⅲを履修するためには以下の要件を満たすことが必要である。
要件1) 卒業要件科目の取得単位数が80単位以上であること。
- 課題研究Ⅱまたは課題研究Ⅳを履修するためには以下の要件を満たすことが必要である。
要件1) 卒業研究ⅠあるいはⅢ、課題研究ⅠあるいはⅢのいずれかを履修済みであること。
要件2) 卒業要件科目の取得単位数が100単位以上であること。

【内規は以上】

Ⅴ. 履修登録単位数の上限

1年間に履修登録できる授業科目の単位数を44単位までとしています。ここで、授業科目とは基礎科目群、教養科目群、専門教育科目をいいます。教職科目や「サイエンス・オープンラボⅠ・Ⅱ」、「数物の探求」、「現代科学の最前線－数学・宇宙・物質・生命・情報のフロンティアー」はこの単位数には含めません。また、化学生物環境学科専門教育科目のうち以下の科目も上限に含まれません。

化学生物環境学入門、化学基礎実験1～3、化学専門実験1・2、奈良女子大の化学、卒業研究Ⅰ～Ⅳ（化学）、課題研究Ⅰ～Ⅳ（化学）

Ⅵ. 成績が優秀な者に対する履修登録科目の上限の緩和

優秀な成績を修めた方は、次の学期以降（ある期間まで）は履修登録できる科目単位数の上限（44単位）を越えて履修登録することができます。上限緩和の認定者は当該年次より上の学年で配当される科目を履修することができます。ただし、「卒業研究Ⅰ～Ⅳ（化学）」を履修するためには卒業研究履修に関する化学コース内規に定められた要件を満たすことが必要です。

上限緩和の認定は、3つの時点（1年次終了時、2年次前期終了時、および2年次終了時）にそれぞれ別々に行います。上限緩和の認定および上限を超えて履修登録できる単位数の基準は、

令和2（2020）年度以降の入学生に対しては以下の通りです。

A. 1年次終了時の上限緩和認定の基準

1. 卒業要件科目の取得単位数が40単位以上であること。また、その平均点が1科目当たり85点以上であること。
2. 1年次で配当される化学コースの必修科目および選択必修科目の単位を全て取得すること。また、ここから化学生物環境学入門を除いた科目の平均点が1科目当たり90点以上であること。
3. 外国語科目を4単位以上取得していること。
4. 保健体育科目を2単位以上取得していること。
5. 外国語科目の4単位分および保健体育科目2単位分を除いて、教養教育科目を10単位以上取得していること。

（注）1年次終了時に上限緩和認定された場合、2年次で3年次以上に配当される科目を履修することができます。2年次の1年間に54単位（44+10単位）まで履修登録することができます。

B. 2年次前期終了時の上限緩和認定の基準

1. 卒業要件科目の取得単位数が52単位以上であること。また、その平均点が1科目当たり85点以上であること。
2. 2年次前期までに配当される化学コースの必修科目、選択必修科目の単位を全て取得していること。また、化学生物環境学入門を除いた科目のうち85点以上の科目が75%以上であること。
3. 外国語科目を6単位以上取得していること。
4. 保健体育科目を2単位以上取得していること。
5. 外国語科目の6単位分および保健体育科目2単位分を除いて、教養教育科目を12単位以上取得していること。

（注）2年次前期終了時に上限緩和認定された場合、2年次後期で3年次以上に配当される科目を履修することができます。また、2年次の1年間に履修登録できる単位数の上限は、50単位（44単位+6単位）です。

C. 2年次終了時の上限緩和認定の基準

1. 卒業要件科目の取得単位数が85単位以上であること。また、その平均点が1科目当たり85点以上であること。
2. 2年次までに配当される化学コースの必修科目、選択必修科目の単位を全て取得している

こと。また、化学生物環境学入門を除いた科目のうち85点以上の科目が70%以上であること。

3. 外国語科目を8単位以上取得していること。
4. 保健体育科目を2単位以上取得していること。
5. 外国語科目の8単位分および保健体育科目2単位分を除いて、教養教育科目を20単位以上取得していること。

(注) 2年次終了時に上限緩和認定された場合、3年次の1年間に54単位(44+10単位)まで履修登録することができます。

Ⅶ. 成績優秀者の判定

優秀な成績を修めた方は成績優秀者に認定されます。成績優秀者の認定は3年次終了時に行います。成績優秀者の判定基準は以下のとおりです。

1. 卒業要件科目を110単位以上取得していること。
2. 卒業研究履修に関する化学コースの内規の要件を全て満たしていること。
3. 卒業に必要な教養教育科目を全て取得していること。また、その平均点が1科目あたり80点以上であること。
4. 単位を取得した化学コースの必修科目(化学生物環境学入門以外)、選択必修科目、および選択科目(奈良女子大の化学以外)のうち、85点以上の科目が70%以上であること。

Ⅷ. 3年以上4年未満での卒業認定(早期卒業)

本学に3年以上在籍し、理学部規程第4条に定められた単位数を修得した方は、3年次終了時あるいは4年次前期終了時に成績優秀者として卒業資格を得たものと認定される場合があります。

3年以上4年未満で卒業資格の認定を希望する方は、認定希望時期の6か月前までに学部長に申告する必要があります。申告の方法や書類については学務課理学部係に尋ねてください。

化学コースでは、3年以上4年未満での卒業認定のための条件は以下のとおりです。

1. 理学部規程第4条に定められた卒業に必要な単位を取得していること。
2. 「卒業研究Ⅰ～Ⅳ(化学)」のうち2科目10単位を取得し、その点数が90点以上であること。
3. 単位を取得した教養教育科目の平均点が1科目あたり80点以上であること。
4. 単位を取得した化学コースの必修科目(化学生物環境学入門以外)、選択必修科目、および選択科目(奈良女子大の化学以外)のうち、85点以上の科目が70%以上であること。

(注1) 理学部規程で定められた卒業要件を本学在学4年未満で満たすためには、1年次終了時あるいは2年次前期終了時に上限緩和認定されることが不可欠です。特に、3年次終了時に卒業認定を受けるためには、1年次終了時に上限緩和認定されることが不可欠です。

(注2) 3年次終了時で卒業資格を得るためには、2年次終了時に卒業研究履修に関する化学

コース内規の要件を満たしていることが必要です。

(注3) 4年次前期終了時で卒業資格を得るためには、3年次前期終了時に卒業研究履修に関する化学コース内規の要件を満たしていることが必要です。

IX. 他コースから化学コースへの転コースについて

化学コースでは生物科学コース、環境科学コースからの転コースを認めます。ただし、転コース希望者が多数の場合、次年度開始時の化学コースの学生数が上限数(各学年42名)を超えないよう、単位取得済みの専門教育科目の平均点をもとに選抜を行います。転コースの時期は年度の始めです。転コースのための要件は、転コースが2年次進級時の場合と3年次進級時以降の場合で異なります。これは、転コース後に化学コースのカリキュラムを無理なく履修できるようにとの配慮からです。次年度に転コースを希望する学生はその年度の2月末までに化学生物環境学科長に申請してください。転コースのための要件は年次ごとに以下のようになっています。

A. 2年次進級時における転コースのための要件

1. 「化学生物環境学入門」、「化学基礎実験1」の単位を取得していること。
2. 化学コースの選択必修科目(微分積分学概論Ⅰ・Ⅱ、線型代数学概論Ⅰ・Ⅱ、化学のための物理1・2、基礎化学1～4)から3科目6単位以上を取得していること。

B. 3年次進級時以降における転コースのための要件

1. 2年次までに配当される化学コースの必修科目(化学生物環境学入門、化学基礎実験1～3、物理化学通論1・2、無機化学通論1・2、有機化学通論1・2)の単位をすべて取得していること。
2. 化学コースの選択必修科目(微分積分学概論Ⅰ・Ⅱ、線型代数学概論Ⅰ・Ⅱ、化学のための物理1・2、基礎化学1～4)から5科目10単位以上を取得していること。

なお、4年次進級時以降の転コースでは、卒業研究の履修に関する化学コースの内規が満たされている場合、化学コースに転コース後、化学コースの配属の手続きを経て卒業研究または課題研究を履修することができます。また、課題研究の履修に関する化学コースの内規が満たされている場合には、化学コースに転コース後、課題研究を履修することができます。転コースと同時に卒業研究または課題研究の履修を希望する学生は、前年度の10月末までに化学コース長に必ず相談してください。また、11月から2月にかけて行われる卒業研究と課題研究の分属に関係した化学コースの行事に必ず参加してください。

X. 3年次編入生対象科目について

「編入生対象授業科目一覧」(177ページ)にある授業科目は、3年次編入学試験を経て入学した学生を対象に必要に応じ特別に開設される授業科目であり、編入生以外は受講しても単位にはなりません。3年次編入生がこれらの対象授業科目を履修する際には、必ず化学コース教務担当教員に相談してください。3年次編入生に対しても、1年間で履修登録できる授業科目の上限が同様に設定されているので注意してください。

XI-A. 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程） 6年一貫教育プログラムについて

6年一貫教育プログラムは、学部教育カリキュラムと大学院博士前期課程の教育カリキュラムの連携を強め、学業優秀な学生が専門分野の探求を深めるとともに周辺分野にも視野を広げることを目的として設定されました。このプログラムに選抜された学生の大学院進学は、特別選抜により行われます。

6年一貫教育プログラムに選抜された学生は、4年次に大学院人間文化総合科学研究科化学生物環境学専攻の授業科目を履修することができます。取得した単位は、本学大学院に進学した後本人からの申し出により、博士前期課程修了に必要な単位として認定されます。以下に履修できる科目と単位数および応募資格を示します。

1. 応募資格

卒業研究（化学）を履修する学生で、卒業研究以外の卒業要件単位を修得しているもの。

2. 応募方法

「奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）6年一貫教育プログラム申請書」および「奈良女子大学科目等履修生入学願書」を学務課理学部係に提出してください。

3. 募集期間

3年次の1月上旬から2月上旬

4. 選抜方法

理学部専門教育科目の成績を基にして判定します。結果は3月下旬に学術情報センター（附属図書館）横の掲示板に掲示します。

5. 先行履修できる大学院授業科目

化学生物環境学専攻教養科目群（表3）の科目および有機金属化学Ⅱ、有機反応論、機器分析法Ⅲ、溶液化学またはソフトマター化学

6. 上限となる単位数

10単位

XI－B. 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

編入生大学院進学支援プログラムについて

編入生大学院進学支援プログラムは、学部教育カリキュラムと大学院博士前期課程の教育カリキュラムの連携を強め、学業優秀な3年次編入生が専門分野の探求を深めるとともに周辺分野にも視野を広げることを目的として設定されました。このプログラムに選抜された学生の大学院進学は特別選抜により行われます。

編入生大学院進学支援プログラムに選抜された学生は、4年次に大学院人間文化総合科学研究科化学生物環境学専攻の授業科目を履修することができます。取得した単位は、本学大学院に進学した後に本人からの申し出により、博士前期課程修了に必要な単位として認定されます。以下に履修できる科目と単位数および応募資格を示します。

1. 応募資格

卒業研究（化学）を履修する学生で、卒業研究以外の卒業要件単位を修得しているもの。

2. 応募方法

「奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）編入生大学院進学支援プログラム申請書」および「奈良女子大学科目等履修生入学願書」を学務課理学部係に提出してください。

3. 募集期間

3年次の1月上旬から2月上旬

4. 選抜方法

理学部専門教育科目の成績を基にして判定します。結果は3月下旬に学術情報センター（附属図書館）横の掲示板に掲示します。

5. 先行履修できる大学院授業科目

化学生物環境学専攻教養科目群(表3)の科目および有機金属化学Ⅱ、有機反応論、機器分析法Ⅲ、溶液化学またはソフトマター化学

6. 上限となる単位数

10単位

XI－C. 奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

先行履修教育プログラムについて

先行履修教育プログラムは、学部教育カリキュラムと大学院博士前期課程の教育カリキュラムの連携を強め、学業優秀な学生が専門分野の探求を深めるとともに周辺分野にも視野を広げることを目的として設定されました。このプログラムに選抜された学生は、4年次に大学院人間文化総合科学研究科化学生物環境学専攻の授業科目を履修することができます。取得した単位は、

本学大学院に進学した後に本人からの申し出により、博士前期課程修了に必要な単位として認定されます。以下に履修できる科目と単位数および応募資格を示します。

1. 応募資格

卒業研究（化学）を履修する学生で、必修科目24単位以上、選択必修科目10単位以上、選択科目15単位以上を修得していること。

2. 応募方法

「奈良女子大学理学部・大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）先行履修教育プログラム申請書」および「奈良女子大学科目等履修生入学願書」を学務課理学部係に提出してください。

3. 募集期間

3年次の1月上旬から2月上旬または4年次の7月上旬から7月下旬

4. 選抜方法

理学部専門教育科目の成績を基にして判定します。結果は3月下旬または9月に学術情報センター（附属図書館）横の掲示板に掲示します。

5. 先行履修できる大学院授業科目

化学生物環境学専攻教養科目群（表3）の科目および有機金属化学Ⅱ、有機反応論、機器分析法Ⅲ、溶液化学またはソフトマター化学

6. 上限となる単位数

4単位

表3 化学生物環境学専攻 教養科目群

科学の文化と倫理					化学のための研究倫理				
無機化学概論Ⅰ		無機化学概論Ⅱ		有機化学概論Ⅰ		有機化学概論Ⅱ		物理化学概論Ⅰ	
物理化学概論Ⅱ		分子細胞生物学概論A		分子細胞生物学概論B					
個体機能生物学概論A		個体機能生物学概論B		生態学概論A		生態学概論B			
地球環境科学概論		数理生態学概論		現代環境科学論					

〈生物科学コース〉

掲載内容

1. 卒業要件について	151
1-1. 卒業資格を得るための科目と単位数(1): 教養教育科目等の履修について	151
1-2. 卒業資格を得るための科目と単位数(2): 専門教育科目の履修について	151
2. 生物科学コース専門教育科目の履修について	154
2-1. 生物科学コース専門教育科目の履修学年、開講期、必修・選択の別	154
2-2. 生物科学コース専門教育科目 履修上の注意	161
2-2-1. 1 回生対象科目	161
2-2-2. 2 回生対象科目	161
2-2-3. 3 回生対象科目	161
2-2-4. 4 回生対象科目	162
A. 卒業研究と課題研究の履修について	162
B. 卒業研究履修の条件	163
C. 課題研究履修の条件	164
3. 履修登録単位数の上限と例外	166
4. 成績優秀者と早期卒業	167
4-1. 成績優秀者の認定基準	167
4-2. 成績優秀者に与えられる優遇措置	167
4-3. 3年以上4年未満での卒業認定（早期卒業資格）	168
5. 転コースについて	168
6. 3年次編入生に対する注意	168
6-1. 適用される学則および規程	168
6-2. 個別ガイダンスの実施	168
7. 大学院進学を希望する学生のための教育プログラム	169
表1. 卒業資格を得るために修得しなければならない科目の構成と単位数	151
表2. 卒業資格を得るために修得しなければならない専門教育科目および単位数	153
表3. 生物科学コース専門教育科目一覧	155
表4. 履修登録上限単位数に算入されない例外科目	166
表5. 生物科学コース成績優秀者認定基準	167
図1. 生物科学コース専門教育科目の学年配置と区分	159

1. 卒業要件について

1-1. 卒業資格を得るための科目と単位数 (1): 教養教育科目等の履修について

生物科学コースの学生が卒業資格を得たものと認定されるためには、次の表1に定める各単位を含め、卒業要件科目の単位を合計124単位以上修得しなければなりません。

表1. 卒業資格を得るために修得しなければならない科目の構成と単位数

教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	12
		保健体育科目	2	
		情報処理科目		
	教養科目群			18
専門教育科目				75

※ 理学部の授業科目の構成や単位数等の詳細については、『Campus Life』に掲載されている理学部規程第3条ならびに別表Ⅰ（教養教育科目）、別表Ⅱ（専門教育科目）、別表Ⅲ（キャリア教育科目）を参照してください。

※ 「教養教育科目」、「キャリア教育科目」等については『全学教育ガイド』を、「専門教育科目」については本冊子『理学部専門教育ガイド』をそれぞれ参考にし、履修計画を立てて下さい。

※ 「教養教育科目」等の履修計画の立案に当たっては、次の諸点に注意して下さい。

- 教職科目群、資格関連科目群および「現代社会と職業」を除くキャリアプラン科目群の単位は卒業要件単位数に含めることはできない。
- 放送大学教育協力型単位互換科目は、卒業要件単位数に含めることはできるが、教養教育科目及び専門教育科目の必要単位数に含めることはできない。
- 外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語の中から8単位を修得しなければならない。
- 保健体育科目は、健康運動実習ⅠおよびⅡの2単位を修得しなければならない。
- 教員免許状、学芸員資格、司書教諭資格の取得を希望する学生は、『全学教育ガイド』の中の「キャリア教育科目の履修」の該当部分を読み、必要な科目と単位数を確認して下さい。

1-2. 卒業資格を得るための科目と単位数 (2): 専門教育科目の履修について

生物科学コースの学生が卒業資格を得るために単位を修得すべき専門教育科目の内訳を表2a（令和4（2022）年度以降入学者）、表2b（令和3（2021）年度以前入学者）に示します。詳細は、『Campus Life』の「理学部規程別表Ⅱ」を参照してください。

※卒業資格を得るために必要な、専門教育科目の単位修得条件について要点を列举します。卒業研究、課題研究の履修の詳細については、別項で説明します。

【令和4（2022）年度以降入学者について】

- a. 理学部規程別表Ⅱに掲げる専門教育科目のうち、「理学部規程別表Ⅱの3」において生物科学コースが指定する必修科目22単位、選択必修科目24単位以上（卒業研究2科目履修の場合）または21単位以上（卒業研究1科目及び課題研究1科目履修の場合）または18単位以上（課題研究2科目履修の場合）のいずれか、選択科目20単位以上、および自由科目を含め合計75単位以上を修得すること（生物科学コースが指定する必修・選択必修・選択科目の一覧については後掲の表3a参照）。
- b. 選択必修科目のうち、生態学実習、遺伝・生化学実習、環境生物学実習、分子細胞生物学実習、生物環境科学展開実習1、生物環境科学展開実習2、臨海実習1、臨海実習2、の中から5科目5単位を選択して単位を修得すること。
- c. 選択必修科目のうち、分子細胞生物学特論1～6、個体機能生物学特論1～7、生態学特論1～6、奈良女子大学の生物学1～3、公正な研究活動のために、の中から6科目6単位を選択して単位を修得すること。
- d. 選択必修科目のうち、生物科学研究入門1、生物科学研究入門2、生物科学研究入門（特）1、生物科学研究入門（特）2、の中から1科目3単位を選択して単位を修得すること。
- e. 卒業研究Ⅰ（生物科学）、卒業研究Ⅲ（生物科学）、課題研究Ⅰ（生物科学）、課題研究Ⅲ（生物科学）の4科目の中から1科目（5単位または2単位）を選択して単位を修得すること。
- f. 卒業研究Ⅱ（生物科学）、卒業研究Ⅳ（生物科学）、課題研究Ⅱ（生物科学）、課題研究Ⅳ（生物科学）の4科目の中から1科目（5単位または2単位）を選択して単位を修得すること。

【令和3（2021）年度以前入学者について】

- a. 理学部規程別表Ⅱに掲げる専門教育科目のうち、「理学部規程別表Ⅱの3」において生物科学コースが指定する必修科目20単位、選択必修科目14単位以上（卒業研究2科目選択の場合。卒業研究1科目＋課題研究1科目選択の場合は11単位以上、課題研究2科目選択の場合は8単位以上となる）、選択科目30単位以上を含む、合計75単位以上を修得すること（生物科学コースが指定する必修・選択必修・選択科目の一覧については後掲の表3b参照）。
- b. 選択必修科目のうち、遺伝・生化学実習、生態学実習、環境生物学実習、分子細胞工学実習、分子生物学実習、細胞生物学実習、生物形態発生学実習の7科目7単位の中から、4科目4単位以上を修得すること。
- c. 卒業研究Ⅰ（生物科学）、卒業研究Ⅲ（生物科学）、課題研究Ⅰ（生物科学）、課題研究Ⅲ（生物科学）の4科目の中から1科目（5単位または2単位）を選択して単位を修得すること。
- d. 卒業研究Ⅱ（生物科学）、卒業研究Ⅳ（生物科学）、課題研究Ⅱ（生物科学）、課題研究Ⅳ（生物科学）の4科目の中から1科目（5単位または2単位）を選択して単位を修得すること。

表2a. 卒業資格を得るために修得しなければならない専門教育科目および単位数

(令和4(2022)年度以降入学者)

科目の区分	科目名称	単位数	修得すべき単位数	
			小計	合計
生物科学コース 必修科目 (別表Ⅱ－3、●)	化学生物環境学入門	2	12科目 22単位	75単位以上
	基礎細胞生物学	2		
	生物多様性学	2		
	生化学	2		
	基礎遺伝学	2		
	生物科学英語	2		
	生物環境科学演習Ⅰ	2		
	生物環境科学演習Ⅱ	2		
	生物環境科学基礎実習Ⅰ	2		
	生物環境科学基礎実習Ⅱ	2		
	生物形態分類学実習Ⅰ	1		
	生物形態分類学実習Ⅱ	1		
生物科学コース 選択必修科目 (別表Ⅱ－3、◎)	生態学実習	1	いずれか 5科目 5単位	
	遺伝・生化学実習	1		
	環境生物学実習	1		
	分子細胞生物学実習	1		
	生物環境科学展開実習1	1		
	生物環境科学展開実習2	1		
	臨海実習1	1		
	臨海実習2	1		
	分子細胞生物学特論1～6	各1	いずれか 6科目 6単位	
	個体機能生物学特論1～7	各1		
	生態学特論1～6	各1		
	奈良女子大学の生物学1～3	各1		
	公正な研究活動のために	1		
	生物科学研究入門1	3	いずれか 1科目 3単位	
	生物科学研究入門2	3		
	生物科学研究入門（特）1	3		
	生物科学研究入門（特）2	3		
	卒業研究Ⅰ（生物科学）	5	いずれか 1科目 5単位または 2単位	
	卒業研究Ⅲ（生物科学）	5		
	課題研究Ⅰ（生物科学）	2		
	課題研究Ⅲ（生物科学）	2		
	卒業研究Ⅱ（生物科学）	5	いずれか 1科目 5単位または 2単位	
	卒業研究Ⅳ（生物科学）	5		
	課題研究Ⅱ（生物科学）	2		
	課題研究Ⅳ（生物科学）	2		
生物科学コース選択科目 (別表Ⅱ－3、○)		－	20単位以上	
上記修得科目以外の専門教育科目（別表Ⅱ－3）				

※ 最下段の「上記修得科目以外の専門教育科目」とは、別表Ⅱ－3に掲載されている科目のみを指します。他学部の専門教育科目や、理学部共通科目、数物科学科専門教育科目などは含まれませんので注意してください。

表2b. 卒業資格を得るために修得しなければならない専門教育科目および単位数

(令和3(2021)年度以前入学者)

科目の区分	科目名称	単位数	修得すべき単位数	
			小計	合計
生物科学コース 必修科目 (別表Ⅱ－３、●)	化学生物環境学入門	2	11科目 20単位	75単位以上
	基礎細胞生物学	2		
	生物多様性学	2		
	生化学	2		
	基礎遺伝学	2		
	生物環境科学演習	2		
	生物科学英語	2		
	生物環境科学基礎演習Ⅰ	2		
	生物環境科学基礎演習Ⅱ	2		
	生物形態分類学実習Ⅰ	1		
	生物形態分類学実習Ⅱ	1		
生物科学コース 選択必修科目 (別表Ⅱ－３、◎)	遺伝・生化学実習	1	いずれか 4科目 4単位 以上	
	生態学実習	1		
	環境生物学実習	1		
	分子細胞工学実習	1		
	分子生物学実習	1		
	細胞生物学実習	1		
	生物形態発生学実習	1		
	卒業研究Ⅰ（生物科学）	5	いずれか 1科目 5単位または 2単位	
	卒業研究Ⅲ（生物科学）	5		
	課題研究Ⅰ（生物科学）	2		
	課題研究Ⅲ（生物科学）	2	いずれか 1科目 5単位または 2単位	
	卒業研究Ⅱ（生物科学）	5		
	卒業研究Ⅳ（生物科学）	5		
	課題研究Ⅱ（生物科学）	2		
	課題研究Ⅳ（生物科学）	2		
生物科学コース選択科目 (別表Ⅱ－３、○)		－	30単位以上	
上記修得科目以外の専門教育科目（別表Ⅱ－３）		－		

※ 最下段の「上記修得科目以外の専門教育科目」とは、別表Ⅱ-3に掲載されている科目のみを指します。他学部の専門教育科目や、理学部共通科目、数物科学科専門教育科目などは含まれませんので注意してください。

2. 生物科学コース専門教育科目の履修について

2-1. 生物科学コース専門教育科目の履修学年、開講期、必修・選択の別

生物科学コース専門教育科目の一覧を表3a(令和4(2022)年度以降入学者)、表3b(令和3(2021)年度以前入学者)に示します。また図1a(令和4(2022)年度以降入学者)、図1b(令和3(2021)年度以前入学者)に、年次配置、必修・選択の別、および生物科学の階層性に基づいた授業科目のおおよその区分を示します。これらの科目を履修するうえでの注意点は次の2-2. 節で説明します。

表3a. 生物科学コース専門教育科目一覧（令和4（2022）年度以降入学者：1／2回生配置科目）

●は必修科目、◎は選択必修科目、○は選択科目を表します。

※3編は3年次編入生等、※秋は秋季卒業者等、※優は成績優秀者の早期履修等のための科目です。

※分子細胞生物学特論2～6、個体機能生物学特論2～7、生態学特論2～6については年度により開講時期（前期・後期）が変更になる場合があります

生物科学コース 専門科目名称	単位数	開講時期								備 考
		1 回生		2 回生		3 回生		4 回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
化学生物環境学入門	2	●								学科共通・全般
基礎細胞生物学	2	●								学科共通・生物科学系
生物環境科学基礎実習Ⅰ	2	●								学科共通・生物科学系
基礎生物学1	2	○								学科共通・生物科学系
地球環境科学1（B）	2	○								学科共通・環境科学系
森林生物学野外実習	1	○								学科共通・生物科学系
河川生物学野外実習	1	○								学科共通・生物科学系
海洋生物学野外実習	1	○								学科共通・生物科学系
環境科学基礎プログラミング	2	○								学科共通・環境科学系
環境科学基礎プログラミング演習	2	○								学科共通・環境科学系
化学概論Ⅰ	2	○								学科共通・化学系
生物多様性学	2		●							学科共通・生物科学系
生物環境科学基礎実習Ⅱ	2		●							学科共通・生物科学系
基礎生物学2	2		○							学科共通・生物科学系
地球環境科学2（B）	2		○							学科共通・環境科学系
生化学	2			●						コース科目・生物科学系
基礎遺伝学	2			●						コース科目・生物科学系
生物科学英語	2			●						コース科目・生物科学系
生物形態分類学実習Ⅰ	1			●						コース科目・生物科学系
生態学実習	1			◎						学科共通・生物科学系
遺伝・生化学実習	1			◎						コース科目・生物科学系
基礎化学1	2			○						学科共通・化学系
基礎化学2	2			○						学科共通・化学系
植物形態学	2			○						コース科目・生物科学系
生物環境科学演習Ⅰ	2				●					学科共通・生物科学系
生物形態分類学実習Ⅱ	1				●					コース科目・生物科学系
環境生物学実習	1				◎					学科共通・生物科学系
分子細胞生物学実習	1				◎					コース科目・生物科学系
基礎化学3	2				○					学科共通・化学系
基礎化学4	2				○					学科共通・化学系
化学概論Ⅱ	2				○					学科共通・化学系
分子遺伝学	2				○					コース科目・生物科学系
分子細胞工学	2			○	○					コース科目・生物科学系 (令和4年度入学者対象)
生物統計学	2				○					コース科目・生物科学系
植物生理学	2				○					コース科目・生物科学系
神経生理学	2				○					コース科目・生物科学系
動物形態学	2				○					コース科目・生物科学系
生態学	2				○					学科共通・生物科学系
生命圏の地球化学	2				○					学科共通・環境科学系
分子細胞生物学特論1	1				◎					コース科目・生物科学系
個体機能生物学特論1	1				◎					コース科目・生物科学系
生態学特論1	1				◎					コース科目・生物科学系

表3a. (続) 生物科学コース専門教育科目一覧 (令和4(2022)年度以降入学者: 3/4回生配置科目)

生物科学コース 専門科目名称	単位数	開講時期								備 考
		1 回生		2 回生		3 回生		4 回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
生物環境科学演習Ⅱ	2					●				学科共通・生物科学系
生物環境科学展開実習1	1					◎				コース科目・生物科学系
生物環境科学展開実習2	1					◎				コース科目・生物科学系
臨海実習1	1					◎				コース科目・生物科学系
臨海実習2	1					◎				コース科目・生物科学系
物理化学通論 1	2					○				コース科目・化学系
無機化学通論 1	2					○				コース科目・化学系
有機化学通論 1	2					○				コース科目・化学系
機器分析法Ⅰ	1					○				コース科目・化学系
細胞生物学	2					○				コース科目・生物科学系
発生生物学	2					○				コース科目・生物科学系
恒常性の生理学	2					○				コース科目・生物科学系
進化生物学	2					○				コース科目・生物科学系
生物環境統計学	2					○				学科共通・環境科学系
環境機能化学	2					○				コース科目・環境科学系
環境リスク論	2					○				コース科目・環境科学系
個体群動態の数理	2					○				コース科目・環境科学系
奈良女子大学の生物学1～3※3編	各1					◎				コース科目・生物科学系
公正な研究活動のために	1					◎				コース科目・生物科学系
分子細胞生物学特論2～6	各1					◎	◎			コース科目・生物科学系
個体機能生物学特論2～7	各1					◎	◎			コース科目・生物科学系
生態学特論2～6	各1					◎	◎			コース科目・生物科学系
生物科学研究入門2※秋	3					◎				コース科目・生物科学系
生物科学研究入門（特）2※優	3					◎				コース科目・生物科学系
生物科学研究入門1	3						◎			コース科目・生物科学系
生物科学研究入門（特）1※優	3						◎			コース科目・生物科学系
物理化学通論 2	2						○			コース科目・化学系
無機化学通論 2	2						○			コース科目・化学系
有機化学通論 2	2						○			コース科目・化学系
機器分析法Ⅱ	1						○			コース科目・化学系
生物化学Ⅰ	1						○			コース科目・化学系
生物化学Ⅱ	1						○			コース科目・化学系
微生物科学	2						○			コース科目・生物科学系
保全生物学	2						○			コース科目・環境科学系
卒業研究Ⅰ（生物科学）	5							◎		コース科目・生物科学系
卒業研究Ⅳ（生物科学）	5							◎		コース科目・生物科学系
課題研究Ⅰ（生物科学）	2							◎		コース科目・生物科学系
課題研究Ⅳ（生物科学）	2							◎		コース科目・生物科学系
卒業研究Ⅱ（生物科学）	5								◎	コース科目・生物科学系
卒業研究Ⅲ（生物科学）	5								◎	コース科目・生物科学系
課題研究Ⅱ（生物科学）	2								◎	コース科目・生物科学系
課題研究Ⅲ（生物科学）	2								◎	コース科目・生物科学系
公開臨海実習	1	○	○	○	○	○	○	○	○	コース科目・生物科学系
生物環境科学グローバル展開実習	1		○		○		○		○	コース科目・生物科学系

表3b. 生物科学コース専門教育科目一覧（令和3（2021）年度以前入学者：1／2回生配置科目）

●は必修科目、◎は選択必修科目、○は選択科目を表します。

生物科学コース 専門科目名称	単位数	開講時期								備 考
		1 回生		2 回生		3 回生		4 回生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
化学生物環境学入門	2	●								学科共通・全般
基礎細胞生物学	2	●								学科共通・生物科学系
生物環境科学基礎演習Ⅰ	2	●								学科共通・生物科学系
基礎生物学Ⅰ	2	○								学科共通・生物科学系
地球環境科学Ⅰ（B）	2	○								学科共通・環境科学系
森林生物学野外実習	1	○								学科共通・生物科学系
河川生物学野外実習	1	○								学科共通・生物科学系
海洋生物学野外実習	1	○								学科共通・生物科学系
環境科学基礎プログラミング	2	○								学科共通・環境科学系
環境科学基礎プログラミング演習	2	○								学科共通・環境科学系
化学概論Ⅰ	2	○								学科共通・化学系
生物多様性学	2		●							学科共通・生物科学系
生物環境科学基礎演習Ⅱ	2		●							学科共通・生物科学系
基礎生物学Ⅱ	2		○							学科共通・生物科学系
地球環境科学Ⅱ（B）	2		○							学科共通・環境科学系
生化学	2			●						コース科目・生物科学系
基礎遺伝学	2			●						コース科目・生物科学系
生物科学英語	2			●						コース科目・生物科学系
生物形態分類学実習Ⅰ	1			●						コース科目・生物科学系
生態学実習	1			◎						学科共通・生物科学系
遺伝・生化学実習	1			◎						コース科目・生物科学系
基礎化学Ⅰ／基礎化学Ⅰ	2			○						学科共通・化学系
基礎化学Ⅱ／基礎化学Ⅱ	2			○						学科共通・化学系
植物形態学	2			○						コース科目・生物科学系
生物環境統計学	2			○						学科共通・環境科学系
生物環境科学演習	2				●					学科共通・生物科学系
生物形態分類学実習Ⅱ	1				●					コース科目・生物科学系
環境生物学実習	1				◎					学科共通・生物科学系
分子細胞工学実習	1				◎					コース科目・生物科学系
基礎化学Ⅲ／基礎化学Ⅲ	2				○					学科共通・化学系
基礎化学Ⅳ／基礎化学Ⅳ	2				○					学科共通・化学系
化学概論Ⅱ	2				○					学科共通・化学系
分子遺伝学	2				○					コース科目・生物科学系
分子細胞工学	2			○	○					コース科目・生物科学系
植物生理学	2				○					コース科目・生物科学系
神経生理学	2				○					コース科目・生物科学系
動物形態学	2				○					コース科目・生物科学系
生態学	2				○					学科共通・生物科学系
生命圏の地球化学	2				○					学科共通・環境科学系

表3b. (続) 生物科学コース専門教育科目一覧 (令和3 (2021) 年度以前入学者: 3 / 4 回生配置科目)

※分子細胞生物学特論Ⅰ～Ⅷ、個体機能生物学特論Ⅰ～Ⅶ、生態学特論Ⅰ～Ⅴについては年度により開講時期(前期・後期)が変更になる場合があります。

生物科学コース 専門科目名称	単位数	開講時期								備 考
		1 回 生		2 回 生		3 回 生		4 回 生		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
分子生物学実習	1					◎				コース科目・生物科学系
細胞生物学実習	1					◎				コース科目・生物科学系
生物形態発生学実習	1					◎				コース科目・生物科学系
物理化学通論Ⅰ／物理化学通論 1	2					○				コース科目・化学系
無機化学通論Ⅰ／無機化学通論 1	2					○				コース科目・化学系
有機化学通論Ⅰ／有機化学通論 1	2					○				コース科目・化学系
細胞生物学	2					○				コース科目・生物科学系
発生生物学	2					○				コース科目・生物科学系
恒常性の生理学	2					○				コース科目・生物科学系
進化生物学	2					○				コース科目・生物科学系
実践生物環境科学演習Ⅰ	2					○				コース科目・生物科学系
環境機能化学	2					○				コース科目・環境科学系
環境リスク論	2					○				コース科目・環境科学系
個体群動態の数理	2					○				コース科目・環境科学系
臨海実習Ⅰ	1					○				コース科目・生物科学系
臨海実習Ⅱ	1					○				コース科目・生物科学系
物理化学通論Ⅱ／物理化学通論 2	2						○			コース科目・化学系
無機化学通論Ⅱ（H31年度以前入学者対象）	2						○			コース科目・化学系
無機化学通論 2（R2,3年度入学者対象）	2						○			コース科目・化学系
有機化学通論Ⅱ／有機化学通論 2	2						○			コース科目・化学系
機器分析法 1／（機器分析法Ⅰ，機器分析法Ⅱ）	2／ （1+1）					○	○			コース科目・化学系
機器分析法 2（H31年度以前入学者対象）	2						○			コース科目・化学系
生物化学／（生物化学Ⅰ，生物化学Ⅱ）	2／ （1+1）						○			コース科目・化学系
微生物科学	2						○			コース科目・生物科学系
保全生物学	2						○			コース科目・環境科学系
実践生物環境科学演習Ⅱ	2						○			コース科目・生物科学系
分子細胞生物学特論Ⅰ～Ⅷ	各 1					○	○			学科共通・生物科学系
個体機能生物学特論Ⅰ～Ⅶ	各 1					○	○			学科共通・生物科学系
生態学特論Ⅰ～Ⅴ	各 1					○	○			学科共通・生物科学系
生物環境科学展開実習Ⅰ	1					○				コース科目・生物科学系
生物環境科学展開実習Ⅱ	1					○				コース科目・生物科学系
生物環境科学展開実習Ⅲ	1					○				コース科目・生物科学系
卒業研究Ⅰ（生物科学）	5							◎		コース科目・生物科学系
卒業研究Ⅳ（生物科学）	5							◎		コース科目・生物科学系
課題研究Ⅰ（生物科学）	2							◎		コース科目・生物科学系
課題研究Ⅳ（生物科学）	2							◎		コース科目・生物科学系
卒業研究Ⅱ（生物科学）	5								◎	コース科目・生物科学系
卒業研究Ⅲ（生物科学）	5								◎	コース科目・生物科学系
課題研究Ⅱ（生物科学）	2								◎	コース科目・生物科学系
課題研究Ⅲ（生物科学）	2								◎	コース科目・生物科学系
公開臨海実習	1	○	○	○	○	○	○	○	○	コース科目・生物科学系
生物環境科学グローバル展開実習	1		○		○		○		○	コース科目・生物科学系

図1a. 生物科学コース専門教育科目の学年配置と区分（令和4（2022）年度以降入学者）

学年	開講時期	化学系	生物科学系			環境科学系
			分子・細胞レベル	組織・個体レベル	集団・生態系レベル	
1	前期	化学概論I	化学生物環境学入門			地球環境科学1(B)
			基礎細胞生物学	基礎生物学1		環境科学基礎プログラミング
						環境科学基礎プログラミング演習
	前期 (夏季集中)		生物環境科学基礎実習I			
					森林生物学野外実習	
					河川生物学野外実習	
2	前期		基礎生物学2	生物多様性学		地球環境科学2(B)
			生物環境科学基礎実習II			
			生物科学英語			
	前期	基礎化学1	生化学	基礎遺伝学		
		基礎化学2				
				植物形態学		
	前期または後期			生物形態分類学実習I	生態学実習	
				遺伝・生化学実習		
			分子細胞工学 (令和4年度入学者対象)			
	後期	基礎化学3	分子遺伝学		生命圏の地球化学	
		基礎化学4	植物生理学			
		化学概論II	神経生理学		生態学	
			動物形態学			
			生物統計学			
			分子細胞生物学特論1	個体機能生物学特論1	生態学特論1	
			生物環境科学演習I			
			分子細胞生物学実習	環境生物学実習		
			生物形態分類学実習II			
3	前期	物理化学通論1	細胞生物学			環境機能化学
		無機化学通論1	発生生物学			環境リスク論
		有機化学通論1	恒常性の生理学			個体群動態の数理
		機器分析法I	進化生物学			
			奈良女子大学の生物学1	奈良女子大学の生物学2	奈良女子大学の生物学3	
			公正な研究活動のために			
			生物環境統計学			
			生物環境科学演習II			
			生物環境科学展開実習1/2			
			臨海実習1/2			
			生物科学研究入門2 ※秋季卒業生等対象			
	後期		分子細胞生物学特論2～6	個体機能生物学特論2～7	生態学特論2～6	
		物理化学通論2	微生物科学		保全生物学	
		無機化学通論2	生物科学研究入門1			
		有機化学通論2	生物科学研究入門(特)1 ※成績優秀者等対象			
		機器分析法II				
		生物化学I				
		生物化学II				
4	前期		卒業研究I(生物科学)または課題研究I(生物科学)			
	後期		卒業研究II(生物科学)または課題研究II(生物科学)			
1～4	後期		生物環境科学グローバル展開実習			
	不定期集中		公開臨海実習			
			必修科目	選択必修科目	生物科学系 選択科目	化学/環境系 選択科目

図1b. 生物科学コース専門教育科目の学年配置と区分（令和3（2021）年度以前入学者）

学年	開講時期	化学系	生物科学系			環境科学系	
			分子・細胞レベル	組織・個体レベル	集団・生態系レベル		
1	前期		化学生物環境学入門				
		化学概論I	基礎生物学1			地球環境科学1(B)	
			基礎細胞生物学			環境科学基礎プログラミング	
					環境科学基礎プログラミング演習		
		生物環境科学基礎演習I					
	後期 (夏季集中)			森林生物学野外実習			
				河川生物学野外実習			
			海洋生物学野外実習				
後期		基礎生物学2	生物多様性学		地球環境科学2(B)		
		生物環境科学基礎演習II					
2	前期		生物科学英語				
		基礎化学I/1	生化学				
		基礎化学II/2		基礎遺伝学			
			植物形態学				
			生物環境統計学				
			生物形態分類学実習I		生態学実習		
	前期または後期		遺伝・生化学実習				
			分子細胞工学				
	後期		分子遺伝学		生命圏の地球化学		
			基礎化学III/3	植物生理学			
			基礎化学IV/4	植物生理学			
			化学概論II	神経生理学		生態学	
				動物形態学			
			生物環境科学演習				
			生物形態分類学実習II				
	3	前期		分子細胞工学実習	環境生物学実習		
			物理化学通論I/1	細胞生物学			環境機能化学
無機化学通論I/1			発生生物学			環境リスク論	
有機化学通論I/1			恒常性の生理学			個体群動態の数理	
機器分析法I/1			進化生物学				
			実践生物環境科学演習I				
			分子生物学実習	生物形態発生学実習			
			細胞生物学実習	臨海実習I/II			
前期または後期			生物環境科学展開実習I/II/III				
			分子細胞生物学特論	個体機能生物学特論	生態学特論		
		後期	物理化学通論II/2	微生物科学	保全生物学		
			無機化学通論II	実践生物環境科学演習II			
			無機化学通論2				
			有機化学通論II/2				
機器分析法II/1							
機器分析法2							
	生物化学／生物化学I,II						
4	前期	卒業研究I（生物科学）または課題研究I（生物科学）					
	後期	卒業研究II（生物科学）または課題研究II（生物科学）					
1～4	後期	生物環境科学グローバル展開実習					
	不定期集中		公開臨海実習				
			必修科目	選択必修科目	生物科学系 選択科目	化学／環境系 選択科目	

2-2. 生物科学コース専門教育科目 履修上の注意

2-2-1. 1 回生対象科目

【共通】

- ・1回生を対象にして夏季集中で開講される「森林生物学野外実習」「河川生物学野外実習」「海洋生物学野外実習」は、いずれか1科目のみを受講することができます。いずれの実習も履修できる人数に限りがあります（それぞれ16～20名程度）。受講希望調査の結果にもとづき、科目間で受講人数の調整を行います。ガイダンスについては掲示等により連絡します。

2-2-2. 2 回生対象科目

【共通】

- ・生態学実習、遺伝・生化学実習、環境生物学実習、分子細胞工学実習（令和3（2021）年度以前入学者）あるいは分子細胞生物学実習（令和4（2022）年度以降入学者）は、3回生向けの実習と併せて一定数の単位修得が必要な選択必修科目です。各自の学習目標や3回生向けに開講される実習の内容を考え、計画的に履修してください。

【令和4（2022）年度以降入学者について】

- ・分子細胞生物学特論1、個体機能生物学特論1、生態学特論1は、3回生向けに開講されるその他の特論系科目と合わせて、それらの中から一定数の科目の単位修得が必要な選択必修科目となっています。特論系科目の中でもこれら3科目は生物科学コース担当教員がオムニバス形式でそれぞれの研究概要を紹介する科目で、これら3科目を受講することにより、生物科学コースで実施されている研究活動の内容を包括的に把握することができるようになっています。3回生で開講される生物環境科学展開実習1/2や生物科学研究入門におけるクラス選択、さらには卒業研究／課題研究における配属希望研究室の選択のための情報としても重要ですので、特論系科目の中でも最優先で受講してください。

2-2-3. 3 回生対象科目

【共通】

- ・「生物環境科学展開実習Ⅰ～Ⅲ」（令和3（2021）年度以前入学者対象）や「生物環境科学展開実習1/2」（令和4（2022）年度以降入学者対象）は、少人数制の実践的な実習です。各科目の中でクラス分けを行います。各科目の実施時期や各クラスの実施内容についてはシラバスを参照してください。各クラスに受講人数制限（4～6名程度）がありますので、「生物環境科学展開実習Ⅰ～Ⅲ」・「生物環境科学展開実習1/2」合同のガイダンスを開いて、受講人数の調整を行います。ガイダンスについては掲示等により連絡します。
- ・「生物環境科学グローバル展開実習」は海外へ留学する学生、あるいは海外からの留学生対象

の科目です。詳しくはシラバスを参照してください。

【令和4(2022)年度以降入学者について】

- ・「奈良女子大学の生物学1～3」は、それぞれが「分子細胞生物学特論1」、「個体機能生物学特論1」、「生態学特論1」に対応する、生物科学コース担当教員がオムニバス形式でそれぞれの研究概要を紹介する科目ですが、3年次編入生、他コースの学生、あるいは秋季卒業予定者などを対象としています。通常は「分子細胞生物学特論1」、「個体機能生物学特論1」、「生態学特論1」を履修してください。
- ・「生物科学研究入門」は、研究室ごとのクラスに分かれて論文の講読・発表や研究の立案・実施・成果発表などを行う実践的・複合的な科目です。生物科学研究入門1、2、(特)1、(特)2、の4科目があり、これらの中から1科目3単位の単位取得が必要な選択必修科目です。通常は、「生物科学研究入門1」を3回生後期で履修してください(「生物科学研究入門2」は秋季卒業者等を対象とする科目、「生物科学研究入門(特)1、(特)2」については、成績優秀者等を対象とする科目です)。卒業研究あるいは課題研究を履修するためには、原則としてそれらの科目を履修する直前の学期に、「生物科学研究入門」のいずれかの科目を履修し単位を取得している必要があります(2-2-4参照)。

【令和3(2021)年度以前入学者について】

- ・「分子生物学実習」「細胞生物学実習」「生物形態発生学実習」は、3回生向けの選択必修科目です。開講形態や実施時期、受講制限等についてはシラバスおよび掲示等により連絡します。
- ・「分子細胞生物学特論Ⅰ」「個体機能生物学特論Ⅰ」および「生態学特論Ⅰ」は、生物科学コース担当教員がオムニバス形式でそれぞれの研究概要を紹介する科目です。必修科目には指定されていませんが、生物科学コースにおける研究の全体像を把握するため、受講することを強く推奨します。

2-2-4. 4回生対象科目

A. 卒業研究と課題研究の履修について

【共通】

(概要)

- ・卒業研究Ⅰ～Ⅳ(各5単位)、課題研究Ⅰ～Ⅳ(各2単位)は、これらのうち2科目(10単位、7単位、もしくは4単位)の修得が必要な選択必修科目です。

(卒業研究)

- ・通常は、「卒業研究」を履修してください。「卒業研究」は、原則として1年間同じ指導教員の下で特定の研究課題に取り組み、その成果をとりまとめて発表する科目です。

- ・通常は、4 回生前期で卒業研究Ⅰ、4 回生後期で卒業研究Ⅱを履修します。卒業研究の配属先（指導教員）は、「生物科学研究入門」の配属先と同じであるため、3 回生前期に決めなくてはなりません。決め方は別途通知します。
- ・卒業研究Ⅲ（後期開講、内容は卒業研究Ⅰに相当）、卒業研究Ⅳ（前期開講、内容は卒業研究Ⅱに相当）は、早期卒業や休学などに対処するための科目です。これらの履修にあたっては、担任の教員と相談してください。

（課題研究）

- ・「課題研究」は、病気療養等の特殊な事情により、年間を通じて実験や研究を行うことに支障のある場合にのみ履修することができる科目です。少数の指導教員の下で半年間、特定の調査・研究課題に取り組み、その成果をとりまとめる訓練を行います。
- ・卒業研究ⅠあるいはⅢを履修し、相応の事情により単位を取得できなかった場合も、それ以降の学期において「課題研究」を履修できる場合があります。
- ・「課題研究」を履修するためには、生物科学コース長に予め履修希望を申し出、生物科学コースにおいて受講を了承される必要があります。事前に、担任の教員と相談してください。
- ・「課題研究」受講者は、後述の早期卒業の対象とはなりません。

（卒業研究と課題研究の同時履修および単位修得に関する制限）

- ・2 科目の「卒業研究」、もしくは「卒業研究」と「課題研究」を同時に受講することはできません。ただし「課題研究」については、2 科目を同時に受講することを認める場合があります（p. 128 参照。しかしながら、後述の「課題研究Ⅱ、Ⅳの履修条件」にも注意してください）。
- ・原則として、卒業要件単位として認められるのは「卒業研究」と「課題研究」を合わせて2 科目分までとします。

B. 卒業研究履修の条件

【令和4（2022）年度以降入学者について】

- ・卒業研究Ⅰ、Ⅲを履修するためには、以下の条件を満たしていることが必要です。ただし、早期卒業を目指す成績優秀者についてはこの限りではありません。
 - a. 卒業要件科目100単位以上、修得済み。
 - b. 理学部専門教育科目60単位以上、修得済み。
 - c. 必修科目12科目22単位中9科目16単位以上、修得済み。
 - d. 選択必修の実習8科目8単位中4科目4単位以上、修得済み。
 - e. 選択必修の「特論」系23科目23単位中5科目5単位以上、修得済み。
 - f. 選択必修の「生物科学研究入門」系4科目12単位中1科目3単位を、原則として卒業研究履修の直前の学期に履修し、単位修得済み。
- ・卒業研究Ⅱ、Ⅳを履修するためには、卒業研究ⅠまたはⅢの単位を修得済みであることが

必要です。

【令和3(2021)年度以前入学者について】

・卒業研究Ⅰ、Ⅲを履修するためには、以下の条件を満たしていることが必要です。ただし早期卒業を目指す成績優秀者についてはこの限りではありません。

- a. 卒業要件科目を100単位以上、修得済み。
- b. 理学部専門教育科目を60単位以上、修得済み。
- c. 生物科学コース必修科目について

生物科学コース必修科目（11科目20単位、化学生物環境学入門、基礎細胞生物学、生物多様性学、生化学、基礎遺伝学、生物科学英語、生物環境科学演習、生物環境科学基礎演習Ⅰ、生物環境科学基礎演習Ⅱ、生物形態分類学実習Ⅰ、生物形態分類学実習Ⅱ）中、9科目16単位以上を修得済み。

- d. 2回生対象の選択必修実習（4科目4単位、生態学実習、遺伝・生化学実習、環境生物学実習、分子細胞工学実習）中、2科目2単位以上を修得済み。
- e. 3回生対象の実習（8科目8単位、分子生物学実習、細胞生物学実習、生物形態発生学実習、臨海実習Ⅰ、臨海実習Ⅱ、生物環境科学展開実習Ⅰ、生物環境科学展開実習Ⅱ、生物環境科学展開実習Ⅲ）中、4科目4単位以上を修得済み。
- f. 3回生対象の演習科目（2科目4単位、実践生物環境科学演習Ⅰ、実践生物環境科学演習Ⅱ）中、1科目2単位以上を修得済み。
- g. 3回生対象の特論科目（20科目20単位、分子細胞生物学特論Ⅰ～Ⅷ、個体機能生物学特論Ⅰ～Ⅶ、生態学特論Ⅰ～Ⅴ）中、6科目6単位以上を修得済み。

・卒業研究Ⅱ、Ⅳを履修するためには、卒業研究ⅠまたはⅢの単位を修得済みであることが必要です。

C. 課題研究履修の条件

【令和4(2022)年度以降入学者について】

・課題研究Ⅰ、Ⅲを履修するためには、以下の条件を満たしていることが必要です。

- a. 何らかの事情により卒業研究を履修することが困難で、事前に生物科学コース長に履修を申請し、生物科学コースにおいて履修を承認されていること。
- b. 卒業要件科目を80単位以上、修得済み。
- c. 選択必修の「生物科学研究入門」系4科目12単位中1科目3単位を、原則、課題研究履修の直前の学期に履修し、単位修得済み。

・課題研究Ⅱ、Ⅳを履修するためには、以下の条件を満たしていることが必要です。

- a. 何らかの事情により卒業研究を履修することが困難で、事前に生物科学コース長に履修を申請し、生物科学コースにおいて履修を承認されていること。

- b. 卒業要件科目を100単位以上、修得済み。
- c. 卒業研究ⅠまたはⅢ、あるいは課題研究ⅠまたはⅢのいずれかの科目を履修済み（単位は修得していなくても可）。

【令和3（2021）年度以前入学者について】

- ・ 課題研究Ⅰ、Ⅲを履修するためには、以下の条件を満たしていることが必要です。
 - a. 何らかの事情により卒業研究を履修することが困難で、事前に生物科学コース長に履修を申請し、生物科学コースにおいて履修を承認されていること。
 - b. 卒業要件科目を80単位以上、修得済み。
- ・ 課題研究Ⅱ、Ⅳを履修するためには、以下の条件を満たしていることが必要です。
 - a. 何らかの事情により卒業研究を履修することが困難で、事前に生物科学コース長に履修を申請し、生物科学コースにおいて履修を承認されていること。
 - b. 卒業要件科目を100単位以上、修得済み。
 - c. 卒業研究ⅠまたはⅢ、あるいは課題研究ⅠまたはⅢのいずれかの科目を履修済み（単位は修得していなくても可）。

3. 履修登録単位数の上限と例外

1年間に履修登録できる授業科目の単位数の上限は、教養教育科目と学部専門教育科目を合わせて44単位です。再履修の科目や、履修放棄あるいは不可となった科目であっても、当該年度に履修登録した科目の単位数はすべてこの上限単位数44に算入されますので注意してください。ただし、平成27（2015）年度から設けられた履修登録取り消し制度に基づき、前期の履修登録取り消し期間内に履修登録の取り消しを行った科目の単位については、この上限単位数44単位には含めません。後期に、その分の単位数の履修登録が可能になります。

また、放送大学教育協力型単位互換科目、「現代社会と職業」を除くキャリアプラン教育科目群、教職科目群、資格関連科目群や、理学部共通科目であるサイエンス・オープンラボⅠ／Ⅱ、数物の探求、現代科学の最前線—数学・宇宙・物質・生命・情報のフロンティア—は上限単位数44には算入されません。さらに、表4a（令和4（2022）年度以降入学者）、表4b（令和3（2021）年度以前入学者）に掲げる生物科学コース専門教育科目も例外科目として扱われ、上限単位数44には算入されません。

また、後述の「成績優秀者」に関しては、年間の履修登録単位数の上限が54単位にまで緩和されます。

表4a. 履修登録上限単位数に算入されない例外科目（令和4（2022）年度以降入学者）

1 回生対象の必修講義科目	単位数	必修実習・野外実習・研究系科目	単位数
化学生物環境学入門	2	生物環境科学基礎実習Ⅰ	2
基礎細胞生物学	2	生物環境科学基礎実習Ⅱ	2
生物多様性学	2	生物形態分類学実習Ⅰ	1
		生物形態分類学実習Ⅱ	1
		森林生物学野外実習	1
		河川生物学野外実習	1
		海洋生物学野外実習	1
		臨海実習1／2	各1
		公開臨海実習	1
		生物科学研究入門1/2	各3
		生物科学研究入門（特）1/2	各3
		卒業研究Ⅰ～Ⅳ	各5
		課題研究Ⅰ～Ⅳ	各2

表4b. 履修登録上限単位数に算入されない例外科目（令和3（2021）年度以前入学者）

1 回生対象の必修授業科目	単位数	必修実習・野外実習・研究系科目	単位数
化学生物環境学入門	2	生物形態分類学実習Ⅰ	1
基礎細胞生物学	2	生物形態分類学実習Ⅱ	1
生物多様性学	2	森林生物学野外実習	1
生物環境科学基礎演習Ⅰ	2	河川生物学野外実習	1
生物環境科学基礎演習Ⅱ	2	海洋生物学野外実習	1
		臨海実習Ⅰ／Ⅱ	各1
		公開臨海実習	1
		卒業研究Ⅰ～Ⅳ	各5
		課題研究Ⅰ～Ⅳ	各2

4. 成績優秀者と早期卒業

4-1. 成績優秀者の認定基準

成績優秀者と認定された学生は、学部で表彰され、その記録が残ります。また、「次の年度において通常の履修登録上限単位数である44単位を超えて54単位まで科目の履修登録ができる」、「上級学年向けの開講科目を履修することができる」、など学習上の優遇措置が講じられます。

生物科学コースにおける成績優秀者の認定の時期と、各時期における認定の要件を表5に示します。成績優秀者として認定されることを希望する場合、自分がこれらの基準を満たしていることを確認のうえ、受講登録開始後すぐに生物科学コース長まで申し出て下さい。

表5. 生物科学コース 成績優秀者認定基準

項 目	要 件			
	1 回生終了時	2 回生終了時	3 回生終了時	早期卒業時
卒業要件科目の修得単位数	42単位以上	84単位以上	126単位以上	131単位以上
卒業要件科目の平均点	80点以上	80点以上	80点以上	80点以上
当該時点までに配置されている必修の生物科学コース専門科目	全て修得	全て修得	全て修得	全て修得
生物科学コース専門教育科目（表3a※あるいは表3b※※）の修得単位数	10単位以上	35単位以上	70単位以上	75単位以上
生物科学コース専門教育科目（表3a※あるいは表3b※※）の受講科目の平均点	85点以上	85点以上	88点以上	88点以上
卒業研究の単位修得	—	—	—	2 科目10単位

注1：表中の「回生」は休学・停学期間を含まない実質的な「在学期間」を指す。

注2：平均点の小数点以下は四捨五入する。

※：令和4（2022）年度以降入学者

※※：令和3（2021）年度以前入学者

4-2. 成績優秀者に与えられる優遇措置

成績優秀者と認定された学生には、以下の優遇措置が講じられます。

- 履修登録の通常の上限単位数である44単位を超えて54単位まで科目の履修登録ができる。
- 当該学年より上の学年に配置されている生物科学コース専門教育科目を履修することができる。

※ただし、課題研究Ⅰ～Ⅳは除く。また、演習・実習科目、ならびに卒業研究の早期受講にあたっては、担任、生物科学コース長、および授業担当者と相談すること。特に、令和4（2022）年度以降入学生の成績優秀者が上回生向けの科目として「生物科学研究入門（特）1、2」の履修を希望する場合は、原則、履修を希望する直前の学期末の時点で生物科学コース長に予め履修希望を申し出、生物科学コースにおいて受講を了承される必要がある。

- 3年以上4年未満での卒業認定、すなわち早期卒業資格（次項で詳述）が与えられる可能性がある。早期卒業に関しては、担任および生物科学コース長と相談すること。

4-3. 3年以上4年未満での卒業認定（早期卒業資格）

本学には、3年以上4年未満で卒業資格を得る早期卒業制度があります。ただし、3年次編入生に対しては、本学在籍3年以上4年未満での卒業に関する規程は適用されません。

早期卒業資格を得るには、本学に3年以上在籍し、早期卒業希望時点において成績優秀者の認定を受け、かつ、理学部規程第4条に定められた卒業に必要な科目および単位数（表2aあるいは表2b参照）を修得していることが必要です。3年以上4年未満での卒業資格の認定を希望する学生は以下の注意を読み、必要な手続きをして下さい。

- a. 早期卒業資格認定希望時期の2ヶ月前までに学部長に申請する必要があります。申請方法については学務課に尋ねて下さい。また、それまでに適切な履修指導を受ける必要がありますので、早期卒業資格認定希望時期の6ヶ月前までに生物科学コース長に早期卒業の希望を申し出て下さい。
- b. 理学部規程に定められた卒業に必要な科目および単位数（表2aあるいは表2b参照）を修得した場合でも、学業成績等によっては早期卒業資格が認められない場合があります。

5. 転コースについて

- ・生物科学コースでは、各学年の合計人数が42人に達するまで、他コースからの転コース希望学生を受け入れます。
- ・生物科学コースへの転コースのためには、「化学生物環境学入門」「基礎細胞生物学」、「生物多様性学」の単位を修得済みであることが必要です。
- ・転コース希望者数が受け入れ可能人数を超える場合は、上記条件を満たしたもののうち、理学部専門教育科目の平均点が上位の者から順に受け入れを認めます。
- ・転コース時点における在学年数や単位取得の状況によっては、4年間での卒業が困難となる場合もあり得ます。各自で検討のうえ、不明な点があれば生物科学コース長を通じて生物科学コース教務担当教員に問い合わせして下さい。特に、4年生への転入を希望する場合には卒研配属の問題があるため、遅くとも3年生後期開始時点までには生物科学コース長に問い合わせてください。

6. 3年次編入生に対する注意

6-1. 適用される学則および規程

3年次編入生には原則として、前々年度（例えば、令和6（2024）年度編入生は令和4（2022）年度）の入学者に対する学則および理学部規程が適用されます。必要があるときには当該年度の『Campus Life』を参照して下さい。

6-2. 個別ガイダンスの実施

3年次編入生に対しては、他大学等ですでに単位修得した科目を、本学の開講科目に読み替

える措置が講じられます。しかし、個人により読み替える科目が異なるので、3年次編入生のための個別ガイダンスを改めて行います。日時等については生物科学コース学生用掲示板あるいは電子掲示板に掲示する（もしくは個別に連絡する）ので、注意して下さい。

7. 大学院進学を希望する学生のための教育プログラム

理学部では105～107ページに説明されている通り、本学大学院進学を希望する学生を対象にした3つの教育プログラム（6年一貫教育プログラム、編入生大学院進学支援プログラム、先行履修教育プログラム）があります。応募方法や選抜方法、これらの制度により学部生の時点で取得した単位の大学院入学後における取り扱い等に関する詳細については105～107ページを参照してください。以下では、本学大学院化学生物環境学専攻生物科学コースに進学を希望する学生が同プログラムを受講する際の応募資格・先行履修できる大学院授業科目・上限単位数の概略を記載します。なお、プログラムに関する説明会を1月頃に開催するので、応募を希望する学生は必ず参加してください。

応募資格

3回生終了時に卒業研究履修の条件を満たしていること（2-2-4. Bを参照）。

先行履修できる大学院授業科目および上限単位数

- 分子細胞生物学概論A, B
- 個体機能生物学概論A, B
- 生態学概論A, B
- 生物科学コース指定講義科目（〇〇特論という名称のもの）
- 生物科学特論A, B, C, D

6年一貫教育プログラムと編入生大学院進学支援プログラムでは10単位まで、先行履修教育プログラムでは4単位まで履修できます。

〈環境科学コース〉

1. 全学年共通の注意事項

卒業のために必要な単位数は『Campus Life』の理学部規程第4条で規定されています。授業科目の履修にあたってはこれらの規定に十分に注意しつつ、授業時間割表を参考に各自の時間割表を作成してください。

外国語科目の選択については、英語に加えてドイツ語もしくはフランス語等の今まで学習したことのない外国語を選択することが望ましいです。

原則として、入学年度の学則・学部規程が卒業時まで適用されます。配付された『Campus Life』は大切に保管しておいてください。

不明な点があれば、コース長や教務担当教員、学務課理学部係などに問い合わせてください。

2. 教員免許状取得

教員免許状取得を希望する人は、必ず全学教育ガイド「VI キャリア教育科目の履修」の該当ページをよく読んで各自の時間割を考えてください。取得できる免許は「理科」です。

3. 理学部専門科目内の同一名称科目の扱い

令和2（2020）年度以降に履修した同一名称科目は、環境科学コースの選択科目、成績優秀者判定基準、早期卒業の要件について違う科目として扱うことになりました。

理学部専門科目には同じ名称の後に(A)，(B)，(C)，A，B，(a)，(b)をつけて対象学科、対象コース等を区別しているものがあります。(A)，…，(b)の前の部分が同じものをここでは同一名称科目と呼びます。同一名称科目は一般に教員免許状取得に関しては異なる科目として扱われますが、重複履修はできません。平成31（2019）年度以前に履修した場合に限り、同一名称科目は環境科学コースの選択科目、成績優秀者判定基準および早期卒業の要件について同一科目として扱います。具体的には以下ようになります。

- (a) 教員免許状取得に必要な科目を他の同一名称科目で代替することはできません。
- (b) 平成31（2019）年度以前に履修した場合に限り、同一名称科目のいずれかが化学生物環境学科専門教育科目のときには全ての同一名称科目を化学生物環境学科専門科目として扱います。
- (c) 平成31(2019)年度以前に履修した場合に限り、同一名称科目のいずれかが環境科学コース選択科目のときには全ての同一名称科目を環境科学コース選択科目として扱います。
- (d) 同一名称科目のいずれかの単位を取得したときは、他の同一名称科目を履修することはできません。

4. 必修科目と選択科目

環境科学コースの必修科目は以下の6科目です。

化学生物環境学入門、環境科学基礎プログラミング、環境科学基礎プログラミング演習、
環境科学概論、数値計算法、環境科学応用プログラミング演習

選択必修科目は、卒業研究と課題研究です。卒業研究Ⅰ、Ⅲ、課題研究Ⅰ、Ⅲから1科目、卒業研究Ⅱ、Ⅳ、課題研究Ⅱ、Ⅳから1科目を履修する必要があります。卒業研究と課題研究の履修については「6 卒業研究と課題研究について」を読んで下さい。

必修科目、選択必修科目、選択科目を以下の表1にまとめました。

卒業に必要な専門教育科目の単位数は以下の通りです。

- (a) 必修科目12単位
- (b) 選択必修科目と選択科目あわせて30単位以上
- (c) 専門教育科目（必修科目、選択必修科目、選択科目を含む）合計75単位以上

表1 環境科学コースの必修科目、選択必修科目、選択科目

●必修科目 ◎選択必修科目 ○選択科目

科目名	単位数	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
化学生物環境学入門	2	●							
環境科学基礎プログラミング	2	●							
環境科学基礎プログラミング演習	2	●							
化学生物環境数学1	2	○							
地球環境科学1(B)	2	○		○					
地学実験Ⅰ(C)	1	○							
微分積分学概論Ⅰ	2	○							
線型代数学概論Ⅰ	2	○							
化学のための物理Ⅰ/化学のための物理1	2	○							
基礎化学Ⅰ/基礎化学1	2	○							
基礎化学Ⅱ/基礎化学2	2	○							
化学概論Ⅰ	2	○							
基礎生物学1	2	○							
生物環境科学基礎演習Ⅰ/生物環境科学基礎実習Ⅰ	2	○							
森林生物学野外実習	1	○							
河川生物学野外実習	1	○							
海洋生物学野外実習	1	○							
環境科学総合演習1	1	○		○		○		○	
環境科学概論	2		●						
化学生物環境数学2	2		○						
地球環境科学2(B)	2		○		○				
地学実験Ⅰ(B)	1		○						
環境科学応用プログラミング	2		○						
微分積分学概論Ⅱ	2		○						
線型代数学概論Ⅱ	2		○						
化学のための物理Ⅱ/化学のための物理2	2		○						
基礎化学Ⅲ/基礎化学3	2		○						
基礎化学Ⅳ/基礎化学4	2		○						
化学概論Ⅱ	2		○						
化学基礎実験Ⅰ(B)	2		○						
基礎生物学2	2		○						
生物多様性学	2		○						

表 1 (つづき)

●必修科目 ○選択必修科目 ○選択科目

科目名	単位数	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
生物環境科学基礎演習Ⅱ／生物環境科学基礎実習Ⅱ	2		○						
環境科学総合演習 2	1		○		○		○		○
数値計算法	2			●					
環境科学応用プログラミング演習	2			●					
生物環境統計学	2			○					
化学基礎実験 2	2			○					
生態学実習	1			○					
物理化学通論Ⅰ／物理化学通論 1	2			○					
無機化学通論Ⅰ／無機化学通論 1	2			○					
有機化学通論Ⅰ／有機化学通論 1	2			○					
基礎遺伝学	2			○					
生命圏の地球化学	2				○				
環境科学実践プログラミング	2				○				
環境数学演習 (R6年度以前入学者対象)	2				○				
化学基礎実験 3	2				○				
生態学	2				○				
生物環境科学演習／生物環境科学演習Ⅰ	2				○				
環境生物学実習	1				○				
物理化学通論Ⅱ／物理化学通論 2	2				○				
無機化学通論Ⅱ (H31以前入学者対象)	2				○				
無機化学通論 2 (R2以降入学者対象)	2				○				
有機化学通論Ⅱ／有機化学通論 2	2				○				
分子遺伝学	2				○				
分子細胞生物学特論Ⅰ (R4以降入学者対象)	1				○				
個体機能生物学特論Ⅰ (R4以降入学者対象)	1				○				
生態学特論Ⅰ (R4以降入学者対象)	1				○				
地学実験Ⅱ (B)	1			○		○		○	
環境機能化学	2					○			
環境科学計算機実験	2					○			
実践環境科学英語演習Ⅰ	2					○			
光の大気環境学	2					○			

表 1 (つづき)

●必修科目 ○選択必修科目 ○選択科目

科目名	単位数	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
環境リスク論	2					○			
個体群動態の数理	2					○			
分子細胞生物学特論Ⅰ、Ⅷ (R3 以前入学者対象)	各 1					○			
進化生物学	2					○			
個体機能生物学特論Ⅰ、Ⅲ～Ⅴ (R3以前入学者対象)	各 1					○			
生態学特論Ⅰ～Ⅳ (R3以前入 学者対象)	各 1					○			
保全生物学	2						○		
実践環境科学英語演習Ⅱ	2						○		
陸域リモートセンシング	2						○		
大気環境データ処理	2						○		
数理モデリング	2						○		
Javaとモバイルプログラミング	2						○		
分子細胞生物学特論Ⅱ～Ⅶ (R3以 前入学者対象)	各 1						○		
微生物科学 (R4以降入学者のみ)	2						○		
個体機能生物学特論Ⅵ、Ⅶ (R3 以前入学者対象)	各 1						○		
生態学特論Ⅴ (R3以前入学者対 象)	各 1						○		
卒業研究Ⅰ (環境科学)	5							◎	
卒業研究Ⅳ (環境科学)	5							◎	
課題研究Ⅰ (環境科学)	2							◎	
課題研究Ⅳ (環境科学)	2							◎	
卒業研究Ⅱ (環境科学)	5								◎
卒業研究Ⅲ (環境科学)	5								◎
課題研究Ⅱ (環境科学)	2								◎
課題研究Ⅲ (環境科学)	2								◎

5. 履修登録の上限および成績優秀者について

1 年間に履修登録できる授業科目の単位数を44単位までとしています。ここで、授業科目とは基礎科目群、教養科目群、専門教育科目をいいます。教職科目はこの単位数には含めません。また、化学生物環境学科専門教育科目のうち以下の科目も上限に含まれません。

化学生物環境学入門、環境科学概論、環境科学基礎プログラミング演習、
環境科学応用プログラミング、環境科学応用プログラミング演習、
環境科学実践プログラミング、環境科学計算機実験、化学基礎実験 1～3、

化学専門実験 1～3、化学キャリアセミナー I～IV、基礎細胞生物学、生物多様性学、
生物環境科学基礎実習 I、II（生物環境科学基礎演習 I、II）、生物形態分類学実習 I、II、
森林生物学野外実習、河川生物学野外実習、海洋生物学野外実習、生態学実習、環境生物学
実習、地学実験 I、II、臨海実習1、2（臨海実習 I、II）、卒業研究 I～IV、課題研究 I～IV

以下で述べる判定基準により成績が優秀な者と認められた学生は、履修登録の上限を緩めて次の1年間に54単位まで履修登録することができます。成績が優秀な者と認められた学生は、当該年次より上の学年で配当される科目を履修することができます。成績優秀者の認定により履修登録の上限の緩和を希望する学生は、ガイダンス後速やかに教務担当教員に相談してください。

成績優秀者判定基準

A. 1年次終了時

- (a) 卒業要件科目の取得単位数が40単位以上であること。
- (b) 外国語科目を4単位以上取得していること。
- (c) 保健体育科目を2単位以上取得していること。
- (d) 環境科学コースの指定する1回生向け必修専門教育科目の単位を全て取得していること。
- (e) 卒業要件科目の平均点が85点以上であること。

B. 2年次終了時

- (a) 卒業要件科目の取得単位数が80単位以上であること。
- (b) 化学生物環境学科専門教育科目の取得単位数が40単位以上であること。
- (c) 外国語科目を8単位以上取得していること。
- (d) 保健体育科目を2単位以上取得していること。
- (e) 環境科学コースの指定する必修専門教育科目の単位を全て取得していること。
- (f) 卒業要件科目の平均点が85点以上であること。
- (g) 化学生物環境学科専門教育科目の平均点が85点以上であること。

C. 3年次終了時

- (a) 卒業要件科目の取得単位数が120単位以上であること。
- (b) 化学生物環境学科専門教育科目の取得単位数が80単位以上であること。
- (c) 外国語科目を8単位以上取得していること。
- (d) 保健体育科目を2単位以上取得していること。
- (e) 環境科学コースの指定する必修専門教育科目の単位を全て取得していること。
- (f) 卒業要件科目の平均点が85点以上であること。
- (g) 化学生物環境学科専門教育科目の平均点が85点以上であること。

6. 卒業研究と課題研究について

化学生物環境学科を卒業するには、卒業研究 I、III、課題研究 I、IIIから一つ、卒業研究 II、

Ⅳ、課題研究Ⅱ，Ⅳから一つを履修することが必要です。標準的には、4回生前期で卒業研究Ⅰを、4回生後期で卒業研究Ⅱを履修することになります。卒業研究Ⅲ，Ⅳは半期ずれて履修する学生のためのものです。卒業研究Ⅱ，Ⅳは研究発表を伴います。課題研究は何らかの事情により卒業研究を履修することが困難な学生を対象とします。卒業研究と課題研究を履修するには、以下の要件をみたす必要があります。

A. 卒業研究Ⅰ－Ⅳ履修要件

- (a) 原則として卒業要件科目の取得単位数が100単位以上であること。
- (b) 環境科学コースの必修単位12単位のうち10単位以上を修得していること。
- (c) 理学部専門教育科目を50単位以上修得していること。
- (d) 卒業研究Ⅱ，Ⅳを履修するためには、卒業研究Ⅰまたは卒業研究Ⅲの単位を修得済みである必要がある。
- (e) 3年次に卒業研究を履修するには、2年次に成績優秀者として認定されている必要がある。

B. 課題研究Ⅰ－Ⅳ履修要件

- (a) 課題研究は何らかの事情で卒業研究を履修することが困難な学生を対象としているので、事前に申請し履修を認められる必要がある。
- (b) 課題研究Ⅰ，Ⅲの履修には、卒業要件単位80単位以上の修得が必要である。
- (c) 課題研究Ⅱ，Ⅳの履修には、卒業要件単位100単位以上の修得が必要である。また卒業研究Ⅰ，Ⅲ，課題研究Ⅰ，Ⅲのいずれかを履修済み（単位は修得していなくても可）であることが必要である。

7. 早期卒業について

本学に3年以上在籍し、理学部規程第4条に定められた単位数を取得したものは、在学期間3年以上4年未満で成績優秀者として卒業（早期卒業）を認められる場合があります。早期卒業を希望する学生は事前に教務担当委員に相談してください。

成績優秀者として卒業（早期卒業）を認められるためには以下の要件をみたす必要があります。

- (a) 3年次終了時に成績優秀者の基準をみたしていること。
- (b) 卒業研究Ⅰ－Ⅳのうち履修した2科目の成績がそれぞれ85点以上であること。
- (c) 卒業要件科目の平均点が85点以上であること。
- (d) 化学生物環境学科専門教育科目の平均点が85点以上であること。

卒業研究Ⅳまたは卒業研究Ⅱを履修している早期卒業予定者は、教務担当委員または卒業研究の指導教員を通じて早期卒業予定であることを学務課理学部係まで連絡してください。

8. 転コースについて

化学生物環境学科の化学コースまたは生物科学コースの学生が環境科学コースに転コースするには、「化学生物環境学入門」、「環境科学基礎プログラミング」、「環境科学基礎プログラミング

グ演習」を修得している必要があります。転コース希望者が多数の場合には、理学部専門教育科目の平均点を用いて選抜することがあります。3回生以上の転コース希望者で転コース直後に環境科学コースの卒業研究または課題研究の受講を希望する学生は、転コース前の10月末までに環境科学コースの教務担当またはコース長に相談し、環境科学コースの研究室分属説明会等についての説明を受けてください。

9. 大学院進学を希望する学生のための教育プログラム

理学部では105～107ページに説明されている通り、本学大学院進学を希望する学生を対象にした3つの教育プログラム（6年一貫教育プログラム、編入生大学院進学支援プログラム、先行履修教育プログラム）があります。応募方法や選抜方法は105～107ページを参照してください。以下では、本学大学院化学生物環境学専攻環境科学コースに進学を希望する学生が同プログラムを受講する際の応募資格・先行履修できる大学院授業科目・上限単位数を記載します。

応募資格

3回生終了時に

- 卒業要件科目100単位以上
- 理学部専門教育科目50単位以上
- 環境科学コース必修単位12単位のうち10単位以上

を修得していること。

先行履修できる大学院授業科目および上限単位数

- 以下に指定する環境科学コース教員による教養科目群科目の3科目：地球環境科学概論、数理生態学概論、現代環境科学論
- 環境科学特別講義A，B，C，D
- 化学生物環境学専攻（化学コース、生物科学コース、環境科学コース）教員が担当する博士前期課程の教養教育科目

6年一貫教育プログラムと編入生大学院進学支援プログラムでは10単位まで、先行履修教育プログラムでは4単位まで履修できます。

§ 9. 編入学生のために

編入学生に対して適用される規程は、原則として当該編入学年次生の本学入学年度のものです。令和 7（2025）年度に第 3 年次に編入学した学生には、令和 5（2023）年度時点の学部規程が適用されます。履修科目の構成や単位修得の条件など、よく注意して履修してください。ただし、卒業に必要な必修科目及び単位数は、編入学生用に開設された補習的科目を履修することにより、読み替えることができます。読み替え表は、次のとおりです。これらの科目の履修は、各学科長並びに教務委員に十分相談してください。また、これらの補習的科目は、教員免許取得に必要な科目としては読みかえられないので注意してください。

編入学生用補習科目一覧

数物科学科 物理学コース

必修科目名称	単位数	編入学生用科目名称	単位数
ベクトル解析	2	数物通論 1	2
電磁気学 1	2	(左記のいずれか 1 科目のみ)	
応用複素解析	2	数物通論 2	2
電磁気学 2	2	(左記のいずれか 1 科目のみ)	
量子力学 1	2	基礎量子力学 1	2
量子力学 2	2	基礎量子力学 2	2

数物科学科 数物連携コース

選択必修科目名称	単位数	編入学生用科目名称	単位数
ベクトル解析	2	数物通論 1	2
電磁気学 1	2	(左記のいずれか 1 科目のみ)	
応用複素解析	2	数物通論 2	2
量子力学 1	2	基礎量子力学 1	2

化学生物環境学科 化学コース

必修科目名称	単位数	編入学生用科目名称	単位数
無機化学通論 1	2	基礎無機化学通論 I	2
無機化学通論 2	2	基礎無機化学通論 II	2
有機化学通論 1	2	基礎有機化学通論 I	2
有機化学通論 2	2	基礎有機化学通論 II	2
物理化学通論 1	2	基礎物理化学通論 I	2
物理化学通論 2	2	基礎物理化学通論 II	2

§ 10. 理学部専門教育科目一覧 (積)・・・積極開放科目

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
学部共通科目						
2100010E2	サイエンス・オープンラボⅠ (A)	(30)	2	不 定 期	2 回生	企画内容による (数学分野) 地域志向科目
2100020E2	サイエンス・オープンラボⅠ (B)	(30)	2	不 定 期	2 回生	企画内容による (物理学分野) 地域志向科目
2100030E2	サイエンス・オープンラボⅠ (C)	(30)	2	不 定 期	2 回生	企画内容による (化学分野) 地域志向科目
2100040E1	サイエンス・オープンラボⅠ (D)	(30)	2	不 定 期	1 回生	企画内容による (生物科学分野) 地域志向科目
2100050E2	サイエンス・オープンラボⅠ (E)	(30)	2	不 定 期	1-3回生	企画内容による (環境科学分野) 地域志向科目
2100060E3	サイエンス・オープンラボⅡ (A)	(30)	2	不 定 期	3 回生	企画内容による (数学分野) 地域志向科目
2100070E3	サイエンス・オープンラボⅡ (B)	(30)	2	不 定 期	3 回生	企画内容による (物理学分野) 地域志向科目
2100080E3	サイエンス・オープンラボⅡ (C)	(30)	2	不 定 期	3 回生	企画内容による (化学分野) 地域志向科目
2100090E2	サイエンス・オープンラボⅡ (D)	(30)	2	不 定 期	2 回生	企画内容による (生物科学分野) 地域志向科目
2100100E3	サイエンス・オープンラボⅡ (E)	(30)	2	不 定 期	2-3回生	企画内容による (環境科学分野) 地域志向科目
2100110E1	グローバル理系女性育成国際サマーキャンプ		2		1-4回生	本年度開講せず (R4年度入学者まで適用)
2100120E1	数物の探求	(15)	1	後期不定期	1 回生	
2100130A1	現代科学の最前線－ 数学・宇宙・物質・生 命・情報のフロンティ ア－	2	2	後 期	1-2回生	
数物科学科						
学科共通科目						
2210010A1	数学物理の歩き方	2	2	前 期	1 回生	
2210020A2	数学物理の展開	2	2	前 期	2 回生	
2210030A3	数物通論 1 (A)	2	2	前 期	3 回生	編入生用 (数学コース・数物連携 コース (数学重点型))
2210040A3	数物通論 1 (B)		2		3 回生	編入生用 (物理学コース・数物連 携コース (物理重点型)) 本年度開講せず
2210050A3	数物通論 2 (A)	2	2	後 期	3 回生	編入生用 (数学コース・数物連携 コース (数学重点型))
2210060A3	数物通論 2 (B)		2		3 回生	編入生用 (物理学コース・数物連 携コース (物理重点型)) 本年度開講せず
数学コース科目						
2211010A1	微分積分学入門	2	2	前 期	1 回生	
2211020A1	微分積分学Ⅰ (A)	2	2	前 期	1 回生	数学・数物連携コース希望者対象
2211030A1	微分積分学Ⅰ (B)	2	2	前 期	1 回生	(積) 物理学・数物連携コース希 望者対象

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2211040B1	微分積分学Ⅰ演習(A)	2	2	前 期	1 回生	数学・数物連携コース希望者対象
2211050B1	微分積分学Ⅰ演習(B)	2	2	前 期	1 回生	物理学・数物連携コース希望者対象
2211060A1	線形代数学Ⅰ (A)	2	2	前 期	1 回生	数学・数物連携コース希望者対象
2211070A1	線形代数学Ⅰ (B)	2	2	前 期	1 回生	(積) 物理学・数物連携コース希望者対象
2211080B1	線形代数学Ⅰ演習	2	2	前 期	1 回生	
2211090A1	微分積分学Ⅱ (A)	2	2	後 期	1 回生	数学・数物連携コース希望者対象
2211100A1	微分積分学Ⅱ (B)	2	2	後 期	1 回生	(積) 物理学・数物連携コース希望者対象
2211110B1	微分積分学Ⅱ演習(A)	2	2	後 期	1 回生	数学・数物連携コース希望者対象
2211120B1	微分積分学Ⅱ演習(B)	2	2	後 期	1 回生	物理学・数物連携コース希望者対象
2211130A1	線形代数学Ⅱ (A)	2	2	後 期	1 回生	数学・数物連携コース希望者対象
2211140A1	線形代数学Ⅱ (B)	2	2	後 期	1 回生	(積) 物理学・数物連携コース希望者対象
2211150B1	線形代数学Ⅱ演習	2	2	後 期	1 回生	
2211160A1	統計処理論	2	2	後 期	1 回生	
2211170A2	微分積分学Ⅲ	2	2	前 期	2 回生	
2211180B2	微分積分学Ⅲ演習	2	2	前 期	2 回生	
2211190A2	集合・位相	2	2	前 期	2 回生	
2211200B2	集合・位相演習	2	2	前 期	2 回生	
2211210A2	ベクトル解析	2	2	前 期	2 回生	
2211220B2	ベクトル解析演習	2	2	前 期	2 回生	
2211230A2	応用複素解析	2	2	後 期	2 回生	
2211240B2	応用複素解析演習	2	2	後 期	2 回生	
2211250A3	実解析学	2	2	前 期	3・4回生	
2211260B3	実解析学演習	2	2	前 期	3・4回生	
2211270A2	非線型解析学	2	2	後 期	2・3回生	R6年度入学者まで適用
2211280B2	非線型解析学演習	2	2	後 期	2・3回生	R6年度入学者まで適用
2211290A2	複素解析学	2	2	後 期	2・3回生	
2211300B2	複素解析学演習	2	2	後 期	2・3回生	
2211310A3	幾何学的トポロジー	2	2	前 期	3・4回生	
2211320B3	幾何学的トポロジー演習	2	2	前 期	3・4回生	
2211330A2	代数入門	2	2	後 期	2・3回生	R6年度入学者まで適用
2211340B2	代数入門演習	2	2	後 期	2・3回生	R6年度入学者まで適用
2211350A2	3次元多様体		2		2・3回生	本年度開講せず (R6年度入学者まで適用)
2211360B2	3次元多様体演習		2		2・3回生	本年度開講せず (R6年度入学者まで適用)
2211370A3	フーリエ解析	2	2	前 期	3 回生	
2211380A3	確率論入門		2		3・4回生	本年度開講せず「数理統計学」と隔年開講
2211390A3	数理統計学	2	2	前 期	3・4回生	「確率論入門」と隔年開講
2211400A3	フラクタル解析学		2		3・4回生	本年度開講せず (R5年度入学者まで適用)
2211410B3	フラクタル解析学演習		2		3・4回生	本年度開講せず (R5年度入学者まで適用)
2211420A3	曲面と多様体	2	2	前 期	3・4回生	
2211430B3	曲面と多様体演習	2	2	前 期	3・4回生	

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2211435A3	整数論		2		3・4回生	本年度開講せず（R5年度入学者まで適用）
2211440A3	ガロア理論入門	2	2	前 期	3・4回生	
2211445B3	整数論演習		2		3・4回生	本年度開講せず（R5年度入学者まで適用）
2211450B3	ガロア理論入門演習	2	2	前 期	3・4回生	
2211460A2	確率解析学	2	2	後 期	2・3回生	
2211470B2	確率解析学演習	2	2	後 期	2・3回生	
2211472A2	代数系の数理	2	2	後 期	2・3回生	
2211474B2	代数系の数理演習	2	2	後 期	2・3回生	
2211476A2	関数解析入門	2	2	後 期	2・3回生	新設（在学生一斉適用）
2211478B2	関数解析入門演習	2	2	後 期	2・3回生	新設（在学生一斉適用）
2211480A3	数学特別講義Ⅰ		2		3・4回生	本年度開講せず
2211490A3	数学特別講義Ⅱ	(30)	2	前期集中	3・4回生	
2211500A3	数学特別講義Ⅲ	(30)	2	前期集中	3・4回生	
2211510A3	数学特別講義Ⅳ		2		3・4回生	本年度開講せず
2211520F4	卒業研究Ⅰ		5	前 期	4 回生	
2211530F4	卒業研究Ⅱ		5	後 期	4 回生	
物理学コース科目						
2212010A1	基礎の物理（A）	2	2	前 期	1 回生	
2212020A1	現代の物理（A）	2	2	後 期	1 回生	
2212030A1	力学Ⅰ	2	2	後 期	1 回生	
2212040C1	物理学実験Ⅰ（A）	4	2	後 期	1 回生	
2212050A2	力学Ⅱ	2	2	前 期	2 回生	
2212060B2	力学演習	2	2	前 期	2 回生	
2212070A2	電磁気学Ⅰ	2	2	前 期	2 回生	
2212080B2	電磁気学Ⅰ 演習	2	2	前 期	2 回生	
2212090C2	物理学実験Ⅱ	4	2	前 期	2 回生	
2212100A2	熱力学	2	2	後 期	2 回生	
2212110A2	電磁気学Ⅱ	2	2	後 期	2 回生	
2212120B2	電磁気学Ⅱ 演習	2	2	後 期	2 回生	
2212130A2	量子力学Ⅰ	2	2	後 期	2 回生	
2212140B2	量子力学Ⅰ 演習	2	2	後 期	2 回生	
2212150A3	量子力学Ⅱ	2	2	前 期	3 回生	
2212160B3	量子力学Ⅱ 演習	2	2	前 期	3 回生	
2212170A3	統計力学Ⅰ	2	2	前 期	3 回生	
2212180B3	統計力学Ⅰ 演習	2	2	前 期	3 回生	
2212190A3	相対性理論	2	2	前 期	3 回生	
2212200A3	固体物理学序論	2	2	前 期	3 回生	
2212210C3	物理学特別実験Ⅰ	4	2	前 期	3 回生	
2212220E3	計算機処理	2	2	前 期	3 回生	
2212230B3	計算機処理演習	2	2	前 期	3 回生	
2212240A3	量子力学Ⅲ	2	2	後 期	3 回生	
2212250A3	統計力学Ⅱ	2	2	後 期	3 回生	
2212260B3	統計力学Ⅱ 演習	2	2	後 期	3 回生	
2212270C3	物理学特別実験Ⅱ	4	2	後 期	3 回生	
2212280A3	固体量子論	2	2	後 期	3 回生	
2212290A3	核物理学	2	2	前 期	3 回生	

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2212300A3	高エネルギー物理学概論	2	2	後 期	3 回生	
2212310A2	パターン形成論		2		2・3回生	本年度開講せず（R3年度入学者まで適用）
2212320A3	宇宙物理学入門	2	2	後 期	3 回生	
2212330A4	結晶物理学	2	2	前 期	4 回生	
2212340A3	物性基礎論序論		2		3・4回生	本年度開講せず（H26～R3年度入学者対象）
2212350A4	場の量子論序論	2	2	前 期	4 回生	
2212360A2	非線形動力学入門		2		2-4回生	本年度開講せず（R3年度入学者まで適用）
2212370A4	宇宙論入門	2	2	前 期	4 回生	
2212380A4	放射線物理学	2	2	前 期	4 回生	
2212390A4	一般相対性理論入門	2	2	後 期	4 回生	
2212400A3	基礎量子力学 1		2		3 回生	編入生用 本年度開講せず
2212410A3	基礎量子力学 2		2		3 回生	編入生用 本年度開講せず
2212420F4	卒業研究 1		5	前 期	4 回生	
2212430F4	卒業研究 2		5	後 期	4 回生	
2212440F4	卒業研究 3		5	前 期	4 回生	
2212450A1	地学概論 1（A）	2	2	前 期	1・2回生	
2212460A1	地学概論 2（A）	2	2	後 期	1・2回生	
2212470A1	地球環境科学 1（A）	2	2	前 期	1・2回生	
2212480A1	地球環境科学 2（A）	2	2	後 期	1・2回生	
2212490C2	化学基礎実験 1（A）	5	2	後 期	2 回生	
2212500C3	生物学実験（A）	(60)	2	前期集中	3 回生	
2212510C1	地学実験 I（A）	2	1	後 期	1 回生	
2212520C3	地学実験 II（A）	(30)	1	前期集中	3・4回生	
数物連携コース科目						
2213010A2	プログラミング	2	2	後 期	2・3回生	
2213020B2	プログラミング演習	2	2	後 期	2・3回生	
2213030A2	ベクトルと空間の幾何学	2	2	前 期	2 回生	
2213040B2	ベクトルと空間の幾何学演習	2	2	前 期	2 回生	
2213050A2	グラフ理論	2	2	後 期	2 回生	
2213060A2	シンメトリーの数理	2	2	後 期	2・3回生	
2213065B2	シンメトリーの数理演習		2		2・3回生	本年度開講せず
2213070A3	フラクタル解析学	2	2	前 期	3・4回生	R6年度入学者まで適用
2213080B3	フラクタル解析学演習	2	2	前 期	3・4回生	R6年度入学者まで適用
2213082A3	最適化のための数理	2	2	前 期	3・4回生	新設 本年度開講せず（R7年度入学者から適用）
2213084B3	最適化のための数理演習	2	2	前 期	3・4回生	新設 本年度開講せず（R7年度入学者から適用）
2213090A2	双曲幾何学		2		2・3回生	本年度開講せず（R4年度入学者まで適用）
2213100B2	双曲幾何学演習		2		2・3回生	本年度開講せず（R4年度入学者まで適用）
2213110A3	ナノ系の物理学		2		3 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2213120A3	多粒子系の量子力学	2	2	前 期	3 回生	
2213130A2	情報統計力学		2		2・3回生	本年度開講せず（R3年度入学者まで適用）

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2213140E3	発展方程式の数値解法 1		2		3 回生	本年度開講せず（R5年度入学者まで適用）
2213150E3	発展方程式の数値解法 2		2		3 回生	本年度開講せず（R5年度入学者まで適用）
2213160E3	発展方程式の数値解法	2	2	前 期	3 回生	
2213170A3	連続体力学	2	2	後 期	3 回生	
2213180A3	形態の数理	2	2	前 期	3・4回生	
2213190B2	形態の数理演習		2		2・3回生	本年度開講せず（H26～R4年度入学者対象）
2213200A3	知識社会の数理学		4		3・4回生	本年度開講せず（R2年度入学者まで適用）
2213210A2	数値解析		2		2 回生	本年度開講せず（R2年度入学者まで適用）
2213220A2	数式処理論		2		2 回生	本年度開講せず（R2年度入学者まで適用）
2213230A3	協力現象の統計力学	2	2	後 期	3 回生	
2213240F4	卒業研究 1		5	前 期	4 回生	
2213250F4	卒業研究 2		5	後 期	4 回生	
2213260F4	卒業研究 3		5	前 期	4 回生	
化学生物環境学科						
学科共通科目						
2220010A1	化学生物環境学入門	2	2	前 期	1 回生	
2220020A1	微分積分学概論 I	2	2	前 期	1 回生	
2220030A1	線型代数学概論 I	2	2	前 期	1 回生	
2220040A1	微分積分学概論 II	2	2	後 期	1 回生	
2220050A1	線型代数学概論 II	2	2	後 期	1 回生	
2220060A1	基礎の物理（B）	2	2	前 期	1 回生	（積）
2220070A1	現代の物理（B）	2	2	後 期	1 回生	（積）
2220080C2	物理学実験 1（B）	(60)	2	後期集中	2 回生	
2220090C1	化学基礎実験 1（B）	5	2	後 期	1 回生	
2220100C2	化学基礎実験 2	5	2	前 期	2 回生	
2220110C2	化学基礎実験 3	5	2	後 期	2 回生	
2220120A1	基礎化学 I		2		1 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2220130A1	基礎化学 II		2		1 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2220140A1	基礎化学 III		2		1 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2220150A1	基礎化学 IV		2		1 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2220160A1	化学のための物理 I		2		1 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2220170A1	化学のための物理 II	2	2	後 期	1 回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「化学のための物理 2」で読み替え
2220180A1	基礎化学 1	2	2	前 期	1 回生	R2年度以降入学者対象
2220190A1	基礎化学 2	2	2	前 期	1 回生	R2年度以降入学者対象
2220200A1	基礎化学 3	2	2	後 期	1 回生	R2年度以降入学者対象

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2220210A1	基礎化学 4	2	2	後 期	1 回生	R2年度以降入学者対象
2220220A1	化学のための物理 1	2	2	前 期	1 回生	R2年度以降入学者対象
2220230A1	化学のための物理 2	2	2	後 期	1 回生	R2年度以降入学者対象
2220240A1	化学概論 I	2	2	前 期	1 回生	(積)
2220250A1	化学概論 II	2	2	後 期	1 回生	(積)
2220260A1	基礎細胞生物学	2	2	前 期	1 回生	
2220270A1	生物多様性学	2	2	後 期	1 回生	
2220280B2	生物環境科学演習	2	2	後 期	2 回生	H26～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生物環境科学演習I」で読み替え
2220290B2	生物環境科学演習I	2	2	後 期	2 回生	R4年度以降入学者対象
2220300B3	生物環境科学演習II	2	2	前 期	3 回生	R4年度以降入学者対象
2220310B1	生物環境科学基礎演習 I B		1		1 回生	本年度開講せず (H29年度入学者まで適用)
2220320B1	生物環境科学基礎演習 II B		1		1 回生	本年度開講せず (H29年度入学者まで適用)
2220330D1	生物環境科学基礎実習 I B		1		1 回生	本年度開講せず (H29年度入学者まで適用)
2220340D1	生物環境科学基礎実習 II B		1		1 回生	本年度開講せず (H29年度入学者まで適用)
2220350E1	生物環境科学基礎演習 I	6	2	前 期	1 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生物環境科学基礎実習I」で読み替え
2220360E1	生物環境科学基礎演習 II	6	2	後 期	1 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生物環境科学基礎実習II」で読み替え
2220370D1	生物環境科学基礎実習I	6	2	前 期	1 回生	R4年度以降入学者対象
2220380D1	生物環境科学基礎実習II	6	2	後 期	1 回生	R4年度以降入学者対象
2220390A1	基礎生物学 1	2	2	前 期	1 回生	(積)
2220400A1	基礎生物学 2	2	2	後 期	1 回生	(積)
2220410C3	生物学実験 (B)	(60)	2	前期集中	3 回生	
2220420A2	生態学	2	2	後 期	2 回生	
2220430D2	生態学実習	6	1	前 期	2 回生	
2220440D2	環境生物学実習	6	1	後 期	2 回生	
2220450D1	森林生物学野外実習	(30)	1	前期集中	1 回生	地域志向科目
2220460D1	河川生物学野外実習	(30)	1	前期集中	1 回生	地域志向科目
2220470D1	海洋生物学野外実習	(30)	1	前期集中	1 回生	
2220480A1	環境科学基礎プログラミング	2	2	前 期	1 回生	
2220490B1	環境科学基礎プログラミング演習	2	2	前 期	1 回生	
2220500E2	生物環境統計学	2	2	前 期	2 回生	
2220510E1	化学生物環境数学 1	2	2	前 期	1 回生	
2220520E1	化学生物環境数学 2	2	2	後 期	1 回生	
2220530A1	地球環境科学 1 (B)	2	2	前 期	1・2回生	
2220540A1	地球環境科学 2 (B)	2	2	後 期	1・2回生	
2220550C1	地学実験 I (B)	2	1	後 期	1 回生	
2220560C1	地学実験 I (C)	2	1	前 期	1 回生	地学実験 I (B)と同内容。 受講者が少ない場合は調整のうえ地学実験 I (B)にまとめる。

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2220570C2	地学実験Ⅱ（Ｂ）	(30)	1	前期集中	2-4回生	受講人数制限有り。多数の場合は上回生を優先とする。
2220580A1	地学概論 1（Ｂ）	2	2	前 期	1・2回生	
2220590A1	地学概論 2（Ｂ）	2	2	後 期	1・2回生	
2220600A2	生命圏の地球化学	2	2	後 期	2 回生	
2220610A3	分子細胞生物学特論Ⅰ	(15)	1	前期集中	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「奈良女子大学の生物学1」で読み替え
2220620A3	分子細胞生物学特論Ⅱ	2	1	後期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「分子細胞生物学特論2」で読み替え
2220630A3	分子細胞生物学特論Ⅲ	2	1	後期前半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「分子細胞生物学特論3」で読み替え
2220640A3	分子細胞生物学特論Ⅳ	2	1	後期前半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「分子細胞生物学特論4」で読み替え
2220650A3	分子細胞生物学特論Ⅴ	2	1	後期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「分子細胞生物学特論5」で読み替え
2220660A3	分子細胞生物学特論Ⅵ	2	1	後期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「分子細胞生物学特論6」で読み替え
2220670A3	分子細胞生物学特論Ⅶ		1		3 回生	本年度開講せず（H30～R3年度入学者対象）
2220680A3	分子細胞生物学特論Ⅷ		1		3 回生	本年度開講せず（H30～R3年度入学者対象）
2220690A3	個体機能生物学特論Ⅰ	(15)	1	前期集中	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「奈良女子大学の生物学2」で読み替え
2220700A3	個体機能生物学特論Ⅱ	2	1	後期前半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「個体機能生物学特論2」で読み替え
2220710A3	個体機能生物学特論Ⅲ	2	1	後期前半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「個体機能生物学特論3」で読み替え
2220720A3	個体機能生物学特論Ⅳ	2	1	前期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「個体機能生物学特論4」で読み替え
2220730A3	個体機能生物学特論Ⅴ	2	1	前期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「個体機能生物学特論5」で読み替え
2220740A3	個体機能生物学特論Ⅵ	2	1	前期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「個体機能生物学特論6」で読み替え
2220750A3	個体機能生物学特論Ⅶ	2	1	前期前半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「個体機能生物学特論7」で読み替え

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2220760A3	生態学特論Ⅰ	(15)	1	前期集中	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「奈良女子大学の生物学3」で読み替え
2220770A3	生態学特論Ⅱ	2	1	前期前半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生態学特論2」で読み替え
2220780A3	生態学特論Ⅲ	2	1	後期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生態学特論3」で読み替え
2220790A3	生態学特論Ⅳ	2	1	前期前半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生態学特論4」で読み替え
2220800A3	生態学特論Ⅴ	2	1	前期後半	3 回生	H30～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生態学特論5」で読み替え
コース科目（化学系）						
2221010A2	物理化学通論Ⅰ		2		2 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221020A2	無機化学通論Ⅰ		2		2 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221030A2	有機化学通論Ⅰ		2		2 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221040A2	物理化学通論Ⅱ		2		2 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221050A2	無機化学通論Ⅱ	2	2	後 期	2 回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「無機化学通論3」で読み替え
2221060A2	有機化学通論Ⅱ	2	2	後 期	2 回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「有機化学通論2」で読み替え
2221070A2	物理化学通論1	2	2	前 期	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221080A2	無機化学通論1	2	2	前 期	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221090A2	有機化学通論1	2	2	前 期	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221100A2	機器分析法Ⅰ	2	1	前期前半	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221110A2	固体化学入門	2	1	前期後半	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221120A2	物理化学通論2	2	2	後 期	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221130A2	無機化学通論2	2	2	後 期	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221140A2	有機化学通論2	2	2	後 期	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221150A2	物理化学通論3	2	1	後期前半	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221160A2	無機化学通論3	2	2	後 期	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221170A2	化学熱力学1	2	1	後期後半	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221180A2	機器分析法Ⅱ	2	1	後期前半	2 回生	R2年度以降入学者対象
2221190C3	化学専門実験1	10	2	前 期	3 回生	
2221200C3	化学専門実験2	10	2	後 期	3 回生	
2221210C3	化学専門実験3		2		3 回生	本年度開講せず（H26～H31年度入学者対象）
2221220A1	化学キャリアセミナーⅠ		1		1-4回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2221230A1	化学キャリアセミナーⅡ		1		1-4回生	本年度開講せず（H26～H31年度入学者対象）
2221240A1	化学キャリアセミナーⅢ		1		1-4回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221250A1	化学キャリアセミナーⅣ		1		1-4回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221260A4	化学キャリアセミナーⅤ		1		4回生	編入学用 本年度開講せず（H31年度入学者まで対象）
2221270A4	化学キャリアセミナーⅥ		1		4回生	化学キャリアセミナーⅠ～Ⅳ既履修者対象 本年度開講せず（H31年度入学者まで対象）
2221280A2	機器分析法 1	(30)	2	不 定 期	2回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「機器分析法Ⅰ」と「機器分析法Ⅱ」で読み替え
2221290A3	機器分析法 2	2	2	後 期	3回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「有機化合物構造決定法」で読み替え
2221300A4	機器分析法 3		2		4回生	本年度開講せず（H29年度入学者まで適用）
2221310A2	実践化学英語Ⅰ		2		2回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221320A3	実践化学英語Ⅱ		2		3回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221330A2	化学熱力学	2	2	後 期	2回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「物理化学通論3」と「化学熱力学1」で読み替え
2221340A2	遷移元素の化学	2	2	後 期	2回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「無機化学通論2」で読み替え
2221350A3	化学統計力学	2	2	後 期	3回生	
2221360A3	量子化学	2	2	前 期	3回生	
2221370A3	錯体化学	2	2	前 期	3回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「錯体化学Ⅰ」と「錯体化学Ⅱ」で読み替え
2221380A3	脂肪族有機化学	2	2	前 期	3回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「脂肪族化学Ⅰ」と「脂肪族化学Ⅱ」で読み替え
2221390A3	芳香族有機化学	2	2	前 期	3回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「共役系化学」と「芳香族化学」で読み替え
2221400A3	奈良女子大の化学	(15)	1	前 期	3回生	
2221410A3	反応速度論		2		3回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221420B3	実践物理化学		2		3回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221430A3	固体化学	(30)	2	不 定 期	3回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「固体化学入門」と「固体物性化学」で読み替え

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2221440A3	無機反応化学		2		3 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221450A3	高分子化学		2		3 回生	本年度開講せず（H29年度入学者まで適用）
2221460A3	有機立体化学		2		3 回生	本年度開講せず（H31年度入学者まで適用）
2221470A3	生物化学	2	2	後 期	3 回生	H26～H31年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生物化学Ⅰ」と「生物化学Ⅱ」で読み替え
2221480A3	錯体化学Ⅰ	2	1	前期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221490A3	錯体化学Ⅱ	2	1	前期後半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221500A3	脂肪族化学Ⅰ	2	1	前期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221510A3	脂肪族化学Ⅱ	2	1	前期後半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221520A3	共役系化学	2	1	前期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221530A3	芳香族化学	2	1	前期後半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221540A3	化学熱力学 2	2	1	前期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221550A3	化学熱力学 3	2	1	前期後半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221560A3	基礎化学英語	2	1	前期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221570A3	化学反応速度論	2	1	後期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221580A3	固体物性化学	2	1	後期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221590A3	有機金属化学入門	2	1	後期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221600A3	高分子科学	2	1	後期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221610B3	有機化学演習	2	1	後期後半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221620A3	生物化学Ⅰ	2	1	後期前半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221630A3	生物化学Ⅱ	2	1	後期後半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221640A3	有機化合物構造決定法	2	2	後 期	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221650A3	光化学入門	2	1	後期後半	3 回生	R2年度以降入学者対象
2221660A4	電解質溶液化学		2		4 回生	本年度開講せず（H29年度入学者まで適用）
2221670A4	有機金属化学		2		4 回生	本年度開講せず（H29年度入学者まで適用）
2221680A4	有機反応論		2		4 回生	本年度開講せず（H29年度入学者まで適用）
2221690A3	基礎無機化学通論Ⅰ	(30)	2	前期集中	3 回生	編入学用
2221700A3	基礎無機化学通論Ⅱ	(30)	2	後期集中	3 回生	編入学用
2221710A3	基礎有機化学通論Ⅰ	(30)	2	前期集中	3 回生	編入学用
2221720A3	基礎有機化学通論Ⅱ	(30)	2	後期集中	3 回生	編入学用
2221730A3	基礎物理化学通論Ⅰ	(30)	2	前期集中	3 回生	編入学用
2221740A3	基礎物理化学通論Ⅱ	(30)	2	後期集中	3 回生	編入学用
2221750F4	卒業研究Ⅰ（化学）		5	前 期	4 回生	
2221760F4	卒業研究Ⅱ（化学）		5	後 期	4 回生	
2221770F4	卒業研究Ⅲ（化学）		5	後 期	4 回生	
2221780F4	卒業研究Ⅳ（化学）		5	前 期	4 回生	
2221790F4	課題研究Ⅰ（化学）		2	前 期	4 回生	
2221800F4	課題研究Ⅱ（化学）		2	後 期	4 回生	
2221810F4	課題研究Ⅲ（化学）		2	後 期	4 回生	
2221820F4	課題研究Ⅳ（化学）		2	前 期	4 回生	

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2221830E4	化学英語アクティブラーニングⅠ		1	前 期	4 回生	卒業研究Ⅰ(化学) 履修者対象
2221840E4	化学英語アクティブラーニングⅡ		1	後 期	4 回生	卒業研究Ⅱ(化学) 履修者対象
2221850E4	化学英語アクティブラーニングⅢ		1	後 期	4 回生	卒業研究Ⅲ(化学) 履修者対象
2221860E4	化学英語アクティブラーニングⅣ		1	前 期	4 回生	卒業研究Ⅳ(化学) 履修者対象
2221870E4	化学情報アクティブ検索Ⅰ		1	前 期	4 回生	卒業研究Ⅰ(化学) 履修者対象
2221880E4	化学情報アクティブ検索Ⅱ		1	後 期	4 回生	卒業研究Ⅱ(化学) 履修者対象
2221890E4	化学情報アクティブ検索Ⅲ		1	後 期	4 回生	卒業研究Ⅲ(化学) 履修者対象
2221900E4	化学情報アクティブ検索Ⅳ		1	前 期	4 回生	卒業研究Ⅳ(化学) 履修者対象
コース科目 (生物科学系)						
2222010A2	生化学	2	2	前 期	2 回生	
2222020A2	生物科学英語	2	2	前 期	2 回生	
2222030D2	生物形態分類学実習Ⅰ	4	1	前 期	2 回生	H30年度以降入学者対象
2222050A2	生物形態分類学実習Ⅱ	4	1	後 期	2 回生	H30年度以降入学者対象
2222050A2	基礎遺伝学	2	2	前 期	2 回生	
2222060D2	遺伝・生化学実習	6	1	前 期	2 回生	
2222070D2	分子細胞工学実習	6	1	後 期	2 回生	H26～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「分子細胞生物学実習」で読み替え
2222080D2	分子細胞生物学実習	6	1	後 期	2 回生	R4年度以降入学者対象
2222090D3	分子生物学実習		1		3 回生	本年度開講せず (H26～R3年度入学者対象)
2222100D3	細胞生物学実習	(30)	1	前期集中	3 回生	H26～R3年度入学者対象
2222110D3	生物形態発生学実習		1		3 回生	本年度開講せず (H26～R3年度入学者対象)
2222120A2	分子遺伝学	2	2	後 期	2 回生	
2222130A2	生物統計学	2	2	後 期	2 回生	R4年度以降入学者対象
2222140A2	分子細胞工学		2		2 回生	本年度開講せず (H26～R4年度入学者対象)
2222150A3	進化生物学	2	2	前 期	3 回生	
2222160A2	分子細胞生物学特論1	(15)	1	後期集中	2 回生	R4年度以降入学者対象
2222170A3	分子細胞生物学特論2	2	1	後期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222180A3	分子細胞生物学特論3	2	1	後期前半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222190A3	分子細胞生物学特論4	2	1	後期前半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222200A3	分子細胞生物学特論5	2	1	後期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222210A3	分子細胞生物学特論6	2	1	後期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222220A2	個体機能生物学特論1	(15)	1	後期集中	2 回生	R4年度以降入学者対象
2222230A3	個体機能生物学特論2	2	1	後期前半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222240A3	個体機能生物学特論3	2	1	後期前半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222250A3	個体機能生物学特論4	2	1	前期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222260A3	個体機能生物学特論5	2	1	前期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222270A3	個体機能生物学特論6	2	1	前期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222280A3	個体機能生物学特論7	2	1	前期前半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222290A2	生態学特論1	(15)	1	後期集中	2 回生	R4年度以降入学者対象
2222300A3	生態学特論2	2	1	前期前半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222310A3	生態学特論3	2	1	後期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222320A3	生態学特論4	2	1	前期前半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222330A3	生態学特論5	2	1	前期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2222340A3	生態学特論6		1		3 回生	本年度開講せず（R4年度以降入学者対象）
2222350A3	公正な研究活動のために	2	1	前期後半	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222360A3	奈良女子大学の生物学1	(15)	1	前期集中	3 回生	編入学用（R4年度以降入学者対象）
2222370A3	奈良女子大学の生物学2	(15)	1	前期集中	3 回生	編入学用（R4年度以降入学者対象）
2222380A3	奈良女子大学の生物学3	(15)	1	前期集中	3 回生	編入学用（R4年度以降入学者対象）
2222390A2	植物生理学	2	2	後 期	2 回生	
2222400A2	植物形態学	2	2	前 期	2 回生	
2222410A2	動物形態学	2	2	後 期	2 回生	
2222420A2	神経生理学	2	2	後 期	2 回生	
2222430A3	細胞生物学	2	2	前 期	3 回生	
2222440A3	発生生物学	2	2	前 期	3 回生	
2222450A3	恒常性の生理学	2	2	前 期	3 回生	
2222460A3	微生物科学	2	2	後 期	3 回生	
2222470D3	臨海実習Ⅰ	(30)	1	前期集中	3 回生	H26～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「臨海実習1」で読み替え
2222480D3	臨海実習Ⅱ	(30)	1	前期集中	3 回生	H26～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「臨海実習2」で読み替え
2222490D3	臨海実習1	(30)	1	前期集中	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222500D3	臨海実習2	(30)	1	前期集中	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222510D1	公開臨海実習	(30)	1	不定期集中	1-4回生	他機関で実施
2222520B3	実践生物環境科学演習Ⅰ	2	2	前 期	3 回生	H26～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生物環境科学演習II」で読み替え
2222530B3	実践生物環境科学演習Ⅱ		2		3 回生	本年度開講せず（H26～R3年度入学者対象）
2222540D3	生物環境科学展開実習Ⅰ	(30)	1	前期集中	3 回生	H26～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生物環境科学展開実習1」で読み替え
2222550D3	生物環境科学展開実習Ⅱ	(30)	1	前期集中	3 回生	H26～R3年度入学者対象 カリキュラム改正に伴い「生物環境科学展開実習2」で読み替え
2222560D3	生物環境科学展開実習Ⅲ		1		3 回生	本年度開講せず（H26～R3年度入学者対象）
2222570D3	生物環境科学展開実習1	(30)	1	前期集中	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222580D3	生物環境科学展開実習2	(30)	1	前期集中	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222590D1	生物環境科学グローバル展開実習	2	1	後 期	1-4回生	海外からの留学生、海外への留学生対象
2222600E3	生物科学研究入門1		3	後 期	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222610E3	生物科学研究入門2		3	前 期	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222620E3	生物科学研究入門（特）1		3	後 期	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222630E3	生物科学研究入門（特）2		3	前 期	3 回生	R4年度以降入学者対象
2222640F4	卒業研究Ⅰ（生物科学）		5	前 期	4 回生	

科目ナンバリングコード	授業科目	週時数	単位	学期別	対象学年	備 考
2222650F4	卒業研究Ⅱ（生物科学）		5	後 期	4 回生	
2222660F4	卒業研究Ⅲ（生物科学）		5	後 期	4 回生	
2222670F4	卒業研究Ⅳ（生物科学）		5	前 期	4 回生	
2222680F4	課題研究Ⅰ（生物科学）		2	前 期	4 回生	
2222690F4	課題研究Ⅱ（生物科学）		2	後 期	4 回生	
2222700F4	課題研究Ⅲ（生物科学）		2	後 期	4 回生	
2222710F4	課題研究Ⅳ（生物科学）		2	前 期	4 回生	
コース科目（環境科学系）						
2223010A1	環境科学概論	2	2	後 期	1 回生	
2223020E1	環境科学応用プログラミング	2	2	後 期	1 回生	
2223030B2	環境科学応用プログラミング演習	2	2	前 期	2 回生	
2223040E2	数値計算法	2	2	前 期	2 回生	
2223050A3	環境機能化学	2	2	後 期	3 回生	
2223060A3	環境分析化学		2		3 回生	本年度開講せず（R2年度入学者まで適用）
2223070A2	環境生物化学		2		2-4 回生	本年度開講せず（R2年度入学者まで適用）
2223080A2	グリーンケミストリー	2	2	前 期	2-4 回生	本年度開講せず（R4年度以前入学者対象）
2223090A1	大気化学入門		2		1-4 回生	本年度開講せず（R4年度入学者まで適用）
2223100E3	環境リスク論	2	2	前 期	3 回生	
2223110A3	個体群動態の数理	2	2	前 期	3 回生	
2223120A3	保全生物学	2	2	後 期	3 回生	
2223130E2	環境科学実践プログラミング	2	2	後 期	2 回生	
2223140B2	環境数学演習	2	2	後 期	2 回生	R6年度以前入学者対象
2223150E3	環境科学計算機実験	4	2	前 期	3 回生	
2223160A3	光の大気環境学	2	2	前 期	3 回生	
2223170E3	陸域リモートセンシング	2	2	後 期	3 回生	
2223180E3	大気環境データ処理	2	2	後 期	2 回生	
2223190E3	数理モデリング	2	2	後 期	3 回生	
2223200E3	Javaとモバイルプログラミング	2	2	後 期	3 回生	
2223210B3	実践環境科学英語演習Ⅰ	2	2	前 期	3 回生	
2223220B3	実践環境科学英語演習Ⅱ	(30)	2	後期集中	3 回生	
2223230B3	環境科学総合演習Ⅰ	(15)	1	前期集中	1-4 回生	新設（在学生一斉適用）
2223240B3	環境科学総合演習Ⅱ	(15)	1	後期集中	1-4 回生	新設（在学生一斉適用）
2223250F4	卒業研究Ⅰ（環境科学）		5	前 期	4 回生	
2223260F4	卒業研究Ⅱ（環境科学）		5	後 期	4 回生	
2223270F4	卒業研究Ⅲ（環境科学）		5	後 期	4 回生	
2223280F4	卒業研究Ⅳ（環境科学）		5	前 期	4 回生	
2223290F4	課題研究Ⅰ（環境科学）		2	前 期	4 回生	
2223300F4	課題研究Ⅱ（環境科学）		2	後 期	4 回生	
2223310F4	課題研究Ⅲ（環境科学）		2	後 期	4 回生	
2223320F4	課題研究Ⅳ（環境科学）		2	前 期	4 回生	

§ 11. 理学部専門科目授業時間割表

(数物科学科)〈1回生対象〉

教室はシラバスでご確認下さい。

前期	講義		実験及び実習	
	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2 数学物理の歩き方	学科全教員		
	3・4 基礎化学Ⅰ ※／基礎化学Ⅰ ※	梶原 (孝)		
	5・6 微分積分学入門	吉岡		
	7・8			
	9・10			
火	1・2			
	3・4 微分積分学Ⅰ (A) 微分積分学Ⅰ (B)	柳沢・森藤 (松澤)		
	5・6 微分積分学Ⅰ 演習 (B)	比連崎		
	7・8			
	9・10			
水	1・2 化学概論Ⅰ ※ 微分積分学Ⅰ 演習 (A)	〈梶原 (篤)〉 佐野・柳沢・森藤		
	3・4			
	5・6			
	7・8			
	9・10			
木	1・2 地学概論Ⅰ (A) 地球環境科学Ⅰ (A)	〈小西〉 村松・瀬戸		
	3・4 基礎生物学Ⅰ ※	酒井・川野		
	5・6 基礎化学Ⅱ ※／基礎化学Ⅱ ※	高島・藤井		
	7・8 基礎の物理 (A)	山本		
	9・10			
金	1・2			
	3・4			
	5・6 線形代数学Ⅰ (A)	〈小林〉・村井		
	7・8 線形代数学Ⅰ (B) 線形代数学Ⅰ 演習	篠田 村井		
	9・10			

後期	講義		実験及び実習	
	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2 統計処理論	石井		
	3・4		地学実験Ⅰ (A)	〈北原〉 他
	5・6			
	7・8			
	9・10			
火	1・2 化学概論Ⅱ ※	〈松尾〉		
	3・4			
	5・6		物理学実験Ⅰ (A) (5～8時限)	蜂谷・熊谷
	7・8			
	9・10			
水	1・2			
	3・4 微分積分学Ⅱ (A)	梅垣	【後期不定期】 (学部共通) 数物の探求 柳沢 他	
	5・6 微分積分学Ⅱ 演習 (A)	梅垣		
	7・8 微分積分学Ⅱ (B)	〈松澤〉・篠田		
	9・10			
木	1・2 地球環境科学Ⅱ (A) 地学概論Ⅱ (A) 基礎生物学Ⅱ ※	久慈 山内・〈富田〉 鍵和田・岩口		
	3・4			
	5・6			
	7・8 現代の物理 (A)	蜂谷		
	9・10			
金	1・2			
	3・4 力学Ⅰ	下川		
	5・6 微分積分学Ⅱ 演習 (B) 線形代数学Ⅱ (A)	比連崎 稻場		
	7・8 線形代数学Ⅱ (B) 線形代数学Ⅱ 演習	篠田 稻場		
	9・10 現代科学の最前線－数学・宇宙・物質・生命・情報のフロンティア－ (学部共通)	比連崎 他		

(注1) ※印は、化学生物環境学科科目

(注2) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

(数物科学科)〈2 回生対象〉

教室はシラバスでご確認下さい。

前期	数 物 科 学 科							
	学科共通科目		数学コース科目		物理学コース科目		数物連携コース科目	
	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2							
	3・4				電磁気学 1	宮林		
	5・6		集合・位相	片桐	力学演習	松岡		
	7・8		集合・位相演習	村井				
火	9・10							
	1・2	数学物理の展開	学科全教員					
	3・4							
	5・6		微分積分学Ⅲ ベクトル解析演習	(松澤)・篠田 下川				
水	7・8		微分積分学Ⅲ演習	佐野・篠田	電磁気学 1 演習	下村		
	9・10							
	1・2							
	3・4				力学 2	永廣		
木	5・6		ベクトル解析	下川				
	7・8							
	9・10							
	1・2				地学概論 1 (A) 地球環境科学 1 (A)	〈小西〉 村松・瀬戸		
金	3・4						ベクトルと空間の幾何学	岡崎
	5・6				物理学実験 2 (5～8 時限)	山内・下村	ベクトルと空間の幾何学演習	岡崎
	7・8							
	9・10							
金	1・2							
	3・4							
	5・6							
	7・8							
	9・10							

【学部共通
【不定期】
サイエンス・オープンラボ I (A) 村井・片桐 他
サイエンス・オープンラボ I (B) 蜂谷・下村 他
サイエンス・オープンラボ I (C) 近藤・松本 他
サイエンス・オープンラボ I (D) 川野・西井 他
サイエンス・オープンラボ I (E) 野口・高須 他

後期	数 物 科 学 科							
	学科共通科目		数学コース科目		物理学コース科目		数物連携コース科目	
	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2							
	3・4				量子力学 1	高橋(智彦)		
	5・6		応用複素解析演習 非線型解析学	大木 柳沢			シンメトリの数理	〈松澤〉
	7・8		非線型解析学演習	柳沢				
火	9・10							
	1・2							
	3・4							
	5・6		複素解析学	森藤	熱力学	下川		
水	7・8		複素解析学演習	森藤	電磁気学 2 演習	吉岡		
	9・10							
	1・2				電磁気学 2	吉岡		
	3・4		確率解析学	嶽村	量子力学 1 演習	大木		
木	5・6		確率解析学演習	嶽村			プログラミング	(小林)・村井
	7・8						プログラミング演習	(小林)・村井
	9・10							
	1・2				地球環境科学 2 (A) 地学概論 2 (A)	久慈 山内・(富田)		
金	3・4		応用複素解析	大木				
	5・6		関数解析入門 代数系の数理	佐野 稲場				
	7・8		関数解析入門演習 代数系の数理演習	佐野 稲場	化学基礎実験 1 (A) (5～9 時限)	太田(靖) 他		
	9・10							
金	1・2							
	3・4							
	5・6		代数入門	岡崎			グラフ理論	片桐
	7・8		代数入門演習	岡崎				
金	9・10	現代科学の最前線－数学・宇宙・物質・生命・情報のフロンティア (学部共通)	比連崎 他					

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

(数物科学科)〈3・4回生対象〉

教室はシラバスでご確認下さい。

前期	数 物 科 学 科							
	学科共通科目		数学コース科目		物理学コース科目		数物連携コース科目	
	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2							
	3・4							
	5・6	・学部共通 【不定期】 サイエンス・オープンラボⅡ(A) 村井・片桐 他 サイエンス・オープンラボⅡ(B) 蜂谷・下村 他 サイエンス・オープンラボⅡ(C) 近藤・松本 他 サイエンス・オープンラボⅡ(D) 川野・西井 他 サイエンス・オープンラボⅡ(E) 野口・高須	ガロア理論入門	梅垣				
	7・8		ガロア理論入門演習	梅垣	物理学特別実験1 (5～8時限) * 場の量子論序論	石井 他 高橋(智彦)		
	9・10							
火	1・2							
	3・4				固体物理学序論	松岡	形態の数理	〈小林〉
	5・6				相対性理論	宮林		
	7・8				核物理学	比連崎		
	9・10							
水	1・2	【その他】 (編入学生対象) 学科共通: 数物通論1(A) 岡崎 (4回生対象) 数学コース: 卒業研究Ⅰ 物理学コース: 卒業研究1 卒業研究3 数物連携コース: 卒業研究1 卒業研究3						
	3・4		幾何学的トポロジー	村井	量子力学2	吉岡		
	5・6		幾何学的トポロジー演習	村井	量子力学2演習 * 結晶物理学	高橋(智彦) 松岡		
	7・8							
	9・10							
木	1・2		フーリエ解析	高橋(智彦)				
	3・4		数理統計学	嶽村			多粒子系の量子力学	土射津
	5・6				統計力学1	狐崎	フラクタル解析学	篠田
	7・8				* 宇宙論入門 * 放射線物理学	大木 他 石井	発展方程式の数値解法 フラクタル解析学演習	狐崎 篠田
	9・10							
金	1・2		実解析学	森藤				
	3・4		実解析学演習	森藤	統計力学1演習	狐崎		
	5・6		曲面と多様体	片桐	計算機処理	永廣・石井		
	7・8		曲面と多様体演習	片桐	計算機処理演習	永廣・石井		
	9・10							

【前期集中】
 数学特別講義Ⅱ 〈青木〉
 数学特別講義Ⅲ 嶽村

【前期集中】
 地学実験Ⅱ(A) 〈渡部(義)〉・(松村)
 生物学実験(A) 鍵和田 他

後期	数 物 科 学 科							
	学科共通科目		数学コース科目		物理学コース科目		数物連携コース科目	
	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2							
	3・4							
	5・6		非線型解析学	柳沢	物理学特別実験2 (5～8時限)	石井 他	シンメトリーの数理	〈松澤〉
	7・8		非線型解析学演習	柳沢				
	9・10							
火	1・2	【その他】 (編入学生対象) 学科共通: 数物通論2(A) 嶽村 (4回生対象) 数学コース: 卒業研究Ⅱ 物理学コース: 卒業研究2 数物連携コース: 卒業研究2						
	3・4				固体量子論	土射津		
	5・6		複素解析学	森藤	高エネルギー物理学概論	宮林		
	7・8		複素解析学演習	森藤	宇宙物理学入門	山内		
	9・10							
水	1・2							
	3・4		確率解析学	嶽村	量子力学3	永廣		
	5・6		確率解析学演習	嶽村	* 一般相対性理論入門	高橋(智彦)	プログラミング	〈小林〉・村井
	7・8						プログラミング演習	〈小林〉・村井
	9・10							
木	1・2							
	3・4						連続体力学	狐崎
	5・6		関数解析入門 代数系の数理	佐野 稲場	統計力学2	土射津		
	7・8		関数解析入門演習 代数系の数理演習	佐野 稲場				
	9・10							
金	1・2						協力現象の統計力学	吉岡
	3・4				統計力学2演習	土射津		
	5・6		代数入門	岡崎				
	7・8		代数入門演習	岡崎				
	9・10							

(注1) 〈 〉の担当教員は非常勤講師

(注2) *印は、4回生対象科目

(化学生物環境学科)〈1回生対象〉

教室はシラバスでご確認下さい。

前期	学科共通科目		コース科目	
	授 業 科 目	教 員	授 業 科 目	教 員
月	1・2 化学生物環境数学 1	高橋 (智)		
	基礎細胞生物学	西井		
	3・4 地学実験 I (C)	村松 他		
	基礎化学 1	梶原 (孝)		
	5・6			
火	7・8			
	9・10			
	1・2			
	3・4 化学生物環境学入門	学科全教員		
	5・6 生物環境科学基礎実習 I /	川野 他		
水	7・8 生物環境科学基礎演習 I (5～10 時限)			
	9・10			
木	1・2 微分積分学概論 I	〈高橋 (亮)〉		
	化学概論 I	〈梶原 (篤)〉		
	3・4			
	5・6			
	9・10			
金	1・2 地学概論 1 (B)	〈小西〉		
	地球環境科学 1 (B)	村松・瀬戸		
	3・4 基礎生物学 1	酒井・川野		
	基礎化学 2	高島・藤井		
	7・8 基礎の物理 (B)	比連崎		
金	9・10			
	1・2			
	3・4			
	5・6 化学のための物理 1	太田 (靖)		
	環境科学基礎プログラミング	高須		
金	7・8 線型代数学概論 I	〈川口〉		
	環境科学基礎プログラミング演習	高須		
	9・10			

【前期集中】
(学科共通)
森林生物学野外実習 井田 他
河川生物学野外実習 片野 他
海洋生物学野外実習 遊佐 他
(環境科学コース)
環境科学総合演習 1 野口・瀬戸

【不定期集中】
(生物科学コース)
公開臨海実習 (他機関で実施)
(学部共通)
サイエンス・オープンラボ I(D) 川野・西井 他
サイエンス・オープンラボ I(E) 野口・高須

後期	学科共通科目		コース科目	
	授 業 科 目	教 員	授 業 科 目	教 員
月	1・2 現代の物理 (B)	山本		
	基礎化学 3	中島		
	3・4 地学実験 I (B)	村松 他		
	基礎化学 4	片岡		
	5・6			
火	7・8			
	9・10			
	1・2 化学概論 II	〈松尾〉		
	化学のための物理 2 / 化学のための物理 II	近藤		
	3・4 生物多様性学	片野 他		
火	5・6 生物環境科学基礎実習 II /	鍵和田 他		
	7・8 生物環境科学基礎演習 II (5～10 時限)			
	9・10			
水	1・2 微分積分学概論 II	〈高橋 (亮)〉		
	3・4			
	5・6			
	7・8			
	9・10			
木	1・2 地球環境科学 2 (B)	久慈		
	地学概論 2 (B)	山内・〈富田〉		
	基礎生物学 2	鍵和田・岩口		
	3・4			
	5・6 化学基礎実験 1 (B)	太田 (靖) 他		
木	7・8 (5～9 時限)			
	9・10			
金	1・2			
	3・4 力学 1 ※	下川	環境科学応用プログラミング (環境科学コース)	久慈
	5・6		環境科学概論 (環境科学コース)	環境科学コース全教員
	7・8 線型代数学概論 II	〈川口〉		
	化学生物環境数学 2	高橋 (智)		
金	9・10 現代科学の最前線－数学・宇宙・物質・ 生命・情報のフロンティア－ (学部共通)	比連崎 他	生物環境科学グローバル展 開実習 (海外留学生対象) (生物科学コース)	鍵和田 他

(注 1) ※印は、数物科学科科目

(注 2) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

(化学生物環境学科)〈2 回生対象〉

教室はシラバスでご確認下さい。

前期		化 学 生 物 環 境 学 科							
		学科共通科目		コース科目 (化学系)		コース科目 (生物科学系)		コース科目 (環境科学系)	
		授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2								
	3・4					植物形態学	酒井・高塚		
	5・6			無機化学通論 1	中島	遺伝・生化学実習 (5～10 時限)	鍵和田 他		
	7・8								
9・10									
火	1・2					基礎遺伝学	岩口		
	3・4								
	5・6	化学基礎実験 2 (5～9 時限)	片岡 他						
	7・8								
9・10									
水	1・2			物理化学通論 1	衣川	生物科学英語	杉浦 他		
	3・4							数値計算法	久慈
	5・6	生態学実習 (5～10 時限)	遊佐 他						
	7・8								
9・10									
木	1・2	地学概論 1 (B)	〈小西〉	機器分析法 I (前半)	河合	生化学	鍵和田		
	3・4	地球環境科学 1 (B)	村松・瀬戸	固体化学入門 (後半)	岩井				
	5・6	生物環境統計学	高橋 (智)	有機化学通論 1	松本				
	7・8	【不定期】 (学部共通) サイエンス・オープンラボ I (A) 村井・片桐 他 サイエンス・オープンラボ I (B) 蜂谷・下村 他 サイエンス・オープンラボ I (C) 近藤・松本 他 サイエンス・オープンラボ I (D) 川野・西井 他 サイエンス・オープンラボ I (E) 野口・高須 (化学コース) 機器分析法 1 前期 木 1・2 および後期 月 1・2 本田・河合 【前期集中】 (学科共通) 地学実験 II (B) 村松 他			【不定期集中】 公開臨海実習 (他機関で実施)		環境科学応用プロ グラミング演習	久慈	
9・10									
1・2									
3・4									
5・6									
金	5・6					生物形態分類学実習 I (5～8 時限)	西井 他	【前期集中】 環境科学総合演習 1 野口・瀬戸	
	7・8								
	9・10								

後期	化 学 生 物 環 境 学 科							
	学科共通科目		コース科目 (化学系)		コース科目 (生物科学系)		コース科目 (環境科学系)	
	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2	生命圏の地球化学	瀬戸・酒井	物理化学通論 3 (前半) / 化学熱力学	衣川 / 衣川・吉村	植物生理学	奈良・高塚	
	3・4	生態学	井田・片野					
	5・6							
	7・8				分子細胞生物学実習 / 分子細胞工学実習 (5～10 時限)	岩口 他		
火	1・2							
	3・4		物理化学通論 2	太田 (靖)	動物形態学	堀・岡本		
	5・6						環境科学実践プログラミング	村松・高橋 (智)
	7・8	化学基礎実験 3 (5～9 時限)	高島 他		【後期集中】 分子細胞生物学特論1 鍵和田 他 個体機能生物学特論1 酒井 他 生態学特論1 遊佐 他			
水	1・2	生物環境科学演習 I / 生物環境科学演習	遊佐 他	有機化学通論 2 / 有機化学通論 II	浦			
	3・4			無機化学通論 2 / 遷移元素の化学	梶原 (孝)	生物統計学	井田	
	5・6	環境生物学実習 (5～10 時限)	奈良 他					
	7・8							
木	1・2	地球環境科学 2 (B) 地学概論 2 (B)	久慈 山内・富田	無機化学通論 3 / 無機化学通論 II	藤井	分子遺伝学	清水	
	3・4	【後期集中】 物理学実験 1 (B) 松岡・太田 (直)		機器分析法 II (前半) 化学熱力学 1 (後半) 化学熱力学	本田 吉村 / 衣川・吉村			
	5・6					生物形態分類学実習 II (5～8 時限)	片野 他	環境科学演習 大気環境データ処理
	7・8							野口
金	1・2							
	3・4							
	5・6							
	7・8							
後期集中	9・10	現代科学の最前線－数学・ 宇宙・物質・生命・情報の フロンティア－ (学部共通)	比連崎 他			生物環境科学グ ローバル展開実習 (海外留学者対象)	鍵和田 他	【後期集中】 環境科学総合演習 2 野口・瀬戸

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

教室はシラバスでご確認下さい。

後期	学科共通科目		化 学 生 物 環 境 学 科		コース科目 (生物学系)		コース科目 (環境科学系)	
	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員	授業科目	教員
月	1・2				微生物科学	岩口		
	3・4	分子細胞生物学特論Ⅴ(後半)	清水	固体物性化学(前半)	梶原(孝)	分子細胞生物学特論Ⅴ(後半)	清水	
	5・6	【その他】 【5 回生対象】 生物科学コース: 生物科学研究入門Ⅰ 生物科学研究入門(特)Ⅰ (4 回生対象) 化学コース: 本業研究Ⅱ(化学) 本業研究Ⅲ(化学) 課題研究Ⅱ(化学) 課題研究Ⅲ(化学) 化学英語アクティブラーニングⅡ 化学英語アクティブラーニングⅢ 化学情報アクティブ検索Ⅱ 化学情報アクティブ検索Ⅲ 生物科学コース: 本業研究Ⅱ(生物学) 本業研究Ⅲ(生物学) 課題研究Ⅱ(生物学) 課題研究Ⅲ(生物学) 環境科学コース: 本業研究Ⅱ(環境科学) 本業研究Ⅲ(環境科学) 課題研究Ⅱ(環境科学) 課題研究Ⅲ(環境科学)	生物化学Ⅰ(前半)	本田			陸域リモートセンシング	村松
	7・8		生物化学Ⅱ(後半) / 生物化学				環境機能化学	吉村
	9・10							
1・2								
火	3・4	分子細胞生物学特論Ⅳ(前半)	西井 岩口	有機金属化学入門(前半)	中島 高島	分子細胞生物学特論Ⅳ(前半)	西井 岩口	
	5・6	分子細胞生物学特論Ⅵ(後半)		化学光化学入門(後半)	近藤 松本	分子細胞生物学特論Ⅵ(後半)		
	7・8			化学反応速度論(前半)				
	9・10			有機化学演習(後半)			数理モデリング	高橋(智)・高須
	1・2							
水	1・2	分子細胞生物学特論Ⅲ(前半)	鍵和田 京極			分子細胞生物学特論Ⅲ(前半)	鍵和田 京極	
	3・4	生態学特論Ⅲ(後半)				生態学特論Ⅲ(後半)		保全生物学 遊佐
	5・6							
	7・8							
	9・10							
木	1・2	個体機能生物学特論Ⅱ(前半)	酒井	高分子科学(前半)	梶原(篤)	個体機能生物学特論Ⅱ(前半)	酒井	
	3・4			化学専門実験Ⅱ(5～9時限)	吉村 他			
	5・6							
	7・8							
	9・10							
金	1・2			化学統計学	衣川	個体機能生物学特論Ⅲ(前半)	岡本 杉浦	Javaとモバイルプログラミング 高橋(智)
	3・4	個体機能生物学特論Ⅲ(前半)	岡本 杉浦	有機化合物構造決定法 / 機器分析法Ⅱ	中島・佐々木	分子細胞生物学特論Ⅲ(前半)	岡本 杉浦	
	5・6	分子細胞生物学特論Ⅱ(後半)		化学専門実験Ⅱ(5～9時限)	吉村 他	分子細胞生物学特論Ⅱ(後半)		
	7・8							
	9・10							
			【編入学生対象】 基礎無機化学通論Ⅱ 梶原(孝) 基礎有機化学通論Ⅱ 浦 太田(靖) 基礎物理化学通論Ⅱ		生物環境科学グローバル展開実習(海外留学生対象)	鍵和田 他	【後期集中】 基礎環境科学英語演習Ⅱ 高須 他 環境科学総合演習Ⅱ 野口・瀬戸	

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

(注) 〈 〉 の担当教員は非常勤講師

§ 12. 理学部専門科目 積極開放科目

教 員	科目ナンバ リングコード	開講科目（講義題目）	週時数	単 位	開講期	備 考
数物科学科 数学コース科目						
松 澤	2211030A1	微分積分学Ⅰ（Ｂ）	2	2	前期	物理学・数物連 携コース希望 者対象
篠 田	2211070A1	線形代数学Ⅰ（Ｂ）	2	2	前期	物理学・数物連 携コース希望 者対象
松 澤 篠 田	2211100A1	微分積分学Ⅱ（Ｂ）	2	2	後期	物理学・数物連 携コース希望 者対象
篠 田	2211140A1	線形代数学Ⅱ（Ｂ）	2	2	後期	物理学・数物連 携コース希望 者対象
化学生物環境学科共通科目						
比連崎	2220060A1	基礎の物理（Ｂ）	2	2	前期	
山 本	2220070A1	現代の物理（Ｂ）	2	2	後期	
梶原（篤）	2220240A1	化学概論Ⅰ	2	2	前期	
松 尾	2220250A1	化学概論Ⅱ	2	2	後期	
酒 井 川 野	2220390A1	基礎生物学Ⅰ	2	2	前期	
鍵和田 岩 口	2220400A1	基礎生物学Ⅱ	2	2	後期	

※本学では、教養教育と専門教育の連携の見地から、各学部の専門教育科目の中に「積極開放科目」を設け、他学科、他学部学生の履修を積極的に受け入れています。それ以外の専門教育科目については、前提となる基礎的知識や設備などの都合により、やむを得ず他学科、他学部学生の履修を制限することがあります。

Ⅲ 生活環境学部

学部の目的

本学部では、生活の根幹である衣・食・住や家族の環境など、生活を取り巻く様々な生活環境を教育研究の対象とし、生活に関わる諸問題を科学的に分析し、高度な教育・研究を進め、生活診断力や生活改善力に優れ、生活者の目で見えて社会をリードできる女性専門職業人を養成することを目的とする。

学科の目的

- ・ 食物栄養学科では「食」にかかわるバイオサイエンスの高度な研究・教育を行うと同時に、人間栄養学にかかわる分野を充実させ、科学的概念と同時に実践的知識を身につけた食物・栄養分野における日本のリーダーとなる専門家の育成を目的とする。
- ・ 心身健康学科では、心と身体の健康に関する系統的で幅広い知識と実践的応用力を、科学的視点と総合的人間理解の視点から身につけ、心身の健康の維持増進を実践推進できる人材育成を目的とする。
- ・ 住環境学科では、住宅・インテリアから建築・都市・地域にいたる広範な領域を対象に、地球環境時代にふさわしく質の高い生活空間を計画・設計し、建設・管理するための技術を身につけた専門家の養成を目的とする。
- ・ 文化情報学科では、生活に関わる諸問題を人文社会科学とライフ・コンピューティングの観点から文理横断的・文理循環的に分析し、生活に関わる「社会的課題の解決」とより良い社会の創造という「新しい価値の創出」に貢献できる女性人材の育成を目的とする。
- ・ 情報衣環境学科は、衣環境学と情報工学の基本的事項や先端技術を教育・研究し、安全で快適な衣環境の構築、モバイル装置としての衣服の構想、並びにライフ・コンピューティングによる生活改善を行うための専門知識や技術を身につけた人材の養成を目的とする。
- ・ 生活文化学科は、女性リーダーに必要な教養を身につけ、広い視野と専門的スキルの両者を兼ね備えた人材を育成する。人間生活を支える多様な価値観を理解して、うまくコミュニケーションするスキルを学び、様々な社会生活課題に専門的知識で取り組み、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

生活環境学部では、入学した年次の「生活環境学部規程」(『CAMPUS LIFE』参照)が卒業まで原則として適用されます。

しかしながら、入学後に科目の見直し等が行われ、実際に開講されている科目と規程に示されている科目が異なることがあります。変更されている点は、以下に掲げる案内に解説しています。

履修の計画を立てるときは、入学年次の「生活環境学部規程」と本冊子『専門教育ガイド』を熟読し、変更点に十分留意してください。

また不明な点は、必ず学科・コースの教務担当の教員または学務課生活環境学部係に確認してください。

1. 専門教育科目以外の履修について

基礎科目群(外国語科目・保健体育科目・情報処理科目)、教養科目群、単位互換制度による科目、キャリアプラン科目群、教職科目群、資格関連科目群の履修方法は『全学教育ガイド』に解説していますので、そちらを参照してください。

【放送大学教育協力型単位互換科目】

これは放送大学の授業科目を本学の教育課程の中で開講するもので、全学生が無料で受講することができます。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれません。なお、この科目の受講者を対象に、様々なアンケート調査が行われます。「放送大学教育協力型単位互換科目」の詳細については、『全学教育ガイド』の「Ⅳ 単位互換制度 1 放送大学教育協力型単位互換科目について」を参照してください。

【奈良県大学連合における単位互換について】

平成20年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の7大学(帝塚山大学・天理大学・奈良大学・奈良教育大学・奈良県立大学・奈良県立医科大学・奈良学園大学)の指定された科目を履修できるようになりました。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれます。なお、この制度は2年次生以上を対象とするので、令和7年度入学生は、令和8年度から利用できます。詳細については、『全学教育ガイド』の「Ⅳ 単位互換制度 2 奈良県大学連合における単位互換について」を参照してください。

2. 専門教育科目の履修

生活環境学部の卒業要件単位の詳細は、次ページ以降のとおりになっています。

入学年度により、必修の単位数が異なりますので、よく確認してください。

なお、必修区分の詳細は後述の「13. 生活環境学部専門教育科目一覧」に詳述しています。

こちらも参照のうえ、履修計画を立ててください。

【令和7年度以降入学生】

授 業 科 目			食物栄養 学 科	心身健康 学 科	住環境 学 科	文化情報学科		備 考	
				生活健康学 コース / 臨床心理学 コース		生活文化学 コース	生活情報 通信科学 コース		
教養教育科目	基礎科目群	外 国 語 科 目	8 ----- 4	8 ----- 4	8 ----- 4	12	8 ----- 4	8 ----- 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
		保健体育科目（必修）	2	2	2	2	2	2	
		情 報 処 理 科 目	—	—	—	—	—	—	
		合 計 【注 1】	14	14	14	14	14	14	
		教 養 科 目 群 （ ※ ）	16	16	16	16	20	16	
	計		30	30	30	30	34	30	
専門教育科目	学部共通科目（必 修）		—	2	2	—	2	2	本章の 8 節 および 11 節 を参照
	（選択必修）		—	2	2	—	—	—	
	学部共通科目（必 修）		—	6	6	—	6	6	
	（選択必修）		—	—	—	—	22	22	
	学科専門基盤科目（必 修）		—	—	—	2	—	—	
	（選択必修）		—	30	30	—	—	—	
	以上、計（必 修）		—	8	8	2	8	8	
	（選択必修）		6	32	32	4	22	22	
	学科・コース専門教育科目（必 修）		32	20	20	54	6	20	
	（選択必修）		24	6	8	16	24	16	
	卒 業 研 究（必 修）		12	12	12	12	12	10	
	専門教育科目総計		74	78	80	88	72	76	
卒業に必要な残りの単位数			20	16	14	6	18	18	
合 計			124	124	124	124	124	124	

（※）連携開設科目については8単位まで（心身健康学科生活健康学コースにおいては16単位まで）教養科目群の単位を含めることができる。教養科目群の単位としない連携開設科目の単位は文化情報学科生活情報通信科学コースを除き、各学科・コースの卒業要件単位に算入する。

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」（ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。）
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習（生活文化学）」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習（インターンシップ）Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【令和4年度～6年度入学生】

授 業 科 目		食物栄養 学 科	心身健康 学 科		住環境 学 科	文化情報学科		備 考
			生活健康学 コース ／ 臨床心理学 コース	スポーツ 健康科学 コース		生活文化学 コース	生活情報 通信科学 コース	
教養教育科目	基礎科目群							
	外 国 語 科 目	8 4	8 4	8 4	12	8 4	8 4	詳細な履修 方法について は、『全学 教育ガイド』 を参照
	保健体育科目（必修）	2	2	2	2	2	2	
	情 報 処 理 科 目	—	—	—	—	—	—	
	合 計 【注1】	14	14	14	14	14	14	
	教 養 科 目 群 （ ※ ）	16	16	16	16	20	16	
計		30	30	30	30	34	30	
専門教育科目	学部共通科目（必修）	—	2	2	—	2	2	本章の8節 および11節 を参照
	（選択必修）	—	2	2	—	—	—	
	学部共通科目（必修）	—	6	6	—	6	6	
	（選択必修）	—	—	—	—	22	22	
	学科専門基盤科目（必修）	—	—	—	2	—	—	
	（選択必修）	—	30	30	—	—	—	
	以上、計（必修）	—	8	8	2	8	8	
	（選択必修）	6	32	32	4	22	22	
	学科・コース専門教育科目（必修）	32	20	20	54	6	20	
	（選択必修）	24	6	8	16	24	16	
	卒業研究（必修）	12	12	12	12	12	10	
専門教育科目総計		74	78	80	88	72	76	
卒業に必要な残りの単位数		20	16	14	6	18	18	
合 計		124	124	124	124	124	124	

（※）教養科目群には、高年次（3・4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含むこと。連携開設科目については8単位まで（心身健康学科生活健康学コースにおいては16単位まで）教養科目群の単位を含めることができる。教養科目群の単位としない連携開設科目の単位は文化情報学科生活情報通信科学コースを除き、各学科・コースの卒業要件単位に算入する。

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」（ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。）
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習（生活文化学）」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習（インターンシップ）Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【令和3年度入学生】

授 業 科 目		食物栄養学 学 科	心身健康学 学 科	情報環境学科		住環境学 学 科	生活文化学 学 科	備 考
				衣環境学 コ ー ス	生活情報 通信科学 コ ー ス			
教養教育科目	基礎科目群	8 4	8 4	8 4	8 4	12	8 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
	外国語科目	—	—	—	—	—	—	
	保健体育科目（必修）	2	2	2	2	2	2	
	情報処理科目	—	—	—	—	—	—	
	合 計【注1】	14	14	14	14	14	14	
	教養科目群（※）	16	16	16	16	20	20	
計		30	30	30	30	34	34	
専門教育科目	学部共通科目（必修）	—	2	2	2	—	—	本章の8節および11節を参照
	（選択必修）	—	2	—	—	—	—	
	学科共通科目（必修）	—	6	6	8	—	—	
	（選択必修）	—	—	12	10	—	—	
	学科専門基盤科目（必修）	—	—	—	—	2	—	
	（選択必修）	—	30	—	—	—	—	
	以上、計（必修）	—	8	8	10	2	—	
	（選択必修）	6	32	12	10	4	4	
	学科・コース専門教育科目（必修）	32	20	20	20	55	6	
	（選択必修）	24	8	22	30	17	46	
	卒業研究（必修）	12	12	12	10	12	12	
専門教育科目総計		74	80	74	80	90	68	
卒業に必要な残りの単位数		20	14	20	14	6	22	【注2】【注3】を参照
合 計		124	124	124	124	130	124	

※教養科目群には、高年次（3，4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含むこと。

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」（ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。）
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習（生活文化学）」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習（インターンシップ）Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【平成31年度～令和2年度入学生】

授 業 科 目			食物栄養 学 科	心身健康 学 科	情報衣環境学科		住環境 学 科	生活文化 学 科	備 考
					衣環境学 コース	生活情報 通信科学 コース			
教養教育科目	基礎科目群	外 国 語 科 目	8 4	8 4	8 4	8 4	12	8 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
		保 健 体 育 科 目（必修）	2	2	2	2	2	2	
		情 報 処 理 科 目	—	—	—	—	—	—	
		合 計【注1】	14	14	14	14	14	14	
	教 養 科 目 群（※）		16	16	16	16	20	20	
	計		30	30	30	30	34	34	
専門教育科目	学部共通科目（必修）		—	2	2	2	—	—	本章の8節および11節を参照
	（選択必修）		—	2	—	—	—	—	
	学科共通科目（必修）		—	6	6	8	—	—	
	（選択必修）		—	—	12	10	—	—	
	学科専門基盤科目（必修）		—	—	—	—	2	—	
	（選択必修）		—	30	—	—	—	—	
	以上、計（必修）		—	8	8	10	2	—	
	（選択必修）		6	32	12	10	4	4	
	学科・コース専門教育科目（必修）		32	20	22	20	55	6	
	（選択必修）		24	8	24	30	17	46	
	卒 業 研 究（必修）		12	12	12	10	12	12	
専門教育科目総計		74	80	78	80	90	68		
卒業に必要な残りの単位数			20	14	16	14	6	22	【注2】【注3】を参照
合 計			124	124	124	124	130	124	

※教養科目群には、高年次（3，4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含むこと。

【注1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」（ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。）
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの2に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの3に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習（生活文化学）」

【注3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習（インターンシップ）Ⅰ」「同Ⅱ」について、卒業要件単位に含むことができるのは2単位まで。

【平成30年度入学生】

授 業 科 目		食物栄養学 学 科	心身健康学 学 科	情報環境学科		住環境学 学 科	生活文化学 学 科	備 考
				衣環境学 コース	生活情報 通信科学 コース			
教養教育科目	基 礎 科 目 群	8 4	8 4	8 4	8 4	12	8 4	詳細な履修方法については、『全学教育ガイド』を参照
	外 国 語 科 目	8 4	8 4	8 4	8 4	12	8 4	
	保 健 体 育 科 目 (必 修)	2	2	2	2	2	2	
	情 報 処 理 科 目	—	—	—	—	—	—	
	合 計 【注 1】	14	14	14	14	14	14	
	教 養 科 目 群	16	16	16	16	20	20	
計		30	30	30	30	34	34	
専 門 教 育 科 目	学部共通科目 (必 修)	—	2	2	2	—	—	本章の 8 節および11節を参照
	(選択必修)	—	2	—	—	—	—	
	学科共通科目 (必 修)	—	6	8	10	—	—	
	(選択必修)	—	—	10	10	—	—	
	学科専門基盤科目 (必 修)	—	—	—	—	2	—	
	(選択必修)	—	30	—	—	—	—	
	以上、計 (必 修)	—	8	10	12	2	—	
	(選択必修)	6	32	10	10	4	4	
	学科・コース専門教育科目 (必 修)	32	20	24	20	55	6	
	(選択必修)	24	8	18	28	17	46	
	卒 業 研 究 (必 修)	12	12	12	10	12	12	
専門教育科目総計		74	80	74	80	90	68	
卒業に必要な残りの単位数		20	14	20	14	6	22	【注 2】【注 3】を参照
合 計		124	124	124	124	130	124	

【注 1】教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注 2】「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

- ① 生活環境学部規程別表Ⅲの 1 に定める「キャリアプラン科目群」(ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。)
- ② 生活環境学部規程別表Ⅲの 2 に定める「教職科目群」全て
- ③ 生活環境学部規程別表Ⅲの 3 に定める「資格関連科目群」全て
- ④ 生活文化学科専門科目の「インターンシップ実習 (生活文化学)」

【注 3】住環境学科専門科目の「住環境学学外実習 (インターンシップ) I」「同 II」について、卒業要件単位に含むことができるのは 2 単位まで。

3. 1年間に履修登録できる単位数の上限

生活環境学部では、一年間に履修科目として登録できる単位の上限を、**原則48単位**と定めています。**なお、履修登録単位数の上限に関する規程は、編入学生及び転学科・転コースの学生には適用されません。また、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。**

(1) 上限の対象となる授業科目

卒業要件単位として履修する授業科目です。卒業要件単位とは、卒業に必要な124単位（令和3年度以前入学の住環境学科学生は130単位）に含めることができるものです。以下の科目が卒業要件単位として履修する授業科目にあたります。

- ① 教養教育科目（基礎科目群・教養科目群（連携開設科目を含む））
- ② 専門教育科目（他学部専門教育科目を含む）
- ③ キャリア教育科目の一部（「現代社会と職業」）
- ④ 単位互換制度による科目

放送大学教育協力型単位互換科目の授業科目（当科目は上限の対象となりません）

奈良県大学連合における単位互換による科目

(2) 上限の対象とならない授業科目

- ① キャリア教育科目（「現代社会と職業」を除く）

キャリアプラン科目群、教職科目群（教員免許状取得に関する科目）

資格関連科目群（学芸員、学校図書館司書教諭に関する科目）

- ② 卒業要件単位となる授業科目であっても、下記のものは**上限の対象外となります。**

- ・授業科目名が「実験」である科目

- ・授業科目名が「実習」である科目

（※情報衣環境学科衣環境学コース専門教育科目「衣環境デッサントレーニング」、住環境学科専門教育科目「住環境デザイン基礎」も上限の対象外です）

- ・授業科目名が「演習」である科目

（※心身健康学科コース専門教育科目（臨床心理学コース）「心理検査法（心理的アセスメント）」「心理学統計法」、生活文化学科／文化情報学科生活文化学コース専門教育科目「生活文化学の方法」、情報衣環境学科生活情報通信科学コース専門教育科目「プログラミング言語2」「情報処理技術1」「情報処理技術2」、文化情報学科生活情報通信科学コース専門教育科目「プログラミング言語Ⅱ」「情報処理技術Ⅰ」「情報処理技術Ⅱ」も上限の対象外です。但し、生活文化学科／文化情報学科生活文化学コースの演習のうち、必修のものについては上限単位数に含まれます。）

- ・授業科目名が「卒業研究」である科目

- ・集中講義として実施される開講科目

- ・放送大学教育協力型単位互換科目の授業科目

4. 所定の単位を優れた成績で修得した者の履修登録単位数の上限緩和

以下の条件を全て満たす学生は、次年度に履修登録の上限が緩和される（56単位まで登録できる）ことがあります。

- ① 1年間に取得した卒業要件単位となる科目の単位数が40単位以上。
- ② 100点満点法による80点以上の科目が取得した卒業要件単位となる科目の85%以上。
- ③ 取得した卒業要件単位となる科目の平均点が85点以上。

該当する学生は、学務課生活環境学部係を通じて令和7年4月7日（月）までに生活環境学部長に申請してください。

5. 3年以上4年未満での早期卒業

生活環境学部にて3年以上在学し、卒業の要件として生活環境学部が定める単位を特に優秀な成績で修得したものと認められた学生は、4年次前期で卒業（早期卒業）が認められます。早期卒業を希望する学生は、学務課生活環境学部係を通じて2年次終了時に（令和7年4月7日（月）までに）生活環境学部長に申請してください。申請後の流れ及び成績優秀の基準は、次のとおりです。なお、この取扱いは、編入学生及び転学科・転コースの学生には適用されません。

- ① 申請に基づき2年次終了時までの卒業要件の単位取得状況及び成績等に基づき、早期卒業対象学生としての適格性の審査を行います。
- ② ①の審査で早期卒業対象学生として認定を受けた場合、学部において別に定める履修科目の履修対象年次の制限は適用されません。
- ③ 3年次終了時までに、1年次から3年次までの卒業要件の単位取得状況及び成績等に基づき、引き続き早期卒業対象学生としての適格性の審査を行います。
- ④ ③の審査で有資格となった学生に、4年次前期終了時に卒業の判定を行います。

卒業するためには、生活環境学部が定める卒業要件の単位を取得し、かつ成績優秀でなければなりません。

- ⑤ ④の成績優秀者であるかの認定は卒業判定を行う期の前年度後期までの成績により行います。
- ⑥ 成績優秀の基準は、以下のとおりです。全ての条件を満たす必要があります。
 - ・ 各年度において1年間に取得した卒業要件単位となる科目の単位数が平均40単位以上。
 - ・ 100点満点法による80点以上の科目が取得した卒業要件単位となる科目の85%以上。
 - ・ 取得した卒業要件単位となる科目の平均点が85点以上。

6. 学期末試験と成績

- (1) 学期末試験は、原則として各学期末、補講期間を含む授業期間中に行います。ただし、試験の実施時期や成績評価の方法は科目ごとに異なるので、各科目のWEBシラバスをよく読み、授業中の指示および掲示に注意してください。

- (2) 病気や事故など、やむを得ない事情によって試験を受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。生活環境学部教授会において、やむを得ない事情であり、なおかつ将来の学修計画にはなはだしく支障をきたすと認められた場合は、特別の方法により成績評価が行われます。該当する事態が生じたときには速やかに学務課生活環境学部係に連絡してください。
- (3) 学期ごとの成績は翌学期の始めに行われるガイダンス以降に各自でCampusmateで確認することができます。

7. 学外での学修に係る単位の認定

次の場合、学外で履修した単位が一定の範囲で本学での履修単位として認定されることがあります。いずれの場合も学務課生活環境学部係で事前に相談してください。

- ① 本学入学前に他の大学（短期大学を含む）に在籍していた場合
教授会で有益と認められた場合、既修得単位が本学における単位として認定されることがあります。入学後速やかに（令和7年4月7日（月）までに）申請しなければなりません。
- ② 本学と交流協定を締結している外国の大学に、協定に則って留学した場合
教授会で有益と認められた場合、先方の大学で履修した単位について、本学における選択科目の単位として認定されることがあります。帰国後速やかに申請しなければなりません。
- ③ TOEIC、TOEFL、他各種外国語検定で一定の基準を満たした場合
審査の上、各外国語の単位として認定され、外国語科目として必要な8単位もしくは4単位の一部に充当できます。詳細は『全学教育ガイド』の外国語科目の項を参照してください。

8. 6年一貫教育プログラム

(1) 趣旨

6年一貫教育プログラムとは、学部と大学院博士前期課程の6年間（3年次編入生については4年間）を切れ目なく柔軟に活用し、通常の課程では難しい長期的な研究や、留学・インターンシップなどにチャレンジするプログラムです。広い視野をもち主体的に行動できる力を鍛え、グローバル社会で活躍しようという意欲をもつ女性を育むことを目的として、平成29年度入学生から導入されました。

学部生の間に大学院の科目を先行履修でき、長期留学やインターンシップ、長期にわたるリサーチなどが卒業・修了単位として認められるなど、自由度の高い学修を設計することを可能にします。

なお、進学先は、本学大学院人間文化総合科学研究科生活環境科学系の専攻に限ります。また、学部の卒業時期は、4年次後期終了とします。

(2) 実施要項

① 募集時期

3年次前期及び3年次後期のうち各学科・コースが定める時期。

② 応募資格

各学科・コースが定める要件を満たしていること。

③ 選抜方法

書類審査と面接によります。なお、大学院人間文化総合科学研究科への進学は、推薦入試による選考が行われます。検定料・入学金が必要となります。

④ 大学院科目先行履修

プログラム生は、4年次から先行履修用の専門科目として指定された大学院科目を履修することができます。特別な費用はかかりません。

- ・年間の履修上限以外に、大学院科目を10単位まで履修・修得することができます。
- ・他コースの先取り履修科目を履修することも可能です（指定科目に限ります。担当教員の許可が必要です）。
- ・修得した単位は博士前期課程進学後に認定され、修了要件単位として認められます。

⑤ プログラム専用科目「特別学外研究」

学部段階から修士論文までを見通して、自らの学修を設計するためのプログラム生専用の大学院科目で、履修は任意です。

詳細はガイダンス時に配布する資料をよく読んでください。

9. 博士前期課程授業科目の先行履修制度

大学院進学を視野に入れた学生に対し、博士前期課程授業科目の一部を、4単位を上限として授業料等の費用負担なく先行履修できる制度を、新たに設けています。（6年一貫教育プログラム生については10単位を上限として履修可能）

先行履修を認めるか否かについては、学科・コース内で成績上位半分以上の優秀な成績を修めていることを条件とします。成績上位半分以上であるか否かの判断基準であるGPA値については、別途掲示しますので注意しておいてください。先行履修の可否の判定については、3回生の後期終了時に判定を行います。

10. 学科・コース関係専門教育科目履修モデル等の案内

【食物栄養学科】

『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」や本年度に配布された『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスを熟読し、それらに従い履修してください。授業時間割のモデルを提供するので参考にしてください。

全学共通科目については、食物栄養学科として特に指定する事項はありませんが、学年の進行に伴って専門科目が増加し、4年次では主として卒業研究を行うので、なるべく早く履修してください。

専門教育科目については、「生活環境学部規程」第5条及び別表Ⅱ（『CAMPUS LIFE』参照）に規定されている条件を充たすように履修してください。特に必修科目及び学部共通・学科専門基盤科目の選択必修科目に注意が必要です。

教員免許状（家庭）及び栄養教諭免許状の取得を希望する人は、教職に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅲの2）と教科に関する科目（家庭）もしくは栄養に係る教育に関する科目（栄養教諭）も合わせて履修するとともに、日本国憲法と情報処理入門Ⅰを履修してください。栄養教諭一種免許状の取得には、栄養士免許及び管理栄養士国家試験受験資格の取得も必要です。

栄養士免許及び管理栄養士国家試験受験資格の取得を希望する人は、それぞれ栄養士養成課程に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅳ）及び管理栄養士養成課程に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅴ）に従って履修してください。食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格の取得を希望する人は、食品衛生管理者養成課程及び食品衛生監視員養成課程に関する科目（「生活環境学部規程」別表Ⅵ）に従って履修してください。

なお、1～2回生配当の科目の単位を修得していない場合、3回生配当の実験実習科目の履修を認めないことがあります。また、臨地実習科目については、基礎となる講義および実習の単位を修得しないと履修を認めないことがあります。栄養士免許及び管理栄養士国家試験受験資格の取得を希望する人は注意してください。

食物栄養学科専門科目履修モデル

	管理栄養士養成課程										その他の専門科目	
	社会・環境と健康	専門基礎分野 人体の構造と機能・発育・成熟	食・物と健康	基礎栄養学	応用栄養学	栄養教育論	専門分野 臨床栄養学	公衆栄養学	給食経営管理	総合演習・臨床実習		
1 年次前期	環境と健康	生化学Ⅰ★	調理学実習								基礎分野・応用分野・卒業研究	栄養教諭
1 年次後期	生活福祉論 食糧経済学	生化学Ⅱ 医学概論	応用調理学実習 食品化学概論★								食物科学概論 食品加工学 有機化学Ⅰ★ 基礎化学演習 基礎生物学演習	
2 年次前期	公衆衛生学★	微生物学★ 細胞生理学	食品微生物学★ 食品化学各論★	栄養生化学★ 基礎栄養学実験★	応用栄養学★	栄養教育論Ⅰ		公衆栄養学Ⅰ				栄養教諭論
2 年次後期		病態内科学 生体安全学★	食品衛生学★ 調理科学		応用栄養学Ⅰ	栄養教育論Ⅱ		公衆栄養学Ⅱ			基礎栄養学特別講義Ⅰ*	食に関する指導論
3 年次前期		生体安全学実験★	食品化学実験★		応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習	栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習	臨床栄養学総論 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学実習		給食経営管理Ⅰ 給食経営管理Ⅱ 給食経営管理実習	公衆栄養学臨床実習	食品加工学実習	栄養教育実習 事前・事後指導
3 年次後期		分子細胞学 病態生理・生化学実験★	食品微生物学実験★							臨床栄養学臨床実習Ⅰ・Ⅱ 給食経営管理学臨床実習	食物栄養学研究法★ 基礎栄養学特別講義Ⅱ*	
4 年次前期										栄養学総合演習	卒業研究Ⅰ★	
4 年次後期											卒業研究Ⅱ★	教職実践演習

一部、学部共通科目および食物栄養学科教員による教職科目を含む。一部の科目について開講期を変更することや通年開講とすることがある。

☆食物栄養学科卒業必修科目

★食品衛生監視員・食品衛生管理者任用資格必修科目

赤字：実験・実習科目

* 隔年開講科目（2～3年次に履修）

栄養教諭免許取得のためにはこの表に示す科目のほか、教職科目等教職に必要な科目の履修も必要

教員免許（家庭）取得のためにはこの表に示す科目のほか、教科に関する専門科目および教職科目等教職に必要な科目の履修も必要

【心身健康学科】

全体的な注意：

『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」や本年度に配布された『全学教育ガイド』『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスを熟読し、ガイダンス時に別に配布する時間割モデルを参考にして履修してください。

学科の科目履修上の注意：

1～2年次のうちに、出来るだけ教養教育科目や学部共通科目、教職科目を履修するようにしてください。3年次にコース分けがありますが、他コースの科目も履修できます。4年次では卒業研究を行います。卒業研究は4年次からスタートしますが、ゼミ所属は3年次後期に行います。

専門科目の一部は、集中講義で行われますので、開講時期など学務課の掲示板に掲載される情報に注意してください。関連する科目は多岐にわたるので、各人の関心や必要に応じて学科外の科目も履修するようにしてください。学部共通科目や他学科の専門科目等で履修することが望ましい科目は、ガイダンス時に紹介、説明します。

教員免許状取得に関する注意：

教員免許状取得を希望する学生は、「家庭」、「保健体育」を取得できますので、『全学教育ガイド』の「V キャリア教育科目の履修」を熟読して単位の不足がないように注意してください。

心身健康学科専門科目履修モデル〔令和6年度以前入学生〕

	学部共通科目	学科必修科目	学科専門基礎科目群			コース専門教育科目 (生活健康学コース)		コース専門教育科目 (スポーツ健康科学コース)		コース専門教育科目 (臨床心理学コース)		卒業論文関連			
			生活健康学 (H)	臨床心理学 (P)	スポーツ科学 (S)	必修講義科目 実験・実習・演習	教免関係科目	必修講義科目 実験・実習・演習	教免・その他 関係科目	必修講義科目 実験・実習・演習	公認心理師 科目				
1年次 前期		心身健康学 概論Ⅰ 心身健康学 概論Ⅱ（心理学概論）	☆人体生理学 (◎被服学 実習Ⅰ)		スポーツ政策 生進スポーツ 論-P		◎食物科学 概論 ◎住環境学 概論 ◎調理学実 習								
1年次 後期	生活環境学 児童学	女性健康論	生活健康学 概論-P (◎被服学 実習Ⅱ) (◎衣環境 学概論)		スポーツバイオ メカニクス ◎スポーツ 生理学-H シニアスポ ーツ実習 ◎冬										
2年次 前期	ジェンダー 文化論		生活内科学 (人体の構 造と機能及 び疾病)-P 心理学 人体解剖学 S (◎家族関 係論-P)	家族心理学 (社会・家族 心理学) 司法・犯罪 心理学 臨床心理学 発達心理学 生活行動変 容論-S	運動医学 論-H ☆衛生・公 衆衛生学-H	人体生理学 実習	◎食健康論 ◎育児学 ◎衣環境学 実験	スポーツ健 康科学入門 演習Ⅰ	☆シーズ ンスポーツ 実習・夏 ☆基礎運動 実習 ☆ボディワ ーク実習 ☆武道実習 ☆個人スポ ーツ実習B						
2年次 後期			脳機能形態 学 (◎生活経 営学)	教育臨床心 理学（教育 心理学・学 校心理学） ◎発達臨床 心理学（発 達心理学・ 福祉心理 学・組織 心理学）	身体表現学 S	生活健康 学基礎実 験 ◎生活健 康学実 習 ◎栄養学 実験	◎生活界面 化学	スポーツ健 康科学入門 演習Ⅱ スポーツ健 康科学演 習A 地域連携運 動演習	☆体育・ス ポーツ実 習A・ス ポーツ実 習B ☆学校保健 実習 ☆身体表現 実習 ★個人ス ポーツ実 習A・ム ス ★チーム スポーツ 実習A/E						
3年次 前期					自律神経科学 人間行動生理 学 行動神経内分泌 学 ◎環境人間工 学 ◎衣環境管理 学 ◎聴覚生理学		☆身体運動 制御論 ☆スポーツ 精神生理 学 ☆身体コミ ュニケーション 論	スポーツ健 康科学演習 B	学校臨床心 理学 臨床心理学 概論 心理検査法 (心理的ア セスメント)	心理演習	公認心理師 の職務 精神疾患と その治療	心身健康学 研究演習Ⅰ			
3年次 後期							☆スポーツ法 学（令和5年度入 学生は☆体育・ スポーツ史） ☆体育・スポ ーツ社会学 ☆スポーツ心 理学		心理療法学 (心理学的 支援法) 感情・人格 心理学 心理学研究 法	心理学実験 演習（心理 学実験） 臨床心理学 実習（心理 学実習B）	心理学研究 法・神経・生 理心理学・医 療心理学 関係行政論	心身健康学 研究演習Ⅱ			
4年次 前期												心身健康学 卒業論文Ⅰ			
4年次 後期												心身健康学 卒業論文Ⅱ 卒業研究Ⅱ			
	4単位	必修6単位	8単位	8単位	8単位	必修12単位	選択必修 6単位	家庭	必修12単位	選択必修 8単位	保健体育	必修12単位	選択必修 6単位	公認心理師	必修20単位
		(注1)		(注2)		(注3)			(注4)			(注5)			

心身健康学科専門科目履修モデル〔令和7年度以降入学生〕

	学部共通科目	学科必修科目	学科専門基礎科目群			コース専門教育科目 (生活健康学コース)		コース専門教育科目 (スポーツ健康科学コース)		コース専門教育科目 (臨床心理学コース)		卒業論文関連			
			生活健康学 (H)	臨床心理学 (P)	スポーツ科学 (S)	必修講義科目 実験・実習・演習	教免関係科目	必修講義科目 実験・実習・関係科目	必修講義科目 実験・実習・演習	公認心理師科目					
1年次前期		心身健康学概論Ⅰ 心身健康学概論Ⅱ(心理学概論)	☆人体生理学-S (◎被服学実習Ⅰ)		☆スポーツ政策論 ☆生涯スポーツ論-P		◎食物科学概論 ◎住環境学概論 ◎調理学実習								
1年次後期	生活環境学 児童学	女性健康論	生活健康学概論-P (◎被服学実習Ⅱ) (◎衣環境学概論)		☆バイオメカニクス ☆スポーツ生理学-H ☆シーズンズ実習・冬										
2年次前期	ジェンダー文化論		生活内科学(人体の構造と機能及び疾病)と人体解剖学 (◎家族関係論-P)	家族心理学(社会・家族心理学・犯罪心理学・臨床心理学) ☆障害児心理学実習-S	☆運動医学論-H ☆衛生学・公衆衛生学-H	生活健康学実験Ⅰ	◎食健康論 ◎育児学	スポーツ健康科学入門演習Ⅰ	☆シーズンズ実習・夏実習 ☆基礎運動実習 ☆ボディアワーク実習 ☆武道実習 ☆個人スポーツ実習B ☆体育・スポーツ史 ☆学校保健実習A ☆個人スポーツ実習A ☆個人スポーツ実習B/A/B						
2年次後期			脳機能形態学-S (◎生活経営学)	教育臨床心理学(教育・学校心理学) ◎発達臨床心理学 ◎進路心理学 ◎福祉心理学 ◎産業・組織心理学	☆身体表現学-P		◎生活健康学実験Ⅱ ◎生活界面化学	☆スポーツ健康科学入門演習Ⅱ ☆スポーツ健康科学演習A ☆地域連携運動演習							
3年次前期					自律神経科学 人間行動生理学 行動神経内分秘学 ◎環境人間学 ◎衣環境管理学 ◎電脳生理学	◎生活健康学実験Ⅲ		☆身体運動制御論 ☆スポーツ精神生理学 ☆身体コミュニケーション論	☆スポーツ健康科学演習B	臨床心理学概論 心理検査法(心理的アセスメント)と精神疾患とその治療	心理演習	公認心理師の職責	心身健康学研究演習Ⅰ		
3年次後期						◎生活健康学実習	☆スポーツ法学 ☆体育・スポーツ社会学 ☆スポーツ心理学			心理療法学(心理学的支援法) 感情・人格臨床心理学 心理学研究法	◎心理学実習(心理学実習) ◎心理学実習(臨床心理学実習B)	心理学研究 神経・生理心理学 健康・医療関係行政論	心身健康学研究演習Ⅱ		
4年次前期													心身健康学卒業演習Ⅰ		
4年次後期													心身健康学卒業演習Ⅱ		
	4単位	必修6単位	8単位	8単位	8単位	必修12単位	選択必修6単位	家庭	必修12単位	選択必修6単位	保健体育	必修12単位	選択必修6単位	公認心理師	必修20単位
		(注1)		(注2)		(注3)			(注4)			(注5)			

※注は両方の履修モデルに共通

(注1) 赤字は学科全員必修科目

(注2) 3つの分野から少なくとも8単位以上履修し、合計30単位以上履修すること。-H、-P、-Sはそれぞれ生活健康学、臨床心理学、スポーツ科学分野のブリッジ科目。ブリッジ科目はいずれかの分野の科目としてカウントする。括弧書の5科目(他学科の開講科目)は、専門基礎科目の選択必修科目として認める。

(注3) 教員免許「家庭」を取得するためには、◎をすべて履修し、○から4単位以上選択履修(16単位以上が望ましい)し、教職に関する科目を履修すること。

(注4) 教員免許「保健体育」を取得するためには、☆をすべて履修し、★の実技からは1単位選択履修、左記で選択した科目以外の★の実技または*の講義から1単位以上選択履修(すべて履修することが望ましい)し、教職に関する科目を履修すること。

(注5) 臨床心理学コースで開講される実験・実習・演習科目のうち、「臨床心理学実習(心理実習B)」は公認心理師受験資格取得希望者向けの科目である。公認心理師受験資格取得を希望しない場合は、他コースで開講される実験・実習・演習科目と併せて6単位を取得すること。

「公認心理師」受験資格取得に関する教科に関する注意：

「公認心理師」は、保健医療・福祉・教育・産業・司法などの領域で、他職種と協働しながら心理相談や心理教育など心理に関する支援を行う専門家の国家資格です。「公認心理師」受験資格の取得を希望する人は、下記の表に掲げる科目の単位を取得してください。

科目名称	履修区分	履修方法
公認心理師の職責	必修	
心身健康学概論Ⅱ（心理学概論）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）心理学概論		
臨床心理学概論	必修	
心理学研究法	必修	
心理学統計法	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）心理学統計法Ⅰ		
心理学実験演習（心理学実験）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）心理学実験		
（文）知覚・認知心理学	必修	
（文）学習・言語心理学	必修	
感情・人格心理学	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）感情・人格心理学		
神経・生理心理学	必修	
家族心理学（社会・集団・家族心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）社会・集団・家族心理学		
発達臨床心理学（発達心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）発達心理学		
障害者・障害児心理学	必修	
心理検査法（心理的アセスメント）	必修	
心理療法学（心理学的支援法）	必修	
健康・医療心理学	必修	
福祉心理学	必修	
教育臨床心理学（教育・学校心理学）	選択	2科目のうち 1科目を選択必修
（文）教育・学校心理学		
司法・犯罪心理学	必修	
産業・組織心理学	必修	
生活内科学（人体の構造と機能及び疾病）	必修	
精神疾患とその治療	必修	
関係行政論	必修	
心理演習	必修	
（文）心理実習A 臨床心理学実習（心理実習B）	必修	心理実習A・Bそれぞれ で40時間以上、2科目あ わせて80時間以上の実 習を行う

※ 上記の科目のうち、「必修」とあるものはすべて必修、「選択」とあるものは2科目あるうちから1科目を選択必修です。「（文）」とあるのは文学部の開講科目です。

※ 公認心理師の受験資格を得るには、必要な科目を在学中に履修し、さらに大学院修士課程修了（2年間）もしくは定められた施設での実務経験（2年以上）が必要です。

※ 詳細は担当教員（臨床心理学コース：梅垣）に確認してください。

【住環境学科】

- (1) 住環境学は、身近なインテリア・住宅から、より広い地域・都市へと広がるさまざまな空間を対象として、そこでの広範囲な住生活ニーズを充足しうる住環境を構想・計画・管理・改善しようとする学問です。そのためには広範な基礎知識をバランスよく習得することが望まれます。
- (2) 科目の履修にあたっては、『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスをよく読んで履修してください。学科の履修モデルを提供するので参考にしてください。なお、卒業要件単位については、「2. 専門教育科目の履修」のところに示された、授業科目群ごとの必要単位を修得する必要があります。
- (3) 学年進行に伴い専門科目が増えるので、全学共通科目（外国語科目、保健体育科目を含む）、学部共通科目の卒業に必要な単位は早めに履修しておくことが望まれます。また、上級学年においても各人の関心や研究計画の必要にあわせて教養教育科目や他学部・学科の専門科目を履修することが可能です（これらの取得単位は卒業要件単位に含めることができます）。
- (4) 建築生産（令和4年度以降入学対象、令和3年度以前入学者は建築生産デザイン学演習、令和8年度開講予定）と建築施工学（令和7年度開講）、建築構造計画学（令和8年度開講予定）と木造建築構造学（令和7年度開講）とは、各々ペアで隔年開講の科目です。履修を希望する学生は計画的に履修してください。
- (5) 卒業研究は4年次からスタートしますが、ゼミ所属は3年次後期に行います。住環境学基礎実習は配属されたゼミで実施するため、卒業研究の履修を希望する前年度には、住環境学基礎実習を履修してください。
- (6) 住環境学学外実習Ⅰ・Ⅱ（インターンシップ）および住環境学学外演習（合宿演習）は、住環境学科3年次以上を受講対象とします。実施の詳細については後日掲示により周知する予定です。

住環境学科専門科目履修モデル

	計画系	設計系	環境系	構造・管理系	実験・実習	総合・その他
1 年次前期	☆住生活学	☆空間表現演習（令和4年度以降入学者）		☆建築一般構造学		*住環境学概論
1 年次後期	☆建築・住居史 ☆建築計画学（令和2年度以降入学者対象） ☆空間デザイン学（令和2年度以降入学者対象）	☆住環境造形実習		☆建築材料学		☆住環境学の技術者倫理 ☆空間計画のための物理環境科学演習
2 年次前期	★建築・住宅論 ★住居デザイン学（令和2年度以降入学者対象） ☆緑地環境計画論 ★地域居住学	☆設計演習Ⅰ	☆建築設備Ⅰ	☆住居管理学		
2 年次後期		☆設計演習Ⅱ ☆C.A.D.演習（令和3年度以前入学者） ★C.A.D.演習（令和4年度以降入学者） ★住環境デザイン基礎（令和3年度以前入学者）	☆建築環境学 ★建築設備Ⅱ	（★木造建築構造学） （★建築構造計画学） （★建築施工学） （★建築生産デザイン学演習（令和3年度以前入学者）） （★建築生産（令和4年度以降入学者））	☆住居管理学実習Ⅰ	
3 年次前期	☆都市計画学 ☆生活空間解析学（平成31年度以前入学者対象） ★生活空間計画学（令和2年度以降入学者対象） ★ランドスケープ・デザイン論 ★住居デザイン学（平成31年度以前入学者対象） ★測量学実習（令和3年度以前入学者） ★インテリアデザイン ★福祉住環境学 ☆住環境法規（平成31年度以降入学者対象）	☆設計演習Ⅲ ★デジタルデザイン演習	☆建築設備学	☆建築構造力学・材料力学演習 ★住居管理学（応用編）	☆住環境工学実習	★住環境学学外実習（インターンシップ） ○住環境学学外演習（合宿演習）
3 年次後期		★設計演習Ⅳ		（★木造建築構造学） （★建築構造計画学） （★建築施工学） （★建築生産デザイン学演習）（令和3年度以前入学者） （★建築生産（令和4年度以降入学者））	★建築環境学実習 ★建築設備学実習 ★建築構造学実習 ★住居管理学実習Ⅱ	☆住環境学基礎実習 ★まちづくり演習A
4 年次前期		★設計演習Ⅴ		★不静定構造力学 ★不静定構造力学演習 ★建築振動論		☆卒業研究Ⅰ ★まちづくり演習B ☆卒業研究Ⅱ
4 年次後期						

一部、学部共通科目を含む。

☆専門必修 ★専門選択必修 ○専門選択 *学部共通科目（ ）隔年開講科目 ◇卒業要件に含むことができるのは2単位まで

【文化情報学科 生活文化学コース】

文化情報学科は、入学時に2つの履修コース（生活文化学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。本コースでは、人間の生活にかかわる社会・文化的諸問題を、多角的・重層的に扱います。生活の中から問題を発見し、それに自ら取り組む力を養う教育を目指します。それに必要な探求心と広範な基礎知識を養い発展させるために、下記の事項に留意し、『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバス等の資料を参考に履修してください。

(1) 教養科目群

将来の研究への興味を養い、具体的な問題設定ができるようになるためにも、いろいろな科目をバランスよく履修することが望まれます。20単位以上必要です。

(2) 基礎科目群

基礎科目群は外国語12単位、保健体育科目2単位以上（合計14単位以上）修得してください。

- ① 外国語科目 「英語」「ドイツ語」「フランス語」の中から一つの外国語科目を8単位履修してください。

他の外国語については、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「韓国語」「ロシア語」のうち、上記で選択しなかった外国語を1つ選び4単位を履修してください。科目の選択は自由ですが、読解力、表現力が豊かになるように積極的に履修してください。

※ 但し、外国人留学生在が日本語科目を修得した場合、4単位まで外国語科目の単位として認められます。

- ② 保健体育科目 2単位必修です。「健康運動実習」を履修してください。
- ③ 情報処理科目 学科としてとくに指定はありませんが、教員免許取得希望者は「情報処理入門Ⅰ」または「情報処理入門Ⅱ」を履修してください。

(3) 専門教育科目

- ① 1年次で「文化情報学概論」「生活文化学入門」「生活環境学原論」を履修してください。
- ② 2年次で「ジェンダー文化論」を履修してください。2年次では「ソーシャルリサーチ論」、「社会統計学」は選択必修科目ですが、なるべく履修するように努めてください。
- ③ 3年次で「経営データサイエンス」を履修してください。3年次の後期「生活文化学演習」は必修科目です。
- ④ 4年次には生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱ、および卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修し、卒業研究を行います。
- ⑤ 学科共通科目から選択必修科目として22単位取得する必要があります。
- ⑥ 教員免許取得を希望する学生は『全学教育ガイド』の「教職科目群」をよく読んで、1年次から計画的に履修していく必要があります。

- ⑦ 「インターンシップ実習（生活文化学）」は、3年次以上で履修できます。詳細については随時掲示してお知らせします。

(4) 履修モデル

本コースは、多様な学び方を可能にするよう履修科目選択の幅を大きく取っている点が特徴です。次表は4年間を通じた大卒のイメージです。

学 年	全学共通科目、学部共通科目、学科共通科目、 コース専門教育科目	卒業研究関連科目
1 年次	教養教育科目とキャリア教育科目を主に履修する。 専門教育科目：1年次対象科目を履修しておくことが望ましい。文化情報学概論、生活文化学入門、生活環境学原論を履修する。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
2 年次	ジェンダー文化論を履修する。ソーシャルリサーチ論、社会統計学は選択必修であるが、履修するよう努めること。 上記以外の専門教育科目は選択して履修する（自分の関心や卒論の希望テーマに沿って自由に科目を選択する）。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
3 年次	経営データサイエンスを履修する。卒論の希望テーマに沿って専門教育科目を履修する（卒業研究の指導を希望する教員の演習・実習は必ず受講する。それ以外の専門教育科目は選択して履修する）。 インターンシップ実習（生活文化学）は卒業要件単位には含まない。	後期から、生活文化学演習を履修する（各教員のゼミに分かれて卒業研究の準備を始める）。
4 年次	専門教育科目等の履修を継続する。	生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱと卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修しゼミの教員の指導の下に卒業研究を行う。

(5) その他

卒業に必要な総単位数のうち18単位分は、教養教育科目でも専門教育科目でも卒業要件に含むことができる科目であれば何を履修しても構いません。卒業に必要な必修科目の単位数の確定は卒業時に行われるので、それまでに卒業に必要な必修単位を満たしているかどうか定期的に確認しながら履修計画をたてるようにしてください。

【文化情報学科 生活情報通信科学コース】

文化情報学科は、入学時に2つの履修コース（生活文化学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバス等の資料を参考に履修してください。履修にあたって、下記の事項に留意してください。

- (1) 「生活環境学部規程」、『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』ならびに年次ごとの履修モデル〔生活情報通信科学コース〕を参考に履修してください。
- (2) 文化情報学科の学科共通科目「応用数学Ⅰ（微分積分学）」・「応用数学Ⅱ（線型代数学）」の2科目はできる限り履修することが望めます。
- (3) 学年の進行に伴って、生活情報通信科学コースの専門科目が増加し、3年後期から4年次は主として卒業研究を行いますので、教養教育科目（特に外国語科目、保健体育科目）、学部共通科目は、できるだけ早めに履修してください。卒業研究はⅠからⅣまで記載されていますが、卒業研究Ⅰは早期卒業生対象科目なので、それ以外の学生は履修できません。卒業研究3科目中、2科目は必修で、うち1科目では卒業研究発表会での発表が義務付けられています。卒業研究3科目を全て受講する条件については年度始めのガイダンスで詳しく説明します。なお、全学の情報処理科目（情報処理入門Ⅰ・Ⅱ）は、教員免許取得を希望する場合を除き、生活情報通信科学コースの学生は受講しないでください。同内容を完全に含むカリキュラムをコース科目に含めています。
- (4) 教員免許の取得を希望する学生は、それに必要な科目も履修してください。

文化情報学科 生活情報通信科学コース科目履修モデル

	学部共通	学科共通	情報処理技術系	総合・その他
1年次 前期		☆文化情報学概論 ★生活と情報倫理 ★応用数学Ⅰ（微分積分学） ★生活文化と人工知能 ★社会実務史	☆プログラミング言語Ⅰ ☆プログラミング言語演習 ☆情報処理技術Ⅰ	
1年次 後期	☆生活環境学原論	★応用数学Ⅱ（線型代数学） ★生活と統計学 ★生活の情報管理とシステム	☆アルゴリズムとデータ構造 ☆情報処理技術Ⅱ ☆データベース論 ☆データベース演習 ☆プログラミング言語Ⅱ	★離散数学
2年次 前期		☆ジェンダー文化論 ★情報社会学 ★情報と職業 ★食と農の経済学 ★消費者法 ★家族関係論		☆計算機実験Ⅰ
2年次 後期		☆文化情報学演習 ☆ソーシャルリサーチ論 ★人間関係文化論 ☆ジェンダー理論	☆計算機アーキテクチャ論 ☆生活と情報理論	☆計算機実験Ⅱ ★生活と人工知能
3年次 前期		☆経営データサイエンス	★ソフトウェア工学概論 ★オペレーティングシステム論	☆論理回路論 ☆パターン認識 ☆ソーシャルコンピューティング論 ☆言語処理系論 ☆グラフ理論 ☆生活と人工知能演習 ☆生活者目線と人間中心デザイン
3年次 後期		★失敗学と創造学	☆計算機ネットワーク ☆情報セキュリティ	☆卒業研究Ⅱ ☆ヒューマンインターフェース概論 ☆生活と数理論理学 ☆情報処理技術特別演習
4年次 前期				☆卒業研究Ⅲ
4年次 後期				☆卒業研究Ⅳ

☆専門必修 ☆専門選択必修

太字：実験・実習科目

- (注1) 早期卒業のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ① 早期卒業のために3年次開始時から卒業研究Ⅰの履修を行うには、2年次終了時に成績優秀者として認定されることが必要である。
 - ② 卒業研究Ⅳを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
 - ③ 卒業研究Ⅲを履修するには、卒業研究ⅡとⅣの両方の単位を取得している必要がある。
- (注2) 早期卒業以外のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ① 卒業研究Ⅰの履修は、原則として認めない。
 - ② 卒業研究Ⅱを履修するには、卒業までの在籍期間が4年以内となる見込みであることを必要とする。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が80単位以上であることを必要とする。
 - ③ 卒業研究Ⅲを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
 - ④ 卒業研究Ⅳを履修するには、卒業研究ⅡまたはⅢの単位を取得している必要がある。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。

【情報衣環境学科 衣環境学コース】

情報衣環境学科は、入学時に2つの履修コース（衣環境学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスならびに衣環境学コース配布の授業時間割表等の資料を参考に履修してください。履修にあたって、下記の事項に留意してください。

- (1) 「生活環境学部規程」、『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』ならびに年次ごとの履修モデル「衣環境学コース配布の時間割表」を参考にして履修してください。
- (2) 学科共通専門科目群は衣環境学コース向けのA群と生活情報通信科学コース向けのB群に分かれ、A群およびB群から合計12単位以上（入学年によって異なります）を履修してください。A群の学科共通科目「応用数学Ⅰ（微分積分学）」・「応用数学Ⅱ（線型代数学）」、コース専門科目「被服学実習Ⅰ」・「被服学実習Ⅱ」の4科目はできる限り履修することが望めます。
- (3) 学年の進行に伴って、衣環境学コースの専門科目や実験実習が多くなり、3年次後期からゼミに所属し卒業研究が始まりますので、教養教育科目（特に外国語科目、保健体育科目）、学部共通専門科目は、衣環境学コースの履修モデルや授業時間割表を参考にしてできるだけ早めに履修してください。
- (4) 専門科目の一部は集中講義で行われますので、開講時期など学務課の掲示板に掲示される情報に注意してください。
- (5) 教員免許の取得を希望する学生は、それに必要な科目も履修してください。

情報衣環境学科 衣環境学コース科目履修モデル

	学 部 共 通	学科共通科目 (必修)	学科共通科目A群 (選択必修)	学科共通科目B群 (選択必修)	コース専門科目 (必修)	コース専門科目 (選択必修)	卒業論文関連	その他卒業に 必要な単位
平成29年度 以前入学者	必修2単位	必修10単位	8単位		必修24単位	18単位	必修16単位	20単位
平成30年度 入学者	必修2単位	必修8単位	10単位		必修24単位	18単位	必修16単位	20単位
平成31年度 ～令和2年度 入学者	必修2単位	必修6単位	12単位		必修22単位	24単位	必修16単位	16単位
令和3年度 以降入学者	必修2単位	必修6単位	12単位		必修20単位	22単位	必修16単位	20単位
1年次 前期		情報衣環境学概論	応用数学Ⅰ(微分積分学) 応用数学Ⅱ(線型代数学)	生活と情報倫理		被服学実習Ⅰ		食物科学概論 住環境学概論
1年次 後期	生活環境学原論	情報セキュリティ と法務		生活と統計学 情報学概論 (平成30年度以降入学者)	衣環境学概論	被服学実習Ⅱ		
2年次 前期		形態情報論 (平成30年度以前入学者)	図学 形態情報論 (平成31年度以降入学者)	情報と職業	衣環境管理学 衣環境実験Ⅱ(化学) 繊維材料化学(令和2年度以前入学者)	衣環境造形学 衣環境デザイン トレーニング 論文講読演習(令和2年度以前入学者) 生活と多変量解析 (平成30年度以降入学者)		家族関係学 生活経済経営学 育児学
2年次 後期			マーケティング論		生活と感覚計測論 衣環境実験Ⅰ(物理) 形態情報論実習 (平成30年度入学者)	生活界面化学 (平成30年度以降入学者) 形態情報論実習 (平成31年度以降入学者) 衣環境造形学実習 衣環境素材学 アパレル工学		児童学
3年次 前期		ウェアラブルイ ンターフェース デザイン論	創造学	経営工学	繊維状材料性能論 デザイン情報論 (平成30年度以降入学者)	衣環境実験Ⅳ(化学)		
3年次 後期				失敗学	生活材料物性学	衣環境実験Ⅲ(物理) ウェアラブル情報デザイン実習	衣環境学演習Ⅰ	
4年次 前期							衣環境学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ	
4年次 後期							卒業研究Ⅱ	

【情報衣環境学科 生活情報通信科学コース】

情報衣環境学科は、入学時に2つの履修コース（衣環境学コース、生活情報通信科学コース）に分かれます。『CAMPUS LIFE』の「生活環境学部規程」及び本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスならびに生活情報通信科学コース配布の授業時間割表等の資料を参考に履修してください。履修にあたって、下記の事項に留意してください。

- (1) 「生活環境学部規程」、『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』ならびに年次ごとの履修モデル〔生活情報通信科学コース配布の時間割表〕を参考に履修してください。
- (2) 情報衣環境学科の学科共通科目「応用数学Ⅰ（微分積分学）」・「応用数学Ⅱ（線型代数学）」の2科目はできる限り履修することが望まれます。
- (3) 学年の進行に伴って、生活情報通信科学コースの専門科目が増加し、3年後期から4年次は主として卒業研究を行いますので、教養教育科目（特に外国語科目、保健体育科目）、学部共通科目は、生活情報通信科学コース配布の授業時間割表を参考にできるだけ早めに履修してください。卒業研究はⅠからⅣまで記載されていますが、卒業研究Ⅰは早期卒業生対象科目なので、それ以外の学生は履修できません。卒業研究3科目中、2科目は必修で、うち1科目では卒業研究発表会での発表が義務付けられています。卒業研究3科目を全て受講する条件については年度始めのガイダンスで詳しく説明します。なお、全学の情報処理科目（情報処理入門Ⅰ・Ⅱ）は、教員免許取得を希望する場合を除き、生活情報通信科学コースの学生は受講しないでください。同内容を完全に含むカリキュラムをコース科目に含めています。
- (4) 教員免許の取得を希望する学生は、それに必要な科目も履修してください。

情報衣環境学科 生活情報通信科学コース科目履修モデル

	学部共通	学科共通A群	学科共通B群	情報処理技術系	総合・その他
1年次前期	★ジェンダー文化論 （平成29年度以前入学生は選択必修、平成30年度以降入学生は選択。）	★情報衣環境学概論 ★応用数学Ⅰ（微分積分学）	★生活と情報倫理	★プログラミング言語1 ★プログラミング言語演習 ★情報処理技術1 ★アルゴリズムとデータ構造	
1年次後期	★生活環境学原論	★応用数学Ⅱ（線型代数学）	★情報セキュリティと法務 ★情報学概論 ★生活と統計学	★情報処理技術2 ★データベース論 ★データベース演習	★離散数学
2年次前期		★形態情報論 （平成30年度以前入学生は必修、平成31年度以降入学生は選択必修） ★図学 ★マーケティング論	★情報と職業	★情報理論 ★プログラミング言語2 ★ソフトウェア工学概論	★計算機実験1 ★論理回路論 ★情報社会学
2年次後期	★児童学 （平成29年度以前入学生は選択必修、平成30年度以降入学生は選択。）			★計算機アニメータデザイン ★計算機ネットワーク	★計算機実験2 ★人工知能 ★ヒューマンインターフェース概論
3年次前期		★ウェアラブルインターフェースデザイン論	★経営工学	★オペレーティングシステム論 ★プロジェクト管理とシステム監査	★パターン認識 ★言語処理系論 ★マルチメディア情報工学 ★数値解析
3年次後期		★創造学	★失敗学		★卒業研究Ⅱ ★数理モデリング ★シミュレーション科学 ★グラフ理論 ★数理論理学 ★情報処理技術特別講義Ⅰ～Ⅳ
4年次前期 4年次後期					★卒業研究Ⅲ ★卒業研究Ⅳ

- ★専門必修 ★専門選択必修 太字：実験・実習科目
- (注1) 早期卒業のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ① 早期卒業のために3年次開始時から卒業研究Ⅰの履修を行うには、2年次終了時に成績優秀者として認定されることが必要である。
 - ② 卒業研究Ⅱを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
 - ③ 卒業研究Ⅲを履修するには、卒業研究ⅠとⅡの両方の単位を取得している必要がある。
- (注2) 早期卒業以外のための「卒業研究」の履修に関する注意事項は、以下の通りである。
- ① 卒業研究Ⅰの履修は、原則として認めない。
 - ② 卒業研究Ⅱを履修するには、卒業までの在籍期間が4年以内となる見込みであることを必要とする。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が80単位以上であることを必要とする。
 - ③ 卒業研究Ⅲを履修するには、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。
 - ④ 卒業研究Ⅳを履修するには、卒業研究ⅡまたはⅢの単位を取得している必要がある。また、原則として教職科目を除く全授業科目の取得単位数が100単位以上であることを必要とする。

【生活文化学科】

本学科では、人間の生活にかかわる社会・文化的諸問題を、多角的・重層的に扱います。生活の中から問題を発見し、それに自ら取り組む力を養う教育を目指します。それに必要な探求心と広範な基礎知識を養い発展させるために、下記の事項に留意してください。

(1) 教養科目群

将来の研究への興味を養い、具体的な問題設定ができるようになるためにも、いろいろな科目をバランスよく履修することが望まれます。20単位以上必要です。

(2) 基礎科目群

基礎科目群は外国語12単位、保健体育科目 2 単位以上 (合計14単位以上) 修得してください。

- ① 外国語科目 「英語」「ドイツ語」「フランス語」の中から一つの外国語科目を8単位履修してください。

他の外国語については、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「韓国語」「ロシア語」のうち、上記で選択しなかった外国語を1つ選び4単位を履修してください。科目の選択は自由ですが、読解力、表現力が豊かになるように積極的に履修してください。

※ 但し、外国人留学生在が日本語科目を修得した場合、4単位まで外国語科目の単位として認められます。

- ② 保健体育科目 2単位必修です。「健康運動実習」を履修してください。
- ③ 情報処理科目 学科としてとくに指定はありませんが、教員免許取得希望者は「情報処理入門Ⅰ」または「情報処理入門Ⅱ」を履修してください。

(3) 専門教育科目

- ① 1年次で「生活文化学入門」を履修してください。また学部共通科目・学科専門基盤科目の選択必修科目から4単位以上を履修してください。
- ② 2年次では、「ソーシャルリサーチ論」、「社会統計学」は選択必修科目ですが、なるべく履修するように努めてください。
- ③ 3年次の後期「生活文化学演習」は必修科目です。
- ④ 4年次には生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱ、および卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修し、卒業研究を行います。
- ⑤ 教員免許取得を希望する学生は『全学教育ガイド』の「教職科目群」をよく読んで、1年次から計画的に履修していく必要があります。
- ⑥ 「インターンシップ実習(生活文化学)」は、3年次以上で履修できます。詳細については随時掲示してお知らせします。

(4) 履修モデル

本学科は、多様な学び方を可能にするよう履修科目選択の幅を大きく取っている点が特徴で

す。ガイダンス時に典型的な履修モデルをいくつか紹介しますので参考にしてください。次表は4年間を通じた大卒のイメージです。

学 年	全学共通科目、専門教育科目	卒業研究関連科目
1 年次	教養教育科目とキャリア教育科目を主に履修する。 専門教育科目：1年次対象科目を履修しておくことが望ましい。 生活文化学入門を履修する。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
2 年次	ソーシャルリサーチ論、社会統計学は選択必修であるが、履修するよう努めること。 上記以外の専門教育科目は選択して履修する（自分の関心や卒論の希望テーマに沿って自由に科目を選択する）。 教員免許希望者は教職科目を履修する。	
3 年次	卒論の希望テーマに沿って専門教育科目を履修する（卒業研究の指導を希望する教員の演習・実習は必ず受講する。それ以外の専門教育科目は選択して履修する）。 インターンシップ実習（生活文化学）は卒業要件単位には含まない。	後期から、生活文化学演習を履修する（各教員のゼミに分かれて卒業研究の準備を始める）。
4 年次	専門教育科目等の履修を継続する。	生活文化学卒業演習Ⅰ・Ⅱと卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修しゼミの教員の指導の下に卒業研究を行う。

(5) その他

卒業に必要な総単位数のうち22単位分は、教養教育科目でも専門教育科目でも卒業要件に含むことができる科目であれば何を履修しても構いません。

ガイダンス時における注意事項以外は『CAMPUS LIFE』『全学教育ガイド』『専門教育ガイド』、WEBシラバス等を熟読し、それらに従って履修してください。卒業に必要な必修科目の単位数の確定は卒業時に行われるので、それまでに卒業に必要な必修単位を満たしているかどうか定期的に確認しながら履修計画をたてるようにしてください。

11. 編入学生のために

令和7年度第3年次編入学生は、令和5年度入学生と同じ学則・生活環境学部規程が卒業時まで適用されます。入学時のガイダンスで配布した令和5年度の『CAMPUS LIFE』をよく読み、履修計画を立ててください。

なお、科目の見直し等で『CAMPUS LIFE』に記載されている科目名称と開講科目が異なる場合があります。不明な点は必ず学科・コースの教務担当の教員、または学務課生活環境学部係に確認してください。

12. 生活環境学部で取れる資格等

生活環境学部の各学科・コースに関係のある資格等について、一部を挙げます。詳しくは学科・コースの教務担当の教員または学務課生活環境学部係に確認してください。

〈生活環境学部共通〉

- ☆ 高等学校教諭一種免許状（家庭）
- ☆ 中学校教諭一種免許状（家庭）
- ☆ 学校図書館司書教諭
- ☆ 学芸員
- ☆ 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）

〈食物栄養学科〉

- ☆ 栄養教諭一種免許状
- ★ 管理栄養士
- ☆ 栄養士
- ☆ 食品衛生管理者／食品衛生監視員
- ☆ 社会福祉主事（平成28年度以降入学生）（「栄養生化学」「医学概論」「公衆衛生学」全てを修得し卒業すること）
- 甲種危険物取扱者（化学に関する授業科目（「微生物学」「食品衛生学」「応用栄養学」を含むことができる）を15単位以上修得）

〈心身健康学科〉

- ☆ 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
- ☆ 中学校教諭一種免許状（保健体育）
- ★ 公認心理師（※大学院進学後定められた科目10単位を履修、もしくは定められた施設での2年以上の実務経験が必要）

- ☆ 社会福祉主事（平成31年度以降入学生）（「生活環境学原論」「衛生・公衆衛生学」「育児学」全てを修得し卒業すること）

〈住環境学科〉

★ 一級建築士

卒業後受験できる。免許登録に要実務経験2年。本学大学院博士前期課程において、指定科目を修得すれば修得単位数に応じて実務経験1年ないし2年とみなされる。

★ 二級建築士、木造建築士

卒業後受験できる。

★ 技術士（平成30年度以前入学者はJABEE認定による一次試験免除）

- インテリアプランナー（（公財）建築技術教育普及センター資格制度における試験に合格した人は、卒業後にインテリアプランナーの登録を受けることができる。実務経験不要。）

- 宅地建物取引主任者

- 福祉住環境コーディネーター ○ インテリアコーディネーター

- インテリア設計士（2級） ○ 登録ランドスケープアーキテクト補

- カラーコーディネーター ○ 建築CAD検定

- マンションリフォームマネージャー

- キッチンスペシャリスト（学科試験のみ在学中に受験可）

★ 一級施工管理技士（卒業後要実務経験3年：うち1年は指導監督の実務経験要）

★ 二級施工管理技士（卒業後要実務経験1年）

- 商業施設士補（所定単位修得後、（社）商業施設技術者・団体連合会の主催する指定講習会の受講により資格認定）

★ 商業施設士（卒業後要実務経験1年、または商業施設士補取得により、学科試験免除（実務経験は問わない））

- ☆ 社会福祉主事（令和2年度以降入学生）（「生活環境学原論」「食物科学概論」「育児学」全てを修得し卒業すること）

〈文化情報学科〉

☆ 高等学校教諭一種免許状（情報）

- ☆ 社会福祉主事（「生活環境学原論」「社会事業史」「ソーシャルリサーチ論」「家族援助法」「経済政策」「経済原論Ⅰ」「経済原論Ⅱ」から3科目を修得し卒業すること。）

- ITパスポート試験

- 基本情報技術者試験 ○ 応用情報技術者試験

〈情報衣環境学科〉

- ☆ 高等学校教諭一種免許状（情報）
- 繊維製品品質管理士（TES）
- ITパスポート試験
- 基本情報技術者試験 ○ 応用情報技術者試験
- ☆ 社会福祉主事（令和2年度以降入学生）（「生活環境学原論」「食物科学概論」「育児学」全てを修得し卒業すること）

〈生活文化学科〉

- ☆ 社会福祉主事（「ソーシャルリサーチ論」「家族援助法」「経済原論Ⅰ」「経済原論Ⅱ」「経済政策」「社会事業史」から3科目を修得し卒業すること。令和2年度以降入学生は、「生活環境学原論」を3科目の1つとすることもできる。）

☆：所定の単位を修めて取得（任用資格を含む）

★：受験資格など（実務経験を必要とするものがあります）

○：在学中に受験できる資格

■：一部受験科目免除

※その他の取得可能な資格に関して、全学教育ガイドの資格に関する項目にも掲載しております。

13. 生活環境学部専門教育科目一覧

(1) 科目改正対応表

令和3年度以降の科目改正の一覧を下記に掲げます。令和2年度以前入学生は学務課生活環境学部係にて改正事項を確認してください。

① 心身健康学科専門科目

令和3年度		令和4～6年度		令和7年度		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
高齢者生活環境論	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
環境生理学	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
—	—	脳機能形態学	2	脳機能形態学	2	新設。令和3年度以前入学生は履修不可。
認知神経科学論	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
生活行動変容論演習	2	生活行動変容論	2	生活行動変容論	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
—	—	衣環境管理学	2	衣環境管理学	2	新設。令和3年度以前入学生は情報衣環境学科衣環境学コースの同科目を受講すること。
—	—	生活界面化学	2	生活界面化学	2	新設。令和3年度以前入学生は情報衣環境学科衣環境学コースの生活界面化学を受講すること。
—	—	衣環境学実験	2	衣環境学実験	2	新設。令和3年度以前入学生は履修不可。
環境人間工学実習	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
生活保健学	2	人間行動生理学	2	人間行動生理学	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
—	—	スポーツ政策論	2	スポーツ政策論	2	新設。令和6年度以降入学者対象。
体育・スポーツ事故論	2	体育・スポーツ事故論	2	—	—	廃止。令和6年度以降入学生は履修不可。
—	—	—	—	生活健康学実験Ⅰ	2	新設。令和7年度以降入学者対象。
—	—	—	—	生活健康学実験Ⅱ	2	新設。令和7年度以降入学者対象。

令和3年度		令和4～6年度		令和7年度		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
—	—	—	—	生活健康学実験Ⅲ	2	新設。令和7年度以降入学者対象。
—	—	—	—	生活健康学実習	2	新設。令和7年度以降入学者対象。

② 住環境学科専門科目

令和3年度		令和4・5年度		令和6年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
測量学実習	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
建築材料学実習	1	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
設計演習Ⅰ	2	設計演習Ⅰ	3	設計演習Ⅰ	3	単位数変更
建築生産デザイン学演習	2	建築生産	2	建築生産	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
建築図学	2	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
住環境デザイン基礎	1	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
空間計画のための物理環境科学演習	3	空間計画のための物理環境科学演習	2	空間計画のための物理環境科学演習	2	単位数変更
—	—	空間表現演習	2	空間表現演習	2	新設。令和4年度以降入学生対象。
—	—	まちづくり演習A	2	まちづくり演習A	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
—	—	まちづくり演習B	2	まちづくり演習B	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
住環境学フィールド演習Ⅲ	1	—	—	—	—	廃止。令和4年度以降入学生は履修不可。
住環境学フィールド演習Ⅳ	1	住環境学フィールド演習Ⅳ	1	—	—	廃止。令和5年度以降入学生は履修不可。
建築・住居史	2	建築・住居史	2	建築史Ⅰ	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。
建築・住宅論	2	建築・住宅論	2	建築史Ⅱ	2	科目名称変更。入学年度の科目名で履修すること。

③ 文化情報学科 生活文化学コース専門科目

令和5年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	
企業経済論演習	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。

④ 文化情報学科 生活情報通信科学コース専門科目

令和7年度		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	
生活と人工知能演習	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
生活者目線と人間中心デザイン	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
情報セキュリティ	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。

⑤ 情報衣環境学科 衣環境学コース専門科目

令和2年度		令和3年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	
論文講読演習	2	—	—	廃止。令和3年度以降入学生は履修不可。
繊維材料化学	2	—	—	廃止。令和3年度以降入学生は履修不可。

⑥ 情報衣環境学科 生活情報通信科学コース専門科目

令和2年度		令和3年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	
数式処理論	2	—	—	廃止。令和3年度以降入学生は履修不可。

⑦ 生活文化学科専門科目

令和3・4年度		令和5年度以降		改正の要点・経過措置
授業科目	単位	授業科目	単位	
ジェンダー理論	—	ジェンダー理論	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。
ジェンダー文化論 演習	2	ジェンダー文化論 演習	2	再設。廃止中（平成31年～令和2年）に在籍していた学生も履修できる。
—	—	企業経済論演習	2	新設。開設年度以前から在籍している学生も履修できる。

(2) 生活環境学部専門教育科目一覧

生活環境学部専門教育科目の一覧を下記に掲げます。基本的に「学部共通科目」及び自身が所属する学科・コースの科目を履修することになります（後述の「15. 令和7年度生活環境学部専門教育科目 積極開放科目」等、他学科・他コースの科目も履修できます。その他の科目については、WEBシラバスを参照するほか、学科・コースの教務担当の教員、または学務課生活環境学部係に確認してください。）。

下記一覧の「履修上の注意事項」に注意しながら、履修登録してください。

学科ごとの参照ページは以下のとおりです。

1. 食物栄養学科 … 232～235	4. 文化情報学科 … 247～251
2. 心身健康学科 … 236～242	5. 情報衣環境学科 … 252～255
3. 住環境学科 … 243～246	6. 生活文化学科 … 256～259

なお、所属する学科により「学部共通科目」の取り扱いが異なります。必ず自分が所属する学科のページを参照して履修を行ってください。

1. 食物栄養学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生 活 環 境 学 原 論		2		1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
3100020A2	※ ジェンダー文化論		2		2	生活文化学科以外対象
3100024A1	心 身 健 康 学 概 論 I		2		1	
3100026A1	※ 心 身 健 康 学 概 論 II (心 理 学 概 論)		2		1	平成30年度以降入学生対象
食物栄養学科専門科目						
食物栄養学科専門基盤科目（他学科開講科目を修得した場合も食物栄養学科専門基盤科目の修得単位として算入されます）						
3261001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3210002D1	調 理 学 実 習（D）			1	1	
3210003D1	応用調理学実習（D）			1	1	
3261004A1	衣 環 境 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開 講科目。令和3年度以前入学生で履修希望者は学務課へ
3261042D1	被服学実習Ⅰ（A）			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261043D1	被服学実習Ⅱ（A）			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3240006A1	住 環 境 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は住環境学 科開講科目
3260008A2	家 族 関 係 論		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科開講科目
3261019A2	生 活 経 営 学		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3221004A2	育 児 学			2	2	心身健康学科生活健康学コース開 講科目
食物栄養学科専門教育科目						
3211001A1	環 境 と 健 康		2		1	食物栄養学科対象
3211002A2	公 衆 衛 生 学		2		2	食物栄養学科対象
3211003A1	生 活 福 祉 論		1		1	食物栄養学科対象

（注1）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

（注2）**科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3211004A1	食 糧 経 済 学		1		1	食物栄養学科対象
3211005A1	医 学 概 論		2		1	食物栄養学科対象
3211006A2	病 態 内 科 学		2		2	食物栄養学科対象
3211007A3	分 子 病 態 学		2		3	食物栄養学科対象
3211008A2	微 生 物 学	2			2	食物栄養学科対象
3211009A2	細 胞 生 理 学		2		2	食物栄養学科対象
3211010A2	生 体 安 全 学	2			2	食物栄養学科対象
3211011A1	生 化 学 I	2			1	食物栄養学科対象
3211012A1	生 化 学 II		2		1	食物栄養学科対象
3211013C3	病態生理・生化学実験	2			3	食物栄養学科対象
3211014C3	生 体 安 全 学 実 験	2			3	食物栄養学科対象
3211015A1	食 品 化 学 総 論	2			1	食物栄養学科対象
3211016A2	食 品 化 学 各 論	2			2	食物栄養学科対象
3211017A2	調 理 科 学		2		2	食物栄養学科対象
3211018A2	食 品 微 生 物 学	2			2	食物栄養学科対象
3211019A2	食 品 衛 生 学	2			2	食物栄養学科対象
3211020D3	食 品 加 工 学 実 習		1		3	食物栄養学科対象
3211021C3	食 品 化 学 実 験	2			3	食物栄養学科対象
3211022C3	食 品 微 生 物 学 実 験	2			3	食物栄養学科対象
3211023A2	栄 養 生 化 学	2			2	食物栄養学科対象
3211024C2	基 礎 栄 養 学 実 験	2			2	食物栄養学科対象
3211025A2	応 用 栄 養 生 理 学	2			2	食物栄養学科対象
3211026A2	応 用 栄 養 学 I		2		2	食物栄養学科対象
3211027A3	応 用 栄 養 学 II		2		3	食物栄養学科対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3211028D3	応 用 栄 養 学 実 習			1	3	食物栄養学科対象
3211029A2	栄 養 教 育 論 I		2		2	食物栄養学科対象
3211030A2	栄 養 教 育 論 II		2		2	食物栄養学科対象
3211031A3	栄 養 教 育 論 III		2		3	食物栄養学科対象
3211032D3	栄 養 教 育 論 実 習			1	3	食物栄養学科対象
3211033A3	臨 床 栄 養 学 総 論		2		3	食物栄養学科対象
3211034A3	臨 床 栄 養 学 I		2		3	食物栄養学科対象
3211035A3	臨 床 栄 養 学 II		2		3	食物栄養学科対象
3211036A3	臨 床 栄 養 学 III		2		3	食物栄養学科対象
3211037D3	臨 床 栄 養 学 実 習			2	3	食物栄養学科対象
3211038A2	公 衆 栄 養 学 I		2		2	食物栄養学科対象
3211039A2	公 衆 栄 養 学 II		2		2	食物栄養学科対象
3211040D2	公 衆 栄 養 学 実 習			1	2	食物栄養学科対象
3211041A3	給 食 経 営 管 理 学 I		2		3	食物栄養学科対象
3211042A3	給 食 経 営 管 理 学 II		2		3	食物栄養学科対象
3211043D3	給 食 経 営 管 理 学 実 習			1	3	食物栄養学科対象
3211044B4	栄 養 学 総 合 演 習		2		4	食物栄養学科対象
3211046D3	※ 臨床栄養学臨地実習 I			2	3	食物栄養学科対象 平成30年度以降入学生対象
3211047D3	※ 臨床栄養学臨地実習 II			1	3	食物栄養学科対象 平成30年度以降入学生対象
3211048D3	公 衆 栄 養 学 臨 地 実 習			1	3	食物栄養学科対象
3211049D3	給食経営管理学臨地実習			1	3	食物栄養学科対象
3211050A1	有 機 化 学 I	2			1	
3211051B1	基 礎 化 学 演 習		2		1	
3211052B1	基 礎 生 物 学 演 習		2		1	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3211055A1	食 品 加 工 学		2		1	
3211056A2	基礎栄養学特別講義Ⅰ		2		2	本年度開講せず
3211057A2	基礎栄養学特別講義Ⅱ		2		2	
3211058A3	食 物 栄 養 学 研 究 法	2			3	食物栄養学科対象
3211059A2	栄 養 教 諭 論			2	2	
3211060A2	食 に 関 す る 指 導 論			2	2	
3211061F4	卒 業 研 究 Ⅰ	6			4	
3211062F4	卒 業 研 究 Ⅱ	6			4	

（注１）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

（注２）**科目名の前に※を付した科目は**、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

2. 心身健康学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生 活 環 境 学 原 論	2			1	
3100003A1	※ 児 童 学		2		1	本年度開講せず
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科 平成30年度以降入学生対象
3100004A1	※ 家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理		2		1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科 平成30年度以降入学生対象
3100020A2	※ ジェンダー文化論		2		2	令和3年度以降入学生対象
				2	2	情報衣環境学科平成30年度以降入 学生対象
心身健康学科共通科目						
3220001A1	心 身 健 康 学 概 論 I	2			1	
3220003A1	心 身 健 康 学 概 論 II (心 理 学 概 論)	2			1	
3220004A1	女 性 健 康 論	2			1	
心身健康学科専門基盤科目（他学科開講科目を修得した場合も心身健康学科専門基盤科目の修得単位として算入されます）						
3220005A1	生 活 健 康 学 概 論		2		1	
3220006A2	衛 生 ・ 公 衆 衛 生 学		2		2	
3220007A2	※ 生 活 内 科 学		2		2	平成29年度以前入学生対象
3220008A2	※ 生活内科学（人体の 構造と機能及び疾病）		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220009A2	※ 高 齢 者 生 活 環 境 論		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前 入学生対象
3220010A1	人 体 生 理 学		2		1	
3220011A1	ス ポ ー ツ 生 理 学		2		1	
3220012A2	人 体 解 剖 学		2		2	
3220013A2	運 動 医 学 論		2		2	
3220014A2	※ 環 境 生 理 学		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前 入学生対象

（注1）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

（注2）科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものなので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3220034A2	※脳機能形態学		2		2	令和4年度以降入学生対象
3220015A1	スポーツバイオメカニクス		2		1	
3220016A1	※体育・スポーツ事故論		2		1	本年度開講せず。令和5年度以前入学生対象
3220036A1	※スポーツ政策論		2		1	令和6年度以降入学生対象
3220018A1	生涯スポーツ論		2		1	
3220019D1	シーズンスポーツ実習・冬		1		1	
3220020A1	認知神経科学論		2		1	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3261004A1	衣環境学概論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開講科目
3261005D1	被服学実習Ⅰ（C）		1		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開講科目
3261006D1	被服学実習Ⅱ（C）		1		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活文化学コース開講科目
3231006A2	※家族関係学		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象、情報衣環境学科開講科目
3231008A2	※生活経済経営学		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象、情報衣環境学科開講科目
3260008A2	※家族関係論		2		2	令和4年度以降入学生対象、文化情報学科開講科目
3261019A2	※生活経営学		2		2	令和4年度以降入学生対象、文化情報学科生活文化学コース開講科目
3220021A2	身体表現学		2		2	
3220022A2	※生活行動変容論演習		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3220035A2	※生活行動変容論		2		2	令和4年度以降入学生対象
3220024A2	※家族心理学（社会・集団・家族心理学）		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220025A2	※犯罪心理学		2		2	平成29年度以前入学生対象
3220026A2	※司法・犯罪心理学		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220028A2	※教育臨床心理学（教育・学校心理学）		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220029A2	※発達臨床心理学		2		2	平成29年度以前入学生対象
3220030A2	※発達臨床心理学（発達心理学）		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220031A2	※障害者・障害児心理学		2		2	平成30年度以降入学生対象

（注1）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

（注2）科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3220032A2	※ 福 祉 心 理 学		2		2	平成30年度以降入学生対象
3220033A2	※ 産 業 ・ 組 織 心 理 学		2		2	平成30年度以降入学生対象
心身健康学科生活健康学コース専門教育科目						
3261001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3240006A1	住 環 境 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は住環境学 科開講科目
3221003A2	食 健 康 論		2		2	
3221004A2	育 児 学		2		2	
3221007A3	自 律 神 経 科 学	2			3	
3221008A3	被 服 生 理 学	2			3	
3221010A3	※ 行 動 神 経 内 分 泌 学	2			3	平成30年度以降入学生対象
3221011A3	※ 生 活 保 健 学	2			3	令和3年度以前入学生対象
3221030A3	※ 人 間 行 動 生 理 学	2			3	令和4年度以降入学生対象
3221012A2	※ 食 環 境 論	2			2	令和4年度以前入学生対象
			2		2	令和5年度以降入学生対象
3221013A3	環 境 人 間 工 学	2			3	
3221014D1	※ 調 理 学 実 習 (G)		1		1	本年度開講せず。令和3年度以前入 生対象。履修希望の場合は学務課へ
3261002D1	※ 調 理 学 実 習 (E)		1		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3221015C2	※ 生 活 健 康 学 基 礎 実 験		2		2	令和6年度以前入学生対象
3221016D3	※ 環 境 人 間 工 学 実 習		2		3	本年度開講せず。令和3年度以前 入学生対象
3221017C3	※ 栄 養 学 実 験		2		3	令和5年度以前入学生対象
			2		2	令和6年度入学生対象
3221018D3	※ ストレスの科学実習		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年 度入学生対象
			2		3	令和5年度入学生対象
3221019D3	※ 人 体 生 理 学 実 習		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年 度入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3221019D3	※人 体 生 理 学 実 習		2		3	令和5年度入学生対象
3221020D2	※人 体 計 測 実 習		2		2	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3221027A3	※衣 環 境 管 理 学		2		2	令和4年度入学生対象
		2			3	令和5年度以降入学生対象
3221028A2	※生 活 界 面 化 学		2		2	令和4年度以降入学生対象
3221029C3	※衣 環 境 学 実 験		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年度入学生対象
			2		3	令和5年度入学生対象
3221030C2	※生 活 健 康 学 実 験 I		2		2	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221031C2	※生 活 健 康 学 実 験 II		2		2	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221032C3	※生 活 健 康 学 実 験 III		2		3	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221033D3	※生 活 健 康 学 実 習		2		3	本年度開講せず。令和7年度以降入学生対象
3221021B3	心身健康学研究演習 I	2			3	
3221022B3	心身健康学研究演習 II	2			3	
3221023B4	心身健康学卒業演習 I	2			4	
3221024B4	心身健康学卒業演習 II	2			4	
3221025F4	卒 業 研 究 I	6			4	
3221026F4	卒 業 研 究 II	6			4	
心身健康学科スポーツ健康科学コース専門教育科目						
3222001A2	※体 育・ス ポ ー ツ 史		2		2	令和4年度以前入学生、令和6年度以降入学生対象
		2			3	令和5年度入学生対象
3222002A2	学 校 保 健		2		2	
3222003A3	ス ポ ー ツ 心 理 学	2			3	
3222004A3	身 体 運 動 制 御 論	2			3	
3222005A3	※ス ポ ー ツ 法 学	2			3	令和4年度以前入学生、令和6年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3222005A3	※ ス ポ ー ツ 法 学		2		2	令和5年度入学生対象
3222006A3	身体コミュニケーション論	2			3	
3222007A3	※ 体 育 社 会 学	2			3	本年度開講せず。平成29年度以前入学生対象
3222008A3	※ 体育・スポーツ社会学	2			3	平成30年度以降入学生対象
3222009A3	ス ポ ー ツ 精 神 生 理 学	2			3	
3222010D2	身 体 表 現 実 習		1		2	
3222011D2	基 礎 運 動 実 習		1		2	
3222012D2	個 人 ス ポ ー ツ 実 習 A		1		2	
3222013D2	個 人 ス ポ ー ツ 実 習 B		1		2	本年度開講せず
3222014D2	チ ー ム ス ポ ー ツ 実 習 A		1		2	本年度開講せず
3222015D2	チ ー ム ス ポ ー ツ 実 習 B		1		2	
3222016D2	ボ デ ィ ワ ー ク 実 習		1		2	本年度開講せず
3222017D2	武 道 実 習		1		2	本年度開講せず
3222018D2	シーズンスポーツ実習・夏		1		2	
3222019B2	地 域 連 携 運 動 演 習		2		2	本年度開講せず
3222020B2	※ スポーツ健康科学演習 A		2		3	本年度開講せず。令和2年度以前入学生対象
			2		2	令和3年度以降入学生対象
3222021B3	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 演 習 B		2		3	
3222022B2	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 入 門 演 習 I		2		2	
3222023B2	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 入 門 演 習 II		2		2	
3222024B3	心身健康学研究演習 I	2			3	
3222025B3	心身健康学研究演習 II	2			3	
3222026B4	心身健康学卒業演習 I	2			4	
3222027B4	心身健康学卒業演習 II	2			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3222028F4	卒 業 研 究 I	6			4	
3222029F4	卒 業 研 究 II	6			4	
心身健康学科臨床心理学コース専門教育科目						
3223002A3	※ 心 理 療 法 学 (心 理 学 的 支 援 法)	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223003A3	※ 学 校 臨 床 心 理 学	2			3	令和6年度以前入学生対象
			2		2	令和7年度以降入学生対象
3223005A3	※ 感 情 ・ 人 格 心 理 学	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223007A3	※ 臨 床 心 理 学 概 論	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223009B3	※ 心 理 検 査 法 (心 理 的 ア セ ス メ ン ト)	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223011B3	※ 心 理 学 統 計 法	2			3	平成30年度以降入学生対象
3223012A3	※ 公 認 心 理 師 の 職 責		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223013A3	※ 精 神 疾 患 と そ の 治 療		2		3	令和6年度以前入学生対象
		2			3	令和7年度以降入学生対象
3223014A3	※ 神 経 ・ 生 理 心 理 学		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223015A3	※ 健 康 ・ 医 療 心 理 学		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223016A3	※ 関 係 行 政 論		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223116E3	※ 心 理 学 研 究 法		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223017B3	※ 心 理 演 習		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223019D3	※ 臨 床 心 理 学 実 習 (心 理 実 習 B)		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223021B3	※ 心 理 学 実 験 演 習 (心 理 学 実 験)		2		3	平成30年度以降入学生対象
3223022B3	心身健康学研究演習 I	2			3	
3223023B3	心身健康学研究演習 II	2			3	
3223024B4	心身健康学卒業演習 I	2			4	
3223025B4	心身健康学卒業演習 II	2			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3223026F4	卒 業 研 究 I	6			4	
3223027F4	卒 業 研 究 II	6			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目**は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

3. 住環境学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生 活 環 境 学 原 論		2		1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
3100020A2	※ ジェ ン ダ ー 文 化 論		2		2	生活文化学科以外対象
3100024A1	心 身 健 康 学 概 論 I		2		1	
3100026A1	※ 心 身 健 康 学 概 論 II (心 理 学 概 論)		2		1	平成30年度以降入学生対象
住環境学科専門科目						
住環境学科専門基盤科目（他学科開講科目を修得した場合も住環境学科専門基盤科目の修得単位として算入されます）						
3240006A1	住 環 境 学 概 論	2			1	
3261004A1	衣 環 境 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261005D1	被 服 学 実 習 I（C）			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261006D1	被 服 学 実 習 II（C）			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3260008A2	家 族 関 係 論		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科開講科目
3261019A2	生 活 経 営 学		2		2	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	令和4年度以降入学生は文化情報学科生活 文化学コース開講科目
3261002D1	調 理 学 実 習（E）			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3261003D1	応 用 調 理 学 実 習（E）			1	1	令和4年度以降入学生は文化情報 学科生活文化学コース開講科目
3221004A2	育 児 学			2	2	心身健康学科生活健康学コース開 講科目
住環境学科専門教育科目						
3241002A1	住 生 活 学	2			1	
3241003A1	※ 建 築 ・ 住 居 史	2			1	令和5年度以前入学生対象
3241073A1	※ 建 築 史 I	2			1	令和6年度以降入学生対象

（注1）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

（注2）科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものなので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3241004A2	※ 建 築 ・ 住 宅 論		2		2	令和5年度以前入学生対象
3241074A2	※ 建 築 史 II		2		2	令和6年度以降入学生対象
3241005D3	※ 測 量 学 実 習		2		3	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241006A2	建 築 環 境 学	2			2	選択必修科目のうち、必修科目として、「建築構造計画学」・「木造建築構造学」のどちらか1科目、「建築施工学」・「建築生産デザイン学演習／建築生産」のどちらか1科目、計3単位も履修しなければならない（当該単位は、必修科目の単位となり、選択必修科目の単位とならない）。
3241007D3	建 築 環 境 学 実 習		1		3	
3241008E2	建 築 装 備 学 I	2			2	
3241009E2	建 築 装 備 学 II		2		2	
3241010D3	建 築 装 備 学 実 習		1		3	
3241011A1	※ 空 間 デ ザ イ ン 学	2			1	令和2年度以降入学生対象
3241012A2	※ 住 居 デ ザ イ ン 学		2		2	令和2年度以降入学生対象
3241013A1	建 築 材 料 学	2			1	
3241014D3	※ 建 築 材 料 学 実 習		1		3	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241015A2	住 居 管 理 学	2			2	
3241016A3	住居管理学（応用編）		2		3	
3241017D2	住 居 管 理 学 実 習 I	1			2	
3241018D3	住 居 管 理 学 実 習 II		1		3	
3241019A1	※ 建 築 計 画 学	2			1	令和2年度以降入学者対象
3241019A2	※ 建 築 計 画 学	2			2	本年度開講せず。平成31年度入学生対象
3241020A2	※ 住 環 境 計 画 学		2		2	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3241021A3	※ 生 活 空 間 解 析 学 I	2			3	平成30年度以前入学生対象
3241023A3	※ 生 活 空 間 計 画 学	2			3	平成31年度～令和3年度入学生対象
			2		3	令和4年度以降入学生対象
3241024A3	都 市 計 画 学	2			3	

（注1）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

（注2）科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3241025A2	地 域 居 住 学		2		2	
3241026A2	緑 地 環 境 計 画 論	2			2	
3241027A3	ラ ン ド ス ケ ー プ ・ デ ザ イ ン 論		2		3	
3241028A3	※ 福 祉 住 環 境 学		2		3	平成31年度以前、令和3年度以降 入学生対象
			2		2	令和2年度入学生対象
3241029D1	住 環 境 造 形 実 習	2			1	
3241030B2	※ 設 計 演 習 I	2			2	令和3年度以前入学生対象
		3			2	令和4年度以降入学生対象
3241031B2	設 計 演 習 II	3			2	
3241032B3	設 計 演 習 III	3			3	
3241033B3	設 計 演 習 IV		3		3	
3241034B4	設 計 演 習 V		3		4	
3241035A1	建 築 一 般 構 造 学	2			1	
3241036E3	建 築 構 造 力 学 ・ 材 料 力 学 演 習	4			3	
3241037E2	建 築 構 造 計 画 学		1		2	本年度開講せず
3241038A2	木 造 建 築 構 造 学		1		2	
3241039D3	建 築 構 造 学 実 習		1		3	
3241040D3	住 環 境 工 学 実 習	2			3	
3241065A4	不 静 定 構 造 力 学		1		4	
3241066E4	不 静 定 構 造 力 学 演 習		1		4	
3241067A4	建 築 振 動 論		2		4	
3241041A3	住 環 境 法 規	1			3	
3241042A1	住環境学の技術者倫理	2			1	
3241043A3	建 築 設 備 学	2			3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は**、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3241044A3	インテリアデザイン		2		3	
3241045B2	※ C A D 演 習	1			2	令和3年度以前入学生対象
			1		2	令和4年度以降入学生対象
3241046B3	※ デジタルデザイン演習		1		3	平成29年度以降入学生対象
3241047A2	建 築 施 工 学		2		2	
3241048B2	※ 建築生産デザイン学演習		2		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241071B2	※ 建 築 生 産		2		2	本年度開講せず。令和4年度以降入学生対象
3241049B1	※ 建 築 図 学		2		1	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241050D2	※ 住 環 境 デ ザ イ ン 基 礎		1		2	本年度開講せず。令和3年度以前入学生対象
3241052B1	※ 空間計画のための 物理環境科学演習	3			1	平成28年度～令和3年度入学生対象
3241072B1		2			1	令和4年度以降入学生対象
3241055D3	※ 住 環 境 学 学 外 実 習 (インターンシップ) I		2		3	平成28年度以降入学生対象
3241056D3	住 環 境 学 学 外 実 習 (インターンシップ) II		1		3	
3241057B3	住 環 境 学 学 外 演 習 (合 宿 演 習)			1	3	
3241059B1	住環境学フィールド演習IV			1	1	本年度開講せず。令和4年度以前入学生対象
3241068B1	※ 空 間 表 現 演 習	2			1	令和4年度以降入学生対象
3241069B3	ま ち づ く り 演 習 A		2		3	
3241070B4	ま ち づ く り 演 習 B		2		4	
3241060D3	住 環 境 学 基 礎 実 習	2			3	
3241061F4	卒 業 研 究 I (論 文)	6			4	論文を選択する場合
3241062F4	卒 業 研 究 I (設 計)	6			4	設計を選択する場合
3241063F4	卒 業 研 究 II (論 文)	6			4	論文を選択する場合
3241064F4	卒 業 研 究 II (設 計)	6			4	設計を選択する場合

住環境学学
外実習、同
I、同IIの
うち、卒業
要件単位に
含むことが
できるのは
2単位まで

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

4. 文化情報学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生 活 環 境 学 原 論	2			1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
文化情報学科共通科目						
3260001A1	文 化 情 報 学 概 論	2			1	
3260002A1	社 会 事 業 史		2		1	本年度開講せず
3260003A1	生活の情報管理とシステム		2		1	
3260004A2	ジェンダー文化論	2			2	
3260005A2	ジェンダー理論		2		2	
3260006A2	ソーシャルリサーチ論		2		2	
3260007A2	消 費 者 法		2		2	
3260008A2	家 族 関 係 論		2		2	
3260009A2	食 と 農 の 経 済 学		2		2	
3260010A2	人 間 関 係 文 化 論		2		2	
3260011A1	生 活 と 情 報 倫 理		2		1	
3260012A1	生活文化と人工知能		2		1	
3260013A1	応用数学Ⅰ(微分積分学)		2		1	
3260014A1	応用数学Ⅱ(線型代数学)		2		1	
3260015A1	生 活 と 統 計 学		2		1	
3260016A2	情 報 社 会 学		2		2	
3260017A2	情 報 と 職 業		2		2	
3260018B2	文 化 情 報 学 演 習		2		2	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3260019A3	経営データサイエンス	2			3	
3260020A3	失 敗 学 と 創 造 学		2		3	
生活文化学コース専門教育科目						
3261001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	
3261002D1	調 理 学 実 習 (E)			1	1	
3261003D1	応用調理学実習 (E)			1	1	
3261004A1	衣 環 境 学 概 論		2		1	
3261042D1	被服学実習Ⅰ (A)			1	1	食物栄養学科、文化情報学科対象
3261043D1	被服学実習Ⅱ (A)			1	1	食物栄養学科、文化情報学科対象
3261005D1	被服学実習Ⅰ (C)			1	1	住環境学科、心身健康学科対象
3261006D1	被服学実習Ⅱ (C)			1	1	住環境学科、心身健康学科対象
3240006A1	住 環 境 学 概 論		2		1	住環境学科開講科目
3221004A2	育 児 学		2		2	心身健康学科生活健康学コース開講科目
3261007A1	家 族 援 助 法		2		1	
3261008A1	経 済 政 策		2		1	
3261009A1	生 活 文 化 学 入 門		2		1	
3261010B1	生 活 文 化 学 の 方 法		2		1	
3261011A1	食 生 活 文 化 論		2		1	
3261012A1	住 生 活 文 化 論		2		1	本年度開講せず
3261013A1	消 費 経 済 分 析 論		2		1	
3261014A2	※ 社 会 シ ス テ ム 論		2		2	令和6年度以前入学生対象
			2		1	令和7年度以降入学生対象
3261015A2	服 飾 と ジ ェ ン ダ ー		2		2	
3261016A2	視 覚 文 化 論		2		2	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3261017A2	※医療社会文化史		2		2	令和6年度以前入学生対象
			2		1	令和7年度以降入学生対象
3261018A2	社会統計学		2		2	
3261019A2	生活経営学		2		2	
3261020A2	経済原論Ⅰ (ミクロ経済学)		2		2	
3261021A2	経済原論Ⅱ (マクロ経済学)		2		2	
3261022A2	※女性生活史		2		2	令和6年度以前入学生対象
			2		1	令和7年度以降入学生対象
3261023A2	人口と家族の社会学		2		2	本年度開講せず
3261024A2	生活経済学		2		2	
3261025A2	ライフスタイルと法		2		2	
3261026A2	Multicultural Society		2		2	
3261027B2	消費者法演習		2		2	
3261044B2	企業経済論演習		2		2	
3261028B2	視覚文化論演習		2		2	
3261029B3	ジェンダー文化論演習		2		3	
3261030B3	人間関係論演習		2		3	
3261031B3	人間関係文化論外書購読		2		3	
3261032B3	家族関係論演習		2		3	
3261033B3	※生活文化史演習		2		3	令和5年度以前入学生対象
			2		1	令和6年度以降入学生対象
3261034B3	※社会システム論演習		2		3	令和5年度以前入学生対象
			2		1	令和6年度以降入学生対象
3261035B3	生活経済学演習		2		3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3261036B3	生 活 文 化 学 演 習	2			3	
3261037D3	インターンシップ実習 (生 活 文 化 学)			1	3	卒業要件を満たす単位に含まない
3261038B4	生活文化学卒業演習Ⅰ	2			4	
3261039B4	生活文化学卒業演習Ⅱ	2			4	
3261040F4	卒 業 研 究 Ⅰ	6			4	
3261041F4	卒 業 研 究 Ⅱ	6			4	
文化情報学科生活情報通信科学コース専門教育科目						
3262001A1	プログラミング言語Ⅰ	2			1	
3262002B1	プログラミング言語演習	2			1	
3262003B2	プログラミング言語Ⅱ	2			2	
3262004A1	離 散 数 学		2		1	
3262005B1	情 報 処 理 技 術 Ⅰ	2			1	
3262006B1	情 報 処 理 技 術 Ⅱ		2		1	
3262007A1	デ ー タ ベ ー ス 論		2		1	
3262008B1	デ ー タ ベ ー ス 演 習		2		1	
3262009A1	アルゴリズムとデータ構造	2			1	
3262010A2	※ 論 理 回 路 論	2			2	令和5年度以前入学生対象
		2			3	令和6年度以降入学生対象
3262011A2	計算機アーキテクチャ論	2			2	
3262012A2	生 活 と 情 報 理 論	2			2	
3262013A2	※ 計 算 機 ネットワーク		2		2	令和5年度以前入学生対象
			2		3	令和6年度以降入学生対象
3262014C2	計 算 機 実 験 Ⅰ	2			2	
3262015C2	計 算 機 実 験 Ⅱ	2			2	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3262016A2	※ ソフトウェア工学概論		2		2	令和5年度以前入学生対象
			2		3	令和6年度以降入学生対象
3262017A2	※ ヒューマンインター フェース概論		2		2	令和5年度以前入学生対象
			2		3	令和6年度以降入学生対象
3262018A3	言語処理系論		2		3	
3262019A3	オペレーティング システム論		2		3	
3262020A3	パターン認識		2		3	
3262021A3	ソーシャルコン ピューティング論		2		3	
3262022A3	生活と数理論理学		2		3	
3262023A2	生活と人工知能		2		2	
3262024A3	グラフ理論		2		3	
3262038B3	生活と人工知能演習		2		3	
3262039A3	生活者目線と人間中心 デザイン		2		3	
3262040A3	情報セキュリティ		2		3	
3262025B1	プログラミング特別演習Ⅰ		2		1	
3262026B1	プログラミング特別演習Ⅱ		2		1	
3262027B1	プログラミング特別演習Ⅲ		2		1	本年度開講せず
3262028B1	プログラミング特別演習Ⅳ		2		1	本年度開講せず
3262029B1	プログラミング特別演習Ⅴ		2		1	本年度開講せず
3262030B1	プログラミング特別演習Ⅵ		2		1	本年度開講せず
3262031B1	プログラミング特別演習Ⅶ		2		1	本年度開講せず
3262032B1	プログラミング特別演習Ⅷ		2		1	本年度開講せず
3262033B3	情報処理技術特別演習		2		3	
3262034F3	卒業研究Ⅰ		5		3	
3262035F3	卒業研究Ⅱ		5		3	
3262036F4	卒業研究Ⅲ	5			4	
3262037F4	卒業研究Ⅳ	5			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

5. 情報衣環境学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生 活 環 境 学 原 論	2			1	
3100003A1	※ 児 童 学		2		1	本年度開講せず
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
3100004A1	※ 家庭機械・家庭電気・情報処 理		2		1	本年度開講せず。令和5年度以前入学生対象
				2	1	本年度開講せず。情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
3100020A2	※ ジェ ン ダー 文 化 論		2		2	令和3年度以降入学生対象
				2	2	情報衣環境学科平成30年度以降入学生対象
情報衣環境学科共通						
3230001A1	情 報 衣 環 境 学 概 論	2			1	本年度開講せず
3230002A1	応用数学Ⅰ（微分積分学）		2		1	
3230003A1	応用数学Ⅱ（線型代数学）		2		1	
3230004A2	※ 形 態 情 報 論		2		2	平成31年度以降入学生対象
3230005B2	図 学		2		2	本年度開講せず
3230006A2	マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2		2	本年度開講せず
3230007A3	ウェアラブルインターフェースデザイン論	2			3	本年度開講せず
3230008A3	創 造 学		2		3	本年度開講せず
3230009A1	生 活 と 情 報 倫 理		2		1	本年度開講せず
3230010A1	情 報 学 概 論	2			1	本年度開講せず
3230011A1	情報セキュリティと法務	2			1	本年度開講せず
3230012A1	生 活 と 統 計 学		2		1	
3230013A2	情 報 と 職 業		2		2	
3230014A3	経 営 工 学		2		3	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものなので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3230015A3	失 敗 学		2		3	
情報衣環境学科衣環境学コース専門教育科目（他学科開講科目を修得した場合も情報衣環境学科専門基盤科目の修得単位として算入されます）						
3231001A1	衣 環 境 学 概 論	2			1	
3231002D1	被服学実習Ⅰ（D）		1		1	本年度開講せず。情報衣環境学科対象
3231004D1	被服学実習Ⅱ（D）		1		1	本年度開講せず。情報衣環境学科対象。履修希望の場合は学務課へ
3221001A1	食 物 科 学 概 論		2		1	
3221014D1	調 理 学 実 習（G）		1		1	本年度開講せず。履修希望の場合は学務課へ
3221002A1	住 環 境 学 概 論		2		1	心身健康学科生活健康学コース開講科目
3231006A2	家 族 関 係 学		2		2	本年度開講せず
3231008A2	生 活 経 済 経 営 学		2		2	本年度開講せず
3231009A2	※ 育 児 学			2	2	情報衣環境学科平成31年度以降入学生対象
3231010A2	衣 環 境 管 理 学	2			2	
3231011A2	生 活 と 感 覚 計 測 論	2			2	本年度開講せず
3231012A2	ア パ レ ル 工 学		2		2	
3231013A2	※ 生 活 界 面 化 学		2		2	平成30年度以降入学生対象
3231014C2	衣環境学実験Ⅰ（物理）	2			2	本年度開講せず
3231015C2	衣環境学実験Ⅱ（化学）	2			2	本年度開講せず
3231016D2	衣環境デッサントレーニング		2		2	本年度開講せず
3231018D2	※ 形 態 情 報 論 実 習		2		2	平成31年度以降入学生対象
3231019A2	衣 環 境 造 形 学		2		2	本年度開講せず
3231020D2	衣 環 境 造 形 学 実 習		2		2	本年度開講せず
3231022A3	織 維 状 材 料 性 能 論	2			3	本年度開講せず
3231023A3	生 活 材 料 物 性 学	2			3	本年度開講せず
3231026C3	衣環境学実験Ⅲ（物理）		2		3	

（注１）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

（注２）**科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3231027C3	衣環境学実験Ⅳ（化学）		2		3	本年度開講せず
3231029A2	※生活と多変量解析		2		2	平成30年度以降入学生対象
3231030A3	※デザイン情報論	2			3	本年度開講せず。平成30年度以降入学生対象
3231031D3	ウェアラブル情報 デザイン実習		2		3	本年度開講せず
3231032B3	論文講読演習		2		3	本年度開講せず
3231033A3	※繊維材料化学	2			3	本年度開講せず。令和2年度以前入学生対象
3231035B3	衣環境学演習Ⅰ	2			3	本年度開講せず
3231036B4	衣環境学演習Ⅱ	2			4	本年度開講せず
3231037F4	卒業研究Ⅰ	6			4	本年度開講せず
3231038F4	卒業研究Ⅱ	6			4	
情報衣環境学科生活情報通信科学コース専門教育科目						
3232001A1	プログラミング言語Ⅰ	2			1	本年度開講せず
3232002B1	プログラミング言語演習	2			1	本年度開講せず
3232003B2	プログラミング言語Ⅱ	2			2	本年度開講せず
3232004A1	離散数学		2		1	
3232005B1	情報処理技術Ⅰ	2			1	本年度開講せず
3232006B1	情報処理技術Ⅱ		2		1	本年度開講せず
3232007A1	データベース論		2		1	本年度開講せず
3232008B1	データベース演習		2		1	本年度開講せず
3232009A1	アルゴリズムとデータ構造	2			1	本年度開講せず
3232010A2	論理回路論	2			2	本年度開講せず
3232011A2	計算機アーキテクチャ論	2			2	
3232012A2	情報理論	2			2	本年度開講せず
3232013A2	計算機ネットワーク		2		2	

（注１）対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

（注２）科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3232014C2	計 算 機 実 験 1	2			2	
3232015C2	計 算 機 実 験 2	2			2	本年度開講せず
3232016A2	ソフトウェア工学概論		2		2	本年度開講せず
3232017A2	ヒューマンインター フェイス 概 論		2		2	本年度開講せず
3232018A2	情 報 社 会 学		2		2	本年度開講せず
3232019A3	プロジェクト管理と シ ス テ ム 監 査		2		3	本年度開講せず
3232020A3	言 語 処 理 系 論		2		3	
3232021A3	オペレーティング シ ス テ ム 論		2		3	
3232022A3	パ タ ー ン 認 識		2		3	
3232023A3	マルチメディア情報工学		2		3	本年度開講せず
3232024A3	数 理 論 理 学		2		3	
3232025A2	人 工 知 能		2		2	本年度開講せず
3232026A3	シミュレーション科学		2		3	
3232027A3	グ ラ フ 理 論		2		3	
3232028A3	数 理 モ デ リ ン グ		2		3	本年度開講せず
3232029A3	数 値 解 析		2		3	
3232030A3	数 式 処 理 論		2		3	本年度開講せず
3232031B2	プログラミング特別演習Ⅰ		2		2	
3232032B2	プログラミング特別演Ⅱ		2		2	
3232036B3	情報処理技術特別講義Ⅲ		2		3	
3232041F3	卒 業 研 究 Ⅰ		5		3	本年度開講せず
3232042F3	卒 業 研 究 Ⅱ		5		3	本年度開講せず
3232043F4	卒 業 研 究 Ⅲ	5			4	本年度開講せず
3232044F4	卒 業 研 究 Ⅳ	5			4	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

6. 生活文化学科

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
学部共通科目						
3100001A1	生 活 環 境 学 原 論		2		1	
3100003A1	児 童 学			2	1	本年度開講せず
3100004A1	家庭機械・家庭電気・ 情 報 処 理			2	1	本年度開講せず。令和5年度以前 入学生対象
3100020A2	※ ジェンダー文化論		2		2	生活文化学科以外対象
3100024A1	心 身 健 康 学 概 論 I		2		1	
3100026A1	※ 心 身 健 康 学 概 論 II (心 理 学 概 論)		2		1	平成30年度以降入学生対象
生活文化学科専門科目						
生活文化学科専門基盤科目（他学科開講科目を修得した場合も生活文化学科専門基盤科目の修得単位として算入されます）						
3250001A1	生 活 文 化 学 入 門		2		1	
3250002A1	食 物 科 学 概 論		2		1	本年度開講せず
3250003D1	調 理 学 実 習（ E ）			1	1	本年度開講せず
3250004D1	応用調理学実習（ E ）			1	1	本年度開講せず
3100011A1	衣 環 境 学 概 論		2		1	本年度開講せず
3100016D1	被服学実習 I（ C ）			1	1	本年度開講せず。履修希望者は学 務課窓口へ
3100017D1	被服学実習 II（ C ）			1	1	本年度開講せず。履修希望者は学 務課窓口へ
3240006A1	住 環 境 学 概 論		2		1	住環境学科開講科目
3221004A2	育 児 学			2	2	本年度開講せず。心身健康学科生 活健康学コース開講科目
生活文化学科専門教育科目						
3251001A2	ソーシャルリサーチ論		2		2	本年度開講せず
3251003D2	社 会 統 計 学		2		2	本年度開講せず
3251064A2	ジェンダー理論		2		2	
3251005A2	※ ジェンダー文化論		2		2	本年度開講せず。生活文化学科令 和3年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3251006B2	ジェンダー文化論演習		2		2	
3251007A1	※家族・ジェンダー論		2		1	本年度開講せず。平成30年度入学生対象
3251009A2	※ジェンダーと法		2		2	本年度開講せず。平成28年度以降入学生対象
3251010B2	ジェンダー法文化史演習		2		2	本年度開講せず
3251011A2	西洋女性生活史		2		2	本年度開講せず
3251012E2	人間関係文化論		2		2	
3251013B3	人間関係論演習		2		3	
3251014B3	人間関係文化論外書講読		2		3	
3251015A1	※生活文化人類学		2		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251016B1	※生活誌演習A		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251017B1	※生活誌演習B		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251018B1	※衣生活文化論演習		2		1	本年度開講せず。平成29年度以前入学生対象
3251019D1	※フィールド調査実習		1		1	本年度開講せず。平成29年度以前入学生対象
3251020B1	※フィールド英語演習A		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251021B1	※フィールド英語演習B		1		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251022A2	医療社会文化史		2		2	
3251023B3	生活文化史演習		2		3	
3251024A2	女性生活史		2		2	
3251025A1	※家族システム論		2		1	本年度開講せず。平成31年度以前入学者対象
3251026A1	※家族問題論		2		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251027A2	家族関係論		2		2	本年度開講せず。生活文化学科対象
3251028B3	家族関係論演習		2		3	本年度開講せず
3251128A2	人口と家族の社会学		2		2	本年度開講せず
3251029A1	家族援助法		2		1	

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3251030A2	社 会 シ ス テ ム 論		2		2	
3251031B3	社会システム論演習		2		3	
3251032A1	食 生 活 文 化 論		2		1	
3251033A1	住 生 活 文 化 論		2		1	本年度開講せず
3251034A2	生 活 経 済 学		2		2	
3251035B3	生 活 経 済 学 演 習		2		3	
3251036A1	※医 療 社 会 学		2		1	本年度開講せず。平成30年度以前入学生対象
3251037A2	食 と 農 の 経 済 学		2		2	
3251038A2	消 費 者 法		2		2	
3251039B2	消 費 者 法 演 習		2		2	
3251040A2	生 活 経 営 学		2		2	本年度開講せず。生活文化学科対象
3251041A1	生 活 の 情 報 管 理 と シ ス テ ム		2		1	
3251042A2	ライフスタイルと法		2		2	本年度開講せず
3251043A2	経 済 原 論 I (ミクロ経済学)		2		2	
3251044A2	経 済 原 論 II (マクロ経済学)		2		2	
3251064B2	企 業 経 済 論 演 習		2		2	
3251046A2	消 費 経 済 分 析 論		2		2	
3251047A1	経 済 政 策		2		1	
3251048A1	社 会 事 業 史		2		1	本年度開講せず
3251050A2	視 覚 文 化 論		2		2	本年度開講せず
3251052B2	視 覚 文 化 論 演 習		2		2	本年度開講せず
3251053A2	服 飾 と ジ ェ ン ダ ー		2		2	
3251054A2	※多 文 化 共 生 論		2		2	平成30年度以前入学生対象
3251063A2	※Multicultural Society		2		2	平成31年度以降入学生対象

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、それ未満の学生は履修できません。

(注2) 科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。

科目 ナンバリング コード	科 目 名	単 位			対象 年次	履修上の注意事項
		必修	選必	選択		
3251055B1	生 活 文 化 学 の 方 法		2		1	
3251057B3	生 活 文 化 学 演 習	2			3	本年度開講せず
3251058B4	生活文化学卒業演習Ⅰ	2			4	本年度開講せず
3251059B4	生活文化学卒業演習Ⅱ	2			4	
3251060F4	卒 業 研 究 Ⅰ	6			4	本年度開講せず
3251061F4	卒 業 研 究 Ⅱ	6			4	
3251062D3	インターンシップ実習 (生 活 文 化 学)			1	3	卒業要件を満たす単位に含まない

(注1) 対象年次は履修するのに適切な学年のことで、**それ未満の学生は履修できません。**

(注2) **科目名の前に※を付した科目は、入学年度により履修できる科目、必修区分、対象年次が異なるものですので、特にご注意ください。**

14. 生活環境学部専門教育科目時間割表

曜日	時限	生活環境学部共通(前期)		生活環境学部共通(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論(学部共通科目)	全教員	生活環境学原論
	3・4	鷹股ほか 〈山本(展)〉	心身健康学概論Ⅰ 育児学		
	5・6				
	7・8	〈古田〉	被服学実習Ⅰ(C)		
	9・10			〈古田〉	被服学実習Ⅱ(A)
火	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8				
	9・10				
水	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8	〈武智〉	調理学実習(E) (7～9時限)	〈中村〉	被服学実習Ⅱ(C)
	9・10			〈武智〉	応用調理学実習(E) (7～9時限)
木	1・2	岡 田 〈中村〉	家族関係論 被服学実習Ⅰ(A)		
	3・4	伊藤ほか	心身健康学概論Ⅱ(心理学概論)		
	5・6				
	7・8	根本ほか	住環境学概論(学部共通科目)		
	9・10				
金	1・2				
	3・4			原田ほか	衣環境学概論
	5・6	林 田	ジェンダー文化論		
	7・8				
	9・10				
集中・その他				〈花輪〉	生活経営学(後期集中)

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	食物栄養学科(前期)		食物栄養学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論	学科全教員	食物栄養学研究法
	3・4	福 井 〈山本(展)〉	有機化学Ⅰ 育児学	菊 崎 高 村	食品化学総論 調理科学
	5・6				
	7・8			〈和田〉	応用調理学実習(D) (7～9時限)
	9・10			〈古田〉	被服学実習Ⅱ(A)
火	1・2	小 栗	臨床栄養学Ⅰ	稲 田	分子病態学
	3・4	小 栗 高 村	臨床栄養学総論 基礎化学演習		
	5・6	高 村 前 田	食品加工学 微生物学	稲 田	病態内科学
	7・8	高 地	公衆衛生学	前 田	食品衛生学
	9・10				
水	1・2	中田(理) 小 倉	応用栄養学Ⅱ 応用栄養生理学	小 倉	生体安全学
	3・4	福 井 〈今井〉	生化学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ		
	5・6	高 地 稲 井	公衆栄養学Ⅰ 栄養教育論Ⅲ	高 地 福 井	公衆栄養学Ⅱ 生化学Ⅱ
	7・8	稲 井	栄養教育論Ⅰ	稲 井	栄養教育論Ⅱ
	9・10	稲 田	細胞生理学		
木	1・2	岡 田 〈中村〉	家族関係論 被服学実習Ⅰ(A)		
	3・4	小 倉 中田(理)	基礎生物学演習 栄養生化学	小 倉 中田(理) 小 栗	医学概論 応用栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅲ
	5・6	高 村 菊 崎	食品化学各論 給食経営管理学Ⅰ		
	7・8	菊 崎 前 田 根本ほか	給食経営管理学Ⅱ 食品微生物学 住環境学概論		
	9・10				
金	1・2				
	3・4			原田ほか	衣環境学概論
	5・6				
	7・8	〈和田〉	調理学実習(D) (7～9時限)		
	9・10				
集中・ その他		中田(理) 稲井・小原 〈安藤〉 中田(理)・ほか 菊崎ほか 学科全教員	応用栄養学実習(前期集中) 栄養教育論実習(前期集中) 栄養教諭論(前期集中) 基礎栄養学実験(前期集中) 給食経営管理学実習(前期集中) 卒業研究Ⅰ(前期)	〈長谷川〉 高 地 〈安藤〉 小栗ほか 〈花輪〉 学科全教員	食糧経済学(後期集中) 生活福祉論(後期集中) 食に関する指導論(後期集中) 臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ(後期集中) 生活経営学(後期集中) 卒業研究Ⅱ(後期)
		高地・〈佐伯〉・〈富岡〉・〈宮本〉・環境と健康(集中) 高地・森田・公衆栄養学実習(集中) 〈未定〉・基礎栄養学特別講義Ⅱ(集中) 学科全教員・栄養学総合演習(集中) 中田(理)・稲田・菅・病態生理・生化学実験(集中) D 2 2 5 高村・福井・食品化学実験(集中) D 2 2 5 小倉・前田・食品微生物学実験(集中) D 2 2 5 小倉・生体安全学実験(集中) D 2 2 5 小栗・齋藤・宮本・臨床栄養学実習(集中) 高村・齋藤・食品加工学実習(集中) 高地・菅・宮本・公衆栄養学臨地実習(集中) 菊崎・小原・森田・給食経営管理学臨地実習(集中)			

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	心身健康学科(前期)		心身健康学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか 岡 本	食物科学概論 司法・犯罪心理学		
	3・4	石坂ほか 梅 垣 (山本(展))	心身健康学概論Ⅰ 心理検査法(心理的アセスメント) 育児学	鷹 股 成 瀬 岡 本	女性健康論 身体表現実習 感情・人格心理学
	5・6	鍵 本 吉 本	環境人間工学 食健康論	吉 本 (魚田) 梅 垣	生活健康学基礎実験(5～8時限) 個人スポーツ実習 A 心理学統計法
	7・8	(古田)	被服学実習Ⅰ(C)		
	9・10	岡本ほか	公認心理師の職責		
火	1・2	鷹 股 (文) 狗巻	行動神経内分泌学／生活行動科学 障害者・障害児心理学	高 浪 (外木)	脳機能形態学 関係行政論
	3・4	石 坂 吉 本	生涯スポーツ論 自律神経科学	吉本ほか 石 坂	生活健康学概論 体育・スポーツ社会学
	5・6	臨床全教員 平 塚 (文) 高原 原 田 横 山 成瀬ほか	心身健康学研究演習Ⅰ(臨床心理学コース) 基礎運動実習 産業・組織心理学 衣環境学実験(5～8時限) 生活内科学(人体の構造と機能及び疾病)(7・8時限) 心身健康学研究演習Ⅰ(スポーツ健康科学コース)(7・8時限)	岡本ほか 横 山 平 塚 (松岡)	心理学実験演習(心理学実験) ストレスの科学実習(5～8時限) 体育・スポーツ史(7・8時限) 健康・医療心理学(7・8時限)
	7・8				
	9・10	岡本ほか	心理演習		
水	1・2	鷹 股 高 浪 馬 場	人体生理学 被服生理学 家族心理学(社会・集団・家族心理学)	(未定) 原 田	スポーツ生理学 生活界面化学
	3・4	浅 野 白水ほか 原 田	生活行動変容論 精神疾患とその治療 衣環境管理学	黒 川 浅 野	発達臨床心理学(発達心理学) スポーツ心理学
	5・6			西 牧	食環境論
	7・8	(武智)	調理学実習(E)(7～9時限)	(中村)	被服学実習Ⅱ(C)
	9・10	(中山)	学校臨床心理学(9・10時限)		
木	1・2	藤 原 生活健康全教員 平 塚 岡 田	身体運動制御論 心身健康学研究演習Ⅰ(生活健康学コース) スポーツ政策論 家族関係論	藤 原	スポーツバイオメカニクス
	3・4	岡本ほか	心身健康学概論Ⅱ(心理学概論)	時 岡 藤 原 横 山	心理療法学(心理学的支援法) チームスポーツ実習 B 生活保健学／人間行動生理学
	5・6	星野ほか 高 浪	スポーツ健康科学演習 B 人体生理学実習(5～8時限)	平 塚 鷹 股	スポーツ法学 栄養学実験(5～8時限)
	7・8	根本ほか	住環境学概論(7・8時限)	スポーツ全教員	スポーツ健康科学演習 A(7・8時限)
	9・10			(高橋)	神経・生理心理学
金	1・2	(辰巳) 成 瀬	人体解剖学 身体コミュニケーション論	成 瀬 (文) 狗巻ほか	身体表現学 心理学研究法
	3・4	黒 川	臨床心理学概論	星 野 原田ほか	スポーツ精神生理学 衣環境学概論
	5・6			岡本ほか	臨床心理学実習(心理実習 B)(5～8時限)
	7・8	スポーツ全教員	スポーツ健康科学入門演習Ⅰ	スポーツ全教員	スポーツ健康科学入門演習Ⅱ(7・8時限)
	9・10			(文) 鈴木	福祉心理学
集中・その他		(根岸) 浅野ほか (伊藤) 全教員 全教員 全教員	衛生・公衆衛生学(前期集中) シーズンスポーツ実習・夏(前期集中) 運動医学論(前期集中) 心身健康学研究演習Ⅰ 心身健康学卒業演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ	平塚ほか (宮井) (四辻) (花輪) 全教員 全教員 全教員	シーズンスポーツ実習・冬(後期集中) 学校保健(後期集中) 教育臨床心理学(教育・学校心理学) 生活経営学(後期集中) 心身健康学研究演習Ⅱ 心身健康学卒業演習Ⅱ 卒業研究Ⅱ

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	住環境学科(前期)		住環境学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論(1・2限)		
	3・4	吉田(伸)ほか 〈山本(展)〉	住環境工学実習(1～4時限) 育児学	藤 平	建築材料学
	5・6	吉田(伸)	建築設備学	吉田(伸)	建築環境学
	7・8	根本ほか 〈古田〉	空間表現演習 被服学実習Ⅰ(C)	住環境全教員	住環境学の技術者倫理
	9・10				
火	1・2			※	下記「集中・その他」欄の注1～4 を参照のこと(1～4時限)
	3・4	室 崎	福祉住環境学		
	5・6	角 田	建築構造力学・材料力学演習 (5～8時限)	吉田(伸)ほか	空間計画のための物理環境科学演習 ／空間計画のための物理環境科学演習Ⅰ(後期集中)(5～10時限)
	7・8	室 崎	住生活学	〈中山〉	地域居住学
	9・10				
水	1・2	藤 平	住居管理学	許	建築設備学Ⅱ
	3・4	許 藤 平	建築設備学Ⅰ 住居管理学(応用編)	山 本	建築計画学
	5・6	〈近藤(陽)・辻村〉	インテリアデザイン	〈未定〉	建築施工学／木造建築構造学(5～8限)
	7・8	〈武智〉	調理学実習(E)(7～9時限)	〈中村〉	被服学実習Ⅱ(C)(7・8時限)
	9・10			〈武智〉	応用調理学実習(E)(7～9時限)
木	1・2	角 田 坂 井 根 本 岡 田	建築一般構造学 建築・住宅論／建築史Ⅱ ランドスケープ・デザイン論 家族関係論	根本ほか	住環境造形実習(1～4時限)
	3・4	〈中山〉 加藤(亜)	都市計画学 住居デザイン学	〈楊〉	住環境法規(3・4時限)
	5・6	加藤ほか	設計演習Ⅲ(5～7時限)	根本ほか ※	設計演習Ⅳ(5～7時限) 下記「集中・その他」欄の注5 を参照のこと(5～8時限)
	7・8	根本ほか	住環境学概論		
	9・10			加藤(亜)	空間デザイン学
金	1・2				
	3・4	根本ほか 山 本	設計演習Ⅴ(2～4時限) 生活空間計画学／生活空間解析学Ⅰ(3・4時限)	坂 井 原田ほか	建築・住居史／建築史Ⅰ 衣環境学概論
	5・6	加藤ほか	設計演習Ⅰ(5～7時限)	根 本 ※	緑地環境計画論(5・6時限) 下記「集中・その他」欄の注1～4 を参照のこと(5～8時限)
	7・8			根本ほか	設計演習Ⅱ(7～9時限)
	9・10				
集中・ その他		加藤・〈近藤(直)〉 住環境全教員 角 田 角 田 山 本	デジタルデザイン演習(前期集中) 卒業研究Ⅰ(前期) 不静定構造力学(前期集中) 不静定構造力学演習(前期集中) まちづくり演習Ⅱ(前期集中)	吉田(伸) 許 角 田 藤 平 藤 平 藤平・〈安藤〉 角 田 室 崎 住環境全教員 住環境全教員 〈花輪〉	(注1)建築環境学実習(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注2)建築設備学実習(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注3)建築構造学実習(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注4)住居管理学実習Ⅱ(後期集中) (火の1～4時限、金の5～8時限) (注5)住居管理学実習Ⅰ(後期集中) (木の5～8時限) C A D演習(後期集中) 建築振動論(後期集中) まちづくり演習Ⅲ(後期集中) 住環境学基礎実習(後期集中) 卒業研究Ⅱ(後期) 生活経営学(後期集中)
			山本・住環境学学外実習Ⅰ(インターンシップ)(集中) 山本・住環境学学外実習Ⅱ(インターンシップ)(集中) 根本・住環境学学外演習(合宿演習)(集中)		

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	文化情報学科・生活文化学コース(前期)		文化情報学科・生活文化学コース(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論		
	3・4	全教員 青 木 〈山本(展)〉	文化情報学概論 生活経済学演習 育児学		
	5・6	〈祐野〉 野 田	社会統計学 社会システム論演習	岡 田	家族関係論演習
	7・8	高 田 青 木	応用数学Ⅰ(微分積分学) 食と農の経済学	高 田 青 木	応用数学Ⅱ(線型代数学) 生活経済学
	9・10	〈千代延〉	情報と職業	〈古田〉	被服学実習Ⅱ(A)
火	1・2	〈巽〉	家族援助法		
	3・4	安 藤	人間関係文化論外書講読		
	5・6	安 藤 山 崎	人間関係論演習 視覚文化論	安 藤	人間関係文化論
	7・8	山 崎	服飾とジェンダー	山 崎	視覚文化論演習
	9・10	須 藤 松 本	生活文化と人工知能 経営データサイエンス		
水	1・2				
	3・4			〈村瀬〉	消費経済分析論
	5・6	野 田	社会システム論	野 田 〈磯部〉	生活の情報管理とシステム 食生活文化論
	7・8	〈依藤〉 〈武智〉	ソーシャルリサーチ論 調理学実習(E)(7～9時限)	〈鈴木〉 〈武智〉	Multicultural Society 応用調理学実習(E)(7～9時限)
	9・10				
木	1・2	岡 田 〈中村〉	家族関係論 被服学実習Ⅰ(A)	生活文化全教員	生活文化学入門
	3・4	〈小谷〉 鈴 木	経済政策 生活文化史演習		
	5・6	大 塚 野 田	消費者法 生活文化学の方法	大 塚 〈吉井〉	消費者法演習 失敗学と創造学
	7・8	根本ほか	住環境学概論(住環境学科開講科目)	安 橋 大 塚	企業経済論演習 ライフスタイルと法
	9・10			学科全教員	文化情報学演習(9・10限)
金	1・2	安 橋	経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)	安 橋	経済原論Ⅱ(マクロ経済学)
	3・4	〈吉井〉	生活と情報倫理	原田ほか	衣環境学概論
	5・6	林 田 岡 田	ジェンダー文化論 ライフコース論	林 田	ジェンダー理論
	7・8	林 田 鈴 木	ジェンダー文化論演習 医療社会文化史	鈴 木	女性生活史
	9・10				
集中・ その他		〈岡田〉 生活文化教員 生活文化教員	情報社会学(前期集中) 生活文化学卒業演習Ⅰ(前期・各教員ごとに時間設定) 卒業研究Ⅰ(前期)	〈池田〉 〈花輪〉 生活文化教員 生活文化教員 生活文化教員	生活と統計学(後期集中) 生活経営学(後期集中) 生活文化学演習(後期・各教員ごとに時間設定) 生活文化学卒業演習Ⅱ(後期・各教員ごとに時間設定) 卒業研究Ⅱ(後期)
		大塚・インターンシップ実習(生活文化学) (集中)			

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	文化情報学科・生活情報通信科学コース(前期)		文化情報学科・生活情報通信科学コース(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	鴨	プログラミング言語Ⅰ		
	3・4	全教員 新 出	文化情報学概論 言語処理系論	鴨・藤原	アルゴリズムとデータ構造
	5・6			須 藤	生活と人工知能
	7・8	高 田 松 本 青 木	応用数学Ⅰ(微分積分学) オペレーティングシステム論 食と農の経済学	高 田	応用数学Ⅱ(線型代数学)
	9・10	〈千代延〉 水 原	情報と職業 ソーシャルコンピューティング論	松 本 新 出	計算機アーキテクチャ論 生活と数理理論学
火	1・2				
	3・4				
	5・6	松本ほか	計算機実験Ⅰ(5～8時限)	鴨 安 藤	離散数学 人間関係文化論
	7・8			〈石川〉	情報処理技術Ⅱ(7～10時限)
	9・10	須 藤 松 本	生活文化と人工知能 経営データサイエンス		
水	1・2	高 田	プログラミング言語Ⅱ(1～4時限)	松本ほか	計算機実験Ⅱ(1～4時限)
	3・4				
	5・6	阿久津	生活者目線と人間中心デザイン	野田	生活の情報管理とシステム
	7・8	〈依藤〉	ソーシャルリサーチ論(7・8時限)		
	9・10	石 丸	生活と人工知能演習(7～10時限)		
木	1・2	鴨・高田	プログラミング言語演習(1～4時限)		
	3・4	藤 原	ソフトウェア工学概論(3・4時限)		
		岡 田	家族関係論(3・4限)	瀧 本	情報セキュリティ
	5・6	大 塚 須 藤	消費者法 パターン認識	〈吉井〉	失敗学と創造学
	7・8	新 出	論理回路論	松本・藤原 水 原	計算機ネットワーク 生活と情報理論
	9・10			学科全教員	文化情報学演習
金	1・2				
	3・4	〈吉井〉	生活と情報倫理	高 田	データベース論
	5・6	林 田	ジェンダー文化論	林 田	ジェンダー理論(5～6時限)
		鴨	グラフ理論	高 田	データベース演習(5～8時限)
	7・8	〈石川〉	情報処理技術Ⅰ(7～10時限)		
集中・ その他	9・10				
		〈岡田〉 高田ほか コース全教員 コース全教員	情報社会学(前期集中) プログラミング特別演習Ⅰ(前期集中) 卒業研究Ⅰ(前期) 卒業研究Ⅲ(前期)	〈池田〉 松本ほか 高田ほか コース全教員 コース全教員	生活と統計学(後期集中) 情報処理技術特別演習(後期集中) プログラミング特別演習Ⅱ(後期集中) 卒業研究Ⅱ(後期) 卒業研究Ⅳ(後期)
〈吉田〉・ヒューマンインターフェース概論(集中)					

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	情報衣環境学科・衣環境学コース(前期)		情報衣環境学科・衣環境学コース(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2	高村ほか	食物科学概論		
	3・4	〈山本(展)〉	育児学		
	5・6				
	7・8	高 田	応用数学Ⅰ(微分積分学)(7・8時限)	高 田	応用数学Ⅱ(線型代数学)
	9・10	〈千代延〉	情報と職業		
火	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8				
	9・10	松 本	経営工学		
水	1・2			原 田	生活界面化学
	3・4	原 田	衣環境管理学		
	5・6				
	7・8	〈武智〉	調理学実習(E)(7～9時限)		
	9・10				
木	1・2				
	3・4				
	5・6			〈吉井〉	失敗学
	7・8	根本ほか	住環境学概論		
	9・10				
金	1・2				
	3・4			原田ほか	衣環境学概論
	5・6				
	7・8				
	9・10				
集中・その他		吉田(哲)	形態情報論(前期集中)	佐 藤 吉田(哲) 佐 藤 〈池田〉 吉田(哲) コース全教員	アパレル工学(後期集中) 生活と多変量解析/生活感性工学(後期集中) 衣環境学実験Ⅲ(物理)(後期集中) 生活と統計学(後期集中) 形態情報論実習(後期集中) 卒業研究Ⅱ(後期)

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	情報衣環境学科・生活情報通信科学コース(前期)		情報衣環境学科・生活情報通信科学コース(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2				
	3・4	新 出	言語処理系論		
	5・6				
	7・8	高 田 松 本	応用数学Ⅰ(微分積分学) オペレーティングシステム論	高 田	応用数学Ⅱ(線型代数学)
	9・10			松 本 新 出	計算機アーキテクチャ論 数理論理学
火	1・2				
	3・4				
	5・6	松本ほか	計算機実験Ⅰ(5～8時限)	鴨	離散数学
	7・8				
	9・10	松 本	経営工学		
水	1・2				
	3・4				
	5・6				
	7・8				
	9・10				
木	1・2				
	3・4				
	5・6	須 藤	パターン認識	〈吉井〉	失敗学
	7・8			松本・藤原	計算機ネットワーク
	9・10				
金	1・2				
	3・4				
	5・6	鴨	グラフ理論		
	7・8				
	9・10				
集中・ その他		吉田(哲) 鴨 コース全教員	形態情報論(前期集中) 数値解析(前期集中) プログラミング特別演習Ⅰ(前期集中)	新 出 (池田) コース全教員 コース全教員 コース全教員	シミュレーション科学(後期集中) 生活と統計学(後期集中) プログラミング特別演習Ⅱ(後期集中) 情報処理技術特別講義Ⅲ(後期集中) 卒業研究Ⅳ(後期)

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	生活文化学科(前期)		生活文化学科(後期)	
		担当教員	授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目
月	1・2				
	3・4	青 木	生活経済学演習		
	5・6	野 田	社会システム論演習		
	7・8	青 木	食と農の経済学	青 木	生活経済学
	9・10				
火	1・2	〈巽〉	家族援助法		
	3・4	安 藤	人間関係文化論外書講読		
	5・6	安 藤	人間関係論演習	安 藤	人間関係文化論
	7・8				
	9・10				
水	1・2				
	3・4			〈村瀬〉	消費経済分析論
	5・6	野 田	社会システム論	野 田 〈磯部〉	生活の情報管理とシステム 食生活文化論
	7・8			〈鈴木〉	Multicultural Society／多文化共生論
	9・10				
木	1・2			全教員	生活文化学入門
	3・4	鈴 木 〈小谷〉	生活文化史演習 経済政策		
	5・6	大 塚 野 田	消費者法 生活文化学の方法	大 塚	消費者法演習
	7・8	根本ほか	住環境学概論	安 橋	企業経済論演習
	9・10				
金	1・2	安 橋	経済原論Ⅰ(ミクロ経済学)	安 橋	経済原論Ⅱ(マクロ経済学)
	3・4				
	5・6			林 田	ジェンダー理論
	7・8	林 田 鈴 木	ジェンダー文化論演習 医療社会文化史	鈴 木	女性生活史
	9・10				
集中・ その他				生活文化教員 生活文化教員	生活文化学卒業演習Ⅱ(後期・各教員ごとに時間設定) 卒業研究Ⅱ(後期)
		大塚・インターンシップ実習(生活文化学) (集中)			

〈 〉の担当教員は非常勤講師

令和7年度生活環境学部専門教育科目 積極開放科目

担当教員	講義コード	開 講 科 目（講義題目）	週時数	単 位	開講期	備 考
食物栄養学科						
高 村	5353000	食品加工学	2	2	前期	
心身健康学科						
鷹 股	5702000	女性健康論	2	2	後期	
吉 本	5723000	食健康論	2	2	前期	
住環境学科						
室 崎	5501100	住生活学	2	2	前期	
藤 平	5515000	住居管理学	2	2	前期	
坂 井	5503500	建築史Ⅰ	2	2	後期	
坂 井	5504500	建築史Ⅱ	2	2	前期	
文化情報学科						
安 橋	5941000	経済原論Ⅱ（マクロ経済学）	2	2	後期	
須 藤	5912000	生活文化と人工知能	2	2	前期	令和4年度以降入学者対象

IV 工学部

学部の目的

本学部は、産業界の多様な分野において課題の本質の理解や探究心をもたせるために、STEAM教育に基づく知識に加えて、幅広い教養や工学の基礎知識に立脚する応用力とコミュニケーション能力を強化し、発見や創造に立ち向かう主体性を身に付けた人材を育成することを目的とする。

学科の目的

工学科は、工学の専門知識や技術に加えて、人間と社会、自然と科学に関する幅広い教養を身に付け、それらから工学的視点に立って社会にイノベーションを起こす力を身に付けた工学系女性人材を育成することを目的とする。

大学在学中の授業の履修方法、卒業に必要な単位数等は、原則として、入学年度の『CAMPUS LIFE』に掲載されている学則及び工学部規程が、卒業するまで適用されます。紛失しないよう大切に保管してください。

科目の履修は、入学年次の工学部規程と本冊子『専門教育ガイド』、『全学教育ガイド』、大学のWebページから見ることもできる『開講科目概要』及び『シラバス』を熟読し、各学期の始めに行われるガイダンスをふまえて、履修計画を立ててください。

また不明な点は、必ず教務担当の教員または学務課工学部係に確認してください。

1. 専門教育科目以外の履修について

基礎科目群（外国語科目・保健体育科目・情報処理科目）、教養科目群、単位互換制度による科目、キャリアプラン科目群、資格関連科目群の履修方法は『全学教育ガイド』に解説していますので、そちらを参照してください。

【放送大学教育協力型単位互換科目】

これは放送大学の授業科目を本学の教育課程の中で開講するもので、受講料を支払うことなく、4学部的全学生が受講することができます。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれません。なお、この科目の受講者を対象に、様々なアンケート調査が行われますので、ご協力ください。詳細は、『全学教育ガイド』の「V 単位互換制度 1 放送大学教育協力型単位互換科目について」を参照してください。

【奈良県大学連合における単位互換について】

平成20年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の7大学（帝塚山大学・天理大学・奈良大学・奈良教育大学・奈良県立大学・奈良県立医科大学・奈良学園大学）の指定された科目を履修できるようになりました。履修単位は卒業に必要な単位とすることができます。ただし、教養教育科目または専門教育科目の単位にはなりません。また、履修登録単位の上限に含まれます。なお、この制度は2年次生以上を対象とするので、令和7年度入学生は、令和8年度から利用できます。詳細については、『全学教育ガイド』の「V 単位互換制度 2 奈良県大学連合における単位互換について」を参照してください。

2. 専門教育科目の履修

工学部の専門教育科目は、基幹科目群（基幹必修科目・基幹発展科目）・専門科目群（専門基礎科目・専門応用科目）に区分されています。卒業要件単位の詳細は次のページのとおりで、必修区分の詳細は後述の「工学部専門教育科目一覧」に記載していますので、こちらも参照のうえ、履修計画を立ててください。

なお、編入学生は、編入された学年の入学年次のカリキュラムが適用されます。履修登録の際に十分注意してください。

授 業 科 目				必要 単位数	備考	
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目		8	詳細な履修方法については『全学教育ガイド』を参照	
		保健体育科目		2		
		情報処理科目				
		計 【注1】		12		
	教養科目群		18			
教養教育科目総計				30		
専門教育科目	基幹科目群	基幹必修科目		29		
		基幹発展科目		13		
		計		42		
	専門科目群	専門基礎科目	コンセプチュアルデザイン演習（PBL）		4	3科目から、 2科目4単位以上 必修
			ユーザー指向開発演習（PBL）			
			社会改善起業演習（PBL）			
			プレゼミナール		2	
		専門応用科目	卒業研究		9	
	計 【注2】		38			
	専門教育科目総計				80	
	卒業に必要な残りの単位数				14	【注3】
合 計				124		

【注1】 教養教育科目の基礎科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、基礎科目群の中から取得すること。必要単位数を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができる。

【注2】 専門教育科目の専門科目群から取得する必要単位数の合計を意味する。この合計に足りない残りの単位は、専門科目群の中から取得すること。

【注3】 「卒業に必要な残りの単位数」には以下の科目を除く全ての開講科目が含まれる。

①工学部規程別表Ⅲの1に定める「キャリアプラン科目群」（ただし、「現代社会と職業」は卒業の要件となる単位数に含めることができる。）

②工学部規程別表Ⅲの2に定める「資格関連科目群」全て

3. 1年間に履修登録できる単位数の上限

工学部では、1年間に履修科目として登録できる単位の上限を、**原則48単位**と定めています。

ただし、編入学生及び転学部学生は、1年間に60単位を上限として対象授業科目を履修することができます。なお、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。

(1) 上限の対象となる授業科目

卒業要件単位として履修する授業科目です。卒業要件単位とは、卒業に必要な124単位に含めることができるものです。以下の科目が卒業要件単位として履修する授業科目にあたります。

- ① 教養教育科目（基礎科目群・教養科目群）
- ② 専門教育科目（他学部専門教育科目を含む）
- ③ キャリア教育科目の一部（「現代社会と職業」）
- ④ 他大学（放送大学を含む）との単位互換により履修する科目

ただし「放送大学教育協力型単位互換科目」の授業科目は上限の対象外

(2) 上限の対象とならない授業科目

- ① キャリア教育科目（「現代社会と職業」を除く）
- ② 卒業要件単位となる授業科目であっても、下記のものは**上限の対象外となります。**

・「放送大学教育協力型単位互換科目」の授業科目

- #### (3) 履修登録後、授業内容が期待する学習内容と相違する場合や、受講上必要な知識の不足等から履修の継続が難しいと判断する場合には、履修登録修正期間内に限りWEB上にて、履修登録を取り消すことができます。登録取消を行った科目の単位数は、履修登録上限単位数から除かれます。

4. 所定の単位を優れた成績で修得した者（成績優秀者）の履修登録単位数の上限緩和

*この項目は、編入学及び転学部した学生には適用されません。

以下の条件をすべて満たす学生は、次年度に履修登録の上限が緩和されることがあります。

- ① 1年間に取得した卒業要件となる授業科目の単位数が40単位以上。
- ② A評価以上の科目が取得した卒業要件となる授業科目の85%以上。
- ③ 取得した卒業要件となる授業科目のうち、評点が100点満点法による授業科目の平均点が85点以上。

該当する学生は、学務課工学部係を通じて令和7年4月7日（月）までに工学部長に申請する必要があります。申請が認められた学生は、1年間に履修科目として登録できる単位数の上限（48単位）が緩和され、56単位まで登録することが可能です。

5. 3年以上4年未満での早期卒業

*この項目は、編入学及び転学部した学生には適用されません。

工学部に3年6月以上在学し、卒業の要件として工学部が定める単位を優秀な成績で修得したものと認められた学生は、在学期間4年未満での卒業（早期卒業）が認められます。早期卒業の時期は9月又は3月です。早期卒業を希望する学生は、学務課工学部係を通じて2年次終了時に工学部長に申請してください。申請後の流れ及び成績優秀の基準は次のとおりです。

- ① 2年次終了時までの卒業要件科目の単位取得状況及び成績等に基づき、早期卒業対象学生としての適格性の審査を行います。
- ② ①の審査で早期卒業対象学生として認定を受けた学生に、卒業を希望する学期末に卒業の判定を行います。

卒業するためには、工学部が定める卒業要件の単位を取得し、かつ成績優秀でなければなりません。

- ③ 成績優秀であるかの認定は、卒業判定を行う期の前年度後期までの成績により行います。成績優秀の基準は、以下の全ての条件を満たす必要があります。
 - ・各年度において、卒業要件となる授業科目の単位数を1年間に40単位以上取得していること。
 - ・A評価以上の科目が取得した卒業要件となる授業科目の85%以上であること。
 - ・取得した卒業要件となる授業科目のうち、評点が100点満点法による授業科目の平均点が85点以上であること。

6. 学期末試験と成績

- (1) 学期末試験は、原則として各学期末、補講期間を含む授業期間中に行います。ただし、試験の実施時期や成績評価の方法は科目ごとに異なりますので、各科目のWEBシラバスをよく読み、授業中の指示および掲示に注意してください。
- (2) 病気や事故など、やむを得ない事情によって試験を受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。工学部教授会において、やむを得ない事情であり、なおかつ将来の学修計画にはなはだしく支障をきたすと認められた場合は、特別の方法により成績評価が行われます。該当者は、速やかに学務課工学部係に連絡してください。
- (3) 学期ごとの成績は、指定された期間に各自で確認してください。

7. 学外での学修に係る単位の認定

次の場合、学外で履修した単位が一定の範囲で本学での履修単位として認定されることがあります。いずれの場合も学務課工学部係で事前に相談してください。

- ① 本学入学前に他の大学（短期大学を含む）に在籍していた場合

教授会で有益と認められた場合、既修得単位が本学における単位として認定されることがあります。入学後速やかに（令和7年4月8日（火）までに）申請しなければなりません。

② 本学と交流協定を締結している外国の大学に、協定に則って留学した場合

教授会で有益と認められた場合、先方の大学で履修した単位について、本学における選択科目の単位として認定されることがあります。帰国後速やかに申請しなければなりません。

③ TOEIC、TOEFL、他各種外国語検定で一定の基準を満たした場合

審査の上、各外国語の単位として認定されることがあります。詳細は『全学教育ガイド』『Ⅲ教養教育科目の仕組み・履修案内』の「外国語科目における単位認定制度」を参照してください。手続は学期始めに行われるので、掲示を見て、提出書類と期限に注意してください。

8. 専門教育科目履修モデル等の案内

全体的な注意：

『CAMPUS LIFE』の「工学部規程」や本年度に配布された『全学教育ガイド』、『専門教育ガイド』、開講科目概要（WEB版）、WEBシラバスを熟読し、ガイダンス時に別に配布する時間割モデルを参考にして履修してください。

学部の科目履修上の注意：

1～2年次のうちに、出来るだけ教養教育科目や基幹必修科目を履修するようにしてください。3年次後期に研究室配属があり、卒業研究がスタートします。

専門科目の一部は、集中講義で行われますので、開講時期など学務課の掲示板に掲示される情報に注意してください。関連する科目は多岐にわたるので、各人の関心や必要に応じて学部外の科目も履修するようにしてください。

選択必修科目については、「コンセプチュアルデザイン演習（PBL）」、「ユーザー指向開発演習（PBL）」、「社会改善起業演習（PBL）」の3科目から2科目4単位以上の履修が必要です。

工学部履修モデル（人間情報分野）

	基幹科目群		専門科目群	
	★基幹必修科目 29単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目	専門応用科目
1年次前期	(前半) △微分積分 △化学基礎 △創造とデザインの理論 プログラミング基礎 電子工学 △自己プロデュースI 批判的思考I △□エンジニアリング演習 (PBL) △価値創造体験演習 (PBL)	(後半) △確率・統計 △生体基礎 △物理基礎		
1年次後期	(前半) △線形代数 △計測工学概論 △先端設計生産工学概論 情報学概論 プログラミング実践 △自己プロデュースII	(後半) △機械工学概論 △エンジニアリングビジネス概論		
2年次前期	造形基礎演習I	(前半) △アナログ回路 応用線形代数 離散数学 電磁気学 材料力学 熱力学 (後半) △デジタル回路	医工学概論 ☆コンセンチュアルデザイン演習 (PBL)	
2年次後期	技術者倫理	(前半) △多変量解析 基礎生理学 △批判的思考II	(後半) △感性工学 最適化 センサ工学 生体計測基礎実習	
3年次前期		人間工学	パターン認識 ★プレゼミナール ☆□ユーザー指向開発演習 (PBL)	五感情報設計演習 □ヒューマンインターフェース演習 □ヘルスプロモーション ヒューマンキネティクス
3年次後期		□知能ロボット 機械力学	(後半) 生活支援と福祉工学 □メディア工学演習 △□信頼性工学 認知神経科学	関係データベース分析 プロダクトデザイン演習 △コミュニケーション工学 ★卒業研究I
4年次前期 4年次後期				★卒業研究II ★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

工学部履修モデル（環境デザイン分野）

	基幹科目群		専門科目群	
	★基幹必修科目 29単位	基幹発展科目 13単位以上	専門基礎科目	専門応用科目
1年次前期	(前半) △微分積分 △化学基礎 △創造とデザインの理論 プログラミング基礎 造形基礎演習I △自己プロデュースI 批判的思考I △□エンジニアリング演習 (PBL) △価値創造体験演習 (PBL)	(後半) △確率・統計 △生体基礎 △物理基礎		
1年次後期	(前半) △線形代数 △計測工学概論 △先端設計生産工学概論 プログラミング実践 △自己プロデュースII 技術者倫理	(後半) △機械工学概論 △エンジニアリングビジネス概論		
2年次前期	電子工学	人間工学 材料力学 物理化学	(前半) △先端設計生産工学実習I 環境・防災科学 応用物理化学実験 物性工学 有機・無機化学実験 機器分析化学	
2年次後期	情報学概論	(前半) △□起業論 基礎生理学 有機化学 造形基礎演習II 技術と理念の日本美術史		プロダクトデザイン演習
3年次前期		熱力学	建築環境工学 有機化学演習 高分子構造 ★プレゼミナール ☆□ユーザー指向開発演習 (PBL) △□信頼性工学 生体計測基礎実習 ☆社会改善起業演習 (PBL)	有機工業化学 建築都市発展演習I 環境人間工学実習
3年次後期				(前半) 先端設計生産工学実習II 高分子材料科学 建築都市発展演習II ★卒業研究I
4年次前期 4年次後期			プロジェクト・マネジメント	★卒業研究II ★卒業研究III

★必修科目 ☆選択必修科目 △1単位科目 □集中開講科目

9. 編入学生のために

- (1) 令和7年度に第3年次に編入学した学生には、原則として令和5年度入学生と同じ学則及び工学部規程が卒業時まで適用されます。令和5年度の『CAMPUS LIFE』をよく読み、履修科目の構成や単位修得の条件など、注意して履修してください。

なお、科目の見直し等で『CAMPUS LIFE』に記載されている科目名称と開講科目が異なる場合があります。不明な点は必ず教務担当の教員または学務課工学部係に確認してください。

- (2) 「3. 1年間に履修登録できる単位数の上限」に記載しているとおり、編入学生は、1年間に60単位を上限として対象授業科目を履修することができます。なお、入学前の既修得単位、学外での学修による単位認定等の認定単位は履修登録の上限単位には含まれません。
- (3) 編入学生は、入学時の単位認定が履修計画にも影響することとなりますので、教務担当の教員に相談して履修指導を受け、卒業までの履修計画を立ててください。

10. 工学部で取れる資格

工学部では、指定科目を履修して二級建築士、木造建築士の受験資格を得ることができます。詳しくは担当教員（藤田・長田）に確認してください。

その他の取得可能な資格に関して、全学教育ガイドの資格に関する項目に掲載しています。

工学部専門教育科目一覧

は、本年度開講せず。

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位			開講期	対象学年	備考
				必修	選択必修	選択			
基幹科目群									
基幹必修科目									
8210000A1	微分積分	川口	2	1			前期	1 回生以上	
8210005A1	線形代数	川口	2	1			後期	1 回生以上	
8210010A1	確率・統計	川口	2	1			前期	1 回生以上	
8210015A1	情報学概論	〈伊藤〉	2	2			後期	1 回生以上	
8210020D1	プログラミング基礎	安在	4	2			前期	1 回生以上	
8210025D1	プログラミング実践	安在	4	2			後期	1 回生以上	
8210030A1	電子工学	佐藤	2	2			前期	1 回生以上	
8210035A1	計測工学概論	佐藤	2	1			後期	1 回生以上	
8210040A1	機械工学概論	〈平〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210045A1	先端設計生産工学概論	〈入野〉・〈小林〉・ 〈廣野〉・〈萩原〉・ 〈山田〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210050A1	生体基礎	芝崎	2	1			前期	1 回生以上	
8210055A1	物理基礎	〈上村〉	2	1			前期	1 回生以上	
8210060A1	化学基礎	三方	2	1			前期	1 回生以上	
8210065A1	創造とデザインの理論	藤田	2	1			前期	1 回生以上	
8210070B1	造形基礎演習Ⅰ	長谷・藤田・長田・ 〈倉〉・〈坂下〉	2	2			前期	1 回生以上	
8210075E1	自己プロデュースⅠ	〈竹本〉	2	1			前期	1 回生以上	
8210080E1	自己プロデュースⅡ	〈竹本〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210085B1	批判的思考Ⅰ	藤田・田中・ 天ヶ瀬・水垣・ 〈山岸〉・〈橋本〉・ 〈北條〉・〈梶尾〉	2	2			前期	1 回生以上	不定期。 一部集中。
8210090A1	技術者倫理	〈鈴木〉	2	2			後期	1 回生以上	
8210095A1	エンジニアリングビジネス概論	〈駒谷〉	2	1			後期	1 回生以上	
8210100B1	エンジニアリング演習（PBL）	才脇・佐藤	（15）	1			前期 集中	1 回生以上	
8210105B1	価値創造体験演習（PBL）	長谷・長田・ 〈坂下〉	2	1			前期	1 回生以上	
基幹発展科目									
8210250A1	応用線形代数	吉田	2			2	前期	1 回生以上	
8210255A1	多変量解析	吉田	2			1	後期	1 回生以上	
8210260A1	離散数学	〈古田〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210265A1	アナログ回路	才脇	2			1	前期	1 回生以上	
8210270A1	デジタル回路	才脇	2			1	前期	1 回生以上	

〈 〉の担当教員は非常勤講師

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週 時 数	単 位			開 講 期	対象学年	備考
				必修	選択 必修	選択			
8210275A1	知能ロボット	〈石黒〉・〈宮下〉・ 〈塩見〉・〈石井〉	(30)			2	後期 集中	1 回生以上	
8210280A1	技術史	才脇・〈国本〉・ 〈坂巻〉	(15)			1	後期 集中	1 回生以上	
8210285A1	人間工学	佐々	2			2	前期	1 回生以上	
8210290A1	機械力学	〈小柴〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210295A1	熱力学	〈福岡〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210300A1	電磁気学	〈藤田〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210305A1	流体力学	〈坂本〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210310A1	材料力学	〈藤本〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210315A1	基礎生理学	芝崎	2			2	後期	1 回生以上	
8210320A1	物理化学	山本	2			2	前期	1 回生以上	
8210325A1	有機化学	三方	2			2	後期	1 回生以上	
8210330C1	物理化学実験	山本	4			1	後期	1 回生以上	1・2 回生推奨
8210335B1	造形基礎演習Ⅱ	長谷・長田・ 〈倉〉・〈坂下〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210340B1	批判的思考Ⅱ	藤田・田中・ 天ヶ瀬・〈山岸〉・ 〈橋本〉・〈北條〉・ 〈梶尾〉	2			1	後期	1 回生以上	不定期。 一部集中。
8210345A1	歴史文化工学	〈前川〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210350A1	技術と理念の日本美術史	〈山岸〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210355A1	植物生産学	〈箕作〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210360B1	イノベーション演習	〈竹本〉	(15)			1	後期 集中	1 回生以上	
8210365A1	情報ビジネス	〈駒谷〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210370A1	起業論	〈秋山〉	2			1	後期 集中	1 回生以上	
専門科目群									
専門基礎科目									
8210500A1	最適化	〈古田〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210505A1	パターン認識	吉田	2			2	前期	1 回生以上	
8210510A1	センサ工学	才脇・佐藤	2			2	後期	1 回生以上	
8210515B1	メディア工学演習	才脇	(30)			2	後期 集中	1 回生以上	
8210520A1	生活支援と福祉工学	安在	4			2	後期	1 回生以上	
8210525A1	信頼性工学	才脇・吉田	(15)			1	後期 集中	1 回生以上	
8210530D1	先端設計生産工学実習Ⅰ	〈入野〉・〈小林〉・ 〈廣野〉・〈萩原〉・ 〈山田〉	4			1	前期	1 回生以上	
8210535A1	医工学概論	芝崎・中田	2			2	前期	1 回生以上	
8210540A1	生体力学	大高	2			2	後期	1 回生以上	

〈 〉の担当教員は非常勤講師

科目ナンバ リングコード	科目名	担当教員	週 時 数	単 位			開 講 期	対象学年	備考
				必修	選択 必修	選択			
8210545A1	認知神経科学	中田	2			2	後期	1 回生以上	
8210550D1	生体計測基礎実習	久保・芝崎・ 中田・佐々・大高	4			2	後期	1 回生以上	
8210555A1	感性工学	久保	2			1	後期	1 回生以上	
8210560A1	物性工学	〈常田〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210565A1	高分子構造	黒子	2			2	前期	1 回生以上	
8210570A1	無機化学	山本	2			2	後期	1 回生以上	
8210575A1	機器分析化学	大背戸	2			2	後期	1 回生以上	
8210577B1	有機化学演習	庄司	2			2	前期	1 回生以上	
8210580C1	応用物理化学実験	大背戸	4			2	前期	1 回生以上	
8210585C1	有機・無機化学実験	三方・庄司	5			2	後期	1 回生以上	
8210590A1	建築環境工学	久保	2			2	前期	1 回生以上	
8210595A1	都市・建築デザイン学	長田	2			2	後期	1 回生以上	
8210596A1	建築一般構造学	〈松浦〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210597B2	建築施工学	〈笠松〉	(30)			2	後期 集中	1 回生以上	
8210600A1	環境・防災科学	〈藤井〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210605A1	プロジェクト・マネジメント	〈駒谷〉	2			2	前期	1 回生以上	
8210610B1	エンジニアリングビジネス演習	〈駒谷〉	2			1	後期	1 回生以上	
8210615E1	プレゼミナール	久保・黒子・才脇・ 佐々・芝崎・中田・ 長田・藤田・吉田・ 三方・大背戸・ 佐藤・山本・安在・ 大高・庄司	2	2			前期	1 回生以上	
8210620B1	コンセプトアルデザイン演習 (PBL)	長谷・長田・ 〈豊永〉	2		2		前期	1 回生以上	3 科目から、 2 科目 4 単位 以上選択必修
8210625B1	ユーザー指向開発演習 (PBL)	久保・佐々	(30)		2		前期 集中	1 回生以上	
8210630B1	社会改善起業演習 (PBL)	長田・藤田・ 〈田村〉・〈箕作〉	4		2		後期	1 回生以上	
専門応用科目									
8210750A1	関係データ分析	吉田	2			2	後期	1 回生以上	
8210755B1	五感情報設計演習	佐藤	2			2	前期	1 回生以上	
8210760B1	ヒューマンインター フェース演習	才脇・〈石黒〉・ 吉田・〈宮下〉・ 〈塩見〉・〈石井〉	(30)			2	前期 集中	1 回生以上	
8210765D1	先端設計生産工学実習Ⅱ	〈入野〉・〈小林〉・ 〈廣野〉・〈萩原〉・ 〈山田〉	4			2	後期	1 回生以上	
8210770A1	ヘルスプロモーション	中田	(30)			2	前期 集中	1 回生以上	
8210775E1	ヒューマンキネティクス	大高	2			2	前期	1 回生以上	
8210780A1	生体機能学	芝崎	(30)			2	前期 集中	1 回生以上	

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

科目ナンバリングコード	科目名	担当教員	週 時 数	単 位			開 講 期	対象学年	備考
				必修	選択 必修	選択			
8210785B1	生体医工学演習	芝崎・中田・大高	(30)			2	前期 集中	1 回生以上	
8210790A1	有機工業化学	三方	2			2	前期	1 回生以上	
8210795A1	高分子材料学	黒子	2			2	後期	1 回生以上	
8210800A1	機能性高分子化学	〈網代〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210805A1	機能性有機材料化学	〈山田〉	(15)			1	後期 集中	1 回生以上	
8210810A1	電気化学	山本	2			2	前期	1 回生以上	
8210815D1	環境人間工学実習	久保・佐々	4			2	前期	1 回生以上	
8210820B1	プロダクトデザイン演習	長谷・〈寶角〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210825B1	建築都市発展演習Ⅰ	藤田・長田	2			3	前期	1 回生以上	
8210830B1	建築都市発展演習Ⅱ	藤田・長田	2			3	後期	1 回生以上	
8210831A1	建築構造力学		4			3		1 回生以上	本年度開講せず。
8210832A1	建築生産学	〈西岡〉	2			1	前期	1 回生以上	
8210834A1	建築法規	〈野口〉	2			1	前期	1 回生以上	
8210835B1	芸術文化発展演習	長谷・藤田	2			2	後期	1 回生以上	
8210840A1	河川・海岸工学	〈藤井〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210845B1	プロジェクト・デザイン演習	〈駒谷〉	2			2	後期	1 回生以上	
8210850A1	コミュニケーション工学	〈荒牧〉・〈西山〉・ 〈若宮〉	2			1	後期	1 回生以上	
8210855F3	卒業研究Ⅰ	久保・黒子・才脇・ 佐々・芝崎・中田・ 長田・藤田・吉田・ 三方・大背戸・ 佐藤・山本・安在・ 大高・庄司		3			後期	3 回生以上	
8210860F4	卒業研究Ⅱ	久保・黒子・才脇・ 佐々・芝崎・中田・ 長田・藤田・吉田・ 三方・大背戸・ 佐藤・山本・安在・ 大高・庄司		3			前期	4 回生	
8210865F4	卒業研究Ⅲ	久保・黒子・才脇・ 佐々・芝崎・中田・ 長田・藤田・吉田・ 三方・大背戸・ 佐藤・山本・安在・ 大高・庄司		3			後期	4 回生	

〈 〉の担当教員は非常勤講師

工学部専門教育科目 時間割表

【前期】

曜日	時限	基幹必修科目		基幹発展科目	
		授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目	担当教員
月	1・2	化学基礎 (前半)	三方		
		生体基礎 (後半)	芝崎		
	3・4	電子工学	佐藤		
	5・6			人間工学	佐々
	7・8			物理化学	山本
	9・10			電磁気学	〈藤田〉
火	1・2				
	3・4				
	5・6	プログラミング基礎 (5～8時限)	安在		
	7・8				
	9・10	微分積分 (前半)	川口		
		確率・統計 (後半)	川口		
水	1・2			熱力学	〈福岡〉
	3・4				
	5・6			材料力学	〈藤本〉
	7・8			流体力学	〈坂本〉
	9・10			情報ビジネス	〈駒谷〉
木	1・2	創造とデザインの理論 (前半)	藤田	離散数学	〈古田〉
		物理基礎 (後半)	〈上村〉		
	3・4	自己プロデュースI	〈竹本〉	アナログ回路 (前半)	才脇
				デジタル回路 (後半)	才脇
	5・6			植物生産学	〈箕作〉
	7・8			応用線形代数	吉田
金	1・2				
	3・4				
	5・6	造形基礎演習I	長谷 藤田 長田 〈倉〉 〈坂下〉		
	7・8	価値創造体験演習 (PBL)	長谷 長田 〈坂下〉		
	9・10				
その他	前期 集中	批判的思考I	藤田〈山岸〉		
		エンジニアリング演習 (PBL)	才脇 佐藤		
	前期	批判的思考I	田中 天ヶ瀬 水垣 〈橋本〉 〈北條〉 〈梶尾〉		

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	専門基礎科目		専門応用科目	
		授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目	担当教員
月	1・2				
	3・4	医工学概論	芝崎 中田		
		有機化学演習	庄司		
	5・6			有機工業化学	三方
	7・8	環境・防災科学	〈藤井〉		
	9・10				
火	1・2				
	3・4	プレゼミナール A	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司		
	5・6	先端設計生産工学実習Ⅰ（前半） （5～8時限）	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉		
	7・8			電気化学	山本
	9・10				
水	1・2			五感情報設計演習	佐藤
	3・4	プロジェクト・マネジメント	〈駒谷〉		
	5・6				
	7・8				
	9・10	建築一般構造学			
木	1・2			ヒューマンキネティクス	大高
	3・4	高分子構造 建築環境工学	黒子 久保		
	5・6	パターン認識	吉田		
	7・8				
	9・10			建築法規（前半） 建築生産学（後半）	〈野口〉 〈西岡〉
金	1・2	コンセプチュアルデザイン演習 （PBL）	長谷 長田 〈豊永〉		
	3・4	プレゼミナールB	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司		
	5・6	応用物理化学実験 （5～8時限）	大背戸	環境人間工学実習 （5～8時限）	久保・佐々
	7・8				
	9・10			建築都市発展演習Ⅰ	藤田 長田
その他	前期 集中	ユーザー指向開発演習（PBL）	久保 佐々	ヒューマンインターフェース演習 生体医工学演習（前半） ヘルスプロモーション 生体機能学（後半）	才脇〈石黒〉 吉田〈宮下〉 〈塩見〉〈石井〉 芝崎 中田 大高 中田 芝崎
	前期			卒業研究Ⅱ	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

【後期】

曜日	時限	基幹必修科目		基幹発展科目	
		授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目	担当教員
月	1・2				
	3・4	情報学概論	〈伊藤〉		
	5・6			技術と理念の日本美術史	〈山岸〉
	7・8				
	9・10			機械力学	〈小柴〉
火	1・2			歴史文化工学	〈前川〉
	3・4				
	5・6			物理化学実験(前半)(5～8時限)	山本
	7・8				
	9・10	線形代数(前半)	川口		
水	1・2	先端設計生産工学概論(前半)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉		
		エンジニアリングビジネス概論(後半)	〈駒谷〉		
	3・4	技術者倫理	〈鈴木〉	有機化学	三方
	5・6				
	7・8				
	9・10				
木	1・2				
	3・4	自己プロデュースⅡ	〈竹本〉	基礎生理学	芝崎
	5・6				
	7・8			多変量解析(前半)	吉田
	9・10				
金	1・2			造形基礎演習Ⅱ	長谷 長田 〈倉〉 〈坂下〉
	3・4				
	5・6	プログラミング実践 (5～8時限)	安在		
	7・8				
	9・10	計測工学概論(前半) 機械工学概論(後半)	佐藤 〈平〉		
	後期 集中			知能ロボット	〈石黒〉 〈宮下〉 〈塩見〉 〈石井〉
				技術史	才脇 〈国本〉 〈坂巻〉
				批判的思考Ⅱ	〈北條〉
				イノベーション演習	〈竹本〉
				起業論	〈秋山〉
	後期			批判的思考Ⅱ	藤田 田中 天ヶ瀬 〈山岸〉 〈橋本〉 〈梶尾〉

〈 〉の担当教員は非常勤講師

曜日	時限	専門基礎科目		専門応用科目	
		授 業 科 目	担当教員	授 業 科 目	担当教員
月	1・2				
	3・4	機器分析化学	大背戸	河川・海岸工学	〈藤井〉
	5・6	無機化学	山本		
		生体計測基礎実習 (5～8時限)	久保 佐々 芝崎 中田 大高	芸術文化発展演習	長谷 藤田
	7・8	物性工学	〈常田〉		
	9・10				
火	1・2				
	3・4				
	5・6	生活支援と福祉工学（後半） (5～8時限)	安在	先端設計生産工学実習Ⅱ（前半） (5～8時限)	〈入野〉 〈小林〉 〈廣野〉 〈萩原〉 〈山田〉
	7・8				
	9・10	センサ工学	才脇 佐藤		
水	1・2	最適化 認知神経科学	〈古田〉 中田		
	3・4	エンジニアリングビジネス演習(前半)	〈駒谷〉		
	5・6	社会改善起業演習（PBL） (5～8時限)	長田 藤田 〈田村〉 〈箕作〉		
	7・8				
	9・10			プロジェクト・デザイン演習	〈駒谷〉
木	1・2	生体力学	大高		
	3・4			高分子材料学	黒子
	5・6			関係データ分析 機能性高分子化学	吉田 〈網代〉
	7・8	感性工学（後半）	久保	プロダクトデザイン演習	長谷 〈寶角〉
	9・10			コミュニケーション工学（前半）	〈荒牧〉 〈西山〉 〈若宮〉
金	1・2				
	3・4	都市・建築デザイン学	長田		
	5・6				
	7・8	有機・無機化学実験(5～9時限)	三方 庄司		
	9・10			建築都市発展演習Ⅱ	藤田 長田
その他	後期 集中	メディア工学演習	才脇	機能性有機材料化学	〈山田〉
		信頼性工学	才脇 吉田		
		建築施工学	〈笠松〉		
	後期			卒業研究Ⅰ	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司
				卒業研究Ⅲ	久保・黒子・ 才脇・佐々・ 芝崎・中田・ 長田・藤田・ 吉田・三方・ 大背戸・佐藤・ 山本・安在・ 大高・庄司

〈 〉 の担当教員は非常勤講師

工学部専門教育科目 積極開放科目

ナンバリングコード	科目名	担当教員	週時数	単 位	開講期	備考
8210065A1	創造とデザインの理論	藤田	2	1	前期	
8210095A1	エンジニアリングビジネス概論	〈駒谷〉	2	1	後期	
8210280A1	技術史	才脇・〈国本〉・〈坂巻〉	(15)	1	後期 集中	
8210535A1	医工学概論	芝崎・中田	2	2	前期	